

藤井寺市
次世代育成支援に関するニーズ調査
【結果報告書】

平成 21 年 3 月

藤井寺市

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査概要	2
3 報告書の見方	3
4 標本誤差	4
調査結果の要約	5
1 調査結果の要約	6
調査結果	17
1 回答者の属性	18
2 保護者の就労状況	25
3 保育サービスについて	40
4 土日の保育サービスについて	49
5 放課後児童クラブについて	51
6 病児・病後児保育について	60
7 一時的な預かりについて	64
8 宿泊を伴う一時的な預かりについて	67
9 ベビーシッターについて	71
10 ファミリーサポートセンターについて	72
11 地域の子育て支援拠点事業について	74
12 子育て支援サービスの認知度・周知度	77
13 子育て全般について	81
14 藤井寺市の事業や取り組み	88
15 子どもの健康について	89
16 子どもの食生活について	91
17 健やかに成長する為の取り組みについて	94
18 子育てを支援する生活環境の整備について	105
19 子どもの安全を確保する為の取り組みについて	108
20 仕事と生活の調和について	112
21 育児休業制度について	121
22 行政サービスへの要望について	127
資料編	129
1 自由回答	131
2 アンケート調査票	138

調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成 21 年度に行う「藤井寺市次世代育成支援対策行動計画」（後期計画）の策定資料として、保育ニーズや藤井寺市の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、市民意向調査（アンケート調査）として実施しました。

2 調査概要

- ・ 調査地域 : 藤井寺市全域
- ・ 調査対象者 : 藤井寺市内在住の「未就学児」をお持ちの世帯・保護者（就学前児童調査）
藤井寺市内在住の小学生児童をお持ちの世帯・保護者（小学生児童調査）
- ・ 抽出方法 : 住民基本台帳より、就学前児童（0 歳～5 歳）1,200 人、小学生（6 歳～11 歳）1,200 人の合計 2,400 人を無作為抽出
但し、配布後、引越し等により不在の為返却されたものが就学前児童 12 通、小学生児童 13 通あり、配布数としては就学前児童 1,188 通、小学生児童 1,187 通となった。
- ・ 調査期間 : 平成 21 年 2 月 5 日～2 月 25 日
- ・ 調査方法 : 郵送配布・郵送回収

	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者	1,188	554	46.6%
小学生児童保護者	1,187	540	45.5%
合計	2,375	1,094	46.1%

3 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

4 標本誤差

今回の調査は、標本調査であるので、回答者のデータが市民の意識として十分信頼の置けるものであるかどうかをみます。

調査精度として、比率の推定の標本誤差をみますが、信頼度 95%レベルにおいた場合、これは統計学理論から次のように与えられます。

$$E = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P \times (1 - P)}{n}}$$

E：標本誤差

N：母集団の大きさ

n：標本の大きさ

P：あるカテゴリについての、母集団での回答率

この式の意味は、求める母集団におけるあるカテゴリ（注目した特性、多くの場合、調査項目と一致）の比率Pが、標本調査で得られた比率pの前後±Eの範囲に入っていると判断して95%間違いないということになります。

主要な標本における比率の標本誤差E（信頼度95%レベル）

平成20年就学前児童人口	P(%)	5.0%	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%
1744	n数	95.0%	90.0%	85.0%	80.0%	75.0%	70.0%	65.0%	60.0%	55.0%	50.0%
総数	554	1.5	2.1	2.5	2.8	3.0	3.2	3.3	3.4	3.4	3.4

平成20年小学生児童人口	P(%)	5.0%	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%
2081	n数	95.0%	90.0%	85.0%	80.0%	75.0%	70.0%	65.0%	60.0%	55.0%	50.0%
総数	540	1.5	2.1	2.5	2.8	3.0	3.2	3.3	3.4	3.4	3.4

上記のように標本誤差E値（上記表各最下段）が軽微な範囲である為、十分信頼に値する数値となっています。

調査結果の要約

1 調査結果の要約

(1) 調査の結果

保護者の就労状況

- ・母親の就労状況は、就学前児童の母親では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が46.2%と最も高く、一方で小学生児童の母親では「就労している(パートタイム、アルバイト等)」が35.6%、「就労している(フルタイム：育休・介護休業中は含まない)」が15.0%と、合わせて半数以上となっており、子育てがある程度落ち着いた段階で就労する母親が多いことがうかがえます。
- ・父親の就労状況は、「就労している(フルタイム：育休・介護休業中は含まない)」が就学前児童の父親では82.3%、小学生児童の父親では64.3%となっています。
- ・フルタイムの勤務時間については、母親では、フルタイムであっても、大半が『20時まで』に帰宅している状況がうかがえます。一方で父親では『週60時間以上』が就学前児童で35.9%、小学生児童で29.9%となっています。帰宅時間についても、『21時以降』が就学前児童、小学生児童ともに約4割と多数を占めています。
- ・パートタイム、アルバイトの就労日数については、母親では「週39時間以下」が就学前児童、小学生児童ともに9割以上と大半を占めています。また、母親のフルタイムへの転換希望については、就学前児童で6割弱、小学生児童で4割以上が希望している状況です。
- ・就労していない母親の今後の就労希望については、「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」が就学前児童で68.5%、小学生児童で38.3%と最も高くなっており、就労形態としては、「パートタイム、アルバイト等による就労」が就学前児童、小学生児童ともに大半を占めています。また、就労希望がありながら働いていない理由として、就学前児童、小学生児童ともに、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が最も高くなっています。

母親の妊娠時の状況について(就学前児童)

- ・出産前後の離職について、「出産1年以前にすでに働いていなかった」が43.0%と最も高くなっています。また、離職した方の多くが「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」(36.5%)と回答している一方、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」(24.9%)、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」(17.5%)と回答しており、仕事と家庭の両立が難しい反面、職場での支援制度や保育サービスが受けやすければ、就労を継続していた人(離職しない)が多いことがうかがえます。

保育サービスについて（就学前児童）

保育サービスの利用について大きく【利用の有無】【現在及び今後の保育サービスの利用】【各サービスの利用実態（日数・時間）】の3点についてたずねました。

- ・保育サービスの利用について、「利用している」が42.2%、「利用していない」が56.7%と利用している割合が若干少なくなっています。「利用している」と回答した人のサービス内容については、「認可保育所」が55.6%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間）」が35.5%となっています。
- ・保育サービスの利用実態については、1週当たり「5日」（78.4%）、1日当たり「6時間」（27.6%）と「8時間」（23.3%）、開始時間では8～9時台、終了時間では15～18時台が高い割合となっています。
- ・保育サービスを利用している主な理由については、「現在就労している」が56.4%となっています。一方で保育サービスを利用していない主な理由として「（子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で）必要がない」が55.1%と最も高くなっています。「就労」の有無が保育サービスの利用ニーズを左右していることがうかがえます。
- ・今後利用したい保育サービスについては、「認可保育所」、「幼稚園の預かり保育」、「一時預かり」等が高くなっています。
- ・保育サービスを利用したい理由としては、「そのうち就労したいと考えている」が最も高く、次いで「現在就労している」、「就労していないが、育児に不安・負担が大きいので子どもを預けたい」となっています。

土・休日の保育サービスについて（就学前児童）

- ・土曜日の保育サービスに対する利用意向については、「利用希望はない」が57.2%と最も高くなっています。一方で「ほぼ毎週利用したい」「月1～2回は利用したい」を合わせた『利用したい』は3割以上となっています。
- ・日曜・祝日の保育サービスに対する利用意向については、「利用希望はない」が72.6%と土曜日の意向よりも低くなっています。
- ・土曜日の利用したい時間帯については、開始時間では「9時～」が15.8%、終了時間では「17時」が13.1%と最も高くなっています。

放課後児童クラブについて（小学生児童）

- ・放課後児童クラブの利用については、「利用していない」が84.8%と大半を占めています。利用しているかたの利用日数は「5日」が最も高くなっています。
- ・利用している理由については、「現在就労している」が72.4%と大半を占めています。一方で、利用していない理由については、「現在就労していないから」が4割以上となっています。
- ・藤井寺市では、アンケート調査時点で土・日曜日の利用サービスは実施していませんでした。平成21年4月から第3土曜日の実施を開始しました。

- ・放課後児童クラブの今後の利用意向については、現在利用していない人のうち、5.2%が今後「利用したい」と回答しています。その理由として、「そのうち就労したいと考えている」が4割強を占めています。
- ・就学前児童で子どもが小学生になった際の放課後児童クラブの利用意向については、「利用したい」が26.7%、「利用予定はない」が33.6%となっており、利用したい日数は「5日」が最も高くなっています。
- ・放課後子ども教室の利用については、「意向がある」が26.7%、「意向がない」が45.0%となっています。
- ・小学4年生以降の放課後の望ましい過ごし方については、「クラブ活動など習い事をさせたい」が最も高く、次いで「利用を希望するサービスは特にない」、「放課後子ども教室を利用したい」となっており、放課後児童クラブを利用する際の学年の上限は「6年生」が最も高くなっています。

病児・病後児保育について

- ・子どもが病気・ケガで保育サービスを利用できなかつたり、学校を休まなければならなかったことがあった状況は、就学前児童で28.7%、小学生児童で63.3%となっています。
- ・利用できなかった場合の日数と対処方法については、就学前児童、小学生児童ともに「母親が休んだ」が最も高くなっています。次いで就学前児童では「同居者を含む親族・知人に預けた」、小学生児童では「就労していない保護者がみた」が高くなっています。

一時的な預かりについて

- ・私用、冠婚葬祭、就労などで子どもを家族以外の誰かに一時的に預けた経験については、「ある（預けた）」が就学前児童では29.1%、小学生児童では22.4%となっています。
- ・また、預けた理由別の日数についてにみると、『私用、リフレッシュ』が「1～3日」、「1週間以上」が高くなっており、『冠婚葬祭、子どもの親の病気』が「1日」、「就労」が「1日」、「1週間以上」とそれぞれ高くなっています。

宿泊を伴う一時的な預かりについて

- ・子どもを保護者の用事などにより、泊まりがけで預けたことの有無について尋ねたところ、就学前児童、小学生児童ともに「なかった（預けていない）」が最も高くなっています。一方「あった（預けた）」は就学前児童が17.3%、小学生児童が16.3%となっています。
- ・預けた先については、大半が「親族・知人に預けた」と回答しています。預けた日数については、1泊から2泊の短期間が多いものの、1週間以上という長期間についても高くなっています。
- ・宿泊を伴う一時的な預かりについて、就学前児童では、半数弱が『困難』な状況であると回答しています。

ベビーシッターについて

- ・不明・無回答が多く、就学前児童小学生児童ともに、藤井寺市では利用状況が想定されにくい回答となっています。

ファミリーサポートセンターの利用について

- ・ファミリーサポートセンターの今後の利用意向についてたずねると、就学前児童、小学生児童ともに「1日」が最も高くなっています。

地域の子育て支援拠点事業について（就学前児童）

- ・地域子育て支援拠点事業の参加度については、「地域子育て支援拠点事業」、「こどもクラブ」の利用者は1割未満と非常に少ない状況です。
- ・1週間あたりの利用回数を尋ねると、「地域子育て支援拠点事業」、「こどもクラブ」ともに「1回」が最も高くなっています。
- ・今後の利用意向については、「地域子育て支援拠点事業」が11.9%、「こどもクラブ」が6.3%となっています。
- ・地域子育て支援事業を利用していない理由については、「特に理由はない」が最も高くなっていますが、「時間がない」「利用したいサービスが地域にない」「サービスの利用方法（手続き等）や開催場所がわからない」という回答もみられます。

子育て支援サービスの認知度・周知度について

子育て支援サービスについて、【認知度】【利用度】【利用意向】の3点について尋ねました。

- ・就学前児童の認知度については、「母親学級・両親学級・育児学級」「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が8～9割となっているのに対し、「家庭教育に関する学級・講座」や「自治体が発行する子育て支援情報誌」「こんにちは赤ちゃん事業」などは、3割を切っています。
- ・就学前児童の利用度については、認知度と同様「母親学級・両親学級・育児学級」「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が約4割と高くなっている一方、その他の事業については、認知度と比較して、利用度は低くなっています。
- ・就学前児童の今後の利用意向については、「自治体が発行する子育て支援情報誌」が最も高くなっています。また、利用度と比較して、「母親学級・両親学級・育児学級」を除き、その他の事業について高くなっています。
- ・小学生児童の認知度については、「家庭教育に関する学級・講座」が21.5%、「教育相談センター・教育相談室」が32.8%のかたが「はい（知っている）」と答えています。
- ・小学生児童の利用度については、「家庭教育に関する学級・講座」が4.1%、「教育相談センター・教育相談室」が5.0%のかたが「はい（これまでに利用したことがある）」と答えています。
- ・小学生児童の今後の利用意向については、「家庭教育に関する学級・講座」が25.2%、「教育相談センター・教育相談室」が29.6%のかたが「はい（今後利用したい）」と答えています。

子育て全般について（就学前児童）

- ・就学前児童において、子育てを楽しんでいるかとの問いに、「楽しいと感じることの方が多い」が63.7%と半数以上を占めています。
- ・子育てをする上で有効な支援・対策については「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が最も高く、次いで「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」がそれぞれ3割を超えて高くなっています。
- ・子育てについての不安や悩みについては、『子どもに関すること』では、「子どもの教育に関すること」が最も高く、次いで「子どもとの接し方に自信が持てないこと」が3割を超えて高くなっています。『保護者自身に関すること』では、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」、「子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと」がともに5割を超えて高くなっています。
- ・子育ての辛さを解消する為に必要な支援・対策についてみると、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が高くなっています。
- ・子育てに関する相談先については、「親や家族」、「近所の人、友人・知人」と身近でより親しみやすい人に相談している人が高くなっています。
- ・子育てサークルなどの自主活動への参加についてみると、「現在参加している」が11.2%、「現在参加していないが今後機会があれば参加したい」が31.6%となっており、「現在参加しておらず今後も参加するつもりはない」が53.1%と最も高くなっています。
- ・自主活動をするにあたり行政に行きしてほしい支援についてみると、「活動場所の提供」が56.1%と最も高くなっており、次いで「情報発信やPR等への支援」が32.1%となっています。
- ・子育てが地域の人に支えられていると感じるかについてみると、「感じる」が45.5%となっており、「感じない」が49.6%となっています。

藤井寺市の事業や取り組み

- ・藤井寺市での子育て支援でもっと力を入れてほしいものについてみると、『乳幼児健康診査』が就学前児童は88.1%、小学生児童は81.5%とともに最も高く、次いで『マタニティ教室（保健センター）』、『わんぱく広場や園庭開放（市立保育所）』が就学前児童、小学生児童ともに6割を超えています。

子どもの健康について

- ・子どものかかりつけの医師の有無についてみると、かかりつけの医師が「いる」と答えたかたが、就学前児童で81.2%、小学生児童で67.4%となっています。
- ・子どもがケガや急病のときの相談先については、「家族」が就学前児童、小学生児童ともに7割を超えており、次いで「医師」が共通して高い項目となっています。

- ・すぐ見てくれる医療機関が見つからず困ったことについては、就学前児童、小学生児童ともに4割を超えたかたが「困ったことがある」と答えています。また、困った時期についてみると、「休日（夜間）」が共通して高く、次いで「平日（夜間）」となっています。

子どもの食生活について

- ・朝ごはんを食べているかについては、「毎日食べる」と答えたかたが就学前児童では86.3%、小学生児童では92.2%と高い割合を示しています。
- ・野菜は好きかについては、「好き」、「どちらかといえば好き」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに半数を超えています。また、野菜は1日何回食べるかについては、「1~2回」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに7割を超えて最も高くなっています。
- ・果物は食べるかについては、「毎日食べる」「食べる日の方が多い」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに半数を超えています。
- ・1日1回は家族と一緒に食事をするかについては、「する」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに9割を超え、高い割合を示しています。
- ・健康的な食習慣を身につけているかについては、「感じる」と答えたかたが就学前児童では76.9%、小学生児童では85.4%と高い割合を示しています。
- ・子どもの健康の為に必要・効果があると思われる事業・取り組みについてみると就学前児童、小学生児童ともに「休日急病診療」、「小児急病夜間診療」とともに8割を超え高くなっており、就学前児童では乳幼児健康診査も高くなっています。

健やかに成長する為の取り組みについて（小学生児童）

- ・平日の放課後の過ごし方の14~16時では、「学校にいる」が64.3%、16~18時では、「家や公園などで友達と過ごす」が29.3%、18~20時では、「保護者や祖父母等家族親族等（大人）と過ごす」が54.3%、20時以降では、「保護者や祖父母等家族親族等（大人）と過ごす」が69.4%と最も高くなっています。
- ・休日の過ごし方については、「保護者や祖父母等家族親族等（大人）と過ごす」が53.9%と最も高くなっています。
- ・公共施設での企画やサービスの希望についてみると、「気軽にスポーツを楽しめる」が63.0%と最も高くなっており、次いで「遊具等を使って自由に遊べる」が56.1%、「工作などの楽しい講座がある」が52.2%となっています。
- ・自然・社会・文化などの体験をしやすい環境かについては、「体験をしやすいと思う」が12.6%、「体験をしやすいとは思わない」が45.4%となっています。
- ・参加したことがある自然・社会・文化活動については、「地域に根ざした活動（お祭りや地域運動会等）」が46.1%と最も高く、次いで「参加したことがない」が29.3%、「青少年団体活動（子ども会等）」が27.8%となっています。
- ・自然・社会・文化活動に参加していない理由についてみると、「活動に関する情報がなく参加しにくい」が48.1%と最も高く、次いで「知り合いなどがおらず参加しにくい」が34.2%、「参加の時間帯が合わない」が20.3%となっています。

- ・今後参加したいと思う自然・社会・文化活動についてみると、「スポーツ活動」が 33.7%と最も高く、次いで「野外活動(キャンプ等)」が 33.1%、「体験学習活動(ものづくり体験等)」が 32.0%となっています。
- ・子ども同士が交流等を行うことのできる場についての希望については、「子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主活動などができる場」が 58.5%と最も高く、次いで「子どもが土日に活動ができたり遊べたりできる場」が 48.3%、「子どもに遊びを教えたりしつけをしてくれる場」が 40.2%となっています。
- ・小学校に入学する際の不安については、「体験入学または事前説明会はあったが少し不安はあった」が 47.6%と最も高く、次いで「体験入学または事前説明会があったため不安はなかった」が 26.9%、「体験入学や事前説明会以外に情報をとれる機会があったため不安はなかった」が 12.6%となっています。
- ・子どもが小学校へ行っている状況については、「すごく楽しそうである」が 50.2%と最も高く、次いで「楽しそうである」が 35.0%となっています。

子育てを支援する生活環境の整備について

- ・就学前児童において外出の際に困ったことについては、「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」が 56.0%と最も高く、次いで「緑や広い歩道が少ないなどまちなみにゆとりとるおいがない」が 54.7%、「買い物や用事等の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が 53.8%となっています。
- ・地域の遊び場における満足度については、就学前児童、小学生児童ともに、「満足している」が 1 割未満、「満足していない」が 7 割を超えています。
- ・地域の遊び場について日頃感じることについては、就学前児童、小学生児童ともに「雨の日に遊べる場所がない」、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」、「遊具などの種類が充実していない」が高い項目となっています。

子どもの安全を確保する為の取り組みについて

- ・各サービス等の認知度については、就学前児童では「はい(知っている)」が『青色回転灯パトロール事業』で 22.9%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 55.6%、『子ども 110 番事業』が 74.4%となっています。小学生児童では「はい(知っている)」が『青色回転灯パトロール事業』で 24.6%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 82.2%、『子ども 110 番事業』が 84.6%となっています。
- ・各サービス等の参加度については、就学前児童では「はい(これまでに協力したことがある)」が『青色回転灯パトロール事業』で 1.1%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 7.8%、『子ども 110 番事業』が 4.3%となっています。小学生児童では「はい(これまでに協力したことがある)」が『青色回転灯パトロール事業』で 1.1%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 36.3%、『子ども 110 番事業』が 9.6%となっています。

- ・各サービス等の今後の協力度については、就学前児童では「はい(今後協力したい)」が『青色回転灯パトロール事業』で24.2%、『子どもの安全見まもり隊事業』が53.4%、『子ども110番事業』が54.3%となっています。小学生児童では「はい(今後協力したい)」が『青色回転灯パトロール事業』で19.1%、『子どもの安全見まもり隊事業』が59.8%、『子ども110番事業』が45.4%となっています。
- ・子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるかについては、就学前児童では「感じる」が39.5%、「感じない」が10.8%となっています。小学生児童では「感じる」が58.0%、「感じない」が10.9%となっています。
- ・子どもの安全を確保する為に必要と思われる事業・取り組みについては、就学前児童では「青色回転灯パトロール事業」が52.9%、「子どもの安全見まもり隊事業」が76.7%、「子ども110番事業」が67.9%となっています。小学生児童では「青色回転灯パトロール事業」が53.3%、「子どもの安全見まもり隊事業」が87.4%、「子ども110番事業」が67.6%となっています。

仕事と生活の調和について

- ・「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度については、就学前児童、小学生児童ともに、「知らない」が約7割と高くなっています。
- ・1日あたりの子どもと過ごす時間については、母親では特に就学前児童で「15時間以上」が高くなっており、その他は就学前児童、小学生児童ともに「4時間」～「8時間」が高くなっています。父親では「1時間」～「5時間」が高くなっています。
- ・子どもと一緒に過ごす時間の満足度については、母親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが7割を超えています。父親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが約3割となっています。
- ・1日あたりの家事の時間については、就学前児童、小学生児童ともに、母親では「3時間」～「5時間」が高くなっており、就学前児童では「15時間以上」も高くなっています。父親では「1時間」が7割を超えて高くなっています。
- ・配偶者との育児分担の満足度については、母親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが約半数となっています。父親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが半数を超えています。
- ・「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度については、就学前児童、小学生児童ともに、希望では「家事(育児)時間を優先」が高くなっています。しかし現実では「仕事時間を優先」が希望より高くなっており、生活の中心がやや仕事に偏っていることがわかります。

- ・仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることについては、就学前児童、小学生児童ともに、「子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」、「子どもと接する時間が少ないこと」、「残業や出張が入ること」が上位となっています。また、就学前児童、小学生児童ともに「配偶者の協力が得られない」、「職場に子育てを支援する制度がないこと」、「職場の理解が得られない」がそれぞれ2割前後となっています。
- ・仕事と生活の調和が図られていると感じるかについては、就学前児童では「感じる」、「まあまあ感じる」をあわせ、調和が図られていると答えたかたが4割を超えており、小学生児童では6割を超えています。
- ・勤務先で子育て支援の取り組みが進む為に行政に必要な取り組みについては、「わからない」の回答をのぞくと、就学前児童、小学生児童ともに「企業に対して職場環境の改善を働きかける」が最も高く、それぞれ37.0%、38.7%となっており、次いで「取り組もうとする企業に対して支援する(財政的支援、アドバイザーによる人的支援等)」がそれぞれ32.5%、28.7%となっています。

育児休業制度について（就学前児童）

- ・母親または父親が育児休業制度を利用したかについては、「利用しなかった」が80.9%と最も高くなっています。「母親が利用した」は13.9%、「父親が利用した」は0.5%となっており、特に父親は低くなっています。また、育児休業から復帰した時の子どもの月齢については、「6ヶ月～11ヶ月」が37.5%と最も高くなっています。
- ・育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できたかについては、「育児休業期間を調整せずにできた」が38.8%で最も高くなっています。そのほか、「育児休業期間を調整したのでできた」が26.3%、「できなかった」が20.0%、「希望しなかった」が5.0%となっています。
- ・育児休業明けに保育サービスが確実に利用できた場合、育児休業の取得期間が変わったかについては、回答者17人中で「長くした」「短くした」がともに8人、「変わらない」が1人となっています。
- ・育児休業明けに、希望する保育サービスが利用できなかったときの対応については、回答者15人中で「事業所内の保育サービスを利用した」が6人、「上記以外の保育サービスを利用した」が4人、「家族等にみてもらうことで対応した」が3人となっています。
- ・育児休業制度を利用しなかった理由については、母親では「制度を利用する資格がなかった(無職など)」が34.2%と最も高くなっており、次いで「会社に育児休業制度がなかった」が16.5%、「取得しにくい雰囲気があった」が7.1%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が6.9%となっています。父親では「会社に育児休業制度がなかった」が24.3%と最も高くなっており、次いで「仕事が忙しかった」が21.4%、「取得しにくい雰囲気があった」が20.1%となっています。
- ・勤務先にある育児休業以外の育児の為の制度については、「育児に関する制度はない」が34.8%と最も多く、次いで「わからない」が20.4%、「勤務時間を短くする制度」が17.0%となっています。

- ・勤務先における育児支援制度の認知度についてみると、「十分に周知されている」「概ね周知されている」をあわせた『周知されている』が33.1%、「社内の詳しい人以外は知らない」「ほとんど周知されていない」をあわせた『周知されていない』が24.8%となっています。利用しやすさについてみると「育児に配慮・理解がある会社であり、気兼ねなく利用できる」「スケジュール等を事前に調整すれば利用できる」をあわせた『利用しやすい』と答えたかたが35.3%、「利用するにはかなり肩身の狭い思いをする」「ほとんど利用できるような職場ではない」をあわせた『利用しにくい』と答えたかたが26.5%となっています。満足度についてみると「満足している」「まあまあ満足している」をあわせた『満足している』と答えたかたが29.1%、「あまり満足していない」「不満だ」をあわせた『満足していない』と答えたかたが24.4%となっています。

行政サービスへの要望について

- ・行政に対して、子育て支援の充実を図って欲しいと期待していることについては、就学前児童、小学生児童ともに、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」、「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」、「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）」が共通して高い項目となっています。



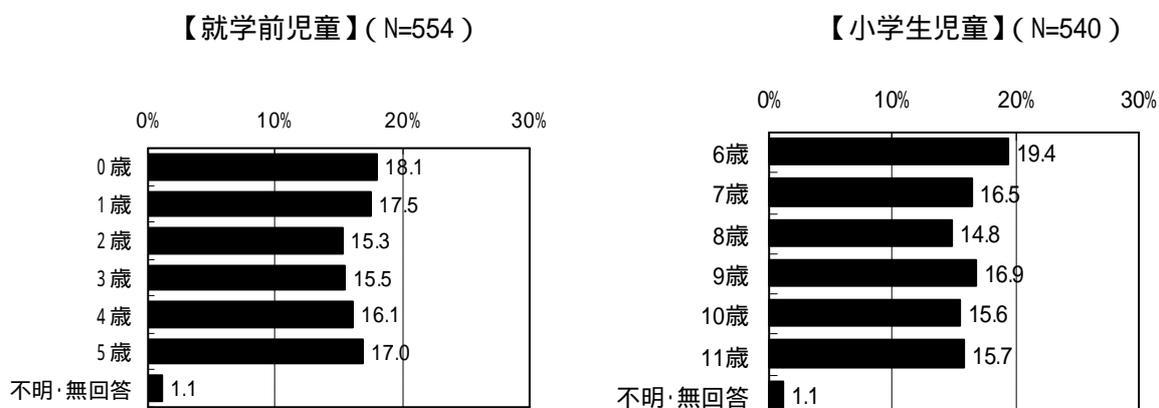
調査結果

(就学前児童・小学生児童調査)

1 回答者の属性

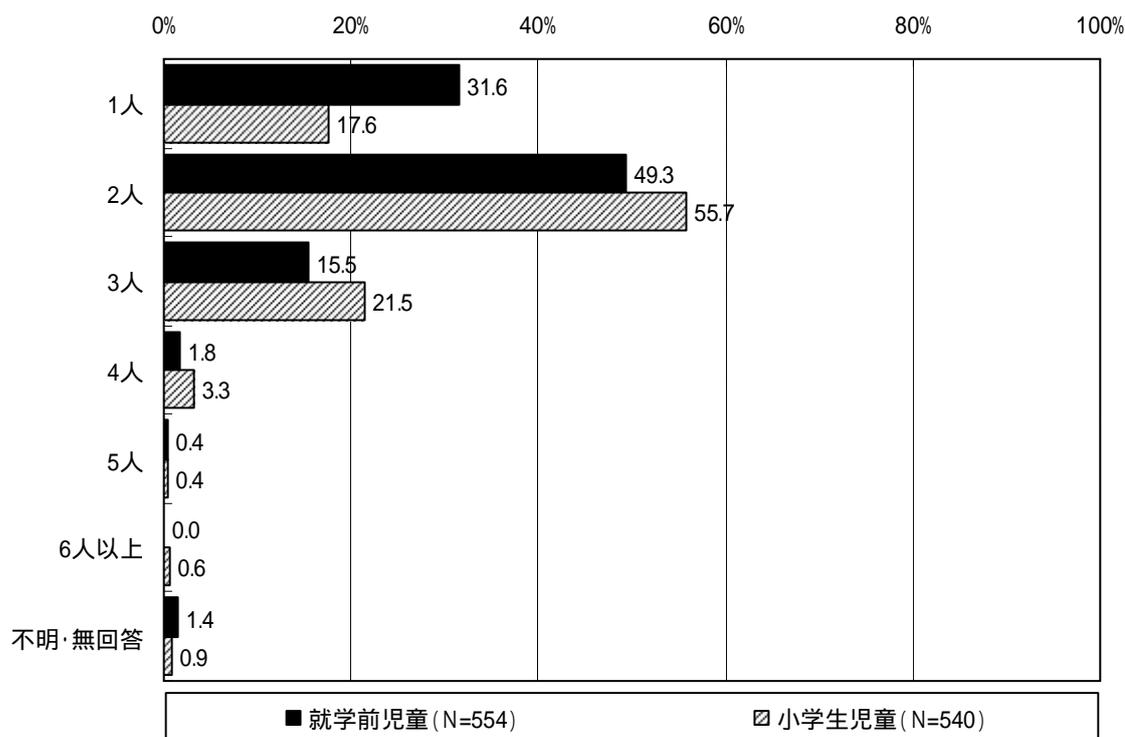
(1) 子どもの年齢 (数量回答)

【就学前・小学生児童 問1】



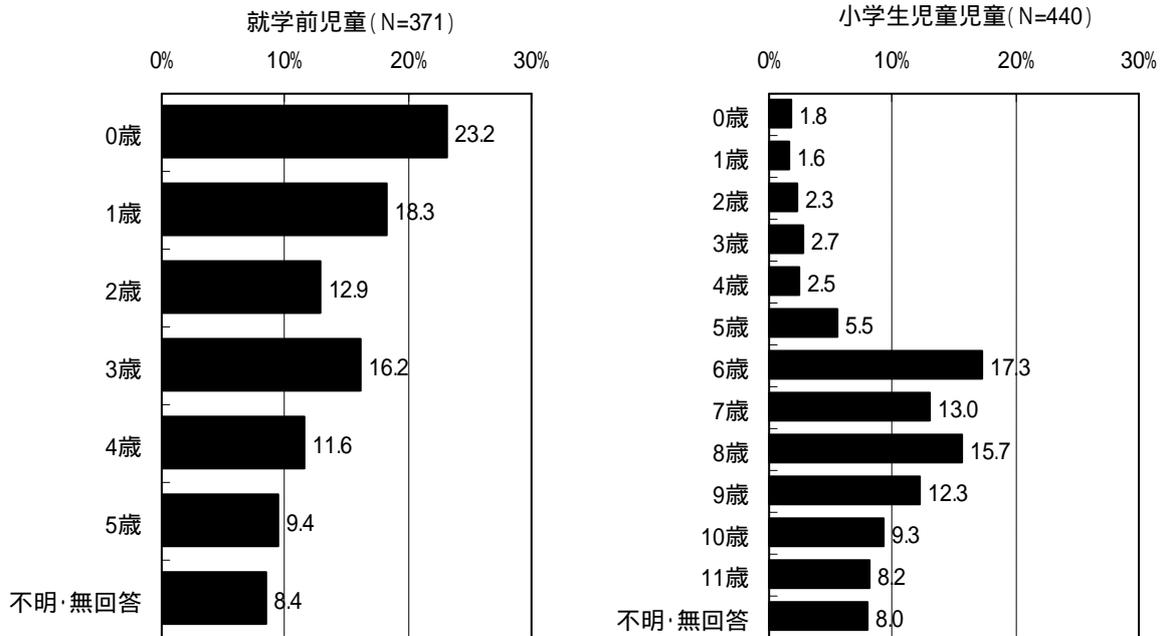
(2) 子どもの数 (数量回答)

【就学前・小学生児童 問2】

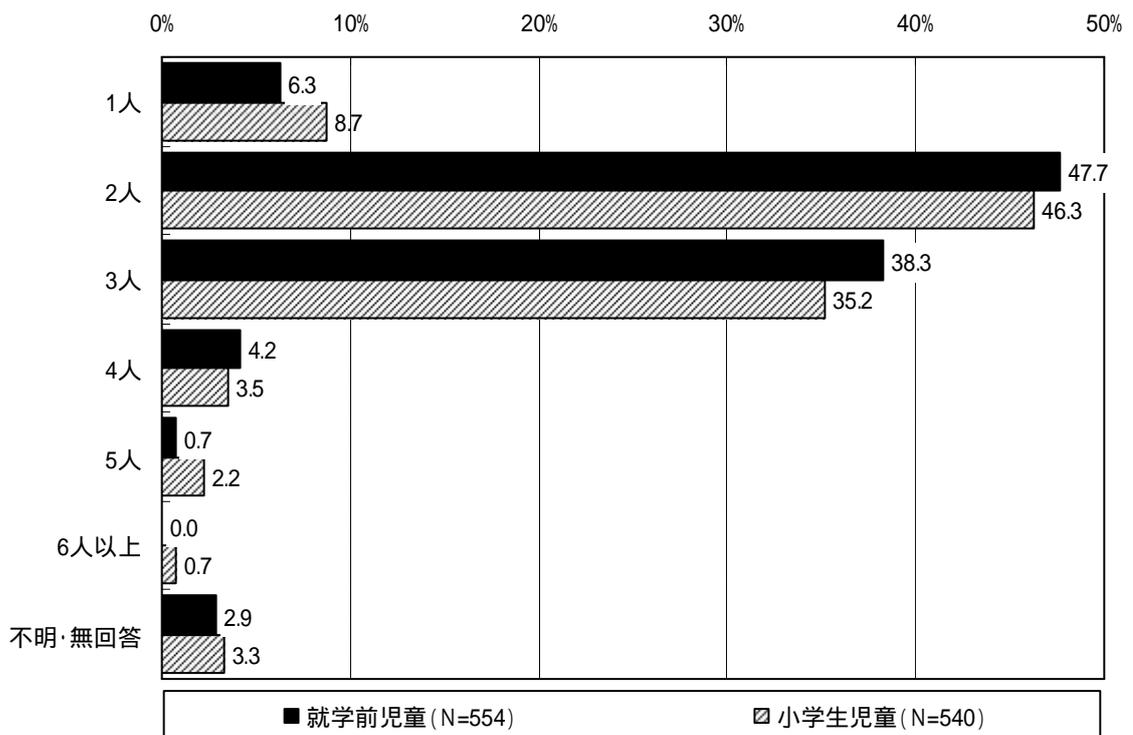


(2) 1 子どもが2人以上いる場合の末子の年齢 (数量回答)

【就学前・小学生児童 問3】

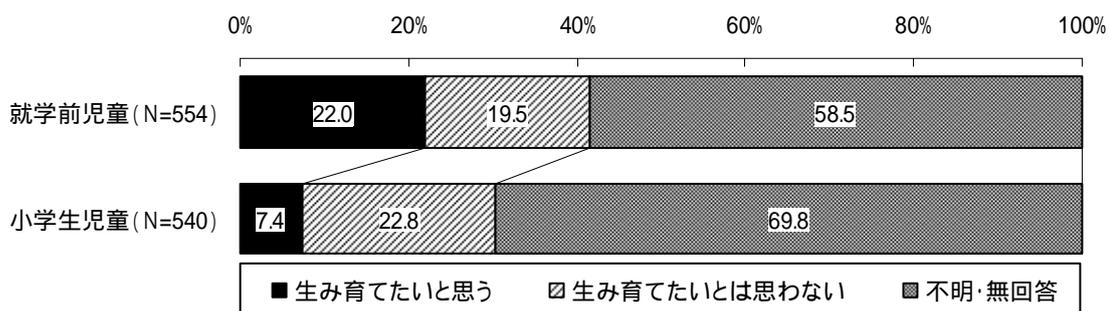


(3) 希望する子どもの数 (数量回答)



(4) もう一人子どもを産み育てたい希望(単数回答)

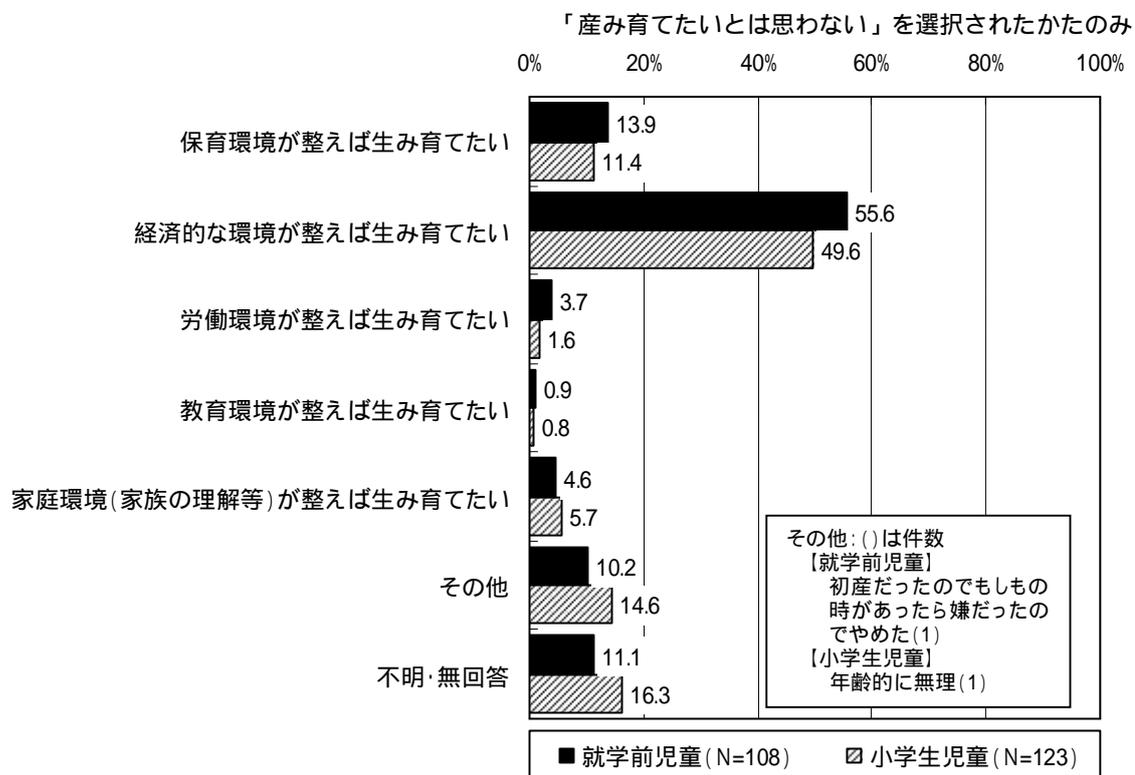
【就学前・小学生児童 問4】



(4) - 1 どのような環境を整えればもうひとり産み育てたいか(単数回答)

【就学前・小学生児童 問4-1】

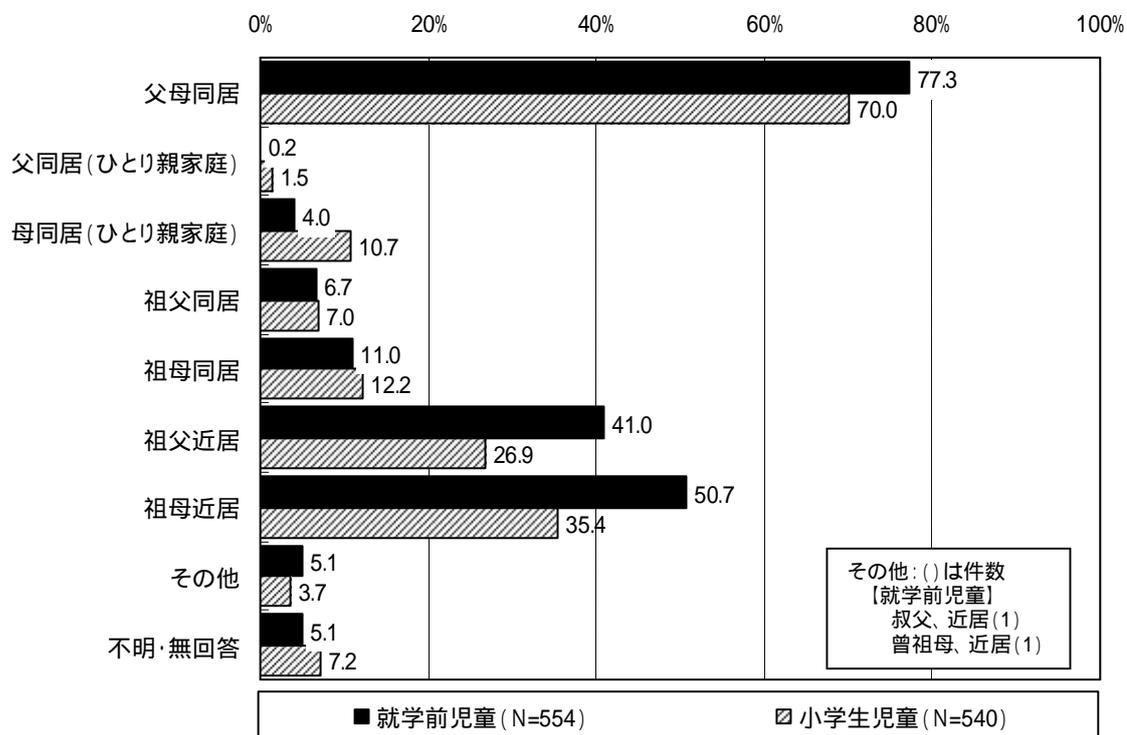
子どもを産み育てる為の環境についてみると、「経済的な環境を整えれば生み育てたい」が就学前児童で55.6%、小学生児童で49.6%と最も高くなっています。



(5) 同居・近居の状況 (複数回答)

【就学前・小学生児童 問5】

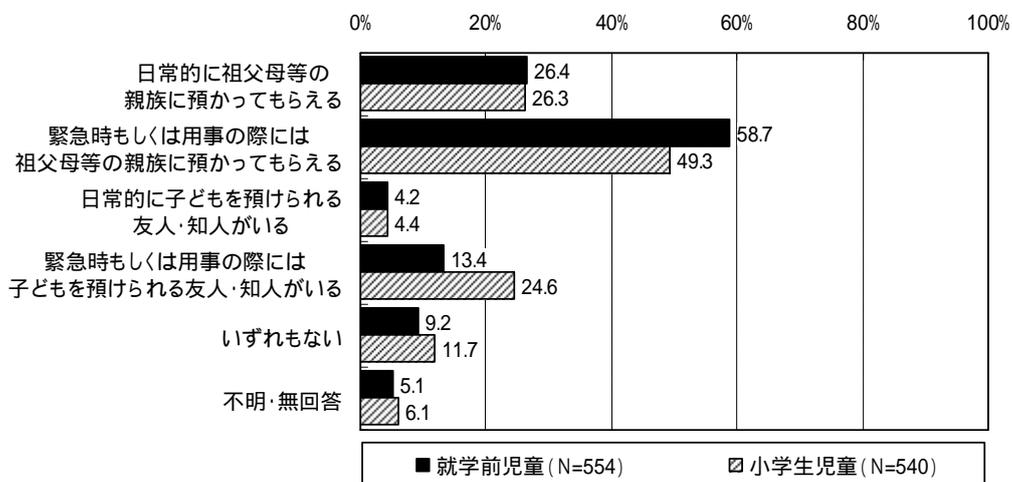
同居、近居の状況についてみると、「父母同居」が就学前児童で 77.3%、小学生児童で 70.0%と最も高くなっています。



(6) 子どもを預かってもらえる人の有無(複数回答)

【就学前・小学生児童 問6】

子どもを預かってもらえる人の有無についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が58.7%、49.3%とそれぞれ最も高くなっています。また、「いずれもない」の回答は就学前児童で9.2%、小学生児童で11.7%みられます。



祖父母等に預かってもらっている状況(複数回答)

【就学前・小学生児童 問6-1】

「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」または、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」を選択されたかたのみ

祖父母等に預かってもらっている状況を見ると、「祖父母が孫を預かることについては、特に問題がない」が就学前児童で59.6%、小学生児童で61.7%と、ともに最も高くなっています。また、小学生児童と比べると、就学前児童において、やや預けにくさを感じている傾向がうかがえます。

友人や知人に預かってもらっている状況(複数回答)

【就学前・小学生児童 問6-2】

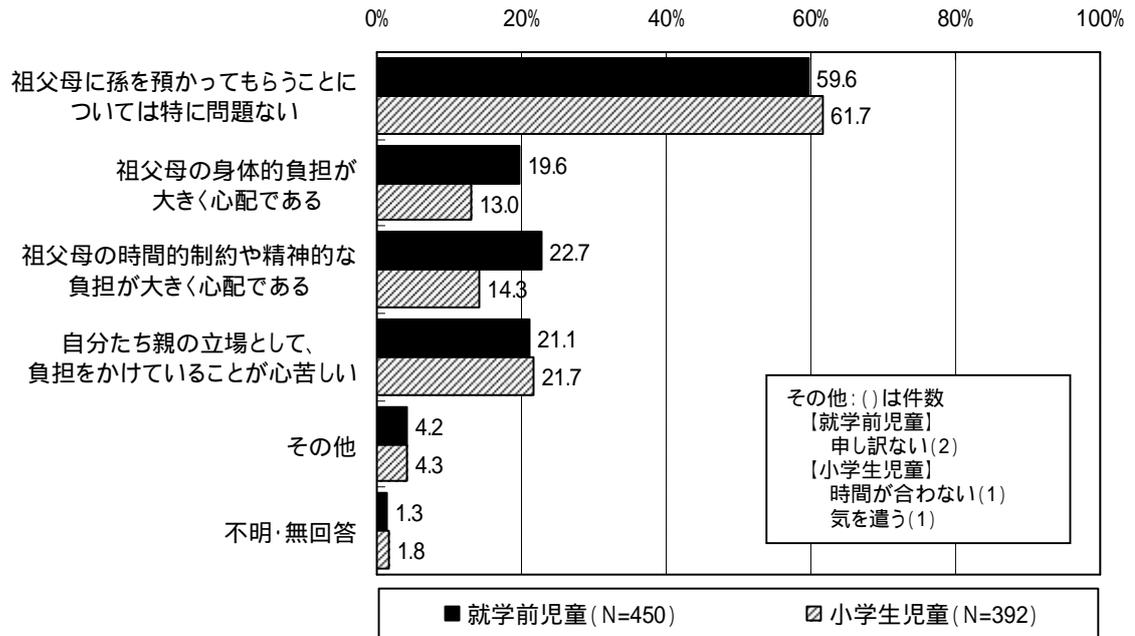
「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」または、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」を選択されたかたのみ

友人や知人に預かってもらっている状況を見ると、就学前児童で「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が41.6%と最も高くなっていますが、小学生児童では「友人・知人に預かってもらうことについては特に問題がない」が50.0%と最も高くなっています。

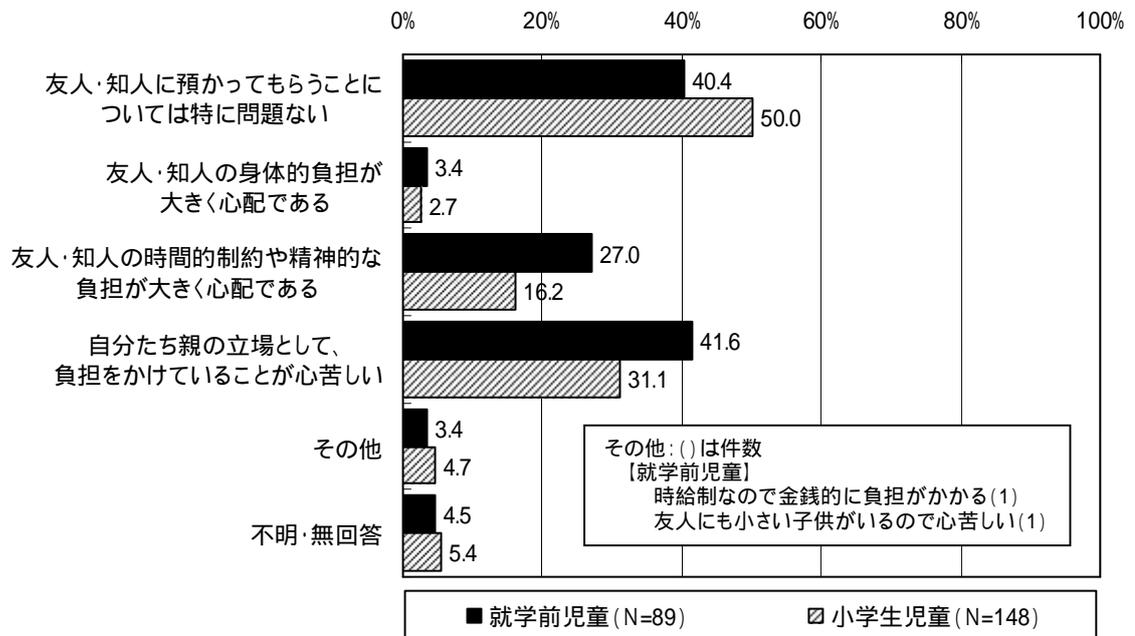
また、就学前児童、小学生児童ともに祖父母に預かってもらう場合に比べ、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」といった、自身の精神的負担をあげる割合が高くなっています。

回答状況は次ページ参照

(6) - 祖父母等に預かってもらっている状況



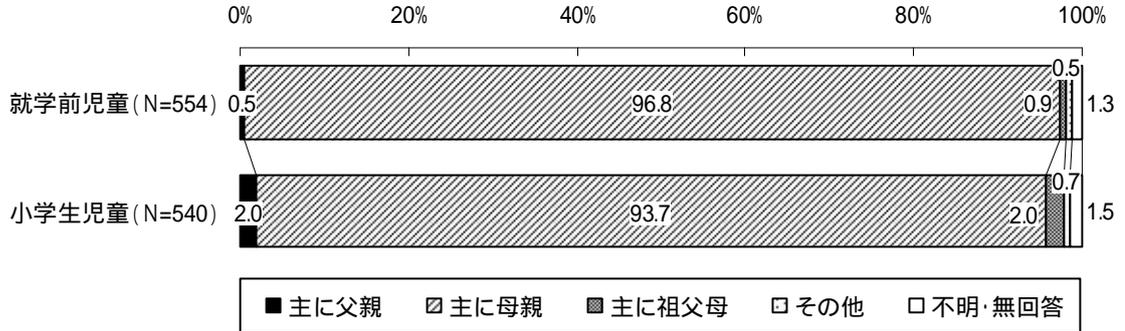
(6) - 友人や知人に預かってもらっている状況



(7) お子さんの身の回りの世話などを主にしているかた(単数回答)

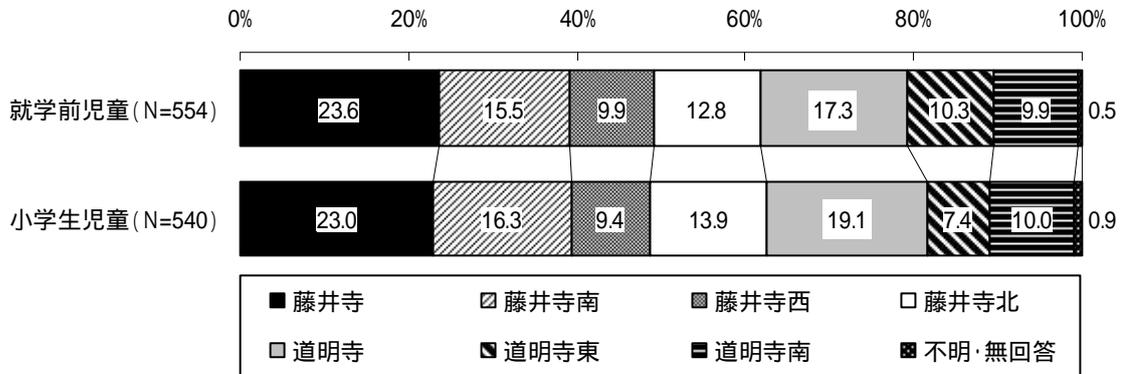
【就学前・小学生児童 問7】

子どもの身の回りの世話などを主にしているのは、「主に母親」が就学前児童で96.8%、小学生児童で93.7%となっており、ともに大部分を占めています。



(8) 居住地(単数回答)

【就学前・小学生児童 問8】



2 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況 (単数回答)

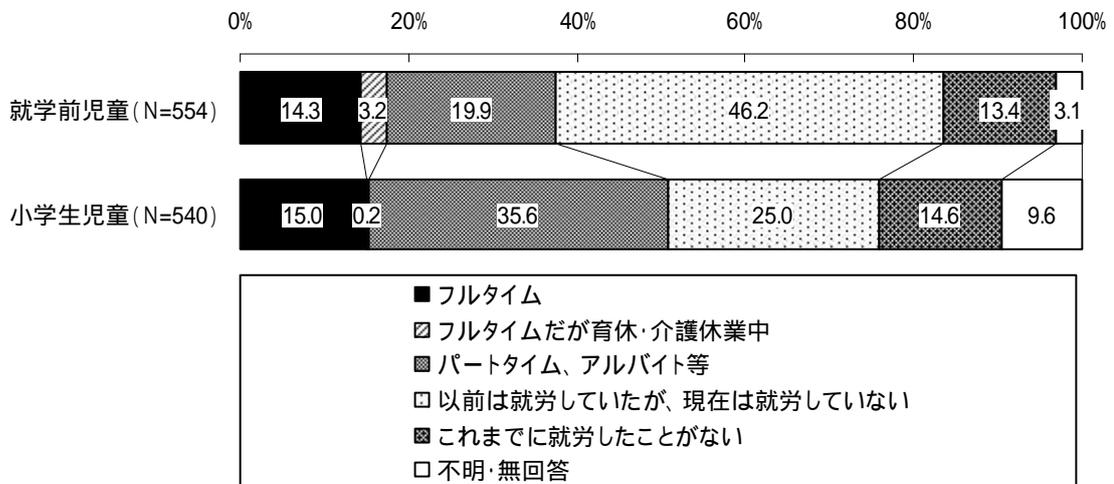
【就学前・小学生児童 問9】

母親については就学前児童では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が46.2%と最も高くなっていますが、小学生児童では「就労している(パートタイム・アルバイト等)」が35.6%と最も高くなっています。

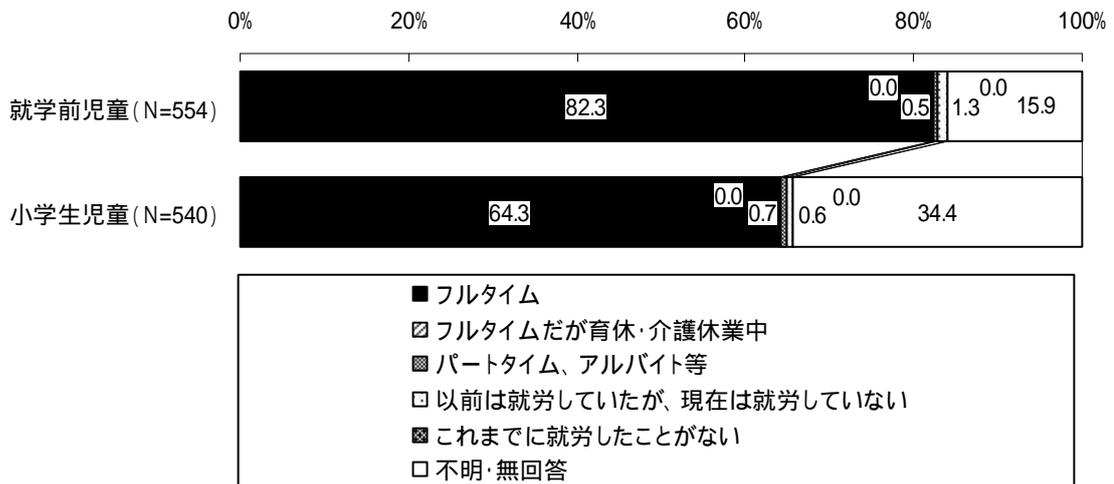
父親については「就労している(フルタイム)」が就学前児童で82.3%、小学生児童で64.3%と、ともに最も高くなっています。

また、就学前児童では約4割、小学生児童では約5割の母親が就労しています。

【母親】



【父親】

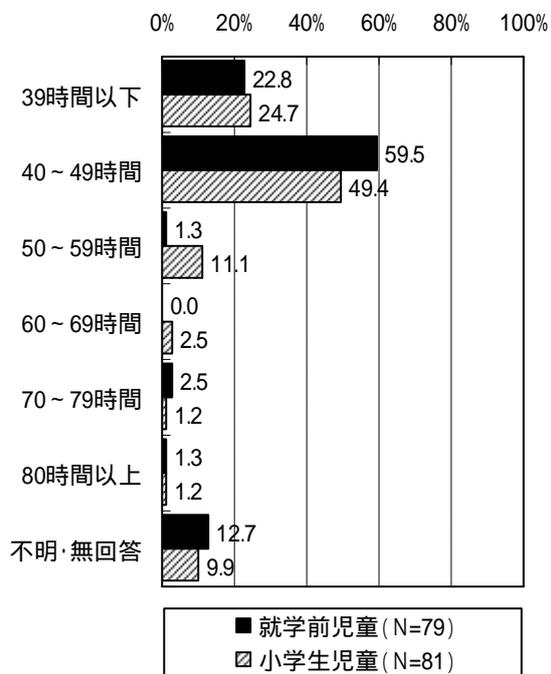


(2) フルタイムで就労している保護者の状況

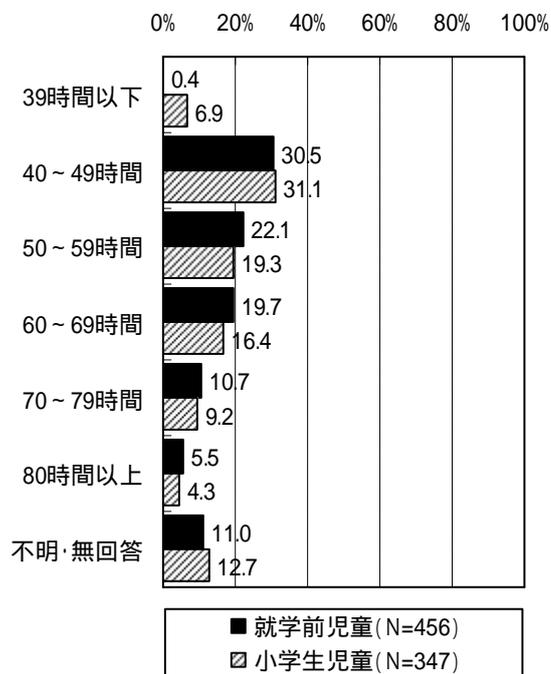
「フルタイム」または「フルタイムだが育休・介護休業中」を選ばれたかたのみ
保護者の週あたりの就労時間〔フルタイム〕(数量回答)

保護者の就労時間をみると、就学前児童、小学生児童で父親、母親ともに「40～49時間」の間での割合が高くなっています。

【母親】



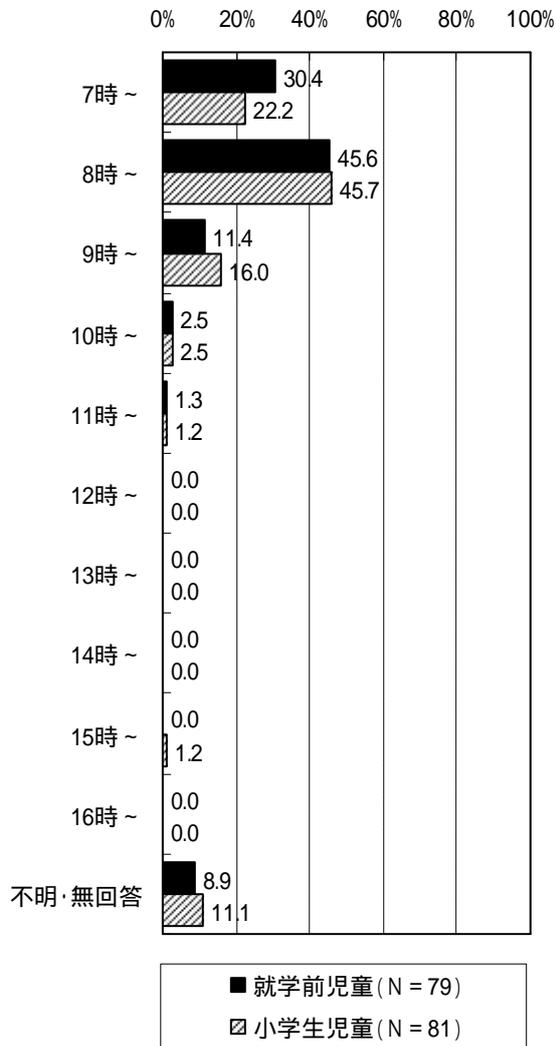
【父親】



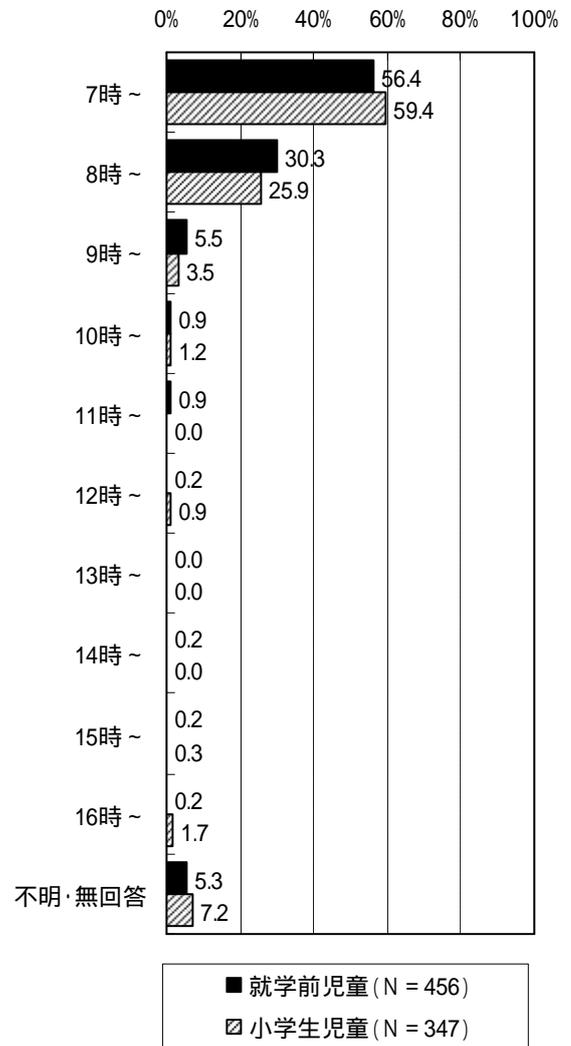
保護者の出発時間〔フルタイム〕(数量回答)

出発時間を見ると、就学前児童、小学生児童ともに母親は「8時～」が最も高くなっており、父親は「7時～」が最も高くなっています。

【母親】



【父親】

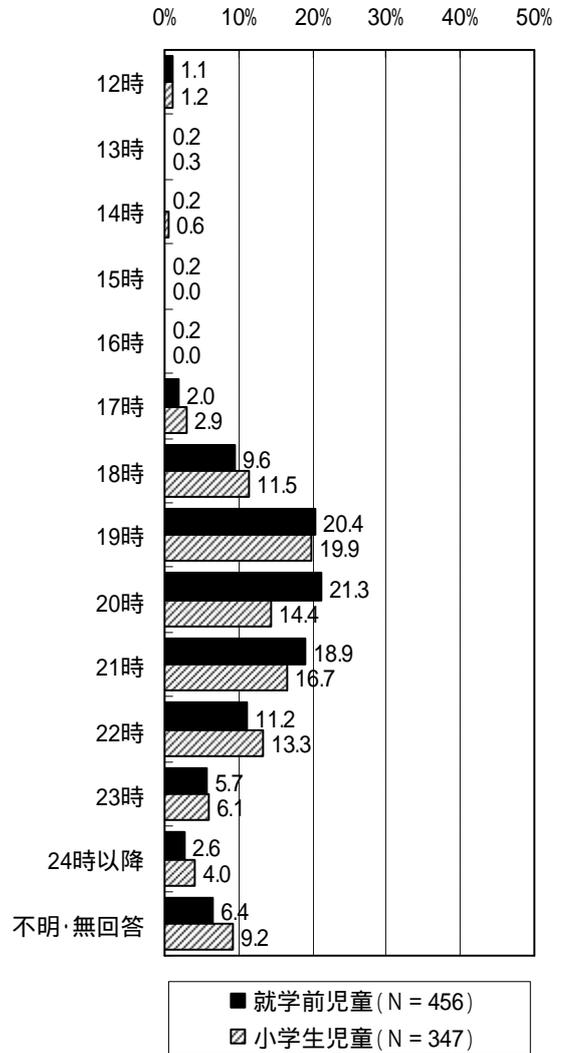
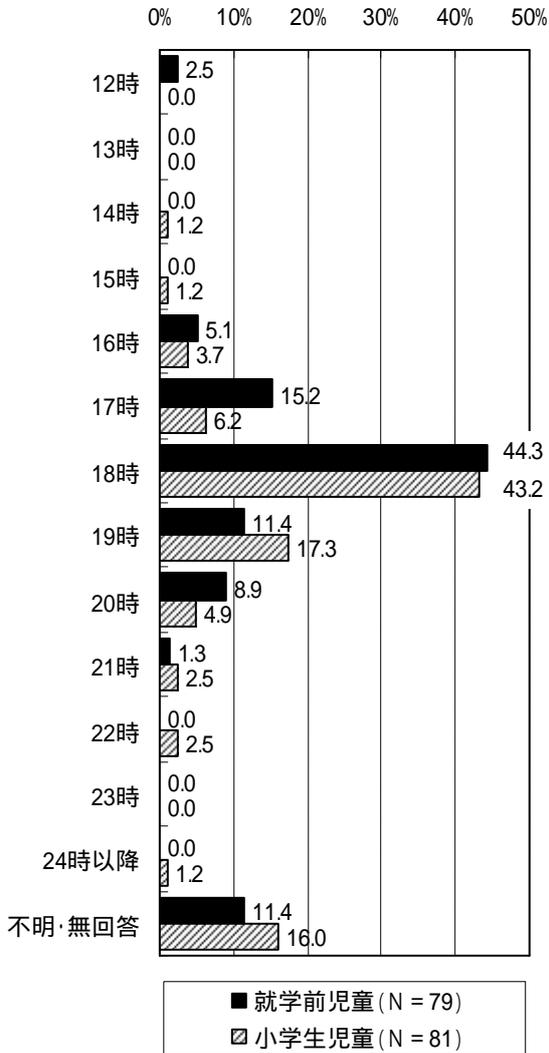


保護者の帰宅時間〔フルタイム〕(数量回答)

帰宅時間を見ると、母親は「18時」が就学前児童、小学生児童ともに最も高くなっており、父親は就学前児童が「20時」、小学生児童は「19時」が最も高くなっています。

【母親】

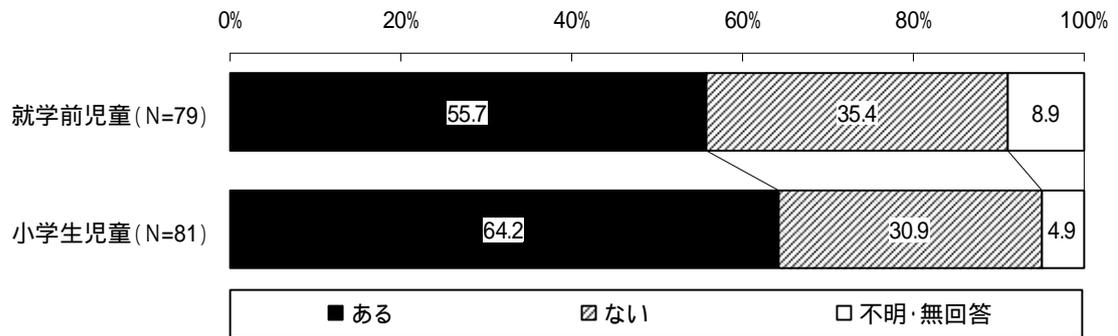
【父親】



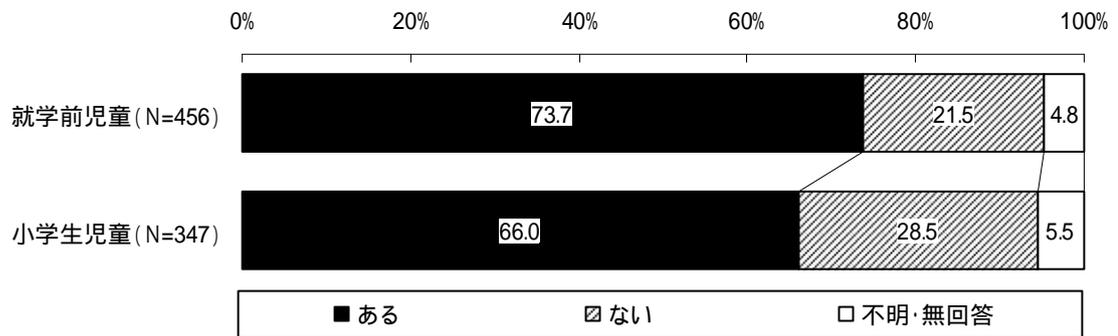
土曜の勤務〔フルタイム〕(単数回答)

土曜日の勤務についてみると、母親、父親ともに半数を超えたかたが就労しています。

【母親】



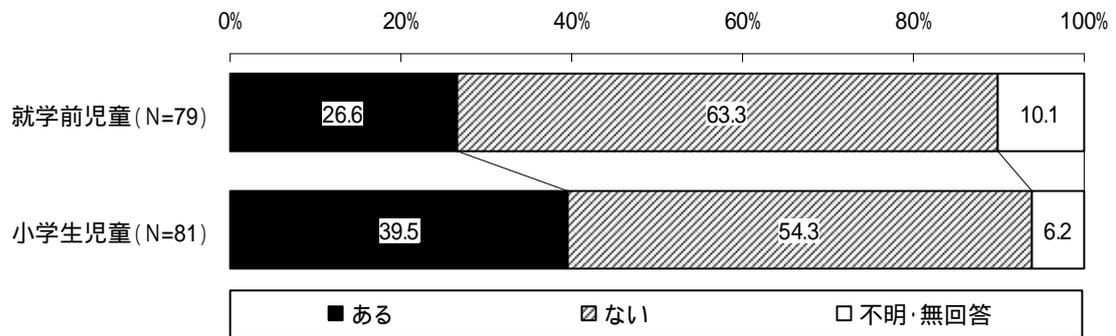
【父親】



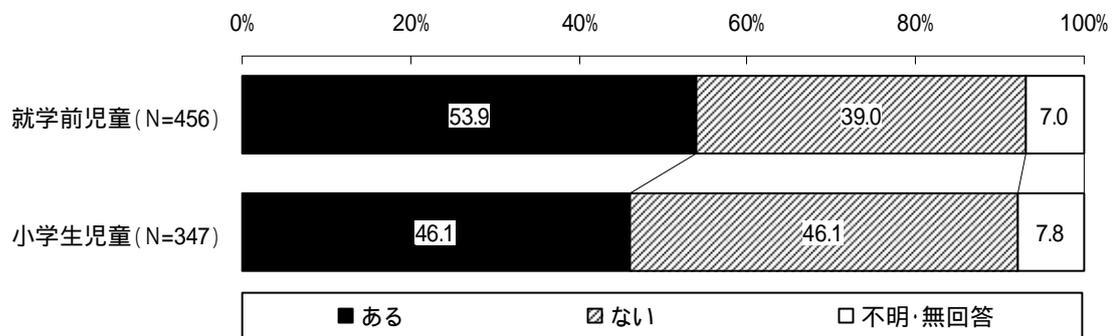
日曜・祝日の勤務〔フルタイム〕(単数回答)

日曜日・祝日の勤務についてみると、母親は就学前児童が26.6%、小学生児童が39.5%のかたが就労しています。父親は就学前児童が半数を超えて就労しており、小学生児童も4割を超えて就労しています。

【母親】



【父親】



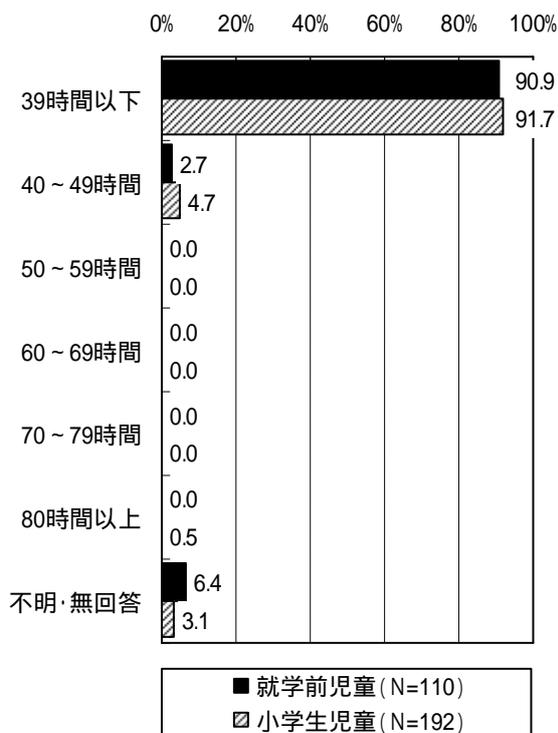
(3) パートタイム、アルバイトで就労している保護者の状況

「パートタイム、アルバイト」を選ばれたかたのみ

保護者の週あたりの就労時間〔パートタイムなど〕(数量回答)

保護者の就労時間をみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに「39時間以下」が9割を超えています。父親では就学前児童、小学生児童とも「39時間以下」、「40～49時間」とともに1人となっています。

【母親】



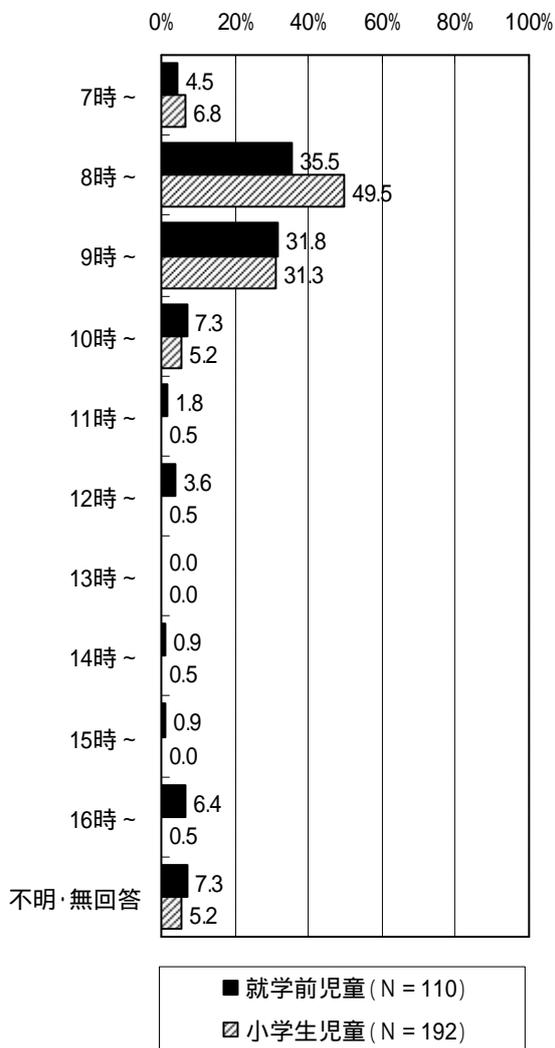
【父親】

	就学前児童	小学生児童
(回答のみ)	N=3	N=4
39時間以下	1	1
40～49時間	1	1
不明・無回答	1	2

保護者の出発時間 [パートタイムなど](数量回答)

保護者の出発時間をみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに「8時～」が最も高くなっています。父親では就学前児童が「8時～」が2人、「10時～」が1人、小学生児童が「7時～」、「9時～」がともに1人となっています。

【母親】



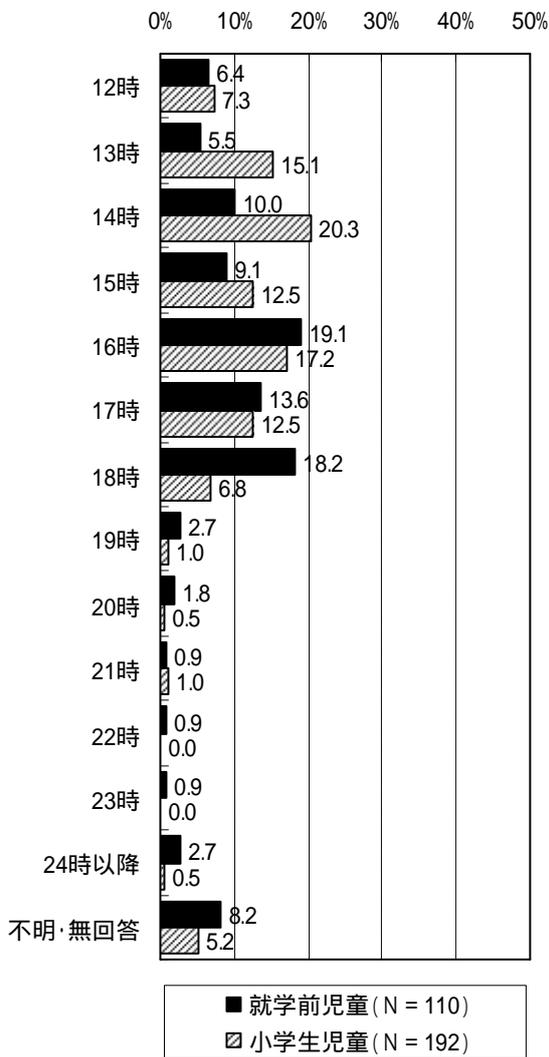
【父親】

	就学前児童	小学生児童
(回答のみ)	N=3	N=4
7時～	0	1
8時～	2	0
9時～	0	1
10時～	1	0
不明・無回答	0	2

保護者の帰宅時間〔パートタイムなど〕(数量回答)

保護者の帰宅時間をみると、母親では就学前児童は「14時」が最も高く、小学生児童は「16時」が最も高くなっています。父親では就学前児童は「18時」、「20時」、「23時」がともに1人、小学生児童は「13時」、「19時」がともに1人となっています。

【母親】



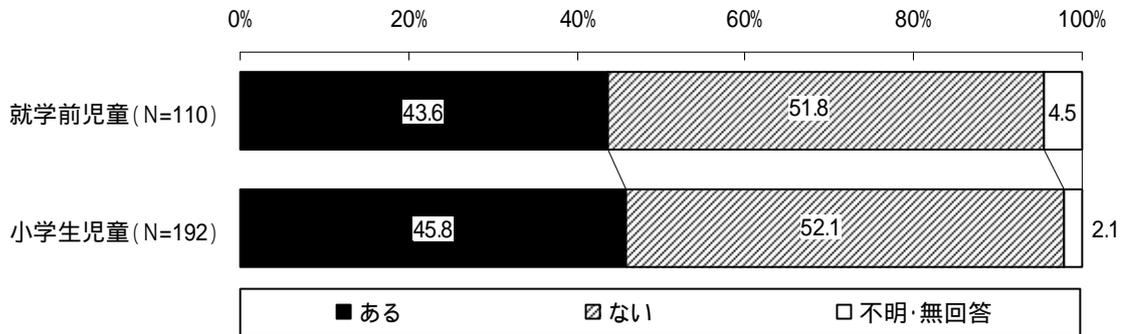
【父親】

	就学前児童 N=3	小学生児童 N=4
(回答のみ)		
13時	0	1
18時	1	0
19時	0	1
20時	1	0
23時	1	0
不明・無回答	0	2

土曜の勤務〔パートタイムなど〕(単数回答)

土曜日の勤務についてみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに4割を超えたかたが就労しています。父親では就学前児童で2人、小学生児童で4人が就労しています。

【母親】



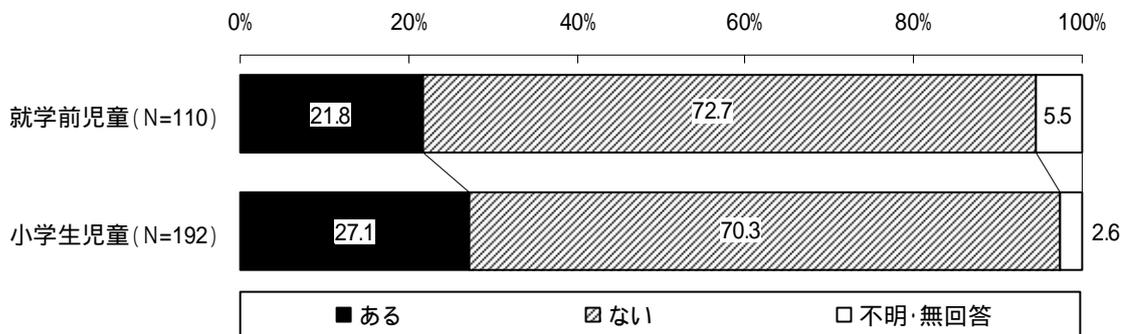
【父親】

	就学前児童 N=3	小学生児童 N=4
ある	2	4
ない	1	0
不明・無回答	0	0

日曜・祝日の勤務〔パートタイムなど〕(単数回答)

日曜日・祝日の勤務についてみると、母親は就学前児童が21.8%、小学生児童が27.1%のかたが就労しています。父親では就学前児童で2人、小学生児童で3人が就労しています。

【母親】



【父親】

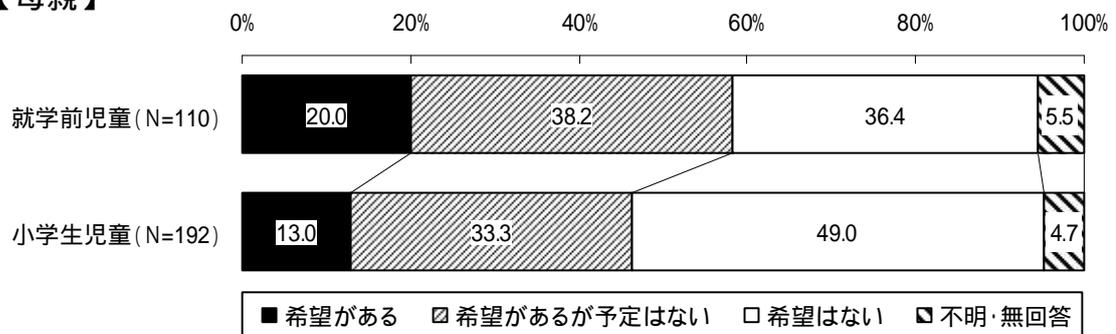
	就学前児童 N=3	小学生児童 N=4
ある	2	3
ない	1	1
不明・無回答	0	0

フルタイムへの転換希望（単数回答）

「パートタイム、アルバイト」を選ばれたかたのみ

フルタイムへの転換希望についてみると、「希望がある」、「希望はあるが予定はない」と転換を希望されているかたは、母親では就学前児童が 58.2%、小学生児童が 46.3%のかたが転換を希望しています。父親では就学前児童で 2 人、小学生児童で 1 人が転換を希望しています。

【母親】



【父親】

	就学前児童 N=3	小学生児童 N=4
希望がある	1	1
希望はあるが予定はない	1	0
希望はない	1	1
不明・無回答	0	2

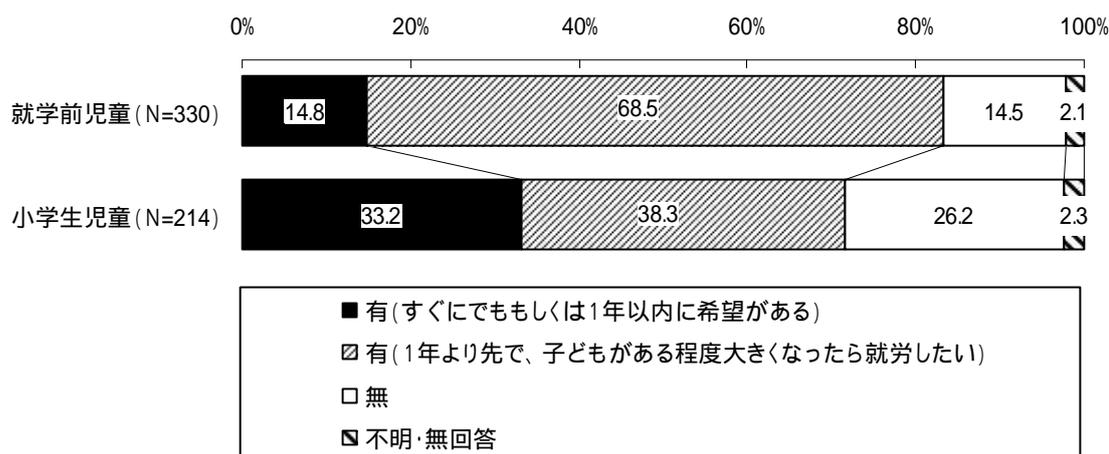
(4) 現在就労していない母親の就労希望(単数回答)

【就学前・小学生児童 問9-1】

「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」を選ばれたかたのみ

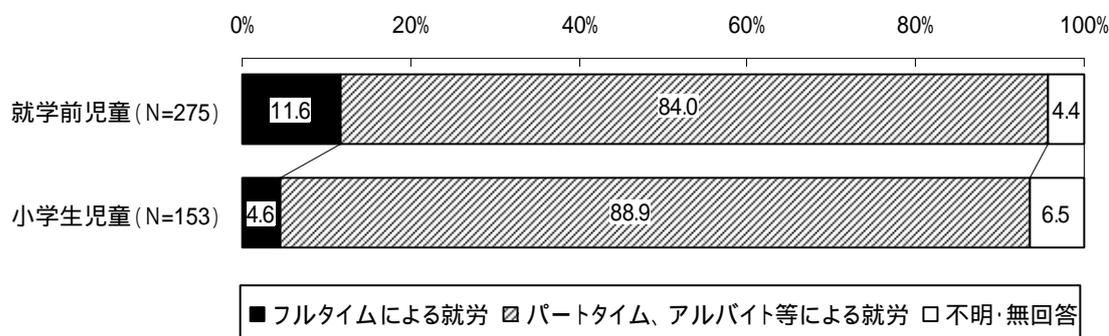
現在就労していない母親の今後の就労希望をみると、「有(1年以内、1年よりも先の合計)」は就学前児童で83.3%、小学生児童で71.5%となっており、大部分の母親が就労希望を持っています。また、その就労形態では就学前児童、小学生児童ともに「パートタイム、アルバイト等による就労」を希望する割合が8割を超えています。

就労希望の有無(単数回答)

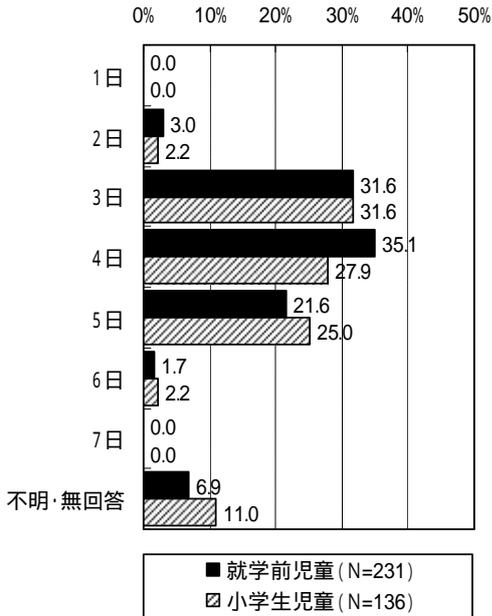


就労希望の形態(単数回答)

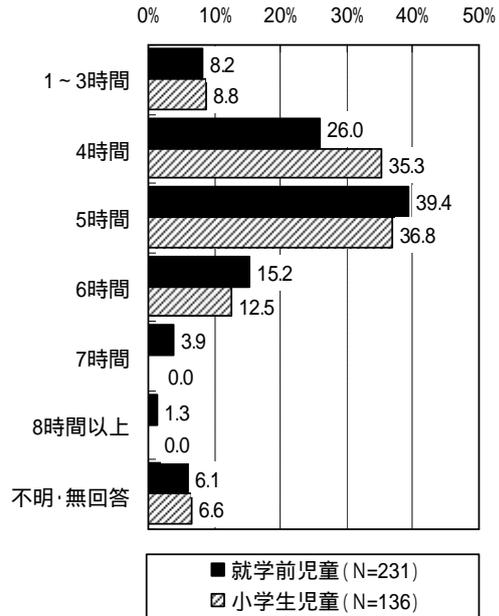
【就学前・小学生児童 問9-2】
母親の就労希望が「有」と答えたかたのみ



希望する就労日数（数量回答）



希望する就労時間（数量回答）

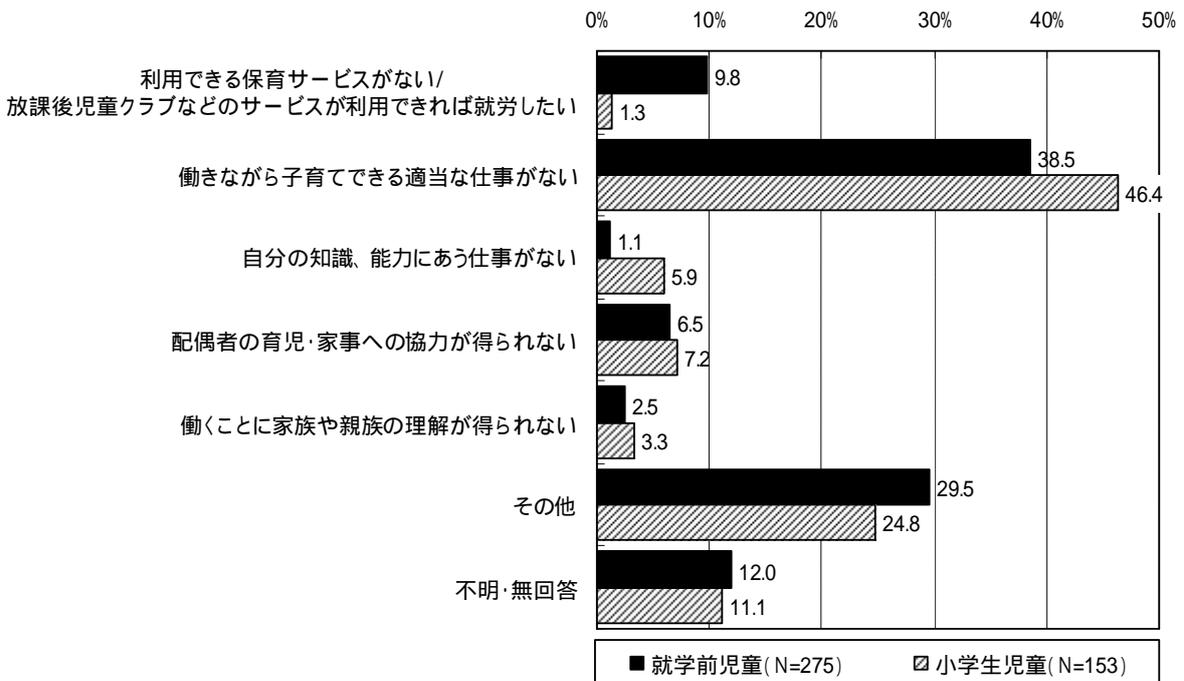


就労希望がありながら働いていない理由（単数回答）

【就学前・小学生児童 問9-3】

母親の就労希望が「有」と答えたかたのみ

「働きながら子育てができる適当な仕事がない」が就学前児童で 38.5%、小学生児童で 46.4%と、それぞれ最も高くなっています。



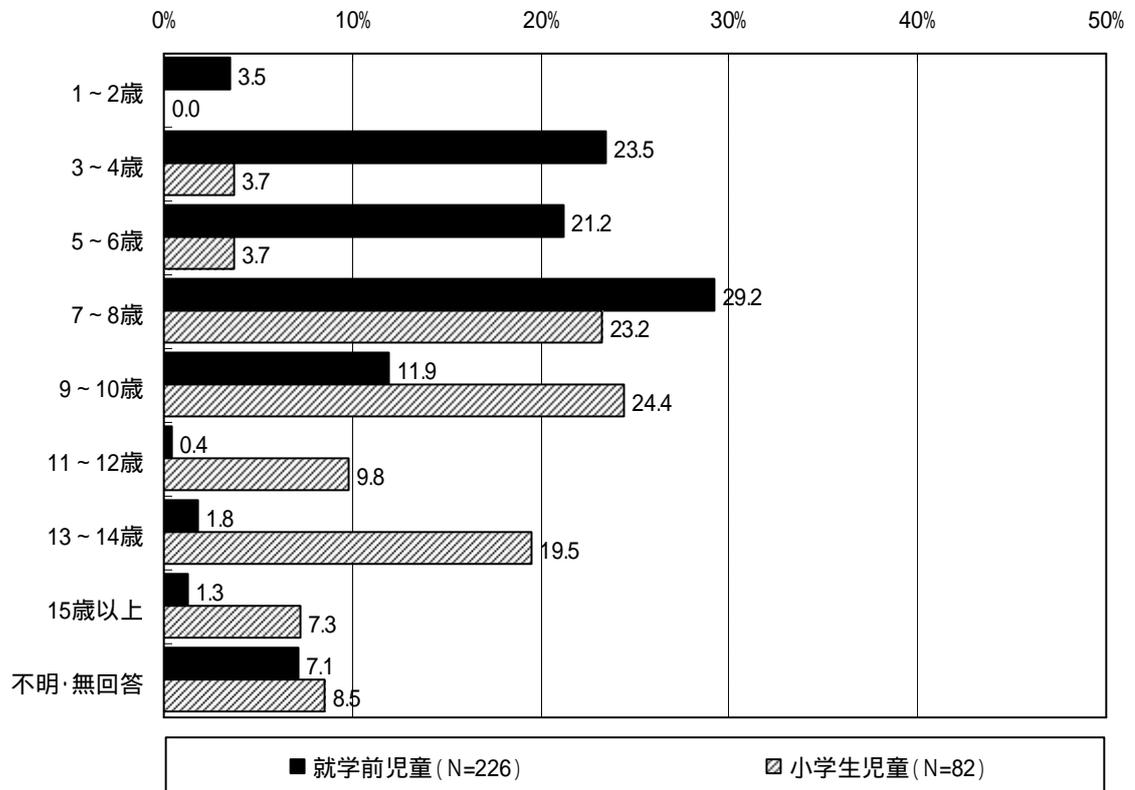
その他：()は件数
 【就学前児童】
 子供がまだ小さいから (6)・育児を優先しているため(3)・子供が病弱なため(1)・子供が幼稚園に入るまでは母親は近くにいるほうが良いと思うから(1)・必要が無い(1)・病気の為、就労できるみこみがたたない(1)・幼稚園の夏休み期間と変則的な保育時間があるため(1)
 【小学生児童】
 子供が小さいので(4)・緊急時見てくれる人がいない(1)・療養中のため(1)・妊娠中のため(1)・年齢制限のため(1)

一番小さい子どもが何歳になった時に就労を希望するか（数量回答）

【就学前・小学生児童 問9-4】

母親の就労希望が「有（1年より先で子どもがある程度大きくなったら就労したい）」と答えたかたのみ

小さい子どもが何歳になったときに、就労を希望するかについては、就学前児童では「7～8歳」、小学生児童では「9～10歳」の割合が高くなっています。



(5) 母親の出産前後の就労の状況

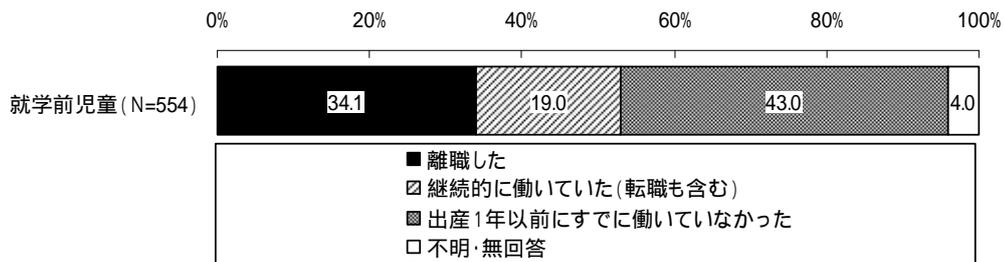
【就学前児童 問10】

就学前児童のみ

母親の出産前後の就労の状況を見ると、「離職した」が34.1%となっており、「出産1年以前にすでに働いていなかった」が43.0%となっています。

また、どんな環境があれば就労を継続したかでは、36.5%が「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」としていますが、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労した」については24.9%となっています。

出産前後の離職の有無（単数回答）

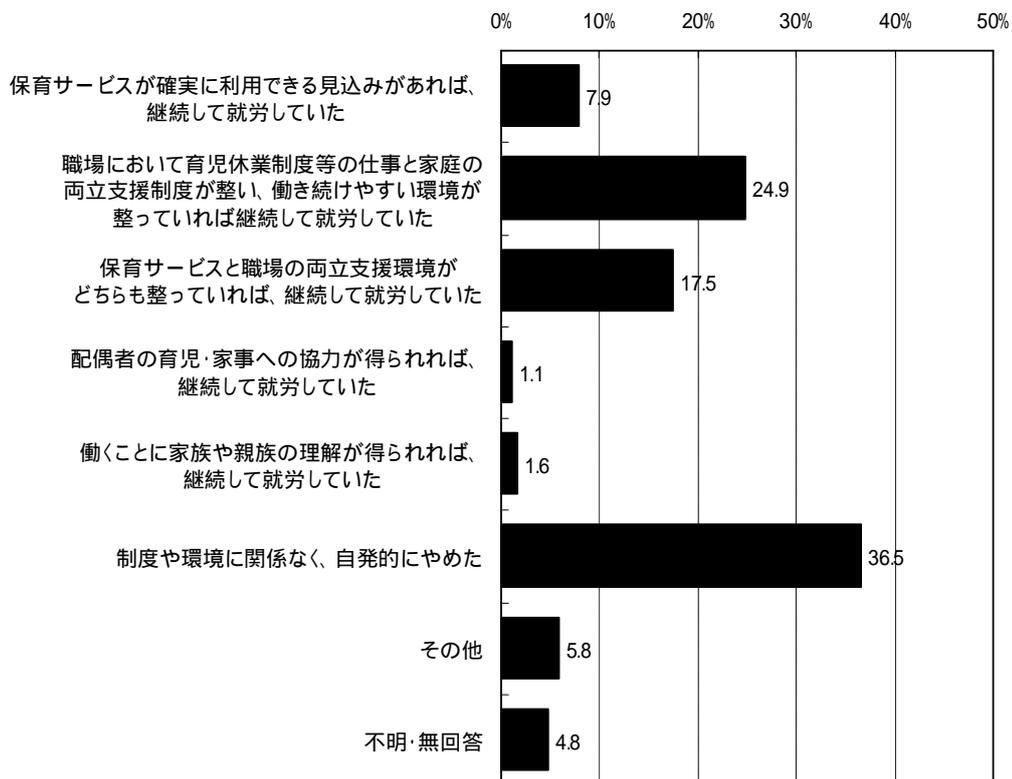


どんな環境があれば就労を継続したか（単数回答）

【就学前児童 問10-1】

母親が「出産前後離職した」と答えたかたのみ

就学前児童 (N=189)



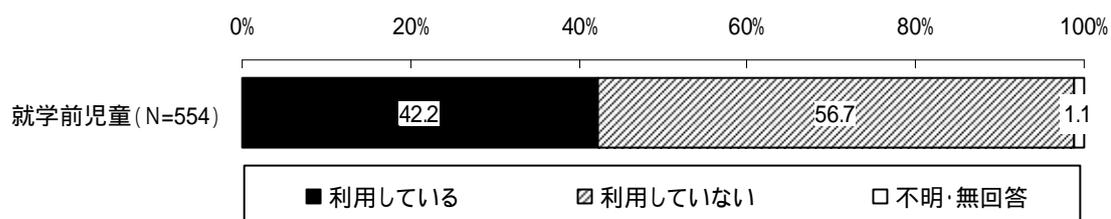
3 保育サービスについて

(就学前児童)

(1) 保育サービスの利用の有無 (単数回答)

【就学前児童 問 1 1】

保育サービスの利用については、42.2%が「利用している」となっており、56.7%が「利用していない」となっています。

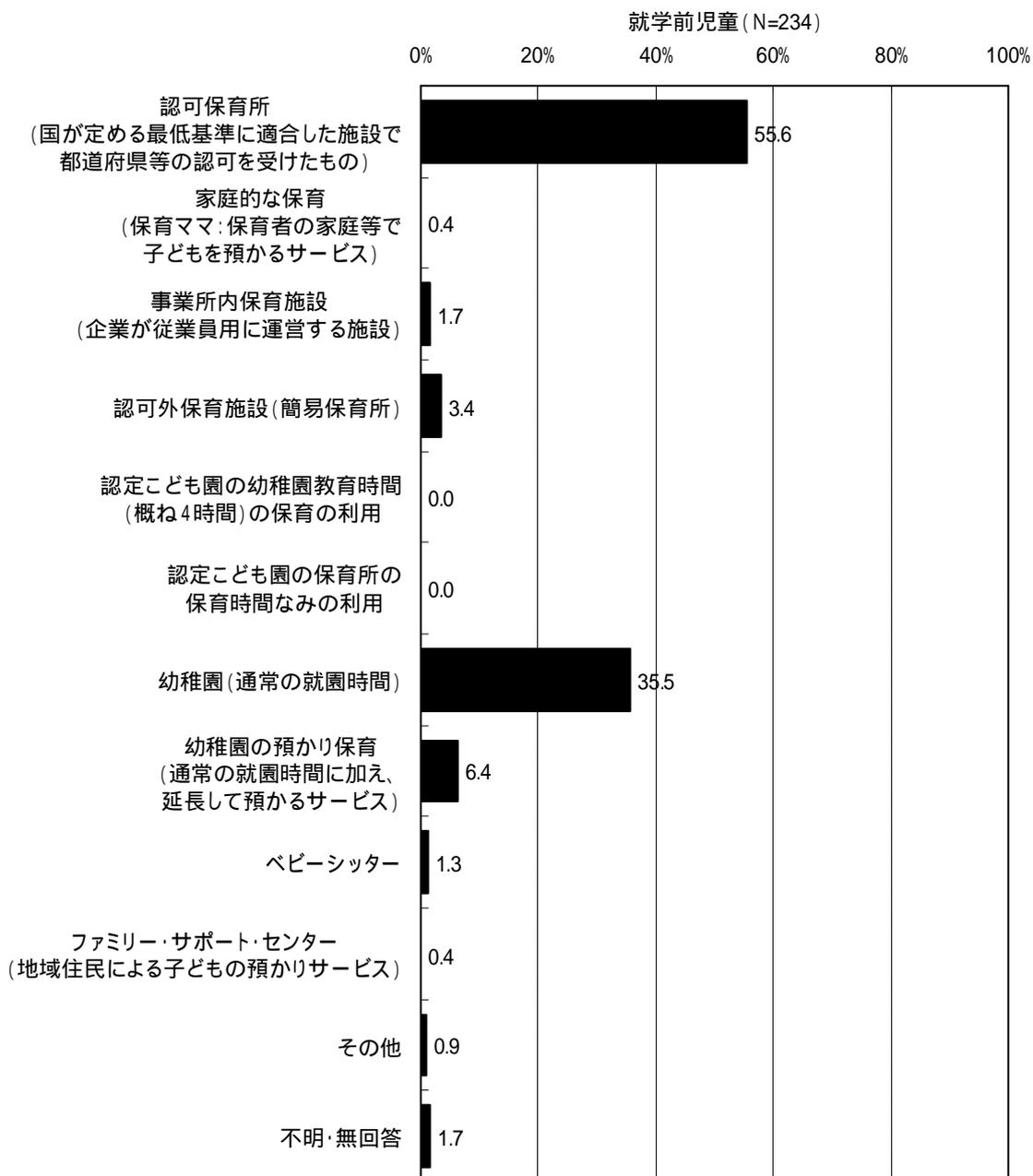


(2) 利用している保育サービスの種類(複数回答)

【就学前児童 問11-1】

現在保育サービスを利用していると答えたかたのみ

利用している保育サービスについては、55.6%が「認可保育所」となっており、次いで「幼稚園」が35.5%となっています。



(3) 保育サービスの利用状況

【就学前児童 問11-2】

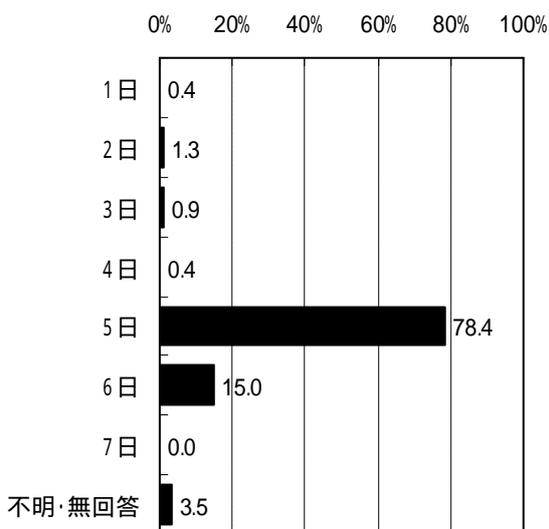
現在「認可保育所」、「家庭的な保育」、「事業所内保育施設」、「認可外保育施設」、「認定こども園」、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」のいずれかを利用していると答えたかたのみ

利用している日数・時間

サービスの利用日数、時間をみると、日数では「5日」、時間では「6時間」、「8時間」への割合が高くなっています。また、開始時間では「9時～」、終了時間では「15時」、「17時」、「18時」の時間帯が高くなっています。

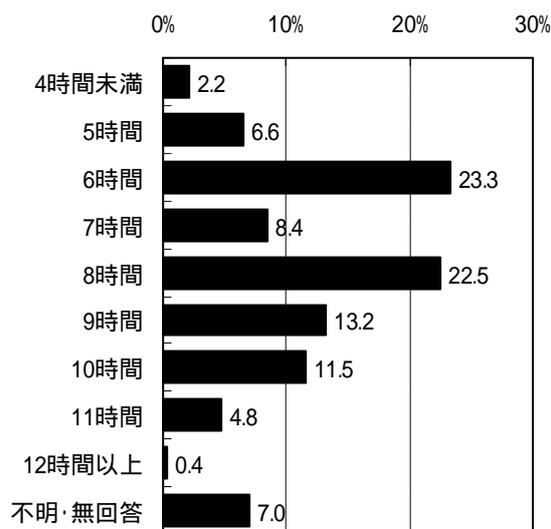
【利用している日数】(数量回答)

就学前児童(N=227)



【利用している時間】(数量回答)

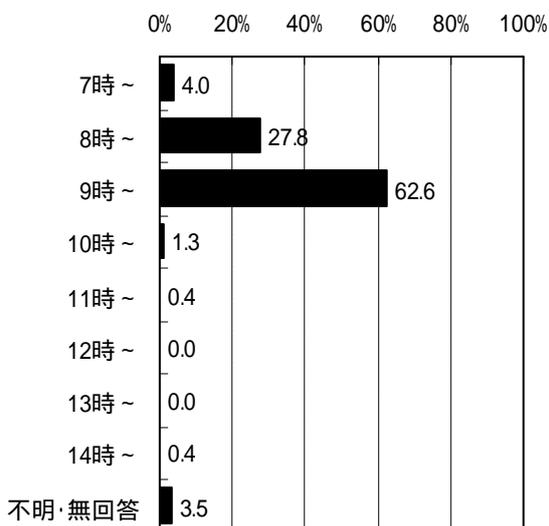
就学前児童(N=227)



【利用している開始時間と終了時間】(数量回答)

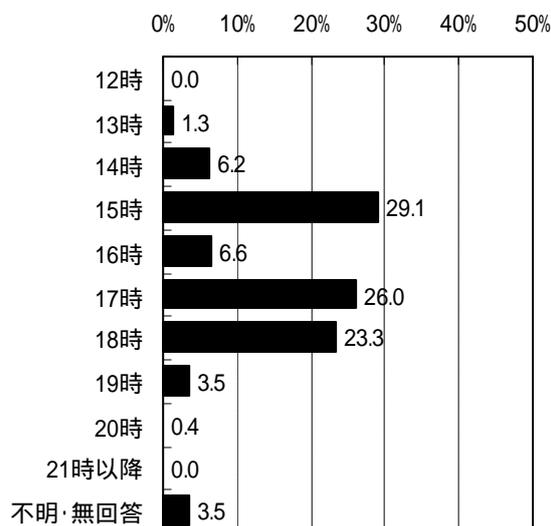
〔開始時間〕

就学前児童(N=227)



〔終了時間〕

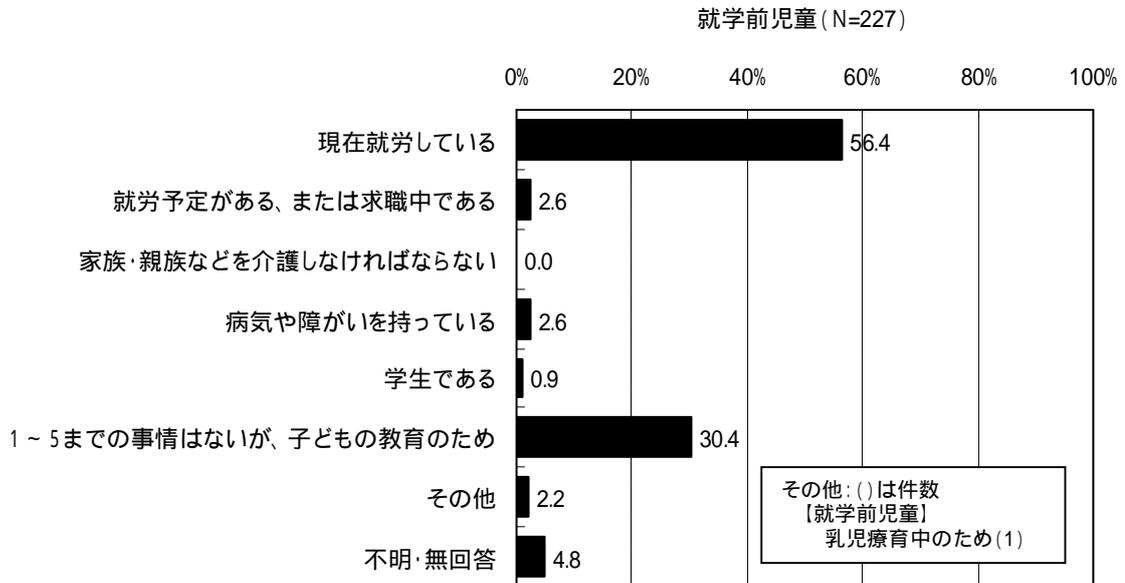
就学前児童(N=227)



利用している理由（単数回答）

【就学前児童 問 1 1 - 3】

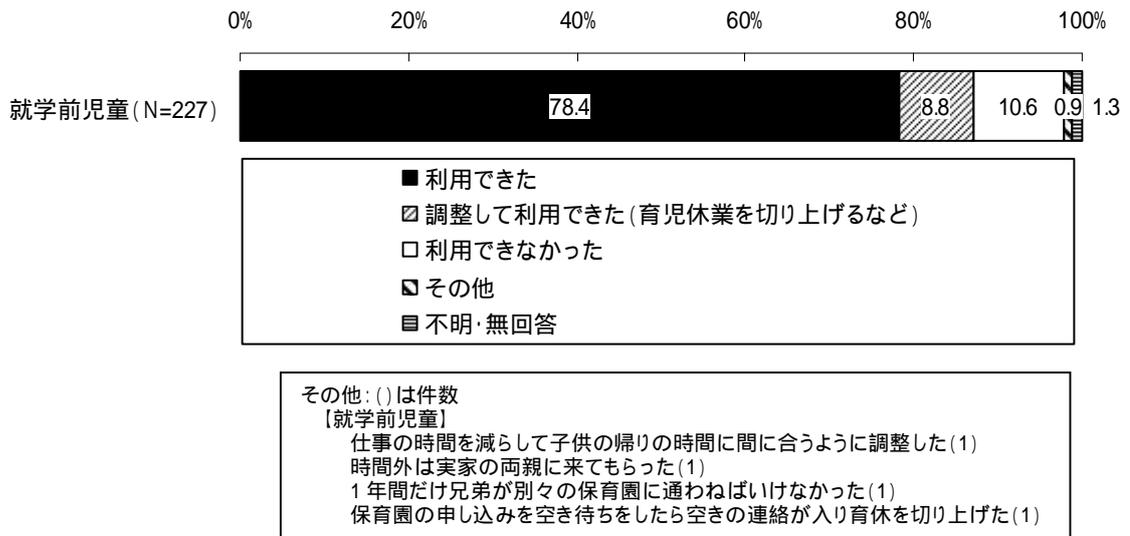
「現在就労している」が 56.4%と最も高くなっています。



希望した時期に希望した保育サービスを利用できたか（単数回答）

【就学前児童 問 1 1 - 4】

「利用できた」が 78.4%と最も高くなっています。



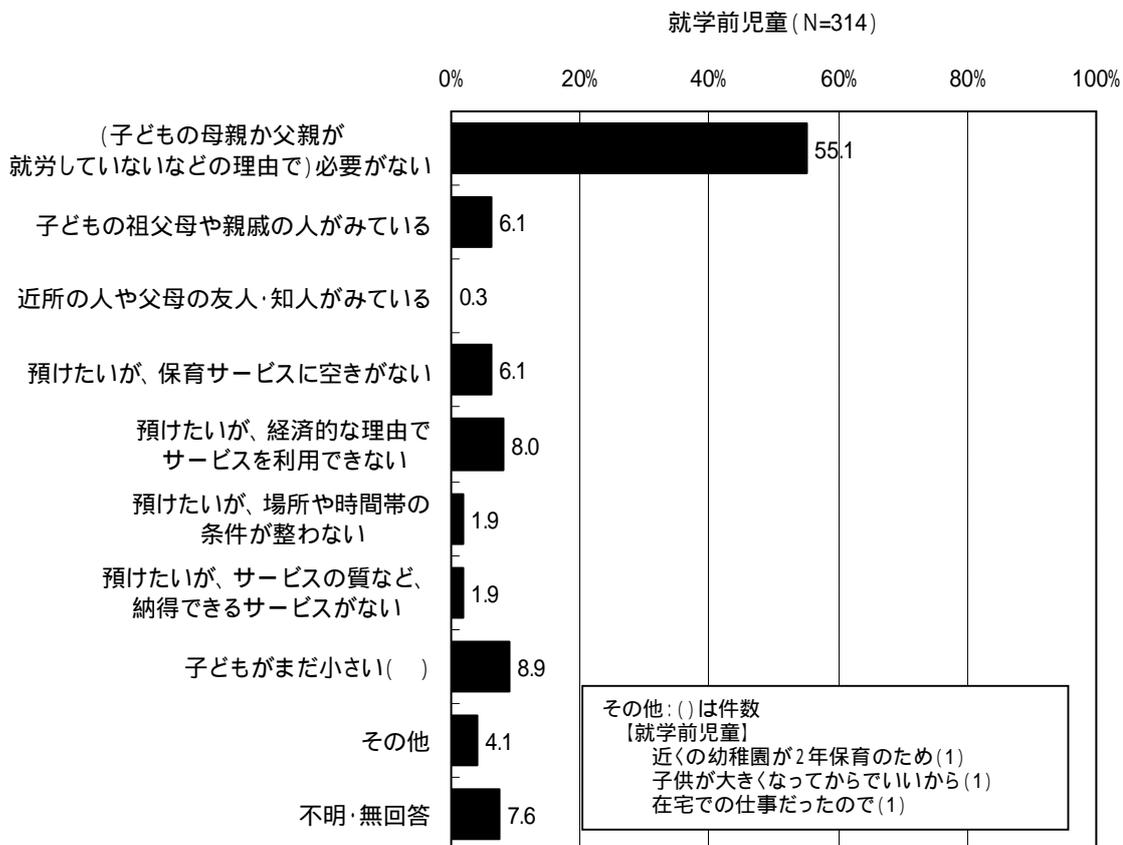
(4) サービスを利用していない理由(単数回答)

【就学前児童 問11-5】

現在保育サービスを利用していないと答えたかたのみ

サービスを利用していない理由としては、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」が55.1%と最も高くなっています。

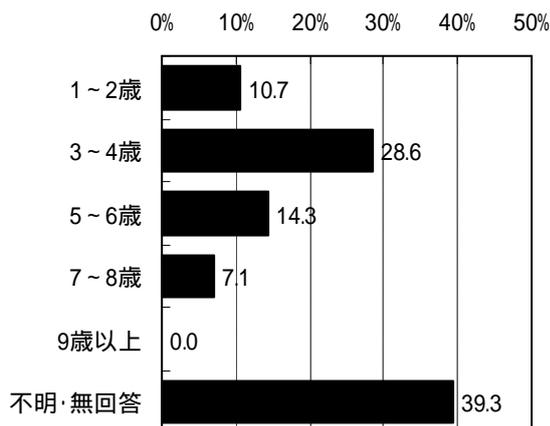
また、「子どもがまだ小さいため」は8.9%となっており、そのうち、子どもが「3~4歳」になったら預けたいとする回答が28.6%となっています。



() 子どもが何歳になったら預けたいですか (数量回答)

「子どもがまだ小さい」と答えたかたのみ

就学前児童 (N=28)

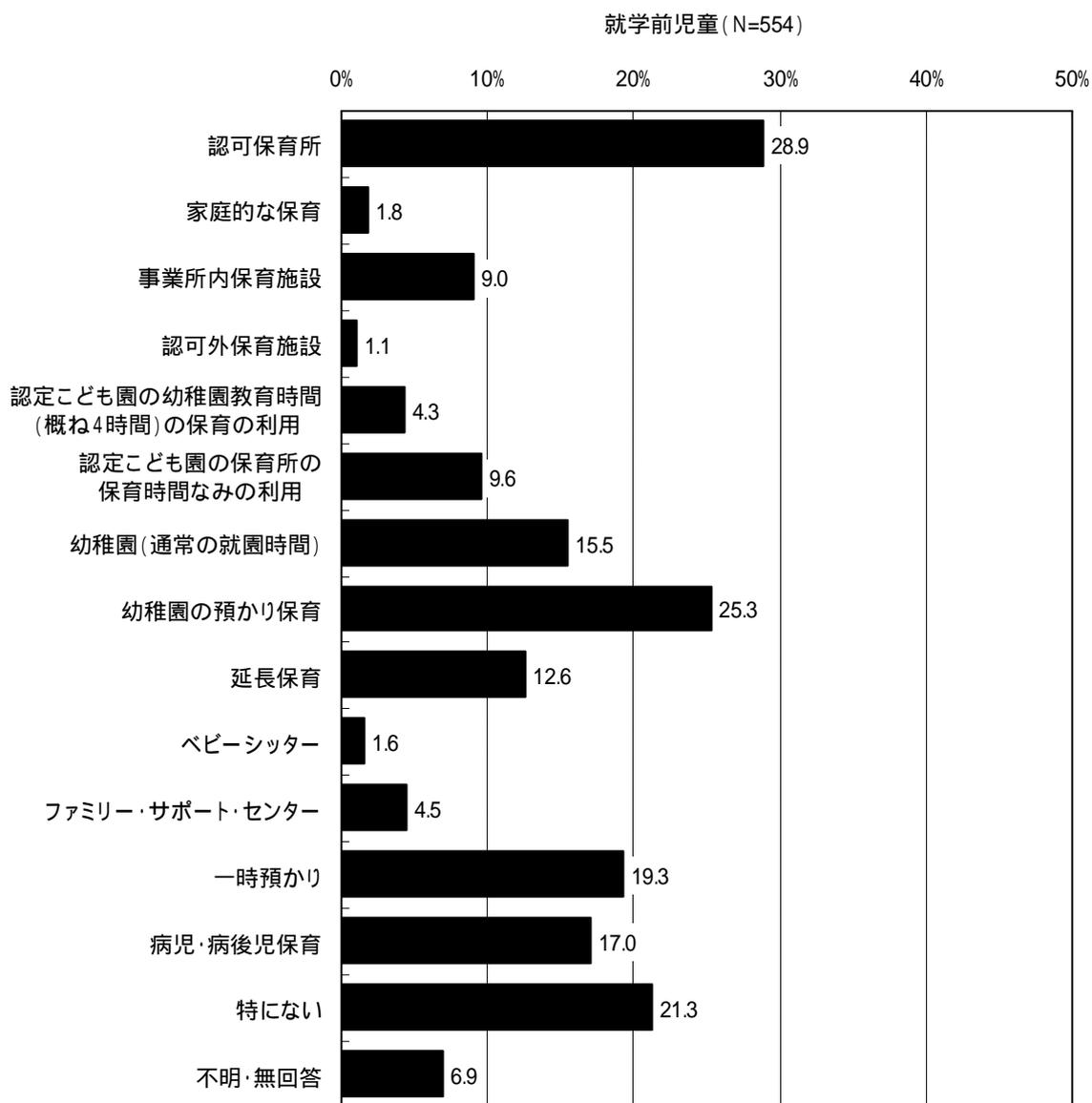


(5) 今後利用したいサービスについて

【就学前児童 問12】

利用したいサービス(複数回答)

今後利用したい、あるいは不足していると思うサービスについては、「認可保育所」が28.9%と最も高く、次いで、「幼稚園の預かり保育」が25.3%となっており、「特にない」が21.3%、「一時預かり」が19.3%となっています。



今後利用したい日数、時間、開始・終了時間

【就学前児童 問12-1】

今後「認可保育所」、「家庭的な保育」、「事業所内保育施設」、「認可外保育施設」、「認定こども園」、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「延長保育」のいずれかを利用したいと答えたかたのみ

今後利用したい日数、時間については、ほとんどのサービスで「5日」、「6～9時間」への割合が高くなっています。

また、希望する開始時間と終了時間は、希望開始時間で人数の多い時間帯は、「8～9時」となっています。希望の終了時間で人数の多い時間帯は、「17～19時」となっています。

ア．利用したい日数（数量回答）

1週当たり 日数	合計 【参考】 回答者の N=503		認可 保育所 N=147		家庭的な 保育 (保育ママ) N=11		事業 所内 保育 施設 N=38		認可 外 保育 施設 N=3		利用 認定 こども 園の 保の 育幼 の稚 N=19		利用 所の 認定 こども 園並 みの 保の 育 N=43		幼 稚 園 N=75		幼 稚 園 の 預 か り 保 育 N=123		延 長 保 育 N=44	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	17	3.4	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	10.5	1	2.3	0	0.0	9	7.3	4
2日	21	4.2	1	0.7	1	9.1	0	0.0	0	0.0	2	10.5	0	0.0	2	2.7	10	8.1	5	11.4
3日	40	8.0	7	4.8	3	27.3	3	7.9	0	0.0	1	5.3	2	4.7	2	2.7	17	13.8	5	11.4
4日	25	5.0	7	4.8	0	0.0	5	13.2	0	0.0	2	10.5	5	11.6	0	0.0	5	4.1	1	2.3
5日	293	58.3	89	60.5	5	45.5	19	50.0	1	33.3	9	47.4	25	58.1	66	88.0	66	53.7	13	29.5
6日	75	14.9	33	22.4	2	18.2	7	18.4	0	0.0	2	10.5	9	20.9	5	6.7	8	6.5	9	20.5
7日	17	3.4	6	4.1	0	0.0	3	7.9	0	0.0	0	0.0	1	2.3	0	0.0	1	0.8	6	13.6
不明・無回答	15	3.0	3	2.0	0	0.0	1	2.6	2	66.7	1	5.3	0	0.0	0	0.0	7	5.7	1	2.3

イ．利用したい時間（数量回答）

1日当たり 時間	合計 【参考】 回答者の N=503		認可 保育所 N=147		家庭的な 保育 (保育ママ) N=11		事業 所内 保育 施設 N=38		認可 外 保育 施設 N=3		利用 認定 こども 園の 保の 育幼 の稚 N=19		利用 所の 認定 こども 園並 みの 保の 育 N=43		幼 稚 園 N=75		幼 稚 園 の 預 か り 保 育 N=123		延 長 保 育 N=44	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1時間	5	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5
2時間	13	2.6	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	1	5.3	0	0.0	1	1.3	1	0.8	9	20.5
3時間	8	1.6	1	0.7	1	9.1	1	2.6	0	0.0	0	0.0	1	2.3	0	0.0	0	0.0	4	9.1
4時間	15	3.0	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	6	31.6	1	2.3	3	4.0	3	2.4	1	2.3
5時間	39	7.8	9	6.1	1	9.1	0	0.0	0	0.0	3	15.8	2	4.7	12	16.0	12	9.8	0	0.0
6時間	91	18.1	11	7.5	0	0.0	1	2.6	1	33.3	3	15.8	3	7.0	36	48.0	36	29.3	0	0.0
7時間	39	7.8	8	5.4	0	0.0	1	2.6	0	0.0	2	10.5	4	9.3	12	16.0	12	9.8	0	0.0
8時間	75	14.9	37	25.2	2	18.2	15	39.5	0	0.0	0	0.0	9	20.9	6	8.0	6	4.9	0	0.0
9時間	40	8.0	19	12.9	5	45.5	5	13.2	1	33.3	0	0.0	3	7.0	1	1.3	1	0.8	5	11.4
10時間	45	8.9	26	17.7	0	0.0	7	18.4	0	0.0	1	5.3	8	18.6	1	1.3	1	0.8	1	2.3
11時間	23	4.6	13	8.8	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	4	9.3	0	0.0	0	0.0	5	11.4
12時間以上	40	8.0	19	12.9	0	0.0	4	10.5	0	0.0	2	10.5	7	16.3	0	0.0	0	0.0	8	18.2
不明・無回答	70	13.9	4	2.7	0	0.0	3	7.9	1	33.3	1	5.3	1	2.3	3	4.0	51	41.5	6	13.6

ウ．利用したい開始時間と終了時間（数量回答）

【開始時間】

開始時間	合計 【参考】回答者の N=503		認可保育所 N=147		家庭的な保育 (保育ママ) N=11		事業所内保育施設 N=38		認可外保育施設 N=3		利用認定こども園の保育の N=19		利用認定こども園並みの保 N=43		幼稚園 N=75		幼稚園の預かり保育 N=123		延長保育 N=44	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	6時	5	1.0	2	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.3	0	0.0	0	0.0	2
7時	41	8.2	20	13.6	0	0.0	3	7.9	0	0.0	1	5.3	8	18.6	0	0.0	3	2.4	6	13.6
8時	104	20.7	49	33.3	2	18.2	10	26.3	2	66.7	1	5.3	11	25.6	7	9.3	15	12.2	7	15.9
9時	242	48.1	68	46.3	6	54.5	22	57.9	0	0.0	11	57.9	21	48.8	64	85.3	45	36.6	5	11.4
10時	13	2.6	5	3.4	2	18.2	1	2.6	0	0.0	3	15.8	1	2.3	1	1.3	0	0.0	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12時	2	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.6	0	0.0
13時	2	0.4	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	0	0.0
14時	15	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.3	1	2.3	0	0.0	12	9.8	1	2.3
15時	43	8.5	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	1	5.3	0	0.0	1	1.3	35	28.5	5	11.4
16時	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.3
17時以降	14	2.8	0	0.0	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	2.4	10	22.7
不明・無回答	21	4.2	2	1.4	0	0.0	1	2.6	1	33.3	1	5.3	0	0.0	2	2.7	7	5.7	7	15.9

【終了時間】

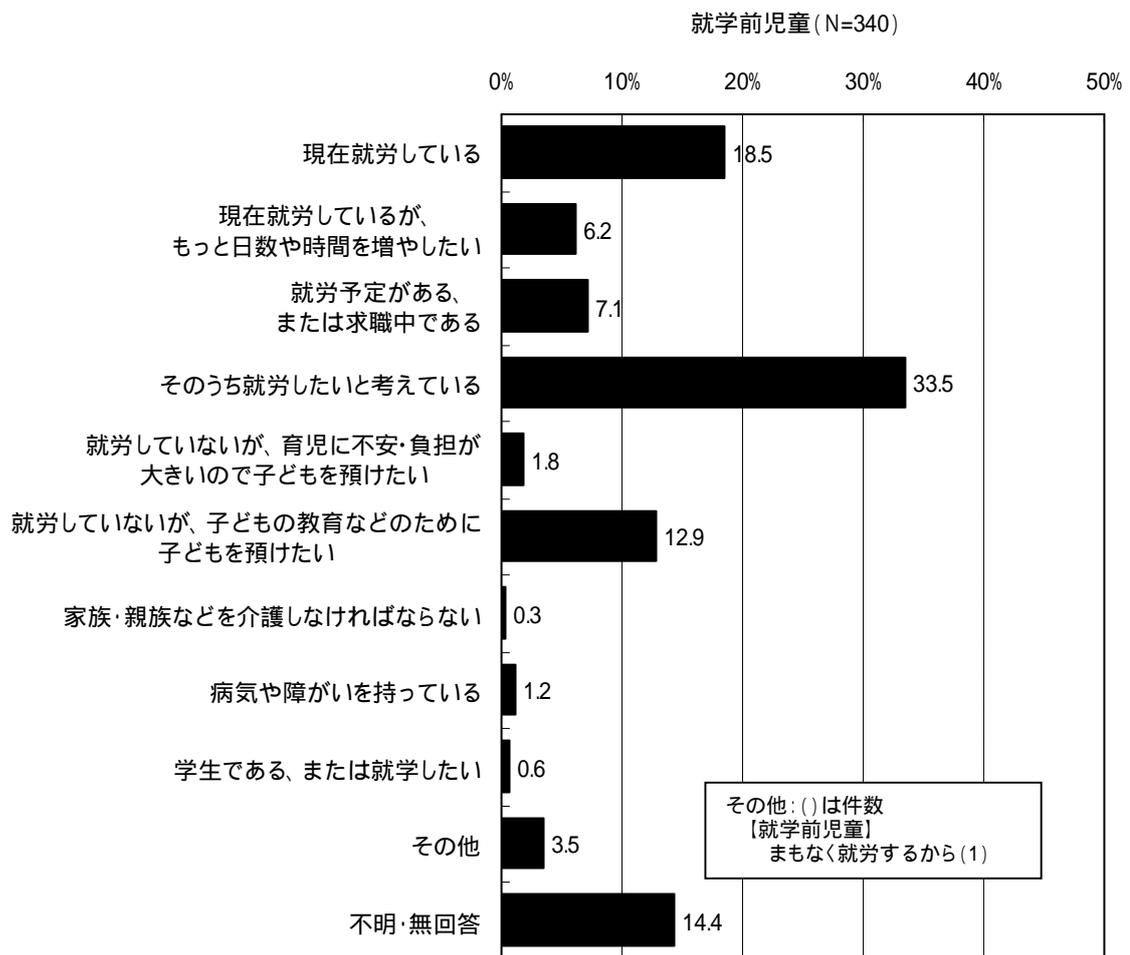
終了時間	合計 【参考】回答者の N=503		認可保育所 N=147		家庭的な保育 (保育ママ) N=11		事業所内保育施設 N=38		認可外保育施設 N=3		利用認定こども園の保育の N=19		利用認定こども園並みの保 N=43		幼稚園 N=75		幼稚園の預かり保育 N=123		延長保育 N=44	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	12時	1	0.2	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
13時	5	1.0	0	0.0	1	9.1	0	0.0	0	0.0	2	10.5	0	0.0	2	2.7	0	0.0	0	0.0
14時	29	5.8	5	3.4	0	0.0	2	5.3	0	0.0	6	31.6	2	4.7	13	17.3	1	0.8	0	0.0
15時	66	13.1	13	8.8	2	18.2	0	0.0	0	0.0	3	15.8	3	7.0	41	54.7	4	3.3	0	0.0
16時	31	6.2	7	4.8	0	0.0	1	2.6	0	0.0	2	10.5	4	9.3	9	12.0	8	6.5	0	0.0
17時	147	29.2	45	30.6	4	36.4	15	39.5	1	33.3	1	5.3	9	20.9	8	10.7	56	45.5	8	18.2
18時	116	23.1	39	26.5	3	27.3	13	34.2	0	0.0	1	5.3	14	32.6	0	0.0	39	31.7	7	15.9
19時	60	11.9	27	18.4	0	0.0	2	5.3	1	33.3	2	10.5	8	18.6	0	0.0	7	5.7	13	29.5
20時	21	4.2	7	4.8	0	0.0	2	5.3	0	0.0	1	5.3	1	2.3	0	0.0	3	2.4	7	15.9
21時	7	1.4	0	0.0	0	0.0	1	2.6	0	0.0	0	0.0	2	4.7	0	0.0	1	0.8	3	6.8
22時	4	0.8	2	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	1	2.3
23時以降	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.3
不明・無回答	15	3.0	2	1.4	0	0.0	2	5.3	1	33.3	1	5.3	0	0.0	2	2.7	3	2.4	4	9.1

(6) サービスを利用したい理由(単数回答)

【就学前児童 問12-2】

今後「認可保育所」、「家庭的な保育」、「事業所内保育施設」、「認可外保育施設」、「認定こども園」、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「延長保育」のいずれかを利用したいと答えられたのみ

サービスを利用したい理由としては、「そのうち就労したいと考えている」が33.5%と最も高くなっています。
 そのほかでは、「現在就労している」が18.5%、「就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい」が12.9%と、1割以上の項目となっています。



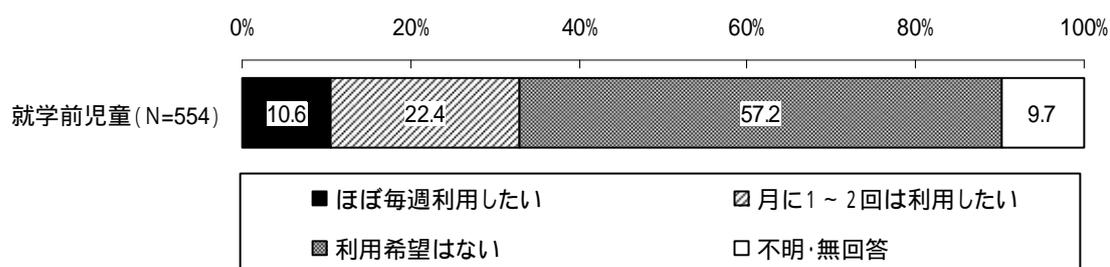
4 土日の保育サービスについて

(就学前児童)

(1) 土曜日の保育サービスの利用希望 (単数回答)

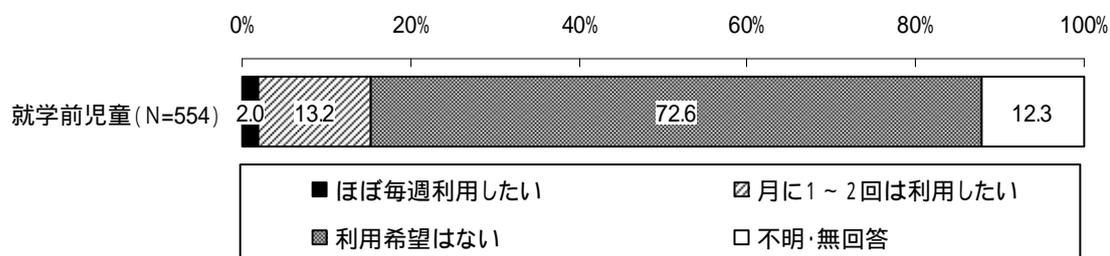
【就学前児童 問13】

土曜日の保育サービスの利用希望については、10.6%が「ほぼ毎週利用したい」、22.4%が「月に1～2回は利用したい」となっていますが、「利用希望はない」が57.2%と高くなっています。



(2) 日曜・祝日の保育サービスの利用希望 (単数回答)

日曜・祝日の保育サービスの利用希望については、2.0%が「ほぼ毎週利用したい」、13.2%が「月に1～2回は利用したい」となっていますが、「利用希望はない」が72.6%と高くなっています。



(3) 土曜、日曜・祝日に利用したい時間帯（数量回答）

利用希望時間については、土・日・祝ともに開始時間は「8～9時」への割合が高く、土曜日の終了時間は「17時」が高くなっています。日・祝日の終了時間は「14時」が1人となっています。

【土曜日】

〔開始時間〕

利用したい時間帯 N=183	件数	%
6時	0	0.0
7時	2	1.1
8時	15	8.2
9時	29	15.8
10時	3	1.6
11時以降	0	0.0
不明・無回答	134	73.2

〔終了時間〕

利用したい時間帯 N=183	件数	%
12時まで	3	1.6
13時	1	0.5
14時	1	0.5
15時	4	2.2
16時	1	0.5
17時	25	13.1
18時	7	3.8
19時	5	2.7
20時	0	0.0
21時	1	0.5
22時以降	1	0.5
不明・無回答	134	73.2

【日・祝日】

〔開始時間〕

利用したい時間帯 N=84	件数	%
6時まで	0	0.0
7時	7	8.3
8時	28	33.3
9時	39	46.4
10時	8	9.5
11時	0	0.0
12時	1	1.2
13時以降	0	0.0
不明・無回答	1	1.2

〔終了時間〕

利用したい時間帯 N=84	件数	%
14時	1	1.2
不明・無回答	83	98.8

5 放課後児童クラブについて

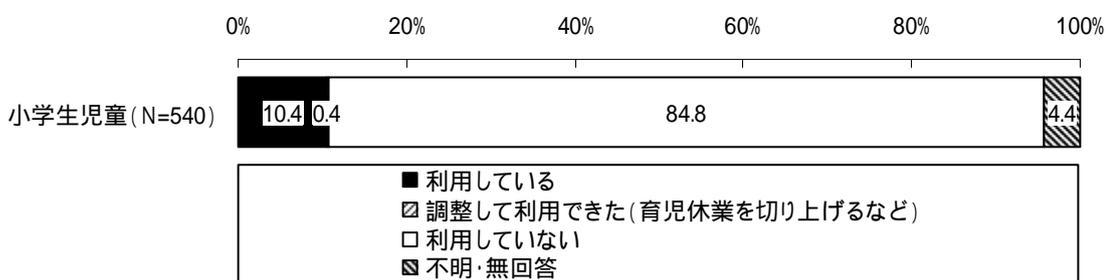
(小学生児童)

放課後児童クラブ...地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、子ども(概ね10歳未満)の生活の場を提供するものです。「放課後子ども教室」と連携して実施されている場合があります。

(1) 放課後児童クラブの利用の有無(単数回答)

【小学生児童 問10】

放課後児童クラブの利用については、10.4%が「利用している」となっており、84.8%が「利用していない」となっています。



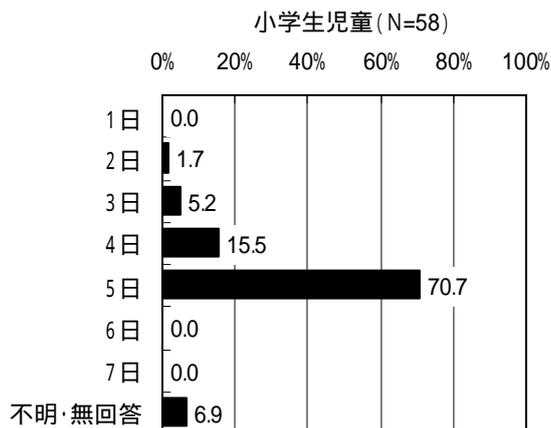
(2) 利用しているかたへの質問

放課後児童クラブを利用している日数(数量回答)

【小学生児童 問10-1】

放課後児童クラブを「利用している」または「調整して利用できた」と答えたかたのみ

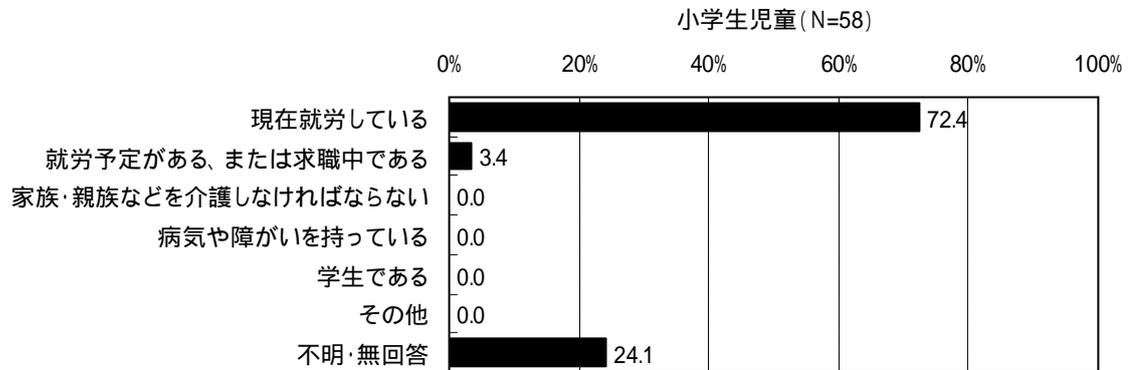
放課後児童クラブを利用している日数は「5日」が最も高くなっています。



放課後児童クラブを利用している理由（単数回答）

放課後児童クラブを「利用している」または「調整して利用できた」と答えたかたのみ

放課後児童クラブを利用している理由としては、「現在就労している」が72.4%と最も高くなっています。

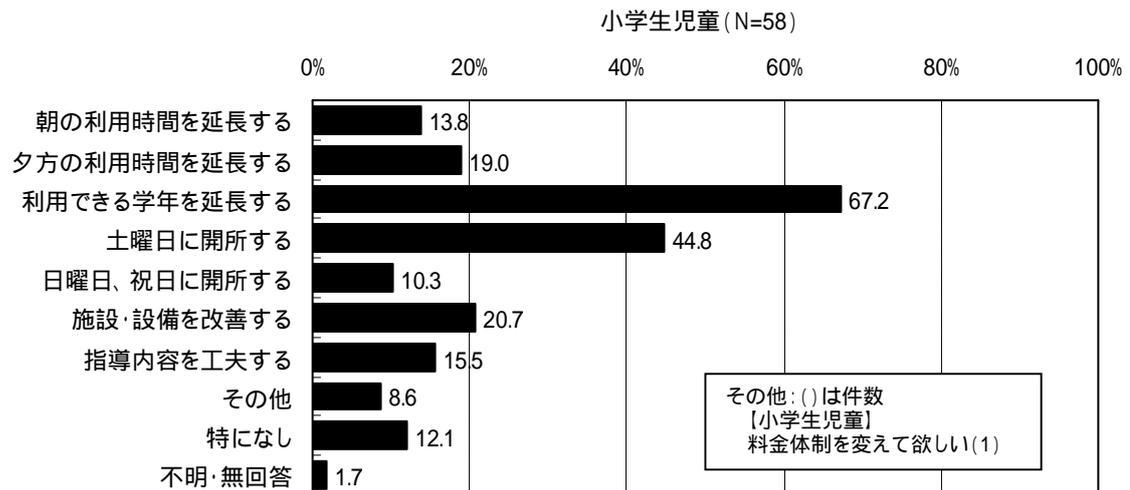


放課後児童クラブに希望すること（複数回答）

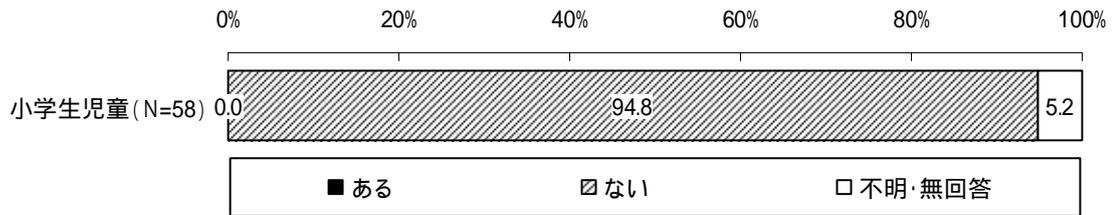
【小学生児童 問10-3】

放課後児童クラブを「利用している」または「調整して利用できた」と答えたかたのみ

放課後児童クラブに希望することとしては、「利用できる学年を延長する」が67.2%と最も高くなっています。次いで「土曜日に開所する」が44.8%となっています。



【放課後児童クラブの土・日曜日の利用について】(単数回答)

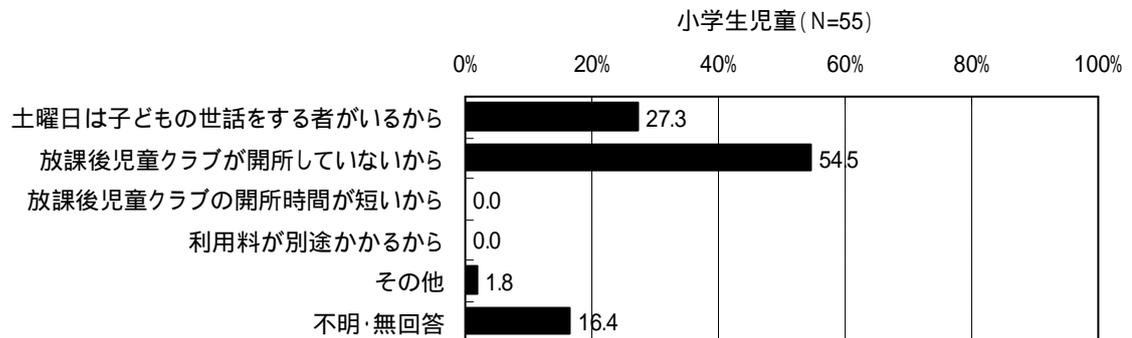


藤井寺市では、アンケート調査時点で土・日曜日の利用サービスは実施していませんでした。なお、平成21年4月から第3土曜日の利用を試行的に実施しています。

【土曜日に放課後児童クラブを利用していない理由】(単数回答)

【小学生児童 問10-2】

土曜日に放課後児童クラブを「利用していない」と答えたかたのみ



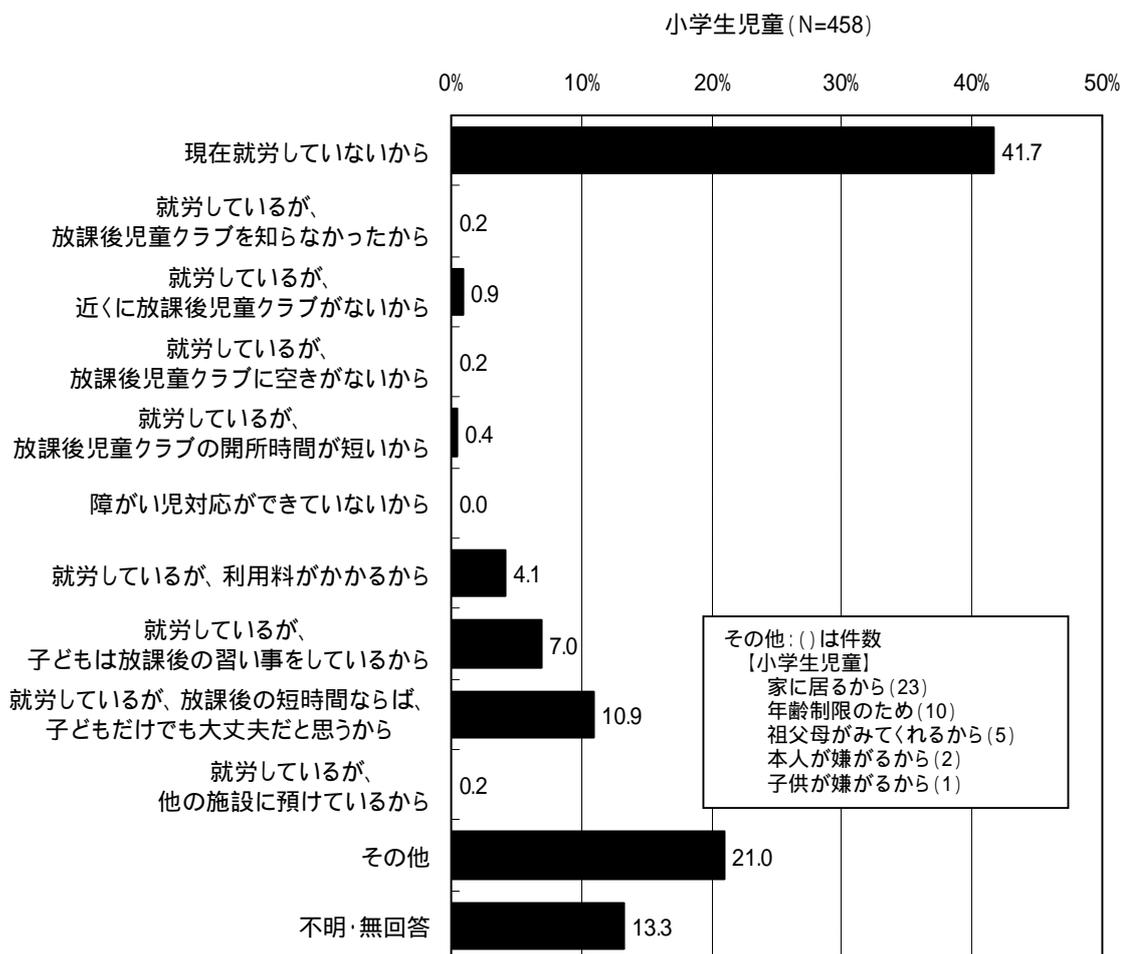
(3) 利用していない方への質問

放課後児童クラブを利用していない理由（単数回答）

【小学生児童 問10-4】

放課後児童クラブを「利用していない」と答えたかたのみ

放課後児童クラブを利用していない理由としては、「現在就労していないから」が41.7%と最も高くなっています。

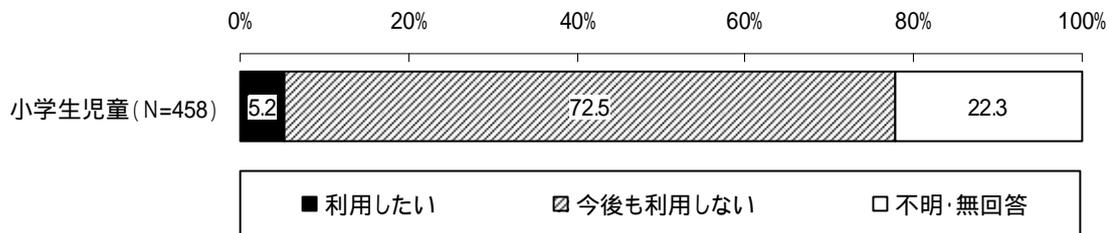


今後の放課後児童クラブの利用希望（単数回答）

【小学生児童 問10-5】

放課後児童クラブを「利用していない」と答えたかたのみ

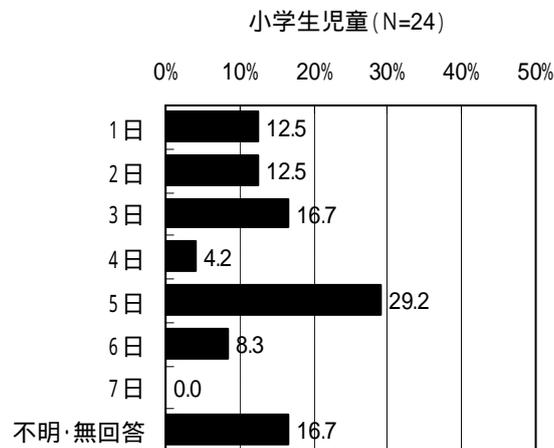
現在利用していないかたの放課後児童クラブの利用希望については、5.2%が「利用したい」となっています。



- 1 放課後児童クラブを利用したい日数（数量回答）

放課後児童クラブを今後利用したいと答えたかたのみ

利用したい日数は「5日」が29.2%(7人)と、高くなっており、次いで「3日」が16.7%(4人)となっています。

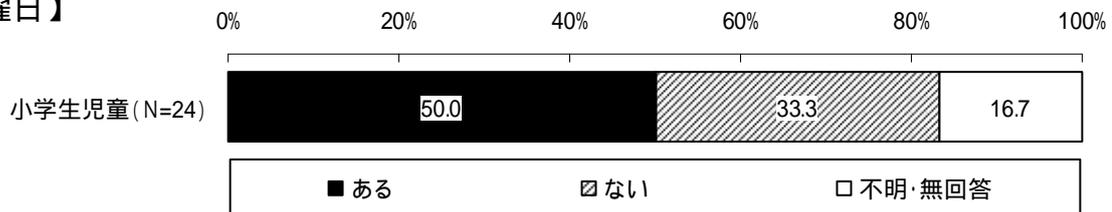


- 2 放課後児童クラブの土・日曜日の利用希望（単数回答）

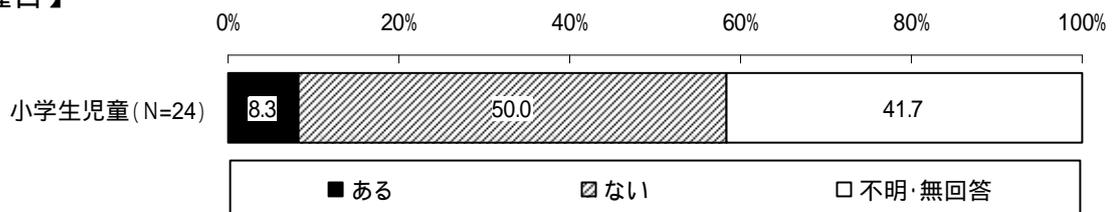
放課後児童クラブを今後利用したいと答えたかたのみ

今後、放課後児童クラブを利用したいと回答したかたのうち、「ある」が土曜日の利用希望は、50.0%（12人）、日曜日は8.3%（2人）となっています。

【土曜日】



【日曜日】

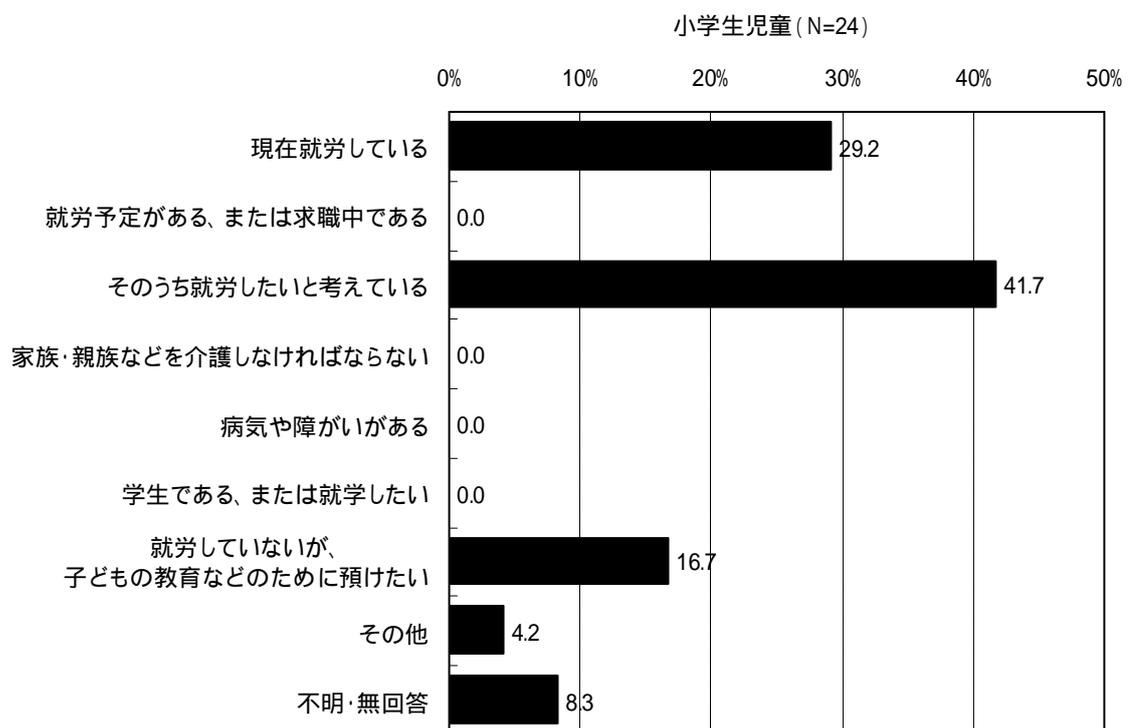


- 3 放課後児童クラブを利用したい理由（単数回答）

【小学生児童 問10-6】

放課後児童クラブを今後利用したいと答えたかたのみ

「そのうち就労したいと考えている」が41.7%（10人）と最も高く、次いで「現在就労している」が29.2%（7人）となっています。

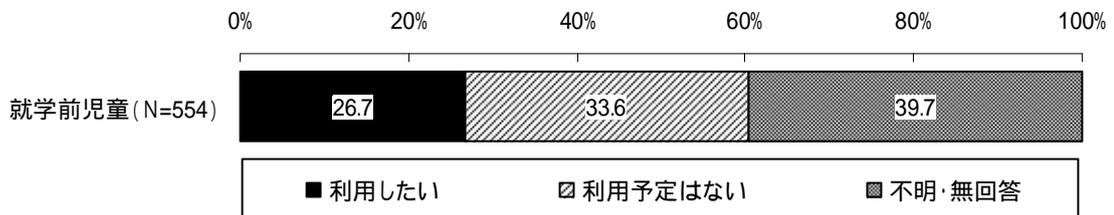


【就学前児童のみ】

(3) - 1 子どもが小学生になった際の放課後児童クラブの利用希望（単数回答）

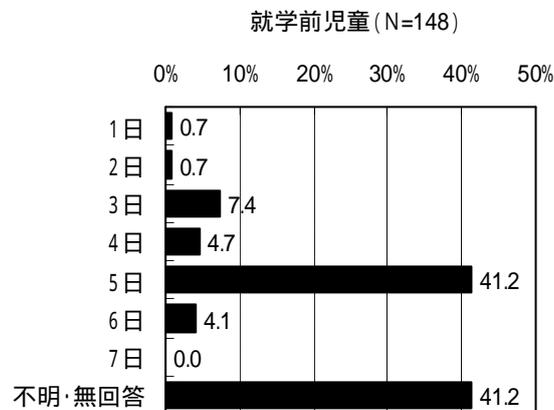
【就学前児童 問17】

就学前の子どもが小学生になった場合、放課後児童クラブの利用については、「利用したい」が26.7%、「利用予定はない」が33.6%となっています。



【放課後児童クラブを利用したい日数】（数量回答）

放課後児童クラブを利用したいと選んだかたで、利用したい週あたりの日数については、「5日」が41.2%と最も高くなっています。

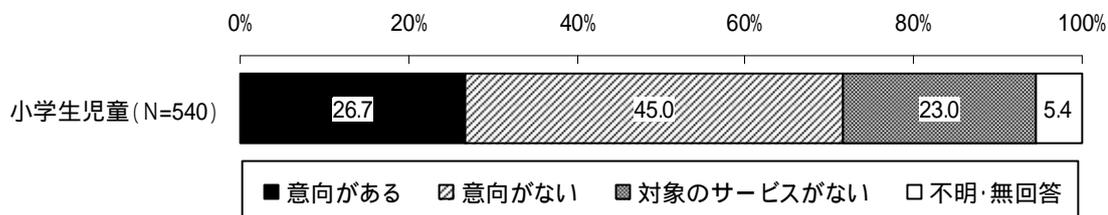


(4) 放課後子ども教室の利用意向(単数回答)

放課後子ども教室...すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取り組みをするものです。

【小学生児童 問10-7】

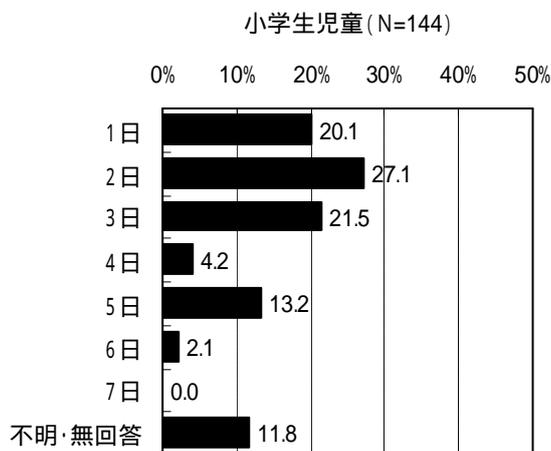
放課後子ども教室の利用意向について、「意向がある」が26.7%となっています。



【放課後子ども教室を利用したい日数】(数量回答)

放課後子ども教室の利用意向があると答えたかたのみ

放課後児童クラブを利用したい日数は「2日」が27.1%と、高くなっており、次いで「3日」が21.5%、「1日」が20.1%となっています。

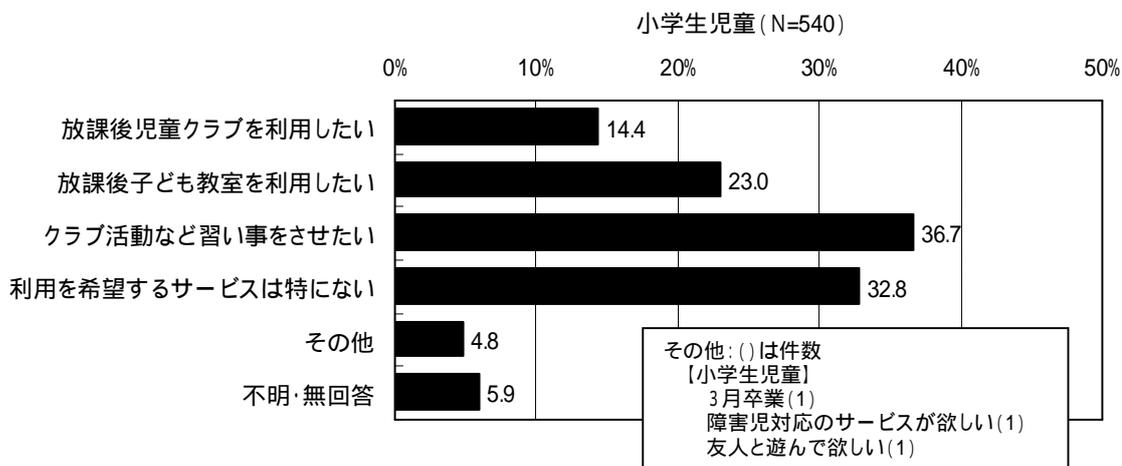


(5) 小学 4 年生以降の放課後の望ましい過ごしかた (複数回答)

【小学生児童 問 1 0 - 8】

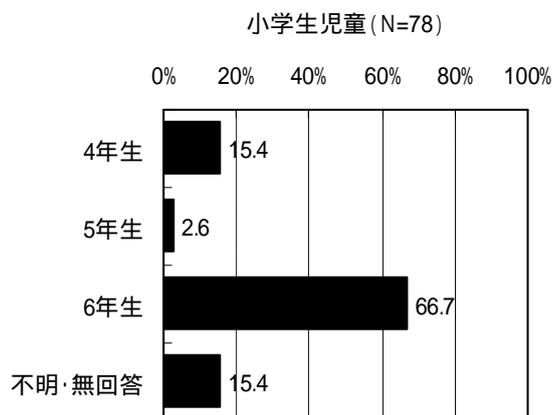
小学 4 年生以降の放課後の過ごしかたとして望ましいものは、「クラブ活動など習い事をさせたい」が 36.7%、「利用を希望するサービスは特にない」が 32.8%で高くなっています。

「放課後児童クラブを利用したい」については 14.4%となっています。



【放課後児童クラブを利用する際の学年の上限】 (数量回答)

小学 4 年生以降の子どもの過ごしかたで、「放課後児童クラブを利用したい」を選んだかたで、利用したい学年の上限については、「6年生」まで利用したいと回答した割合が 66.7%となっています。

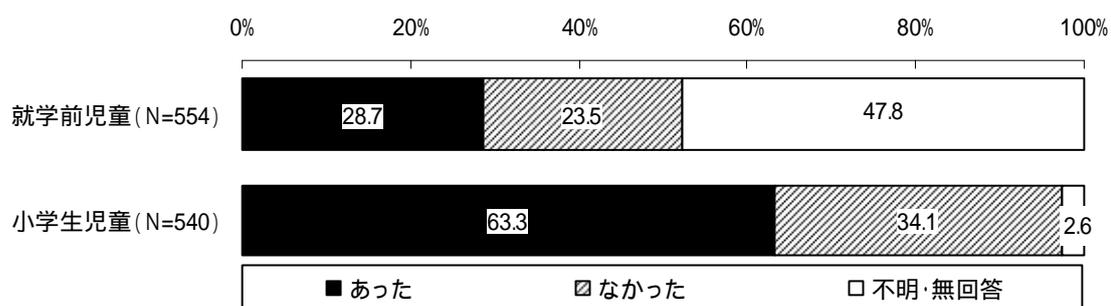


6 病児・病後児保育について

(1) この1年間に、子どもが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことや学校を休まなければならなかった経験の有無(単数回答)

【就学前児童 問14：小学生児童 問11】

病気やケガで保育サービスが利用できなかったことや学校を休まなければならなかった経験の有無についてみると、「あった」が就学前児童 28.7%、小学生児童 63.3%となっています。



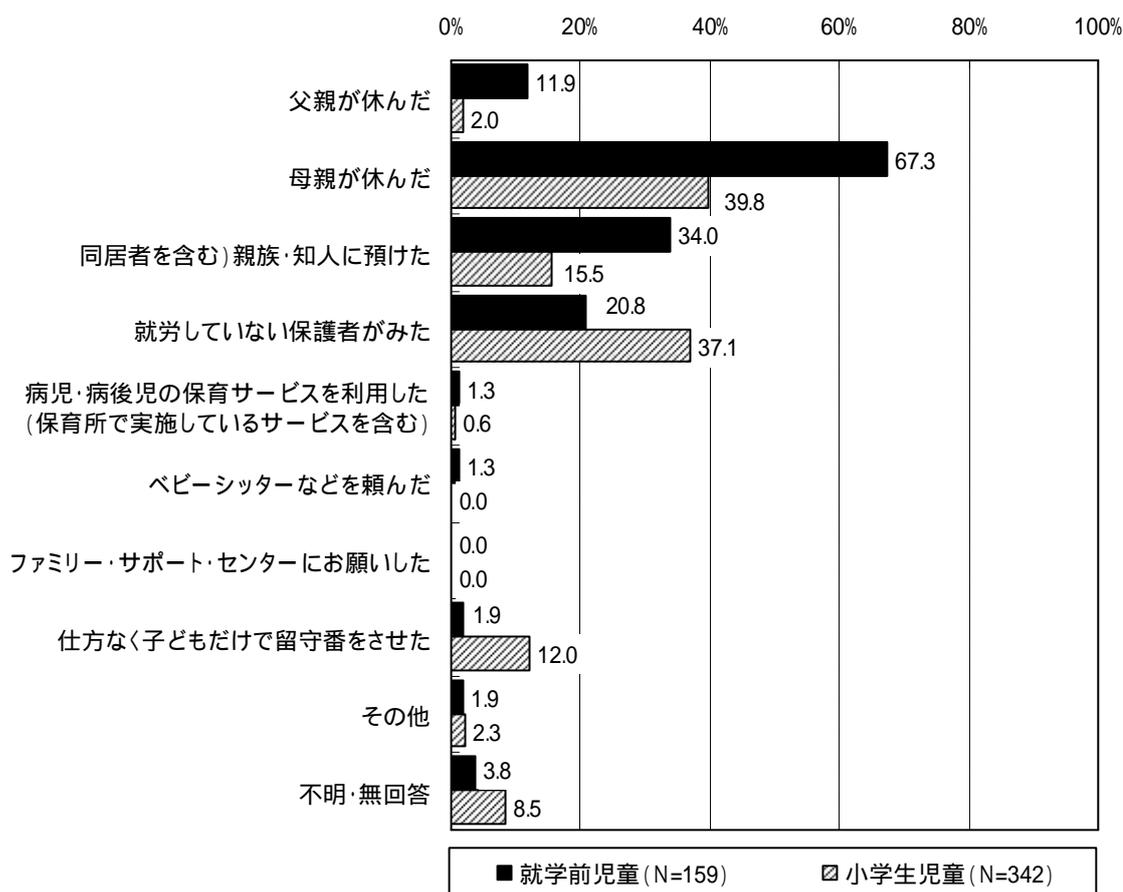
(2) この1年間で、子どもの病気・ケガにより通常の保育サービスが利用できなかった、学校を休んだ、放課後児童クラブなどを利用できなかった場合の状況について(複数回答)

【就学前児童 問14-1：小学生児童 問11-1】

*「あった」を選択したかたのみ

対処方法

対処方法についてみると、「母親が休んだ」が就学前児童 67.3%、小学生児童 39.8%と、ともに最も高くなっています。



各対応日数（数量回答）

* 「あった」を選択したかたのみ

対処方法それぞれの対応日数をみると、『父親が休んだ』『母親が休んだ』『就労していない保護者がみた』では「1日」～「3日」程度が高くなっている小学生児童に比べ、就学前児童では「1週間以上」が高くなっており、長期間の対応が必要となっています。

対応日数	父が休んだ		母が休んだ		親族・知人に預けた		就労していない保護者がみた		病児・病後児の保育サービスを利用した		ベビーシッターなどを頼んだ		ファミリー・センター・サポーターにお願いした		仕方なく子どもだけで留守番させた		その他	
	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生	就学前	小学生
	N=19	N=7	N=107	N=136	N=54	N=53	N=33	N=127	N=2	N=2	N=2	N=0	N=0	N=0	N=3	N=41	N=3	N=8
	件数		件数		件数		件数		件数		件数		件数		件数		件数	
1日	4	4	9	39	6	12	0	15	1	1	0	-	-	-	3	15	1	2
2日	4	2	11	30	7	15	3	9	1	0	1	-	-	-	0	8	1	1
3日	2	0	15	18	10	13	4	10	0	0	0	-	-	-	0	6	0	2
4日	0	0	3	10	2	1	4	3	0	0	0	-	-	-	0	1	0	0
5日	6	0	12	9	8	2	7	5	0	1	1	-	-	-	0	1	0	0
6日	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0
1週間以上	1	0	24	6	14	2	10	8	0	0	0	-	-	-	0	1	1	0
2週間以上	0	0	16	3	4	1	1	2	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0
1ヶ月間以上	1	0	5	0	0	0	2	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0
2ヶ月間以上	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0
3ヶ月間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0
不明・無回答	1	1	11	19	3	7	2	75	0	0	0	-	-	-	0	9	0	3

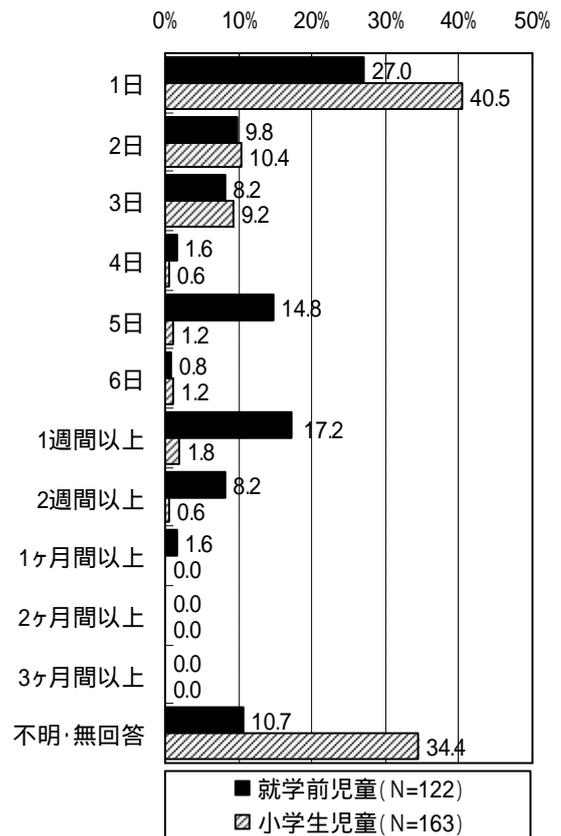
(3) (2)の対処をした際の状況について

できれば施設に預けたいと思った日数はどれくらいあるか（数量回答）

【就学前児童 問14-2：小学生児童 問11-2】

* 「父親が休んだ」「母親が休んだ」「同居者を含む）親族・知人に預けた」と答えたかたのみ

小学生児童では「1～2日」で約5割を占めています。
就学前児童では「1～3日」の日数で4割を超えています。

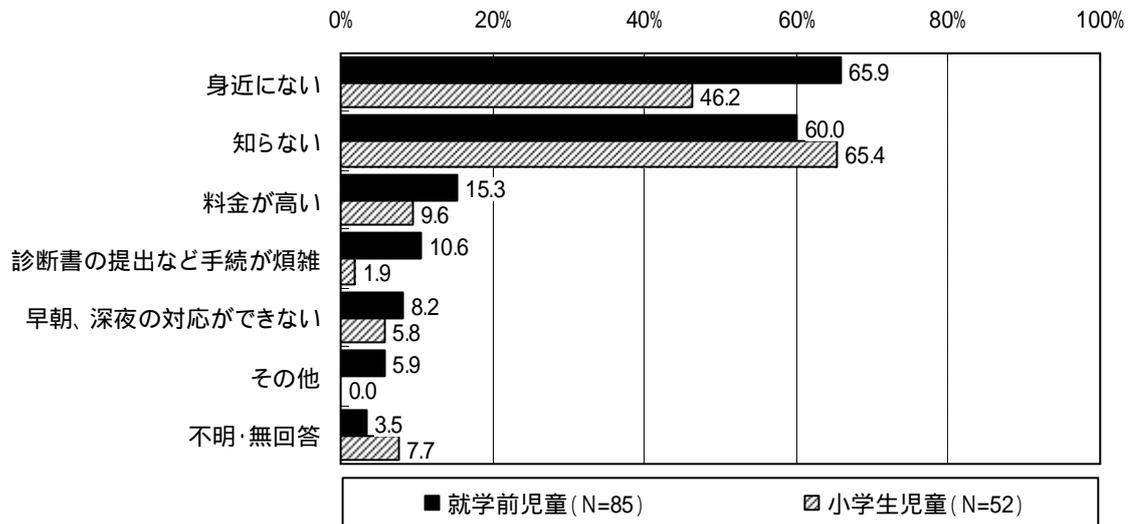


病児・病後児保育サービスを利用しなかった理由（複数回答）

【就学前児童 問14-3：小学生児童 問11-3】

* できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したいと答えたかたのみ

病児・病後児保育サービスを利用しなかった理由についてみると、「身近にない」が就学前児童 65.9%、小学生児童 46.2%、「知らない」が就学前児童 60.0%、小学生児童 65.4%と、ともに最も高くなっています。

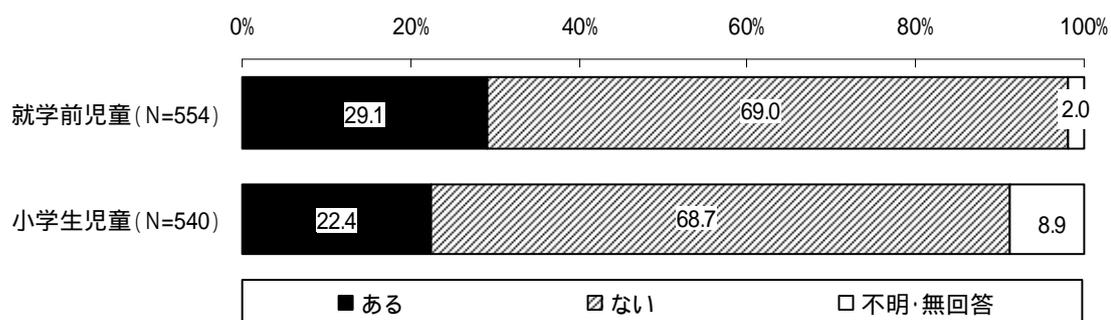


7 一時的な預かりについて

(1) この1年間で、私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けた経験の有無
(単数回答)

【就学前児童 問15：小学生児童 問12】

子どもを一時的に預けた経験についてみると、「ある」が就学前児童で29.1%、小学生児童で22.4%となっています。

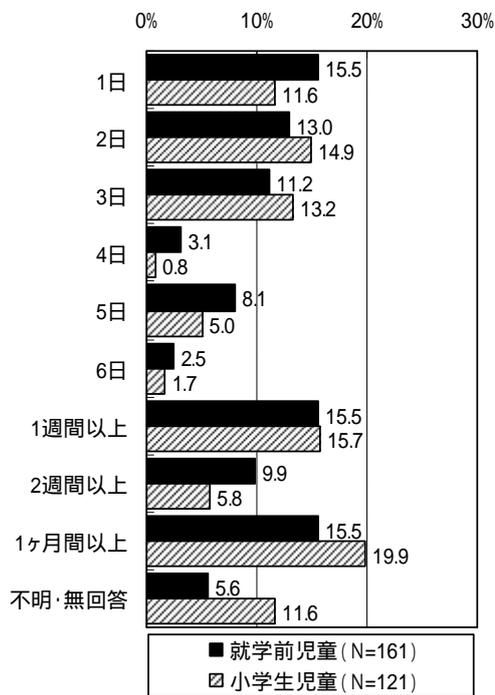


(2) 一時的な預かりがあった場合の理由別の対応日数(数量回答)

*「ある」と答えたかたのみ

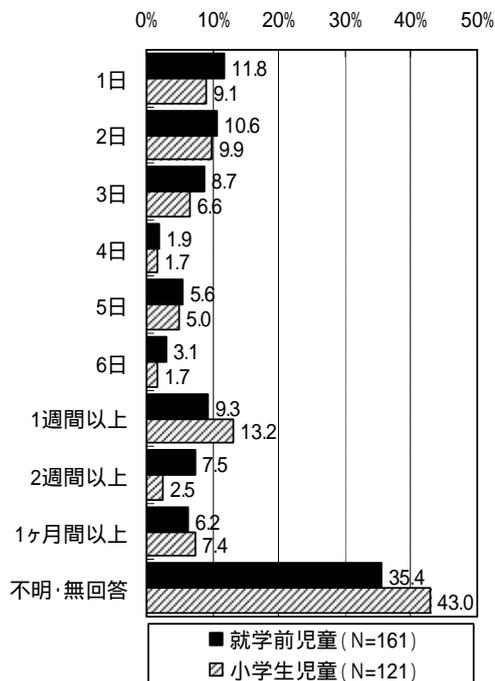
一時的に預けた際のそれぞれの対応日数をみると、『年間』では「1日」～「3日」、「1週間以上」、「1ヶ月以上」の項目が高くなっています。また、理由種別でみる『私用』、『就労』ともに「1週間以上」の長期間にわたる割合が比較的高くなっています。

【年間】

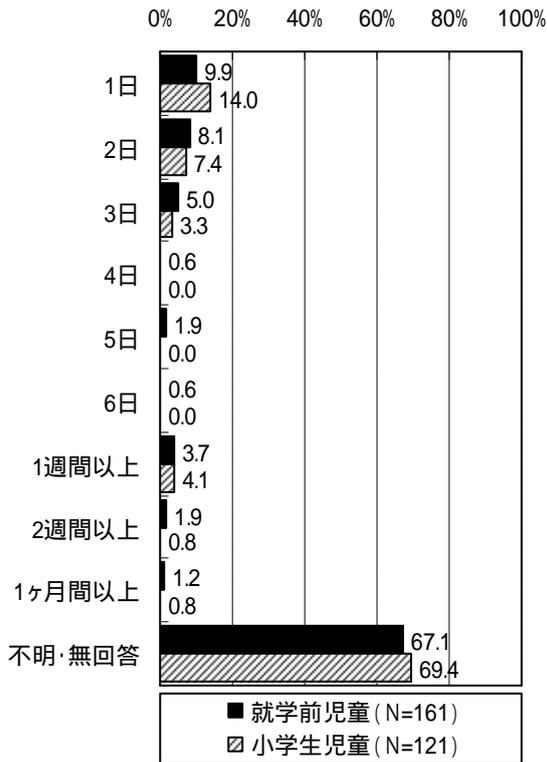


【理由種別】

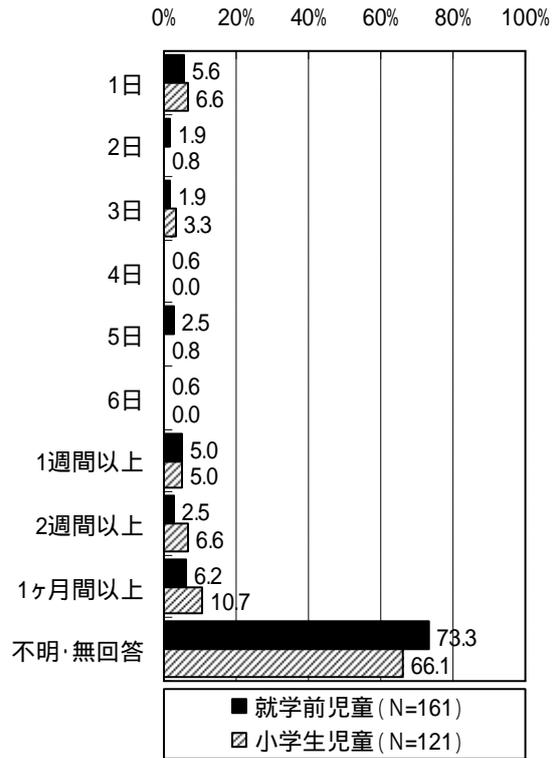
私用(買い物、習い事) リフレッシュ目的



冠婚葬祭、子どもの親の病気



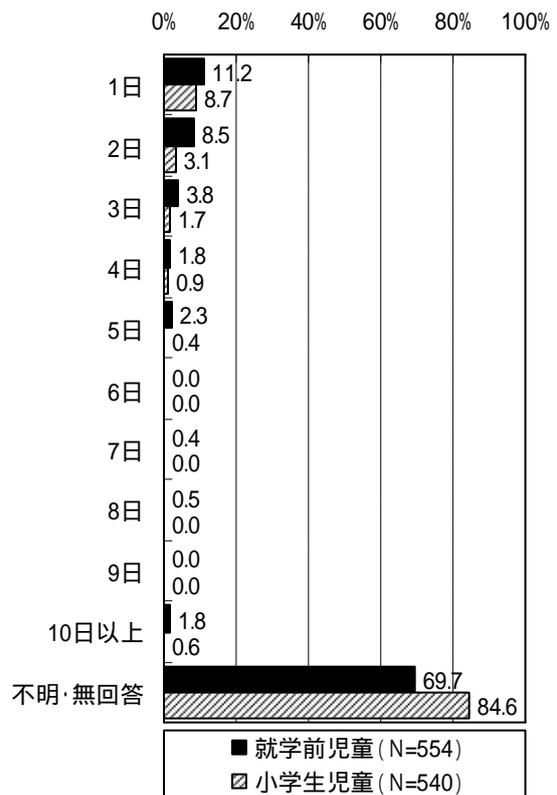
就労



(3) 預けられるところがあれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思うか(数量回答)

【就学前児童 問15-1：小学生児童 問12-1】

預けられるところがあれば利用したいと思った日数はどれくらいあるかについてみると、就学前児童、小学生児童ともに「1～3日」が比較的高くなっています。

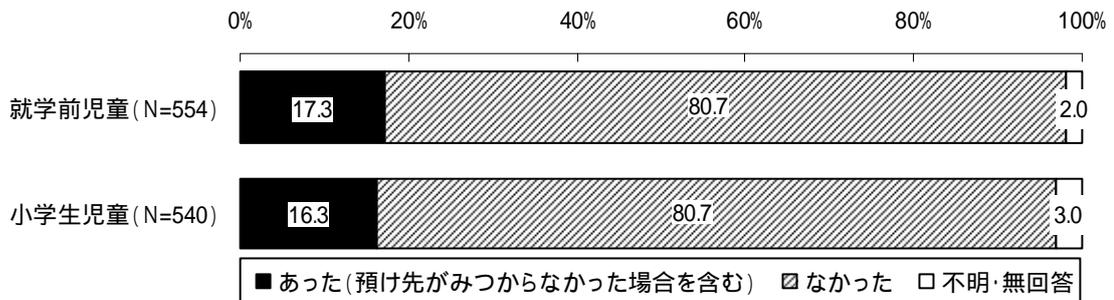


8 宿泊を伴う一時的な預かりについて

(1) この1年間に、保護者の用事などにより子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかった経験の有無(単数回答)

【就学前児童 問16：小学生児童 問13】

子どもを泊りがけで一時的に預けた経験の有無についてみると、「あった」が就学前児童で17.3%、小学生児童が16.3%となっています。



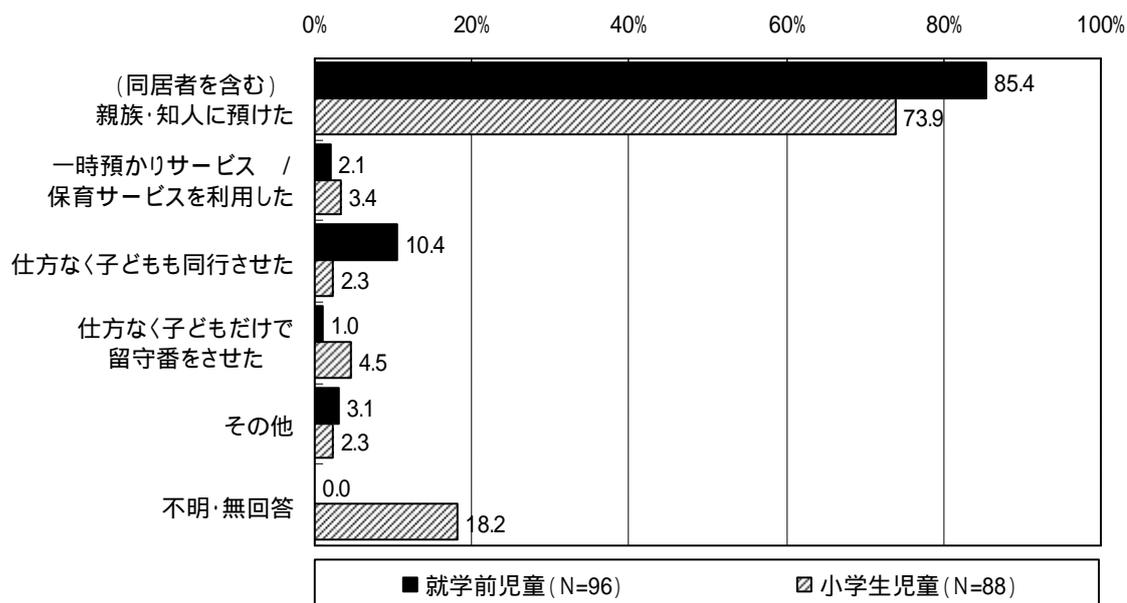
(2) あった際の状況について

この1年間の対処方法（複数回答）

【就学前児童 問16-1：小学生児童 問13-1】

*「あった」と答えたかたのみ

子どもを泊りがけで一時的に預けた際の対処についてみると、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が就学前児童では85.4%、小学生児童では73.9%とともに最も高くなっています。



ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど

ショートステイ 保護者の疾病・冠婚葬祭等の事由により、家庭で養育が一時的に困難な児童を児童養護施設等で保護・養育

その際の泊数（数量回答）

* 「あった」と答えたかたのみ

子どもを泊りがけで一時的に預けた際の日数をみると、『(同居人を含む)親族・知人に預けた』では、就学前児童、小学生児童ともに「1泊」の項目が高くなっています。

【(同居人を含む)親族・知人に預けた】

回答状況は右図参照

【保育サービスを利用した】

就学前児童は回答なし

小学生児童で回答した1人は「1週間以上」

【仕方なく子どもを同行させた】

就学前児童では「2泊」が3人、「1泊」、「3泊」がともに1人

小学生児童では「1泊」が1人

【仕方なく子どもだけで留守番させた】

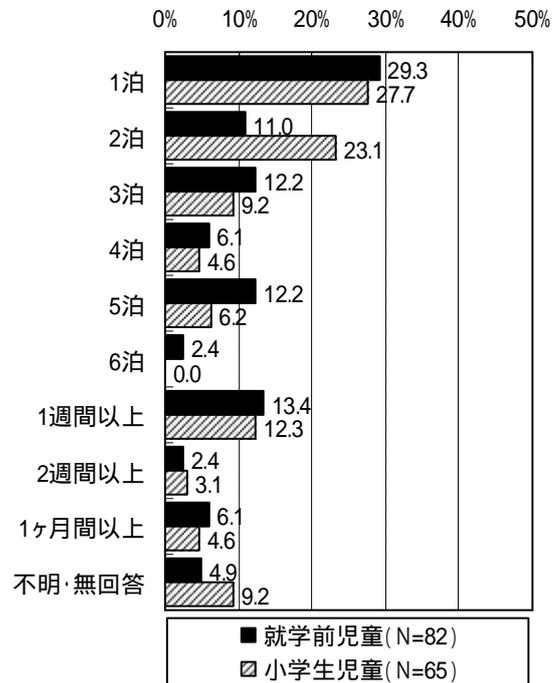
就学前児童では無回答

小学生児童では「2泊」、「3泊」、「5泊」がともに1人

【その他】

就学前児童では「1泊」が2人、「2泊」が1人

小学生児童では無回答



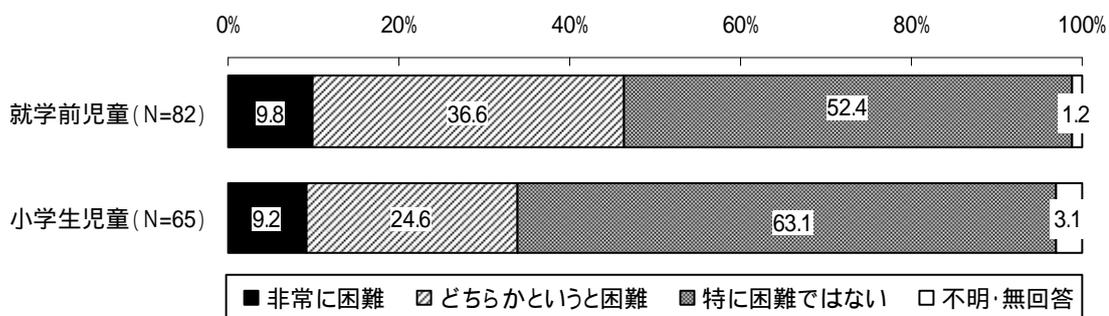
その場合の困難度（単数回答）

【就学前児童 問16-2：小学生児童 問13-2】

* 「(同居者を含む)親族・知人に預けた」と答えたかたのみ

『(同居者を含む)親族・知人に預けた』場合の困難度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに「特に困難ではない」が52.4%、と63.1%とそれぞれ最も高くなっています。

小学生児童よりも就学前児童において『困難』だと感じている割合が高い傾向にあります。



9 ベビーシッターについて

(1) ベビーシッターの利用状況

利用している目的（複数回答）

【就学前児童 問18：小学生児童 問14】

*「ベビーシッターを利用している人」のみ

就学前児童は6人の回答で、4人は「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）」、1人は「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」、1人は「親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している」に回答がありました。

小学生児童は1人の回答で、「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」に回答がありました。

利用頻度（数量回答）

【就学前児童 問18-1：小学生児童 問14-1】

*「ベビーシッターを利用している人」のみ

就学前児童で3人、月に「2日」、「5日」、「8日」にそれぞれ1人回答がありました。

小学生児童で1人、月に「8日」に回答がありました。

1回あたりの利用時間は就学前児童では「1時間」に1人、小学校児童では「2時間」に1人回答がありました。

(回答のみ)

	就学前	小学生
	N=7	N=11
	件数	
2日	1	0
5日	1	0
8日	1	1
不明・無回答	4	10

(2) 今後のベビーシッターの利用意向（数量回答）

【小学生児童 問14-2】

*小学生児童のみ

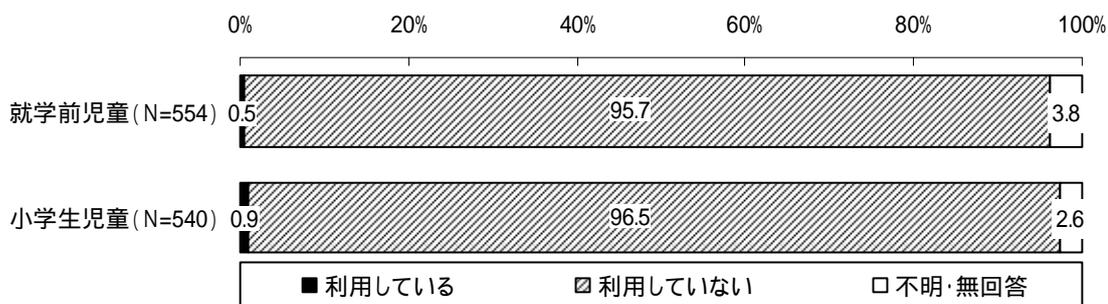
小学生児童で回答した17人のうち、月に「1日」は13人、「2日」は2人、「3日」、「8日」は1人、それぞれ回答がありました。

10 ファミリーサポートセンターについて

(1) ファミリーサポートセンターの利用の有無(単数回答)

【就学前児童 問19：小学生児童 問15】

ファミリーサポートセンターの利用の有無についてみると、「利用している」は就学前児童、小学生児童ともに1割未満となっており、「利用していない」が就学前児童、小学生児童ともに9割を超えています。



(2) 利用状況について

利用目的(複数回答)

【就学前児童 問19-1：小学生児童 問15-1】

* 「利用している」と答えたかたのみ

ファミリーサポートセンターの利用目的では、就学前児童は「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が1人、小学生児童は「主たる預かりサービスとして利用している」「学校等の送り迎えに利用している」がそれぞれ1人となっています。

現在の利用頻度(数量回答)

【就学前児童 問19-2：小学生児童 問15-2】

* 「利用している」と答えたかたのみ

現在の利用頻度は就学前児童での利用日数は「1日」に1人、時間では「1時間」に1人、回答がありました。

小学生児童での利用日数は「20日～29日」に2人、時間では「1時間」に2人、「2時間」に1人、回答がありました。

希望利用頻度（数量回答）

【就学前児童 問19-3：小学生児童 問15-3】

*「利用している」と答えたかたのみ

現在、ファミリーサポートセンターを利用しているかたの今後の希望利用頻度については、就学前児童で、月に「1日」、「1時間」に1人回答がありました。（小学生児童は回答なし）

（3） 今後、利用してみたいかたの希望利用頻度（数量回答）

【就学前児童 問19-4：小学生児童 問15-4】

*「利用していない」と答えたかたのみ

現在、ファミリーサポートセンターを利用していないかたの今後の希望利用頻度については、就学前児童、小学生児童ともに、月に「1日」が最も多くなっています。
1回あたりの時間については「1時間」～「3時間」への割合が高くなっています。

【月あたりの利用希望日数】

（回答のみ）

	就学前	小学生
	N=530	N=521
	件数	
1日	16	40
2日	11	4
3日	7	0
4日	10	5
5日	8	0
8日	1	1
10日～19日	3	0
20日～29日	1	0
不明・無回答	473	471

【1回あたりの利用希望時間】

	就学前	小学生
	N=530	N=521
	件数	
1時間	3	14
2時間	10	5
3時間	15	10
4時間	4	2
5時間	13	2
6時間	5	2
7時間	1	0
8時間	2	0
9時間	1	0
10時間	0	1
11時間	0	0
12時間以上	1	1
不明・無回答	475	484

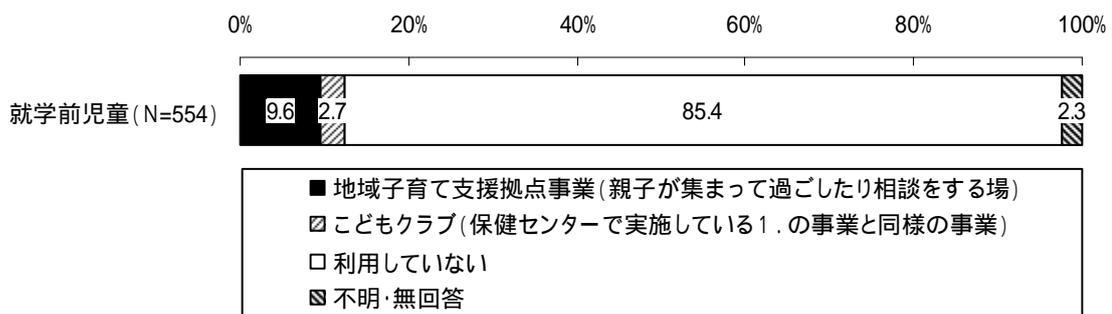
11 地域の子育て支援拠点事業について

(就学前児童)

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況 (単数回答)

【就学前児童 問20】

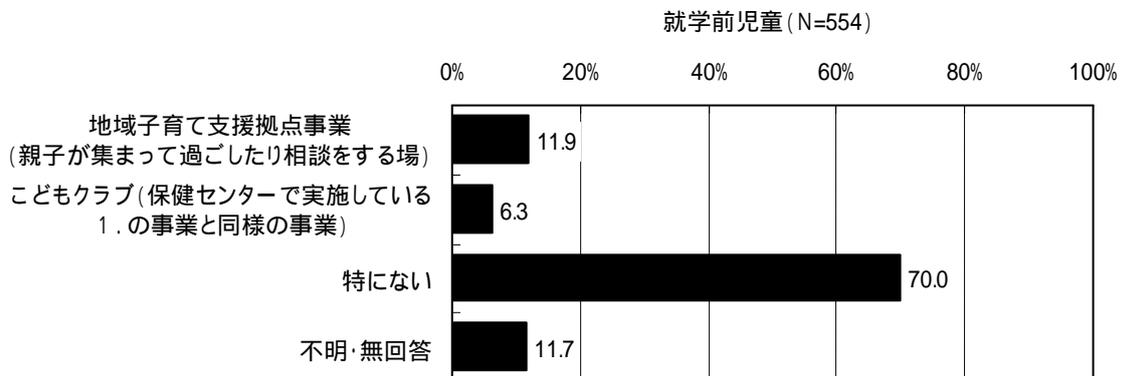
地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「地域子育て支援拠点事業」を利用しているかたが 9.6%、「こどもクラブ」を利用しているかたが 2.7%となっています。



(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向 (単数回答)

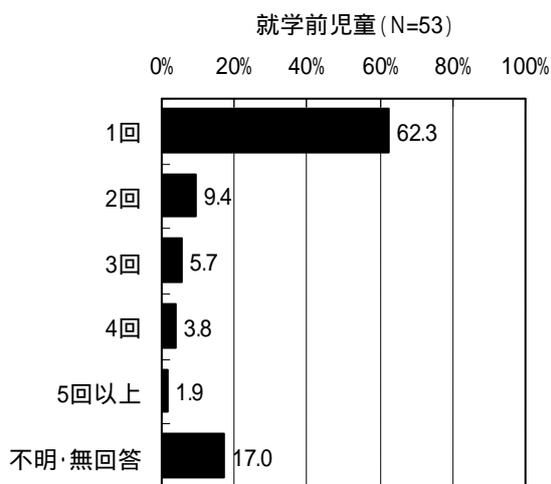
【就学前児童 問20-1】

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向についてみると、「地域子育て支援拠点事業」を利用したいかたが 11.9%、「こどもクラブ」を利用したいかたが 6.3%となっています。

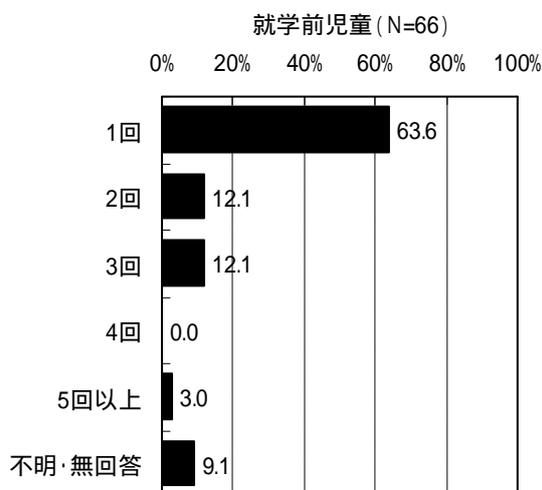


(3) 地域子育て支援事業の1週あたりの利用回数・今後の希望 (数量回答)

【利用しているかたの利用回数】

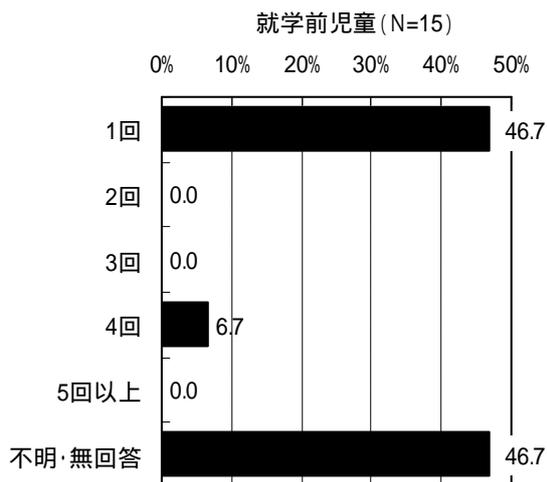


【利用したいかたの希望回数】

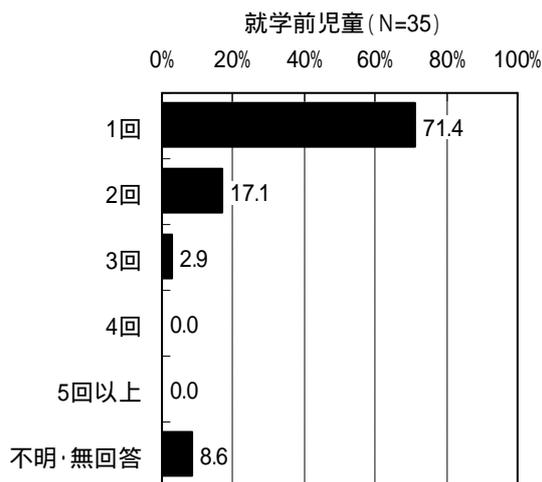


(4) こどもクラブの1週あたりの利用回数・今後の希望 (数量回答)

【利用しているかたの利用回数】



【利用したいかたの希望回数】

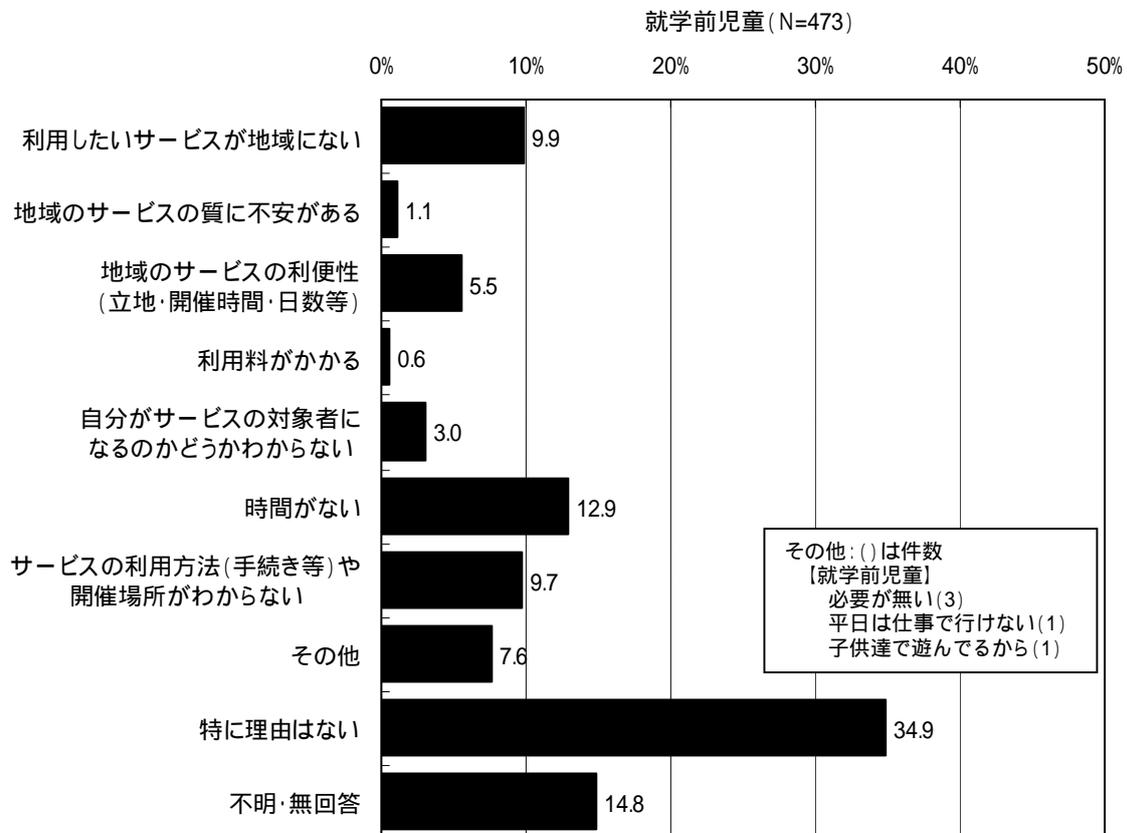


(5) 現在、地域子育て支援拠点事業を利用していない理由 (単数回答)

【就学前児童 問 2 0 - 2】

* 「利用していない」と答えたかたのみ

現在、地域子育て支援センターを利用していない理由については、「特に理由はない」が 34.9%と最も高くなっています。



12 子育て支援サービスの認知度・周知度

【就学前児童】

(1) 子育て支援サービスの認知度・利用度・利用意向（単数回答）

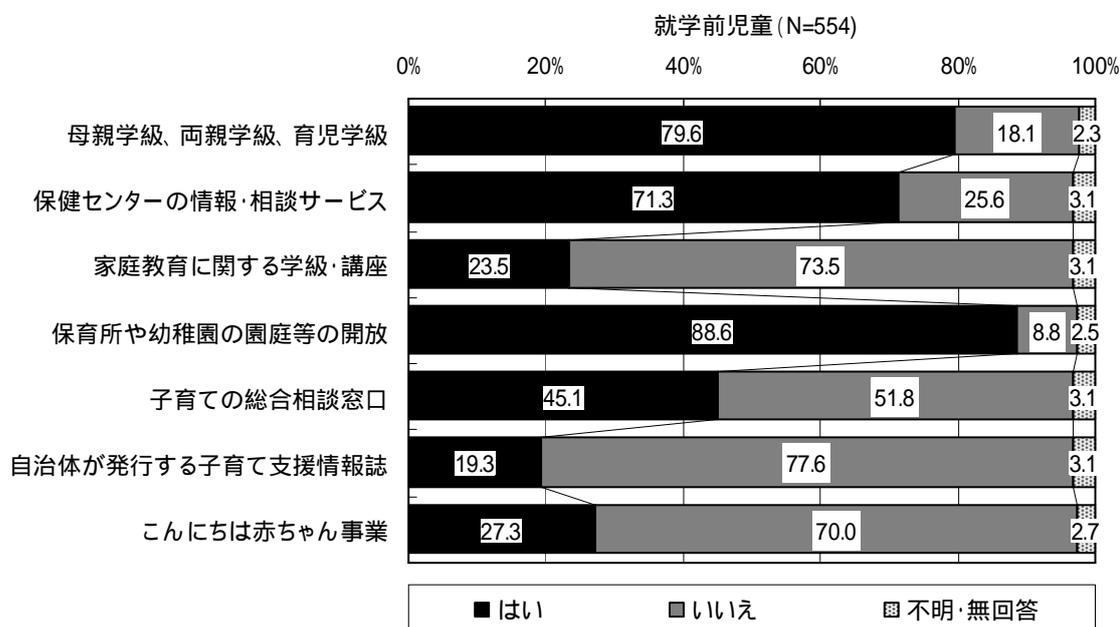
【就学前児童 問21】

就学前児童のみ

知っているか（認知度）

各サービス等の認知度についてみると、『母親学級、両親学級、育児学級』、『保健センターの情報・相談サービス』、『保育所や幼稚園の園庭等の開放』では「はい（知っている）」が7割を超えています。

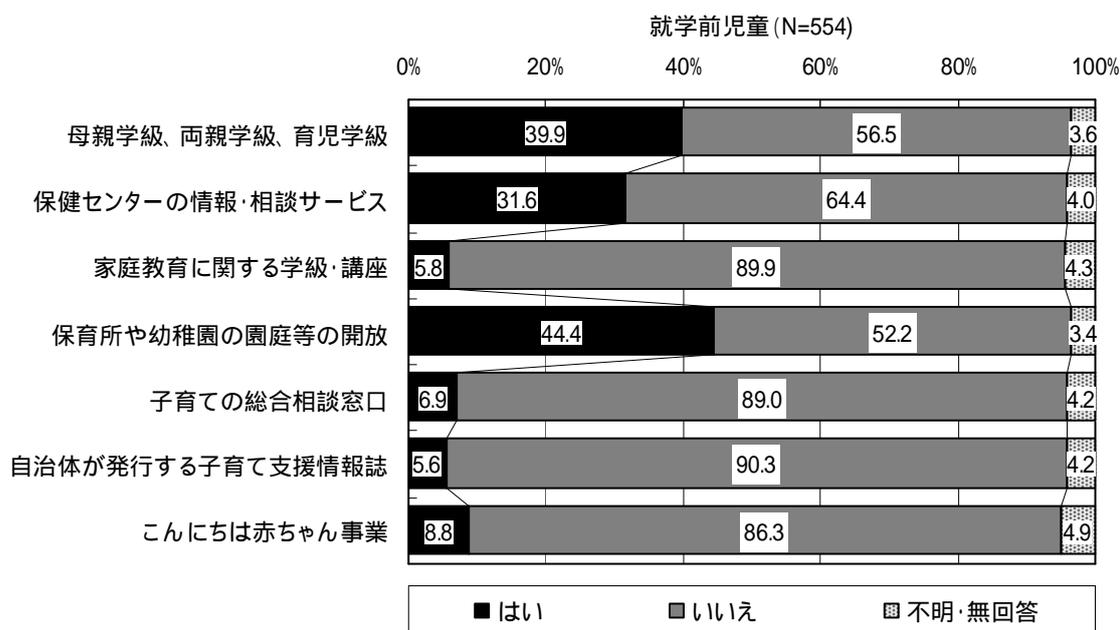
一方、『家庭教育に関する学級・講座』、『自治体が発行する子育て支援情報誌』、『こんにちは赤ちゃん事業』では「いいえ（知らない）」が7割を超えています。



これまで利用したことがあるか（利用度）

各サービス等の利用度についてみると、『母親学級、両親学級、育児学級』、『保健センターの情報・相談サービス』では「はい（これまでに利用したことがある）」が3割を超え、『保育所や幼稚園の園庭等の開放』では4割を超えています。

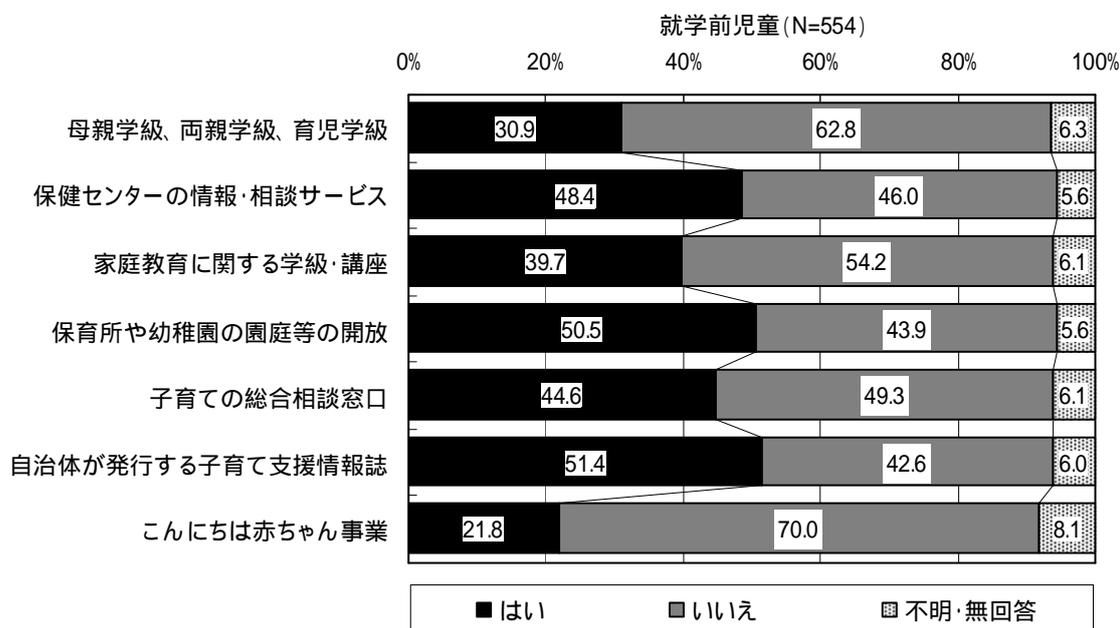
一方、『家庭教育に関する学級・講座』、『子育ての総合相談窓口』、『自治体が発行する子育て支援情報誌』、『こんにちは赤ちゃん事業』では「いいえ（利用したことがない）」が8割を超えています。



今後（必要になった場合）利用したいか（利用意向）

各サービス等の今後の利用意向についてみると、『保健センターの情報・相談サービス』、『保育所や幼稚園の園庭等の開放』、『子育ての総合相談窓口』、『自治体が発行する子育て支援情報誌』では「はい（今後利用したい）」が4割を超えています。

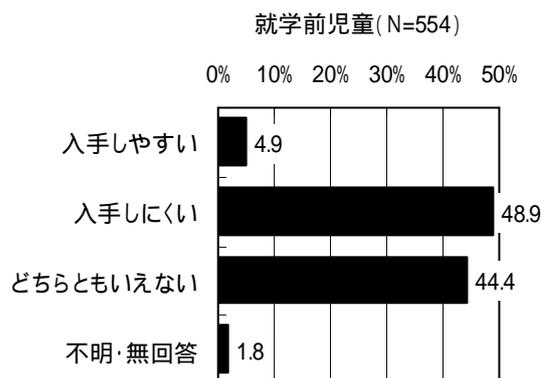
一方、『母親学級、両親学級、育児学級』、『こんにちは赤ちゃん事業』では「いいえ（利用しない）」が6割を超えています。



(2) 支援サービスの情報入手の安易度（単数回答）

【就学前児童 問21-1】

地域子育て支援センターの情報入手の安易度についてみると、「入手しにくい」、「どちらともいえない」がともに4割を超えています。



【小学生児童】

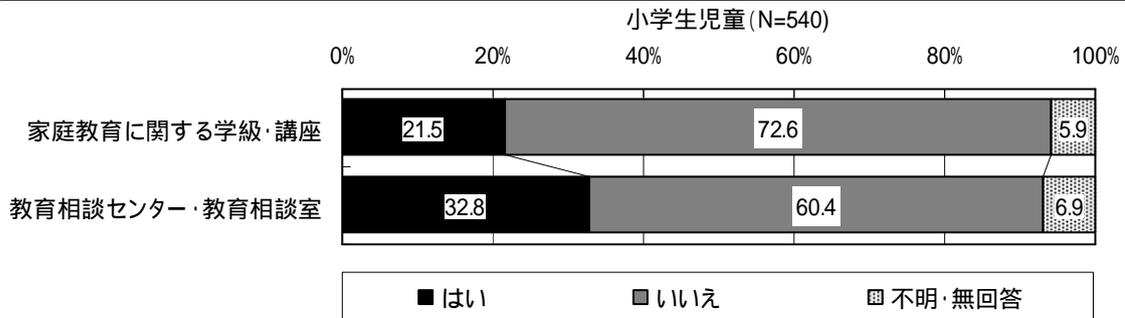
(3) 子育て支援サービスの認知度・利用度・利用意向(単数回答)

【小学生児童 問16】

小学生児童のみ

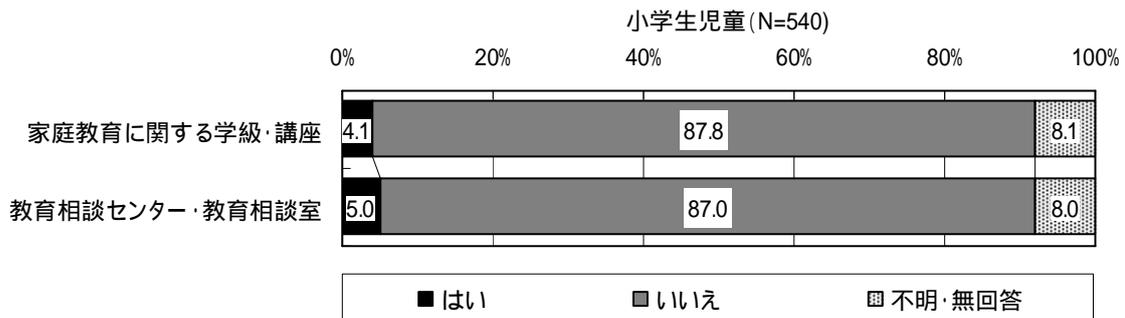
知っているか(認知度)

各サービス等の認知度についてみると、『家庭教育に関する学級・講座』では「はい(知っている)」が21.5%、『教育相談センター・教育相談室』では32.8%となっています。



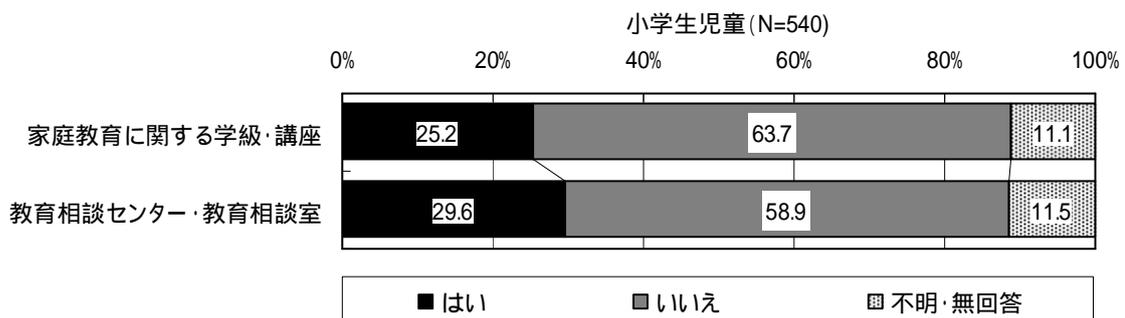
これまで利用したことがあるか(利用度)

各サービス等の利用度についてみると、『家庭教育に関する学級・講座』では「はい(これまでに利用したことがある)」が4.1%、『教育相談センター・教育相談室』では5.0%となっています。



今後(必要になった場合)利用したいか(利用意向)

各サービス等の今後の利用意向についてみると、『家庭教育に関する学級・講座』では「はい(今後利用したい)」が25.2%、『教育相談センター・教育相談室』では29.6%となっています。



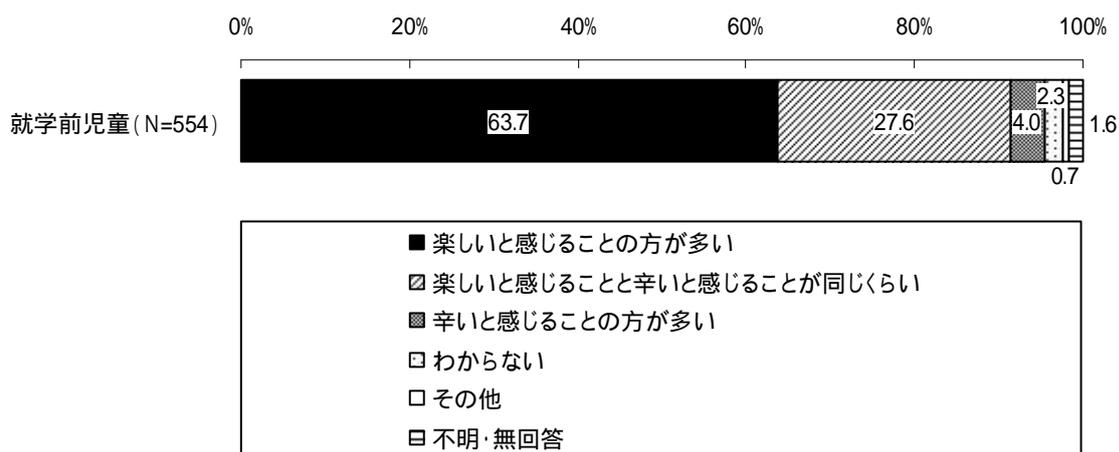
13 子育て全般について

(就学前児童)

(1) 子育てを楽しんでいると感じるか (単数回答)

【就学前児童 問22】

子育てについて感じることで、「楽しいと感じることの方が多」が63.7%と最も高くなっています。

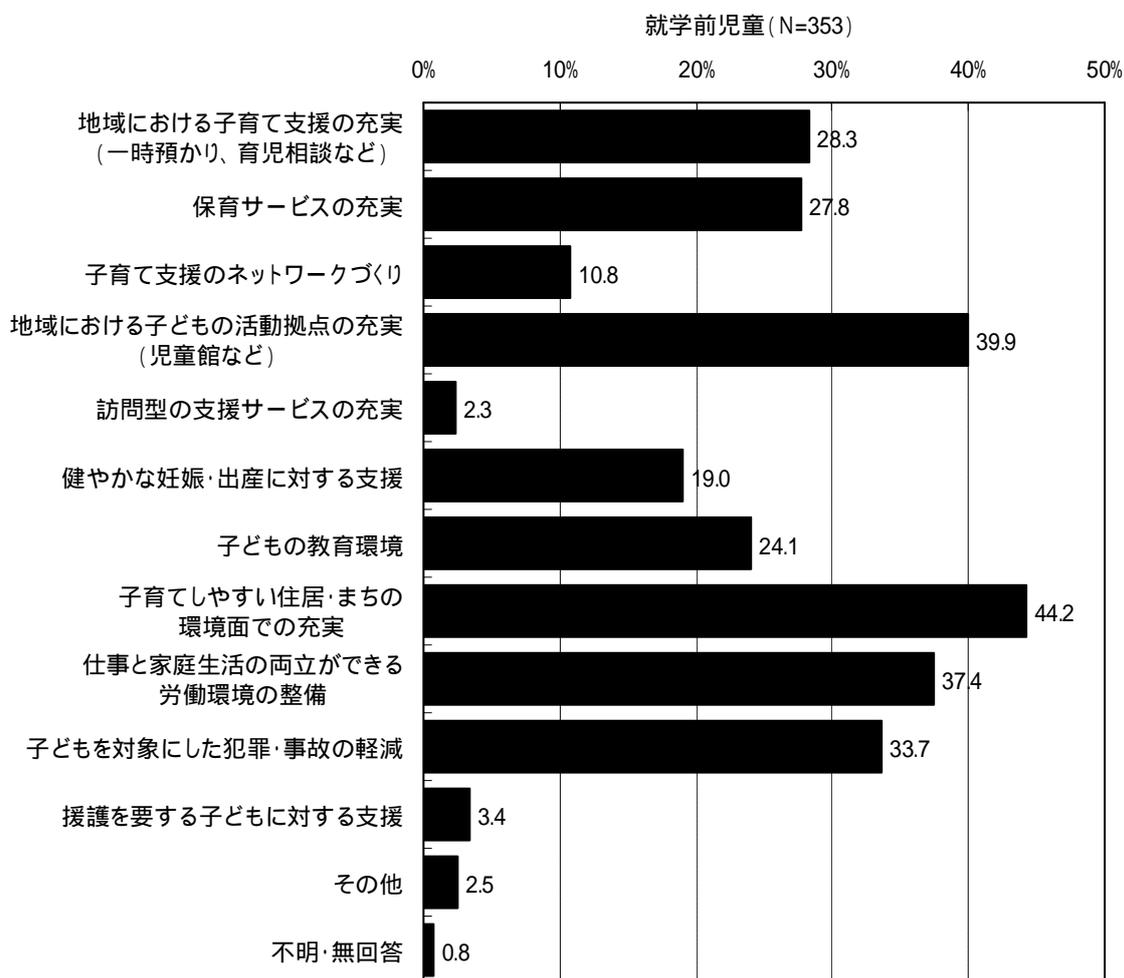


(2) 子育てをする上で有効な支援・対策（複数回答）

【就学前児童 問22-1】

* 「楽しいと感じることの方が多い」と答えたかたのみ

「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が44.2%と最も高くなっています。次いで「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」が39.9%、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が37.4%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が33.7%となっています。

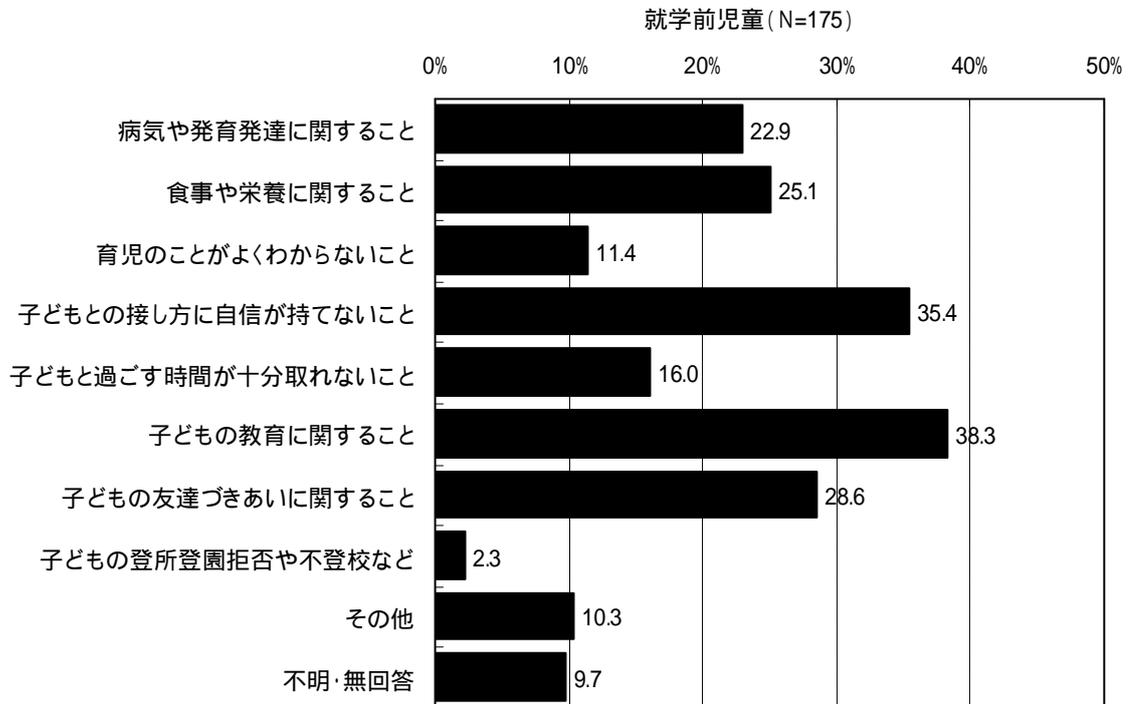


(3) 子育てについての不安や悩み(複数回答)

【就学前児童 問2 2-2】

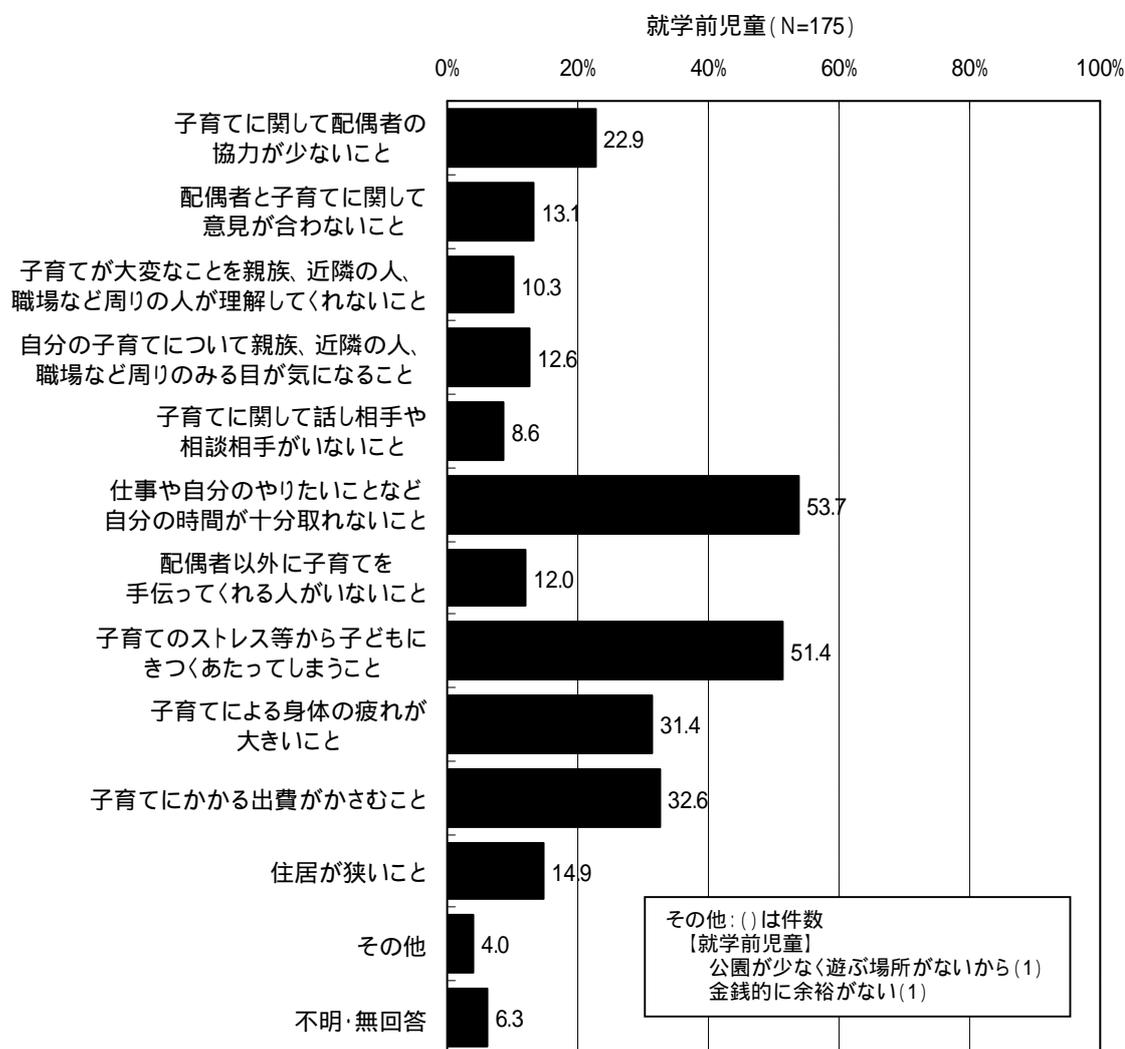
* 「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」または「辛いと感じることが多い」と答えたかたのみ
子どもに関すること

子育てする上で、子どもについて特に不安に思っていることや悩んでいることについてみると、「子どもの教育に関すること」、「子どもとの接し方に自信が持てないこと」が高い項目となっています。



保護者自身に関すること

子育てする上で、保護者について特に不安に思っていることや悩んでいることについてみると、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」、「子育てのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと」が高い項目となっています。

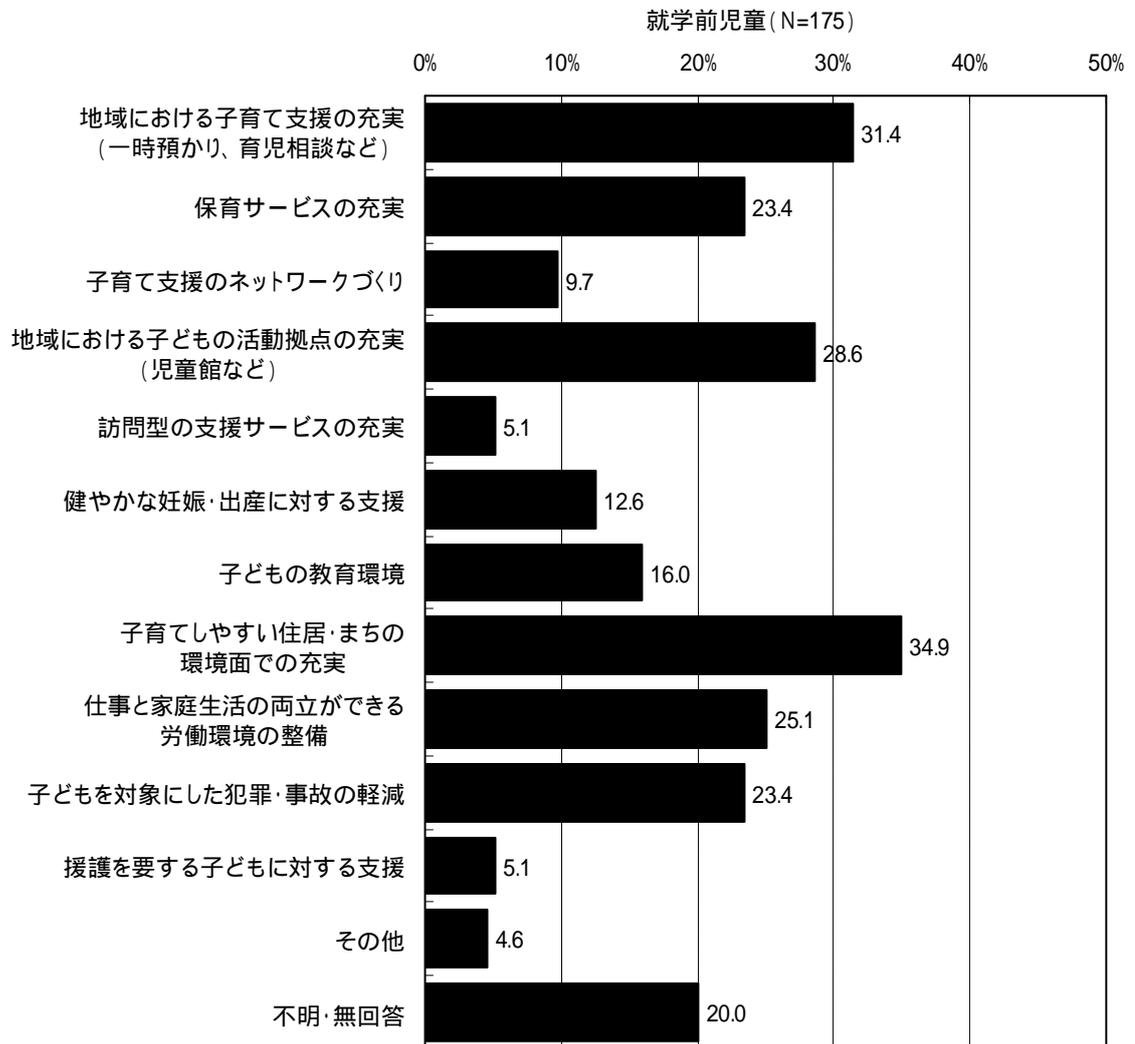


(4) 子育ての辛さを解消する為に必要な支援・対策（複数回答）

* 「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」または「辛いと感じることが多い」と答えたかたのみ

【就学前児童 問22-3】

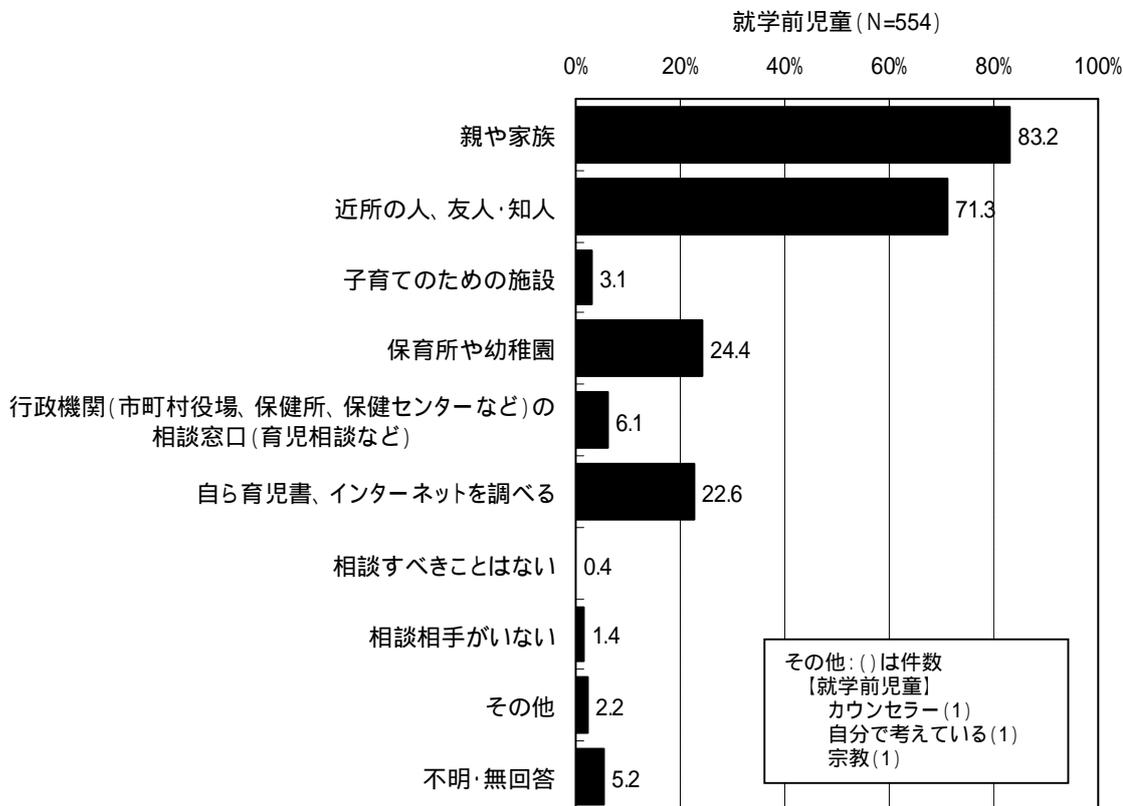
子育ての辛さを解消する為に必要な支援・対策についてみると、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が高い項目となっています。



(5) 子育てについての相談先(複数回答)

【就学前児童 問23】

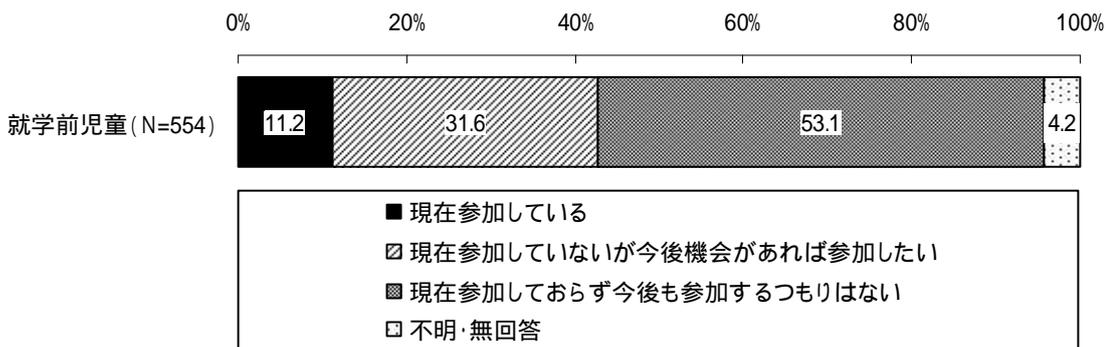
子育てについての相談先についてみると、「親や家族」、「近所の人、友人・知人」が高い項目となっています。



(6) 子育てサークルなどの自主活動への参加(単数回答)

【就学前児童 問24】

子育てサークルなどの自主活動への参加についてみると、「現在参加している」が11.2%、「現在参加していないが今後機会があれば参加したい」が31.6%となっており、「現在参加しておらず今後も参加するつもりはない」が53.1%と最も高くなっています。

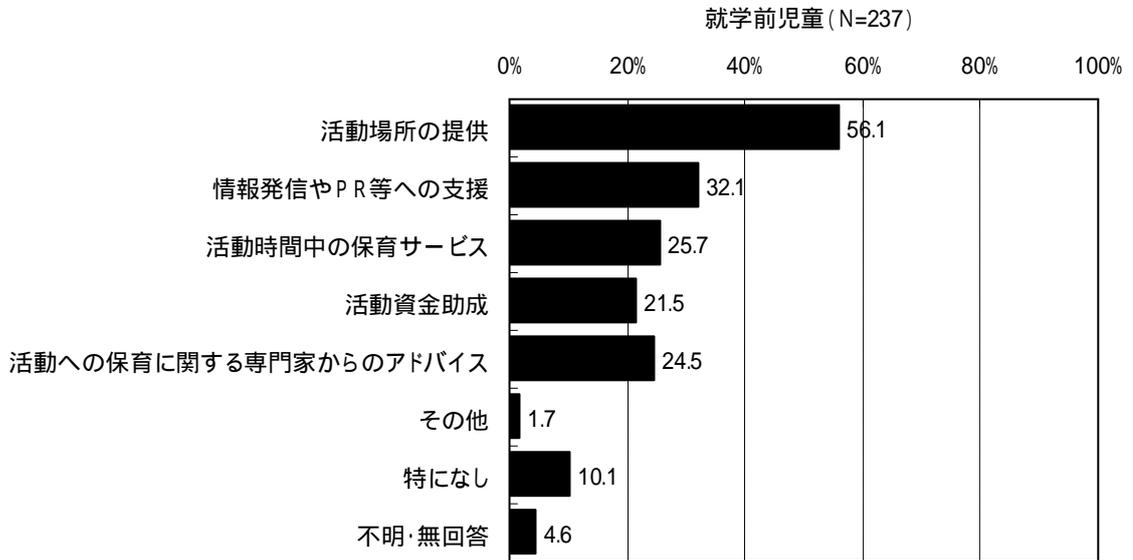


【自主活動をするにあたり行政に行ってほしい支援】(複数回答)

【就学前児童 問24-1】

* 「現在参加している」または「現在参加していないが、今後機会があれば参加したい」と答えたかたのみ

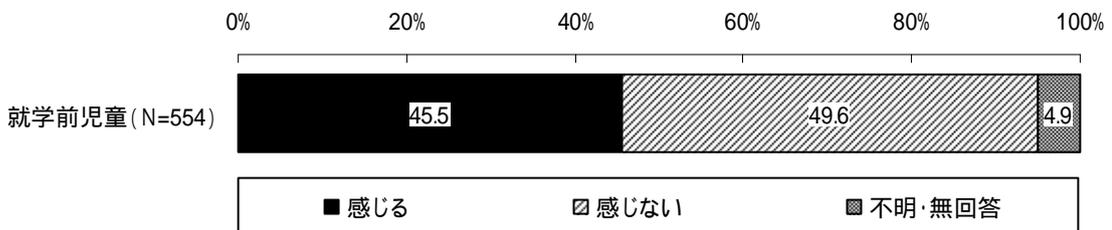
自主活動をするにあたり行政に行ってほしい支援についてみると、「活動場所の提供」が56.1%と最も高くなっており、次いで「情報発信やPR等への支援」が32.1%となっています。



(7) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか (単数回答)

【就学前児童 問25】

子育てが地域の人に支えられていると感じるかについてみると、「感じる」が45.5%となっており、「感じない」が49.6%となっています。

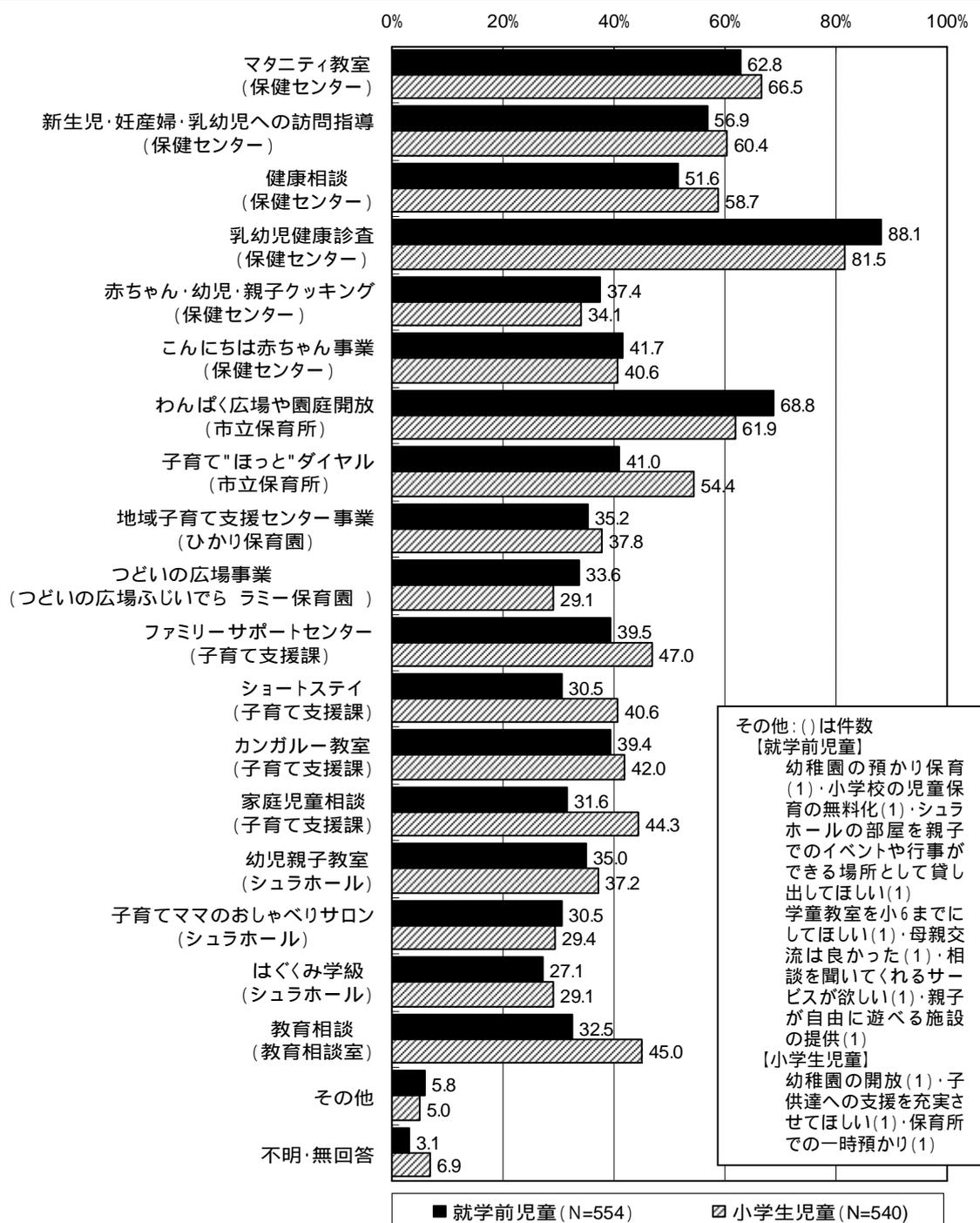


14 藤井寺市の事業や取り組み

(1) 藤井寺市での子育て支援でもっと力を入れてほしいもの(複数回答)

【就学前児童 問26：小学生児童 問17】

藤井寺市での子育て支援でもっと力を入れてほしいものについてみると、『乳幼児健康診査』が就学前児童は88.1%、小学生児童は81.5%とともに最も高く、次いで『マタニティ教室(保健センター)』、『わんぱく広場や園庭開放(市立保育所)』が就学前児童、小学生児童ともに6割を超えています。

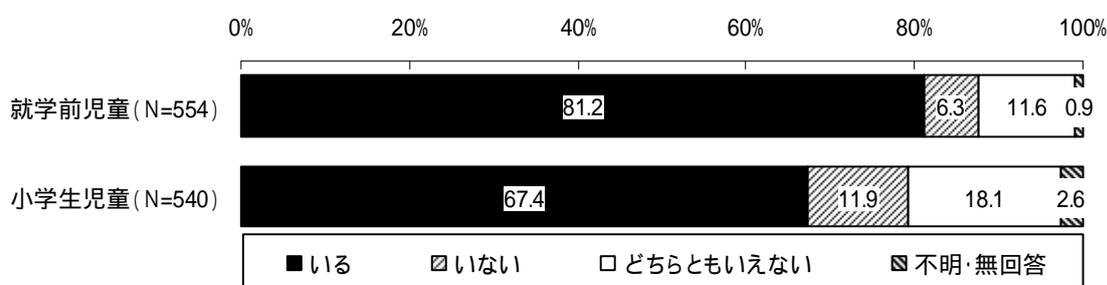


15 子どもの健康について

(1) 子どものかかりつけの医師の有無（単数回答）

【就学前児童 問27：小学生児童 問18】

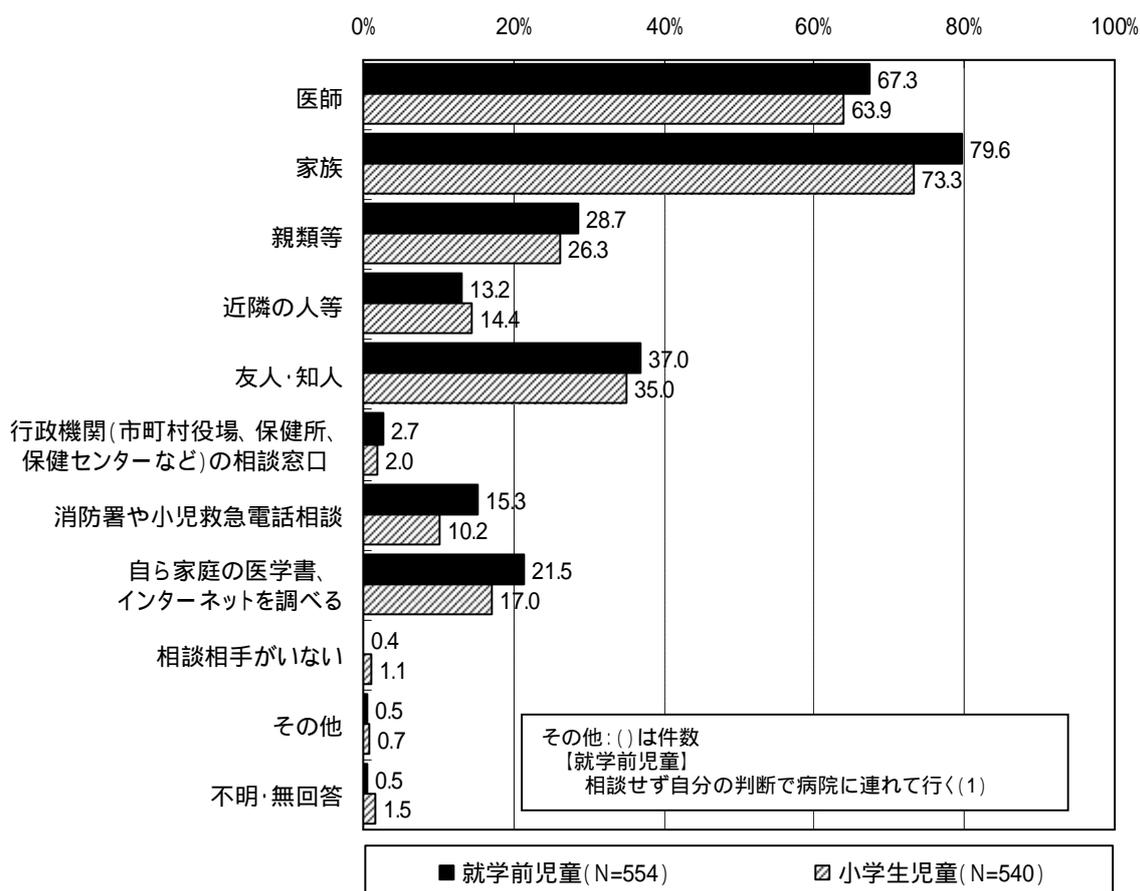
子どものかかりつけの医師の有無についてみると、かかりつけの医師が「いる」と答えたかたが、就学前児童で81.2%、小学生児童で67.4%となっています。



(2) 子どもがケガや急病のときの相談先（複数回答）

【就学前児童 問28：小学生児童 問19】

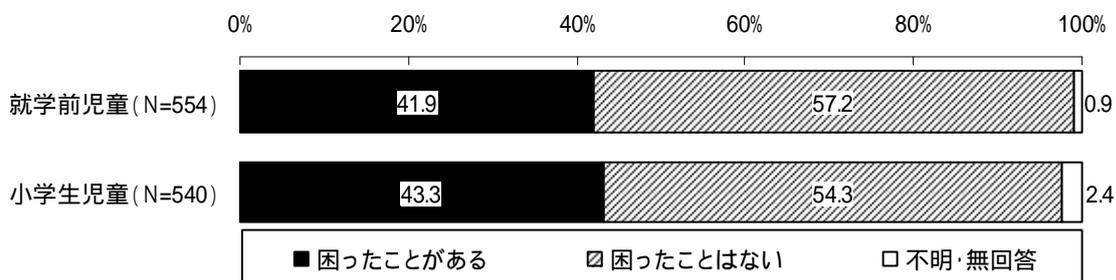
子どもがケガや急病のときの相談先についてみると、「家族」が就学前児童、小学生児童ともに7割を超えており、次いで「医師」が共通して高い項目となっています。



(3) すぐ見てくれる医療機関が見つからず困ったこと(単数回答)

【就学前児童 問29：小学生児童 問20】

すぐ見てくれる医療機関が見つからず困ったことについてみると、就学前児童、小学生児童ともに4割を超えたかたが「困ったことがある」と答えています。

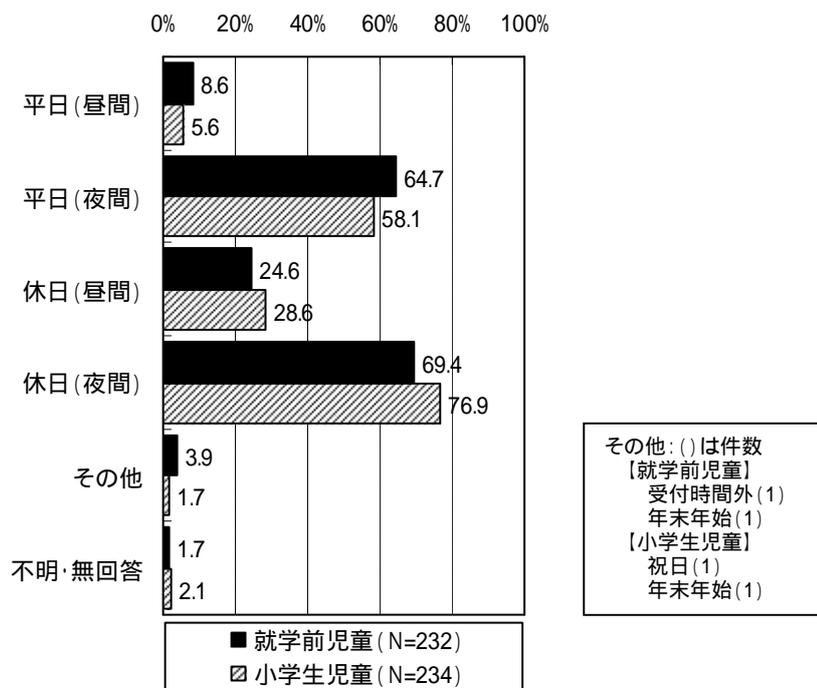


【困ったのはいつか】(複数回答)

【就学前児童 問29-1：小学生児童 問20-1】

すぐ見てくれる医療機関が見つからず困ったことがあると答えたかたのみ

困った時期についてみると、「休日(夜間)」が共通して高く、次いで「平日(夜間)」となっています。

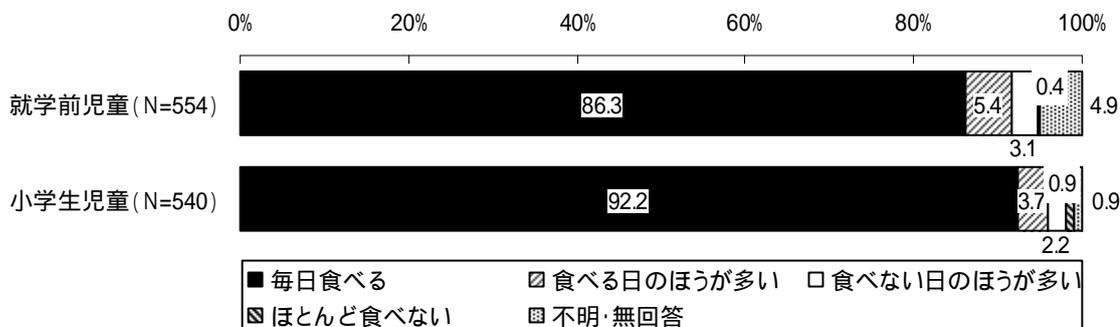


16 子どもの食生活について

(1) 朝ごはんを食べているか (単数回答)

【就学前児童 問30・A：小学生児童 問21・A】

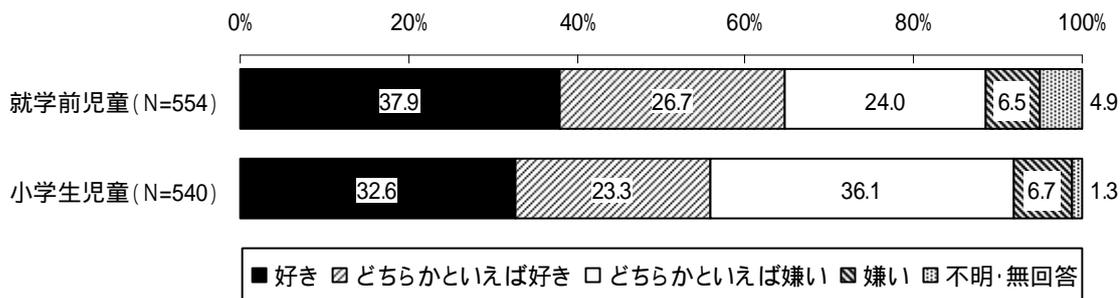
朝ごはんを食べているかについてみると、「毎日食べる」と答えたかたが就学前児童では86.3%、小学生児童では92.2%と高い割合を示しています。



(2) 野菜は好きか (単数回答)

【就学前児童 問30・B：小学生児童 問21・B】

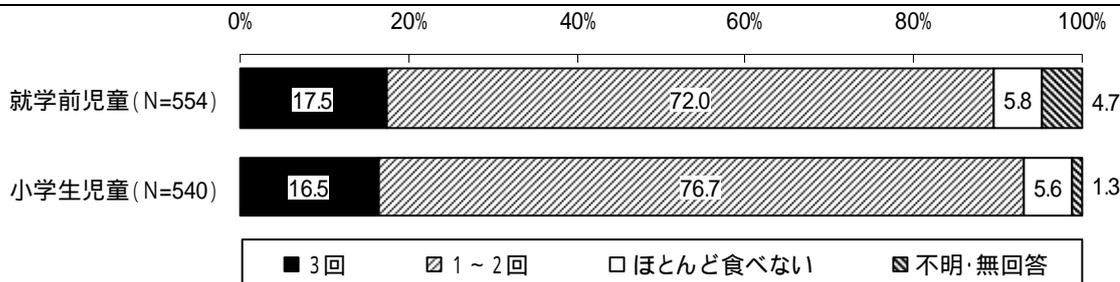
野菜は好きかについてみると、「好き」、「どちらかといえば好き」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに半数を超えています。



(3) 野菜は1日何回食べるか (単数回答)

【就学前児童 問30・C：小学生児童 問21・C】

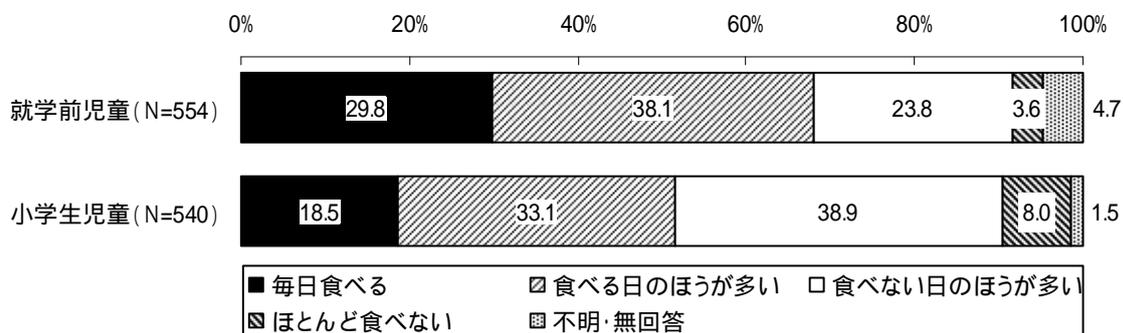
野菜は1日何回食べるかについてみると、「1~2回」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに7割を超えて最も高くなっています。



(4) 果物は食べるか (単数回答)

【就学前児童 問30・D：小学生児童 問21・D】

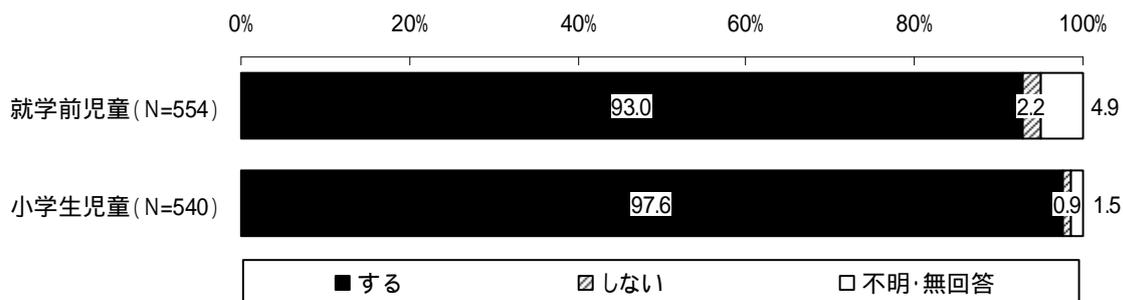
果物は食べるかについてみると、「毎日食べる」、「食べる日のほうが多い」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに半数を超えています。



(5) 1日1回は家族と一緒に食事をするか (単数回答)

【就学前児童 問30・E：小学生児童 問21・E】

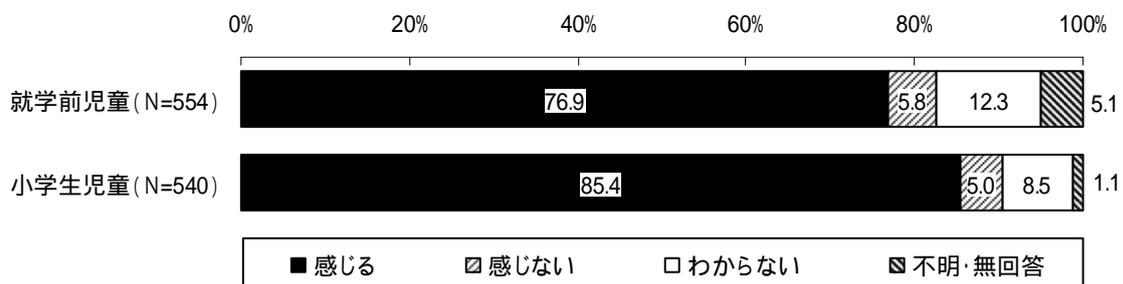
1日1回は家族と一緒に食事をするかについてみると、「する」と答えたかたが就学前児童、小学生児童ともに9割を超え、高い割合を示しています。



(6) 健康的な食習慣を身につけているか (単数回答)

【就学前児童 問30-1：小学生児童 問21-1】

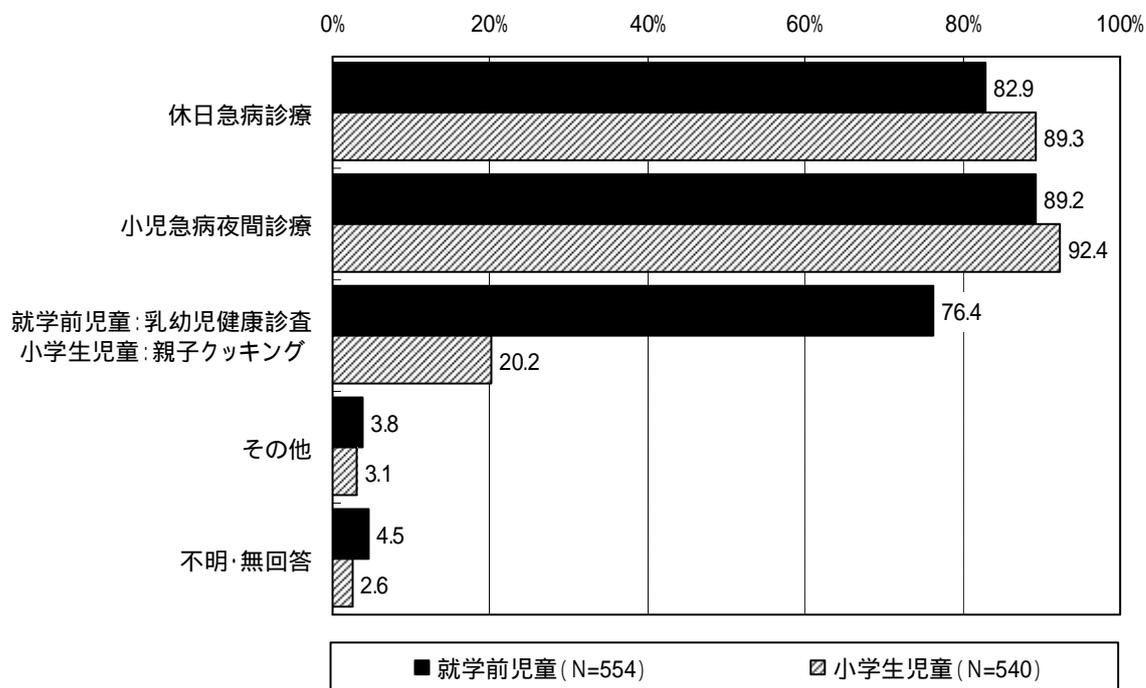
健康的な食習慣を身につけているかについてみると、「感じる」と答えたかたが就学前児童では76.9%、小学生児童では85.4%と高い割合を示しています。



(7) 子どもの健康の為に必要・効果があると思われる事業・取り組み(複数回答)

【就学前児童 問31:小学生児童 問22】

子どもの健康の為に必要・効果があると思われる事業・取り組みについてみると「休日急病診療」、「小児急病夜間診療」ともに8割を超え高くなっています。
 (3番目の回答選択肢は就学前児童が「乳幼児健康診査」、小学生児童が「親子クッキング」)



その他: ()は件数
 【就学前児童】
 共働きで広報などを市役所に取りにいけないので子供に関する事柄のメールサービスやチラシなどを届けてほしい(1)
 夜間小児救急(八尾、東大阪の病院)に行く際、車を持ってない人がタクシーを公費で利用できる(1)
 休日診療に、眼科、耳鼻科を(1)
 【小学生児童】
 子供達が伸び伸びできる広場(1)
 子供の運動能力向上(1)
 サービスを受けられる人間は限られている(1)
 予防接種の助成強化(1)

17 健やかに成長する為の取り組みについて

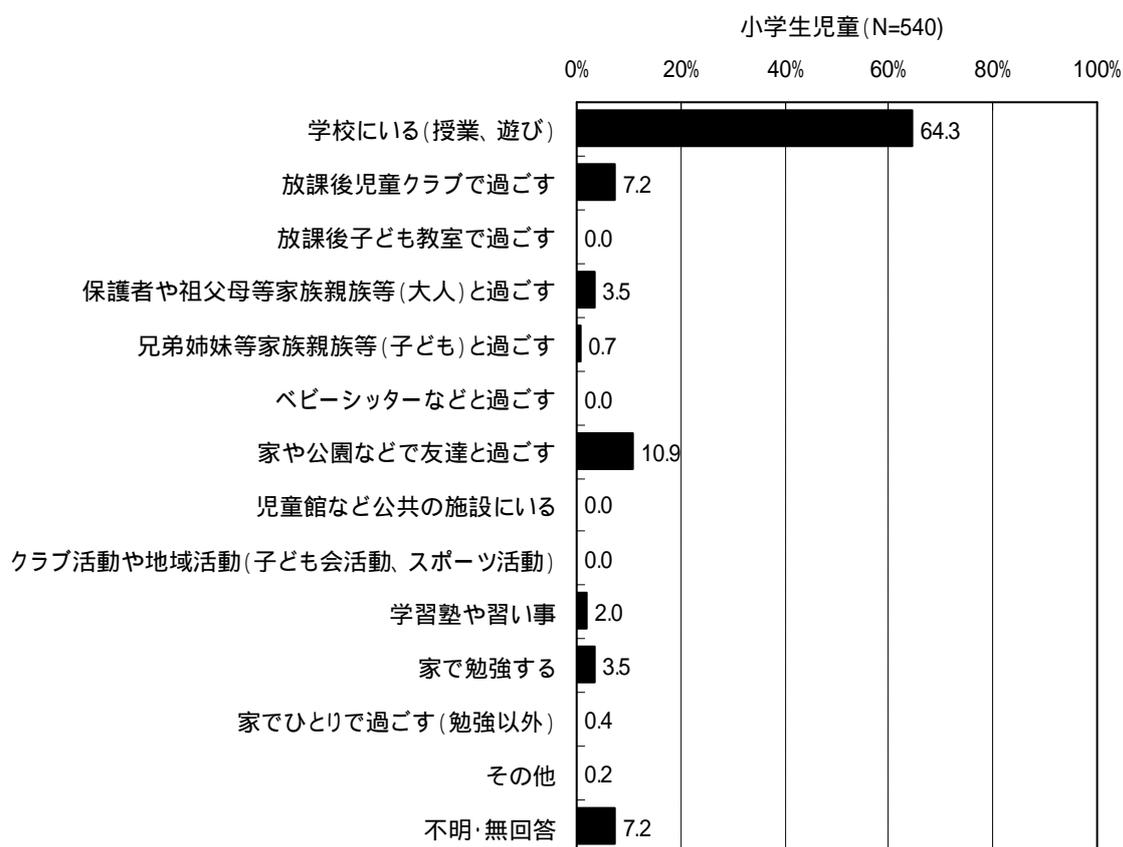
(小学生児童)

(1) 平日の放課後の過ごし方

14～16時(単数回答)

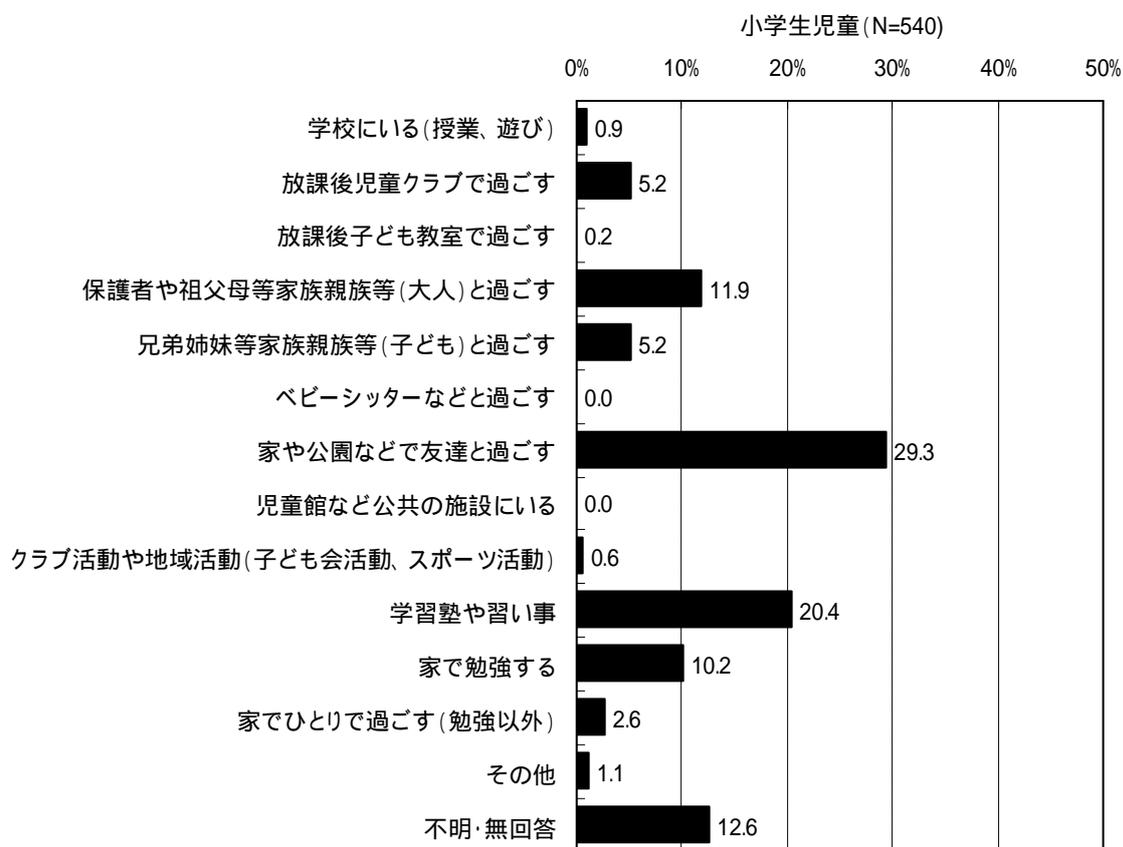
【小学生児童 問23】

平日の放課後の過ごし方の14～16時についてみると、「学校にいる」が64.3%と最も高くなっています。



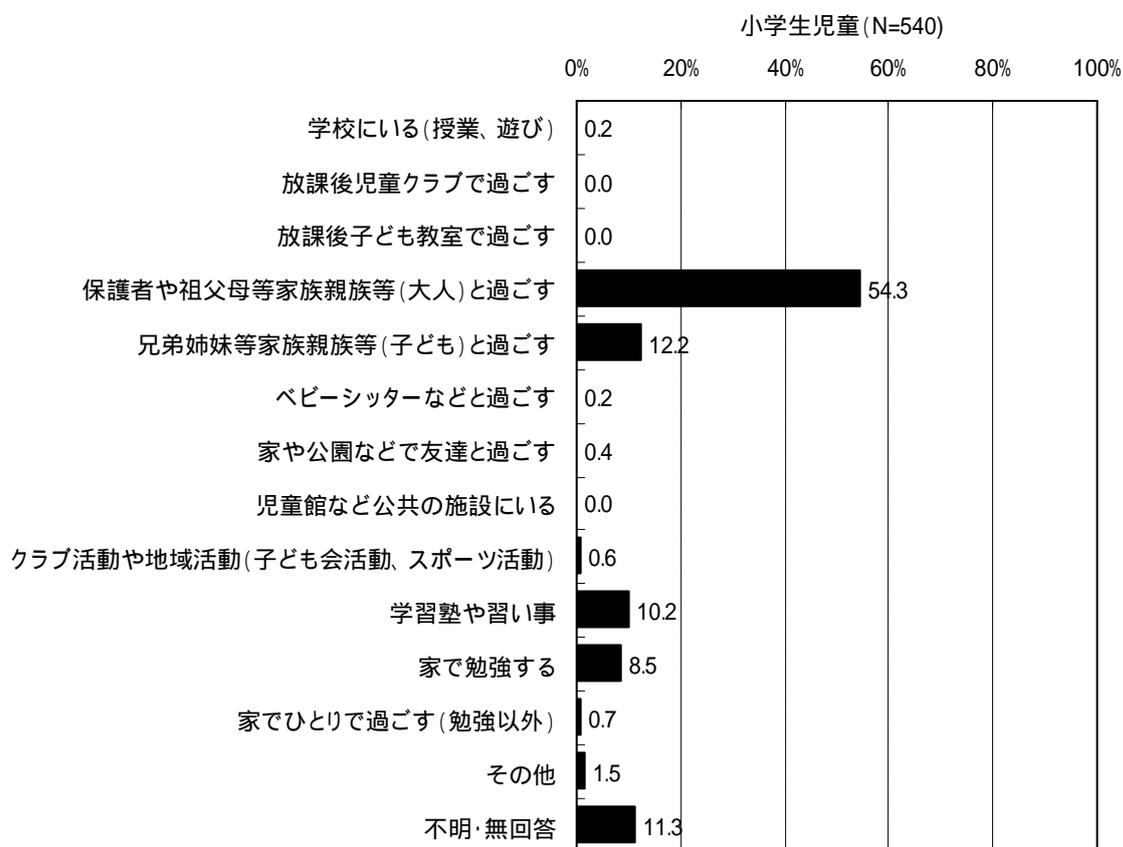
16～18時（単数回答）

平日の放課後の過ごし方の16～18時についてみると、「家や公園などで友達と過ごす」が29.3%と最も高くなっています。次いで「学習塾や習い事」が20.4%となっています。



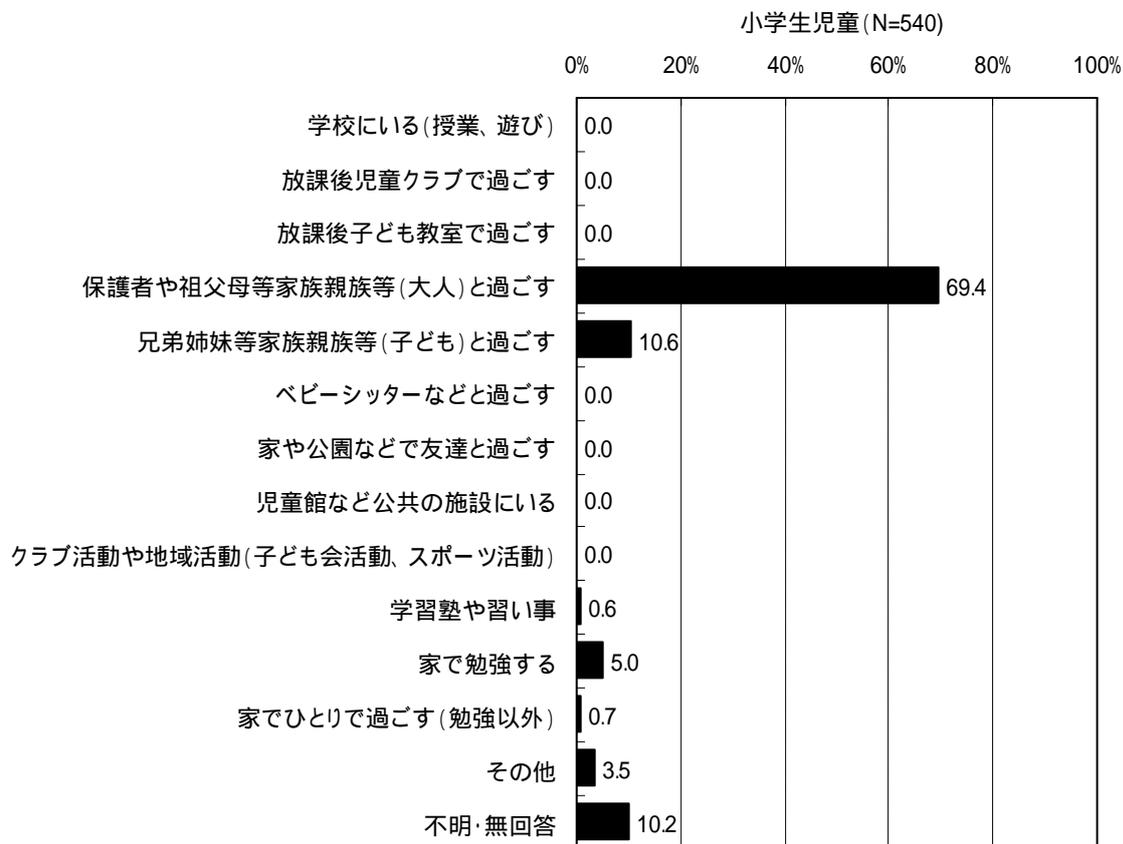
18～20時（単数回答）

平日の放課後の過ごし方の18～20時についてみると、「保護者や祖父母等家族親族等（大人）と過ごす」が54.3%と最も高くなっています。



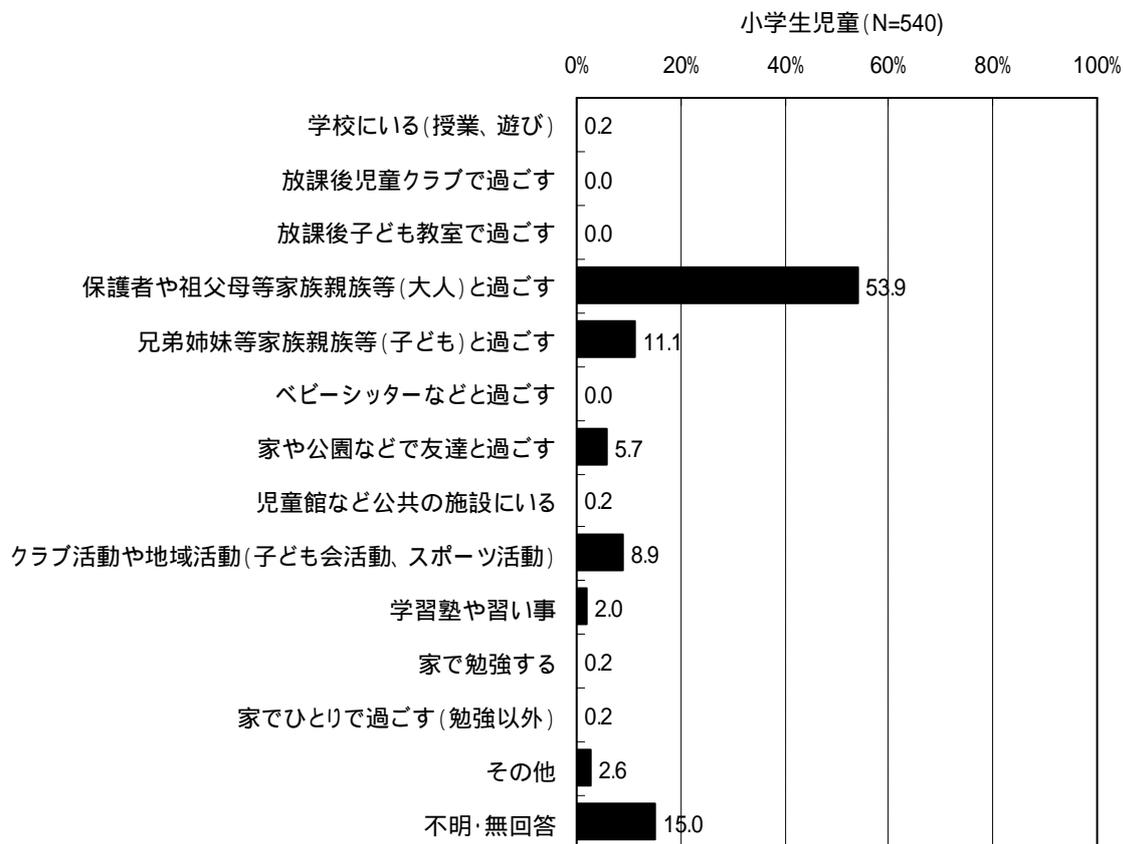
20 時以降（単数回答）

平日の放課後の過ごし方の 20 時以降についてみると、「保護者や祖父母等家族親族等（大人）と過ごす」が 69.4%と最も高くなっています。



(2) 休日の過ごし方 (単数回答)

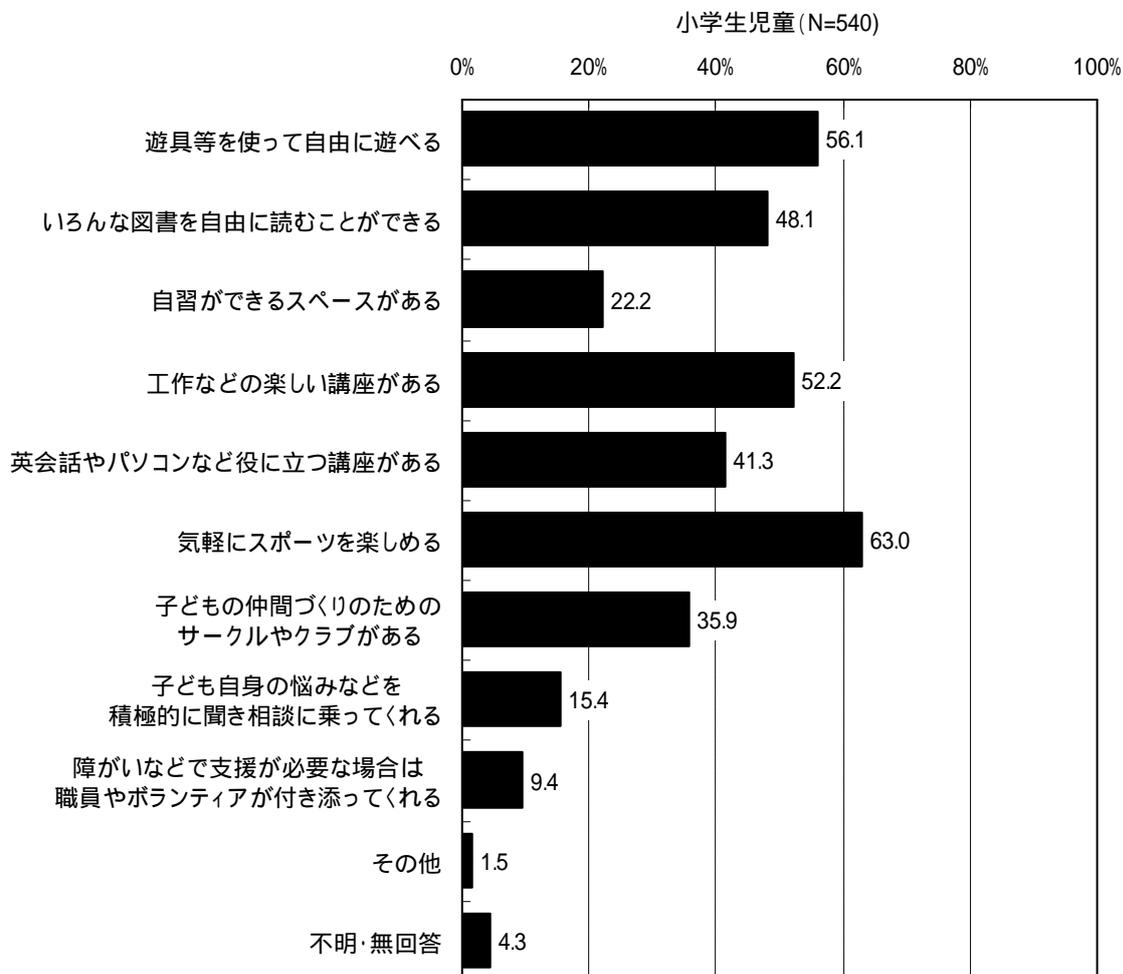
休日の過ごし方についてみると、「保護者や祖父母等家族親族等(大人)と過ごす」が53.9%と最も高くなっています。



(3) 公共施設での企画やサービスの希望(複数回答)

【小学生児童 問24】

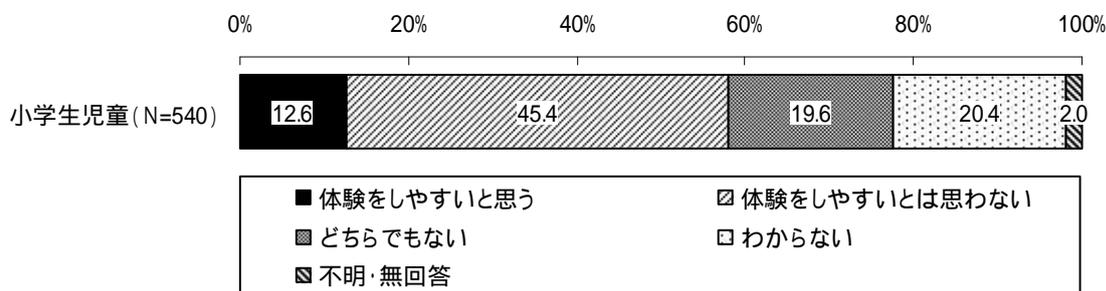
公共施設での企画やサービスの希望についてみると、「気軽にスポーツを楽しめる」が63.0%と最も高くなっており、次いで「遊具等を使って自由に遊べる」が56.1%、「工作などの楽しい講座がある」が52.2%となっています。



(4) 自然・社会・文化などの体験をしやすい環境か(単数回答)

【小学生児童 問25】

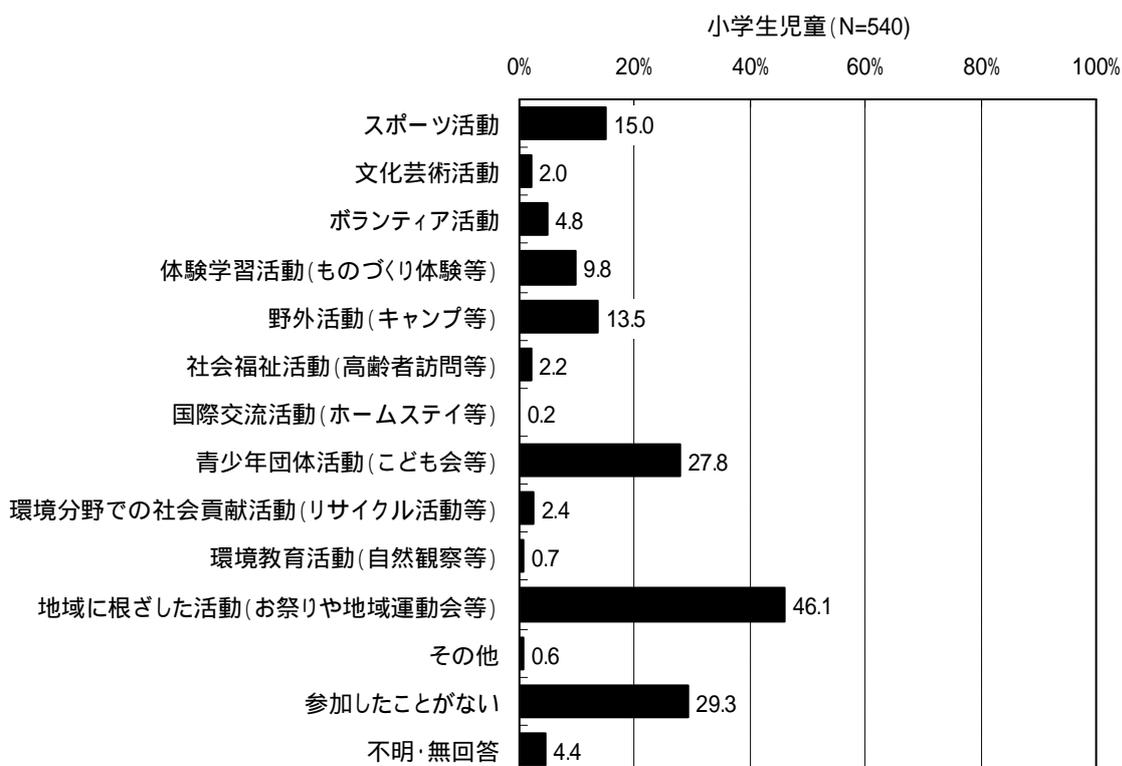
自然・社会・文化などの体験をしやすい環境かについてみると、「体験をしやすいと思う」が12.6%、「体験をしやすいとは思わない」が45.4%となっています。



(5) 参加したことがある自然・社会・文化活動(複数回答)

【小学生児童 問26】

参加したことがある自然・社会・文化活動についてみると、「地域に根ざした活動(お祭りや地域運動会等)」が46.1%と最も高く、次いで「参加したことがない」が29.3%、「青少年団体活動(子ども会等)」が27.8%となっています。

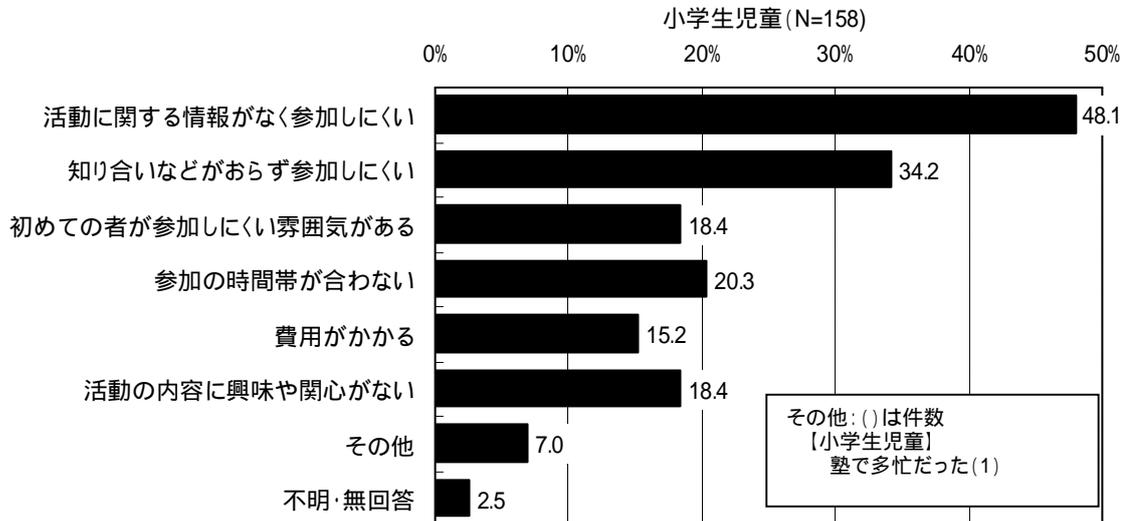


【自然・社会・文化活動に参加していない理由】(複数回答)

* 「参加したことがない」と答えたかたのみ

【小学生児童 問26-1】

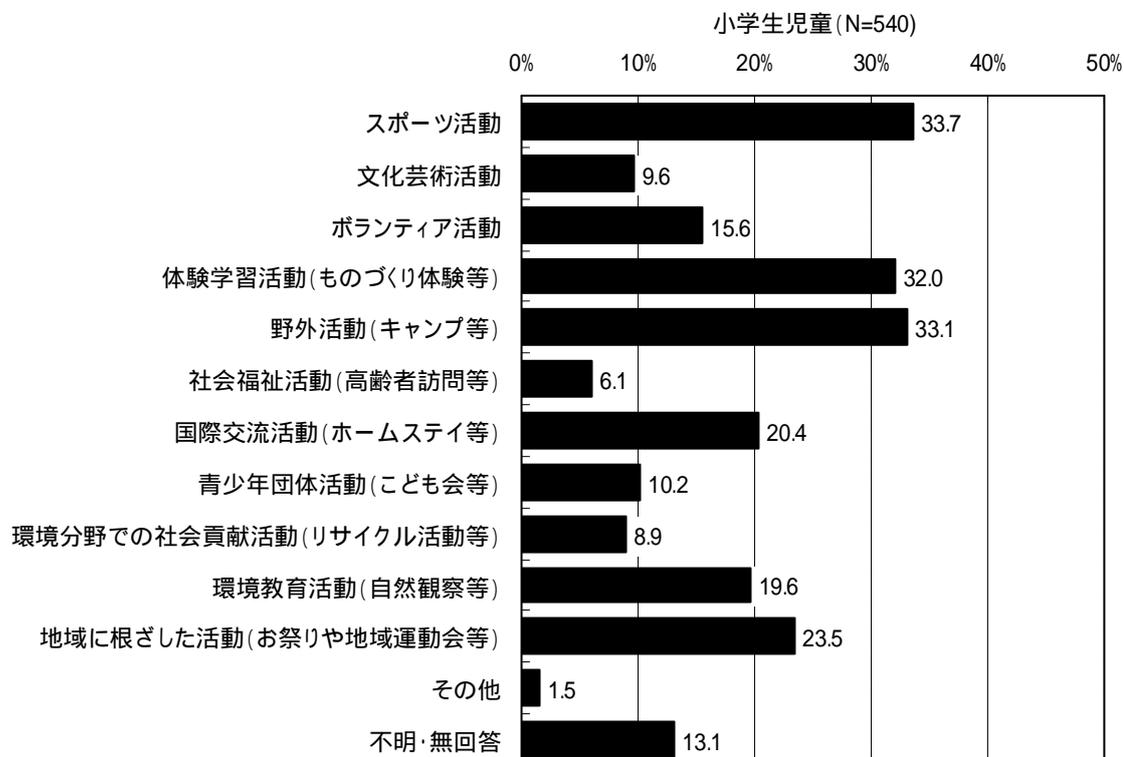
自然・社会・文化活動に参加していない理由についてみると、「活動に関する情報がなく参加しにくい」が48.1%と最も高く、次いで「知り合いなどがおらず参加しにくい」が34.2%、「参加の時間帯が合わない」が20.3%となっています。



(6) 今後参加したいと思う自然・社会・文化活動(複数回答)

【小学生児童 問26-2】

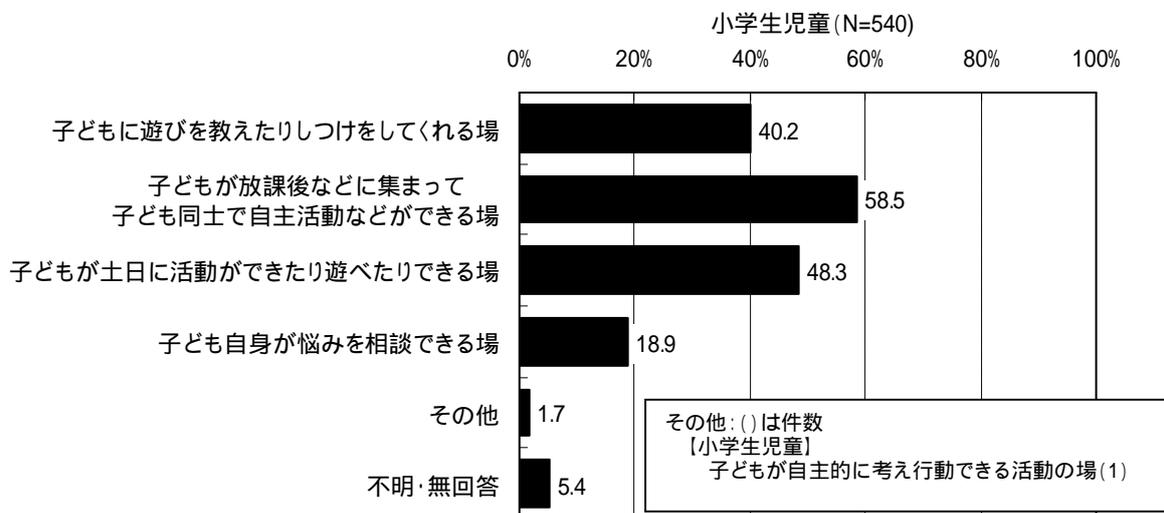
今後参加したいと思う自然・社会・文化活動についてみると、「スポーツ活動」が33.7%と最も高く、次いで「野外活動(キャンプ等)」が33.1%、「体験学習活動(ものづくり体験等)」が32.0%となっています。



(7) 子ども同士が交流等を行うことのできる場についての希望(複数回答)

【小学生児童 問27】

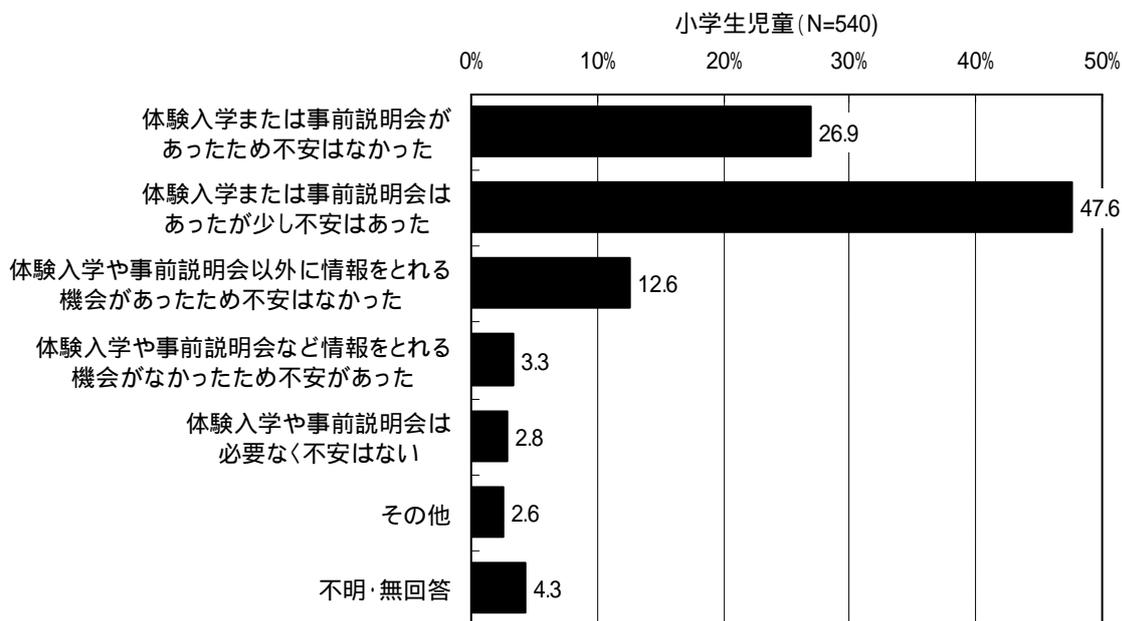
子ども同士が交流等を行うことのできる場についての希望についてみると、「子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主活動などができる場」が58.5%と最も高く、次いで「子どもが土日に活動ができたり遊べたりできる場」が48.3%、「子どもに遊びを教えたりしつけをしてくれる場」が40.2%となっています。



(8) 小学校に入学する際の不安 (単数回答)

【小学生児童 問 2 8】

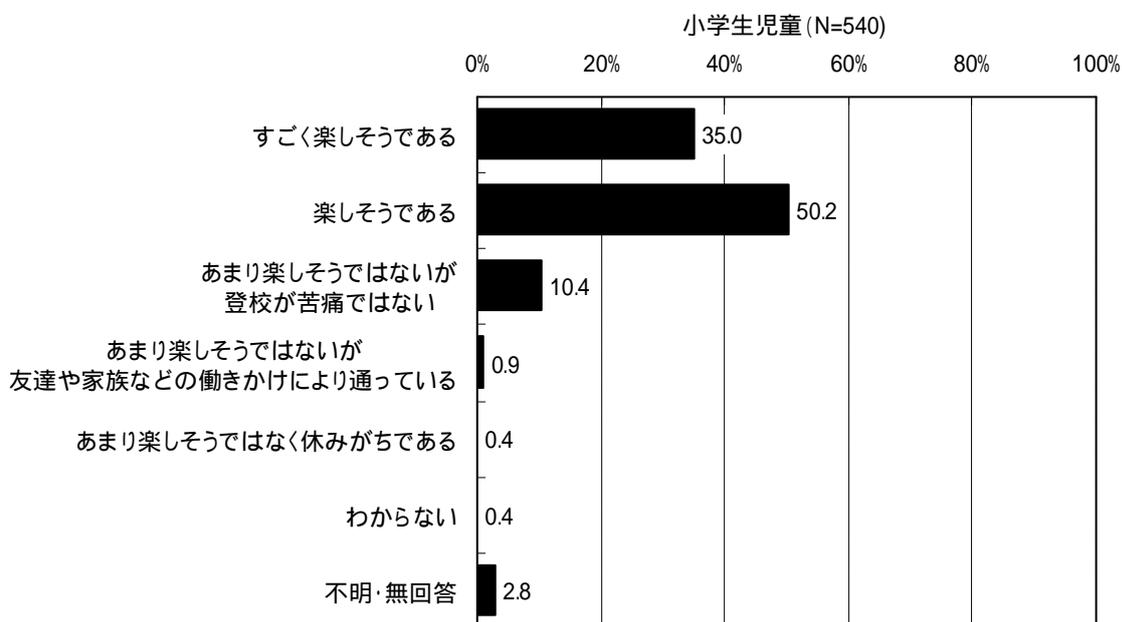
小学校に入学する際の不安についてみると、「体験入学または事前説明会はあったが少し不安はあった」が 47.6%と最も高く、次いで「体験入学または事前説明会があったため不安はなかった」が 26.9%、「体験入学や事前説明会以外に情報をとれる機会があったため不安はなかった」が 12.6%となっています。



(9) 子どもは小学校に行くのが楽しそうか (単数回答)

【小学生児童 問 2 9】

子どもが小学校へ行っている状況についてみると、「すごく楽しそうである」が 50.2%と最も高く、次いで「楽しそうである」が 35.0%となっています。



18 子育てを支援する生活環境の整備について

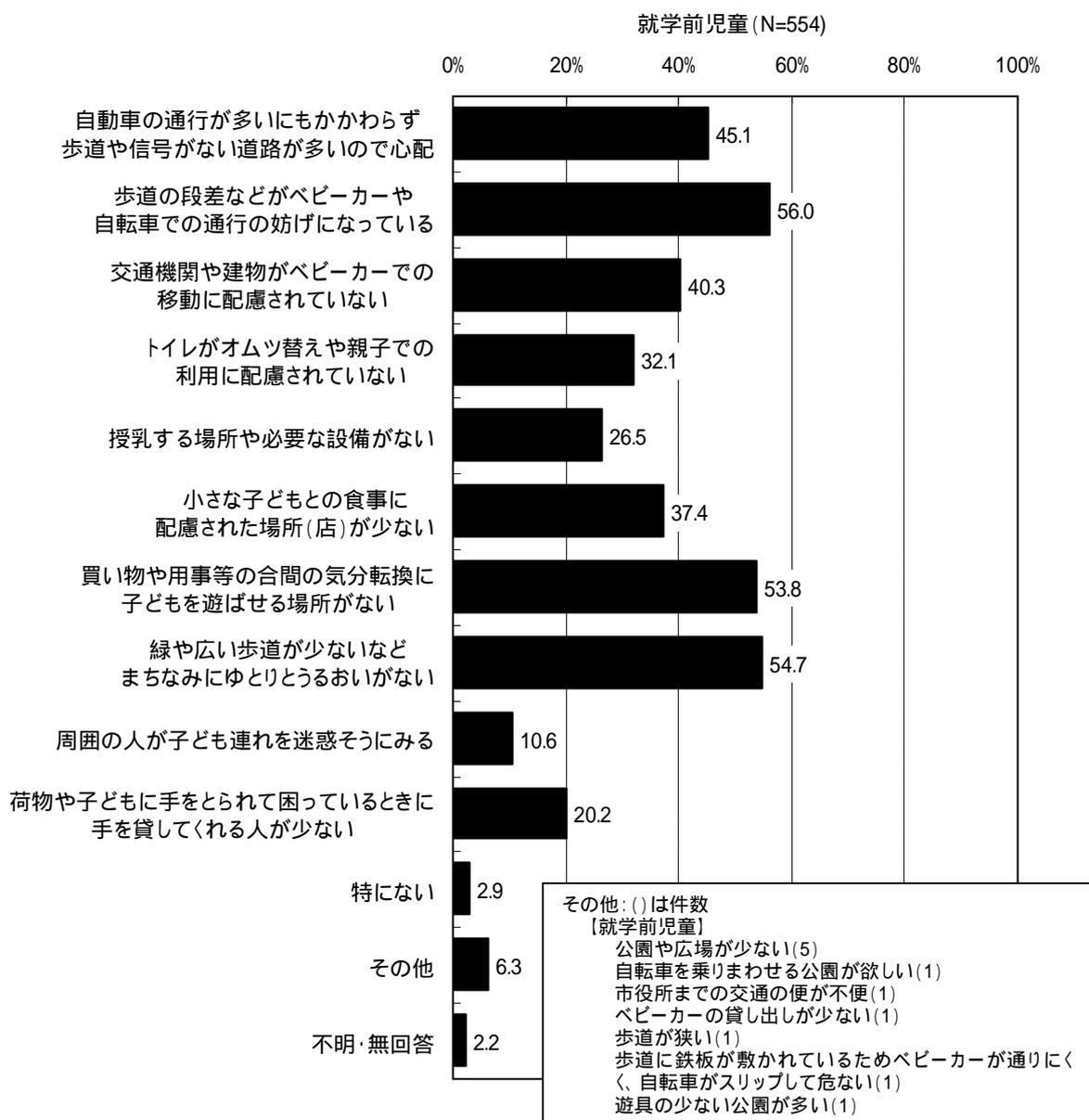
【就学前児童】

(1) 外出する際困ったこと(複数回答)

【就学前児童 問32】

就学前児童のみ

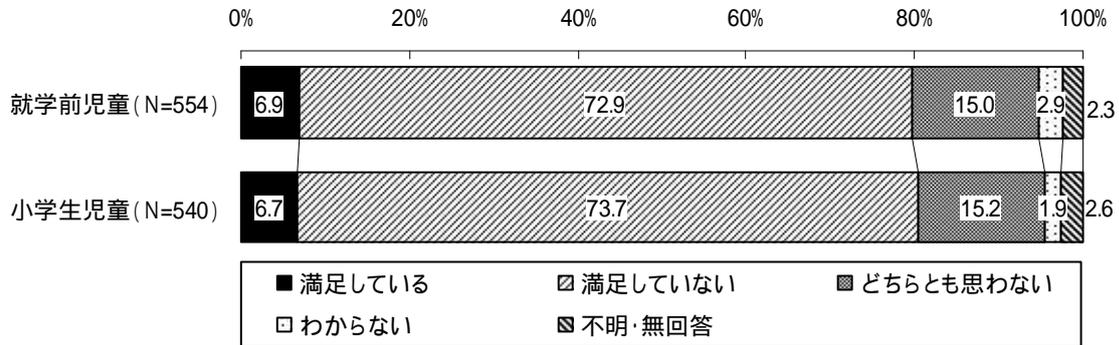
就学前児童において外出の際に困ったことについてみると、「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」が56.0%と最も高く、次いで「緑や広い歩道が少ないなどまちなみにゆとりとうるおいがない」が54.7%、「買い物や用事等の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が53.8%となっています。



(2) 地域の遊び場における満足度 (単数回答)

【就学前児童 問33 : 小学生児童 問30】

地域の遊び場における満足度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「満足している」が1割未満、「満足していない」が7割を超えています。

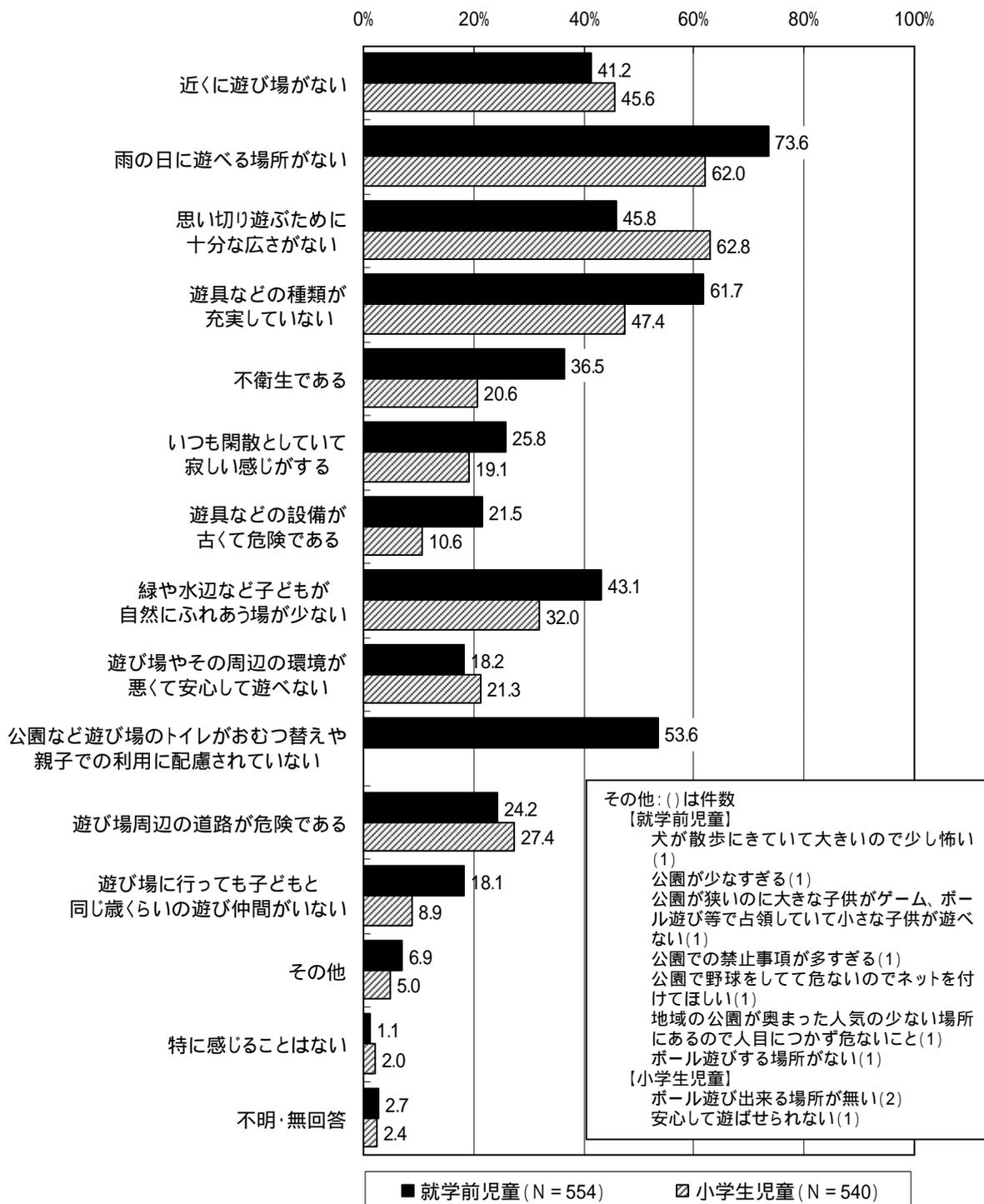


(3) 地域の遊び場について日頃感じること(複数回答)

【就学前児童 問34：小学生児童 問31】

地域の遊び場について日頃感じることについてみると、就学前児童、小学生児童ともに「雨の日に遊べる場所がない」、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」、「遊具などの種類が充実していない」が高い項目となっています。

(「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」の選択肢は、就学前児童のみ)



19 子どもの安全を確保する為の取り組みについて

(1) 子どもの安全を確保する為の取り組みについて(単数回答)

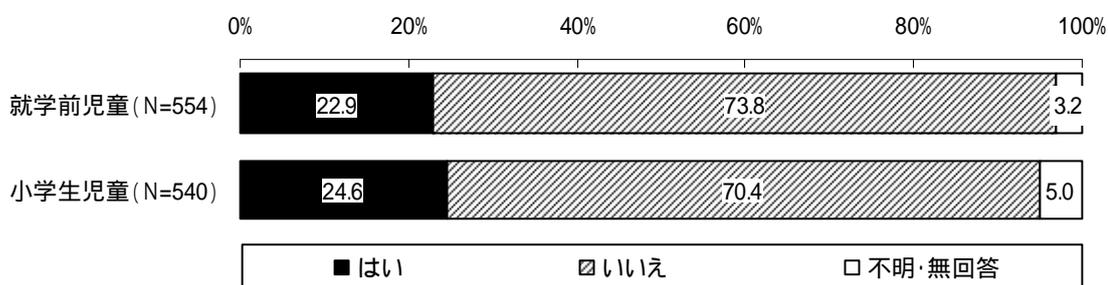
【就学前児童 問35：小学生児童 問32】

知っているか(認知度)

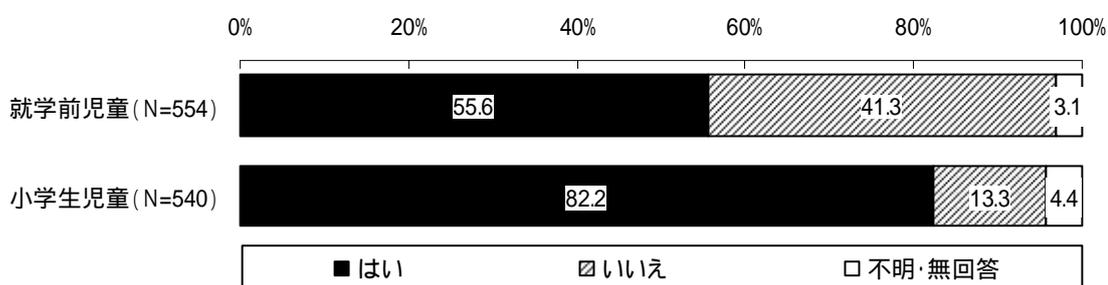
各サービス等の認知度についてみると、就学前児童では「はい(知っている)」が『青色回転灯パトロール事業』で22.9%、『子どもの安全見まもり隊事業』が55.6%、『子ども110番事業』が74.4%となっています。

小学生児童では「はい(知っている)」が『青色回転灯パトロール事業』で24.6%、『子どもの安全見まもり隊事業』が82.2%、『子ども110番事業』が84.6%となっています。

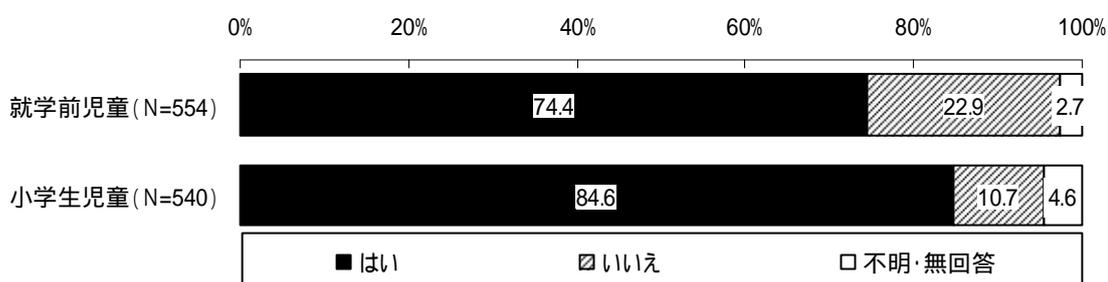
A：青色回転灯パトロール事業



B：子どもの安全見まもり隊事業



C：子ども110番事業

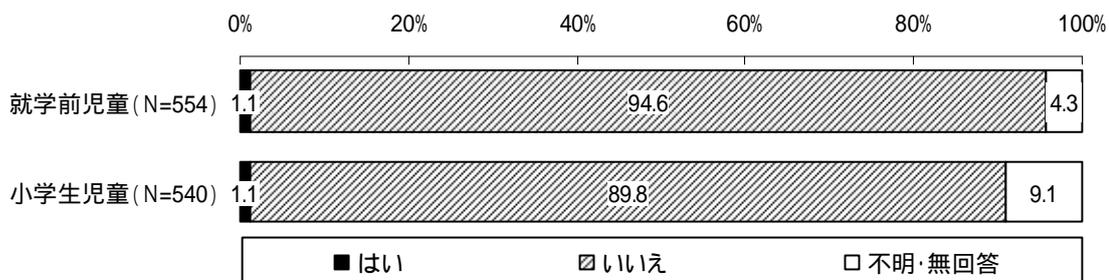


これまでに協力したことがあるか（参加度）

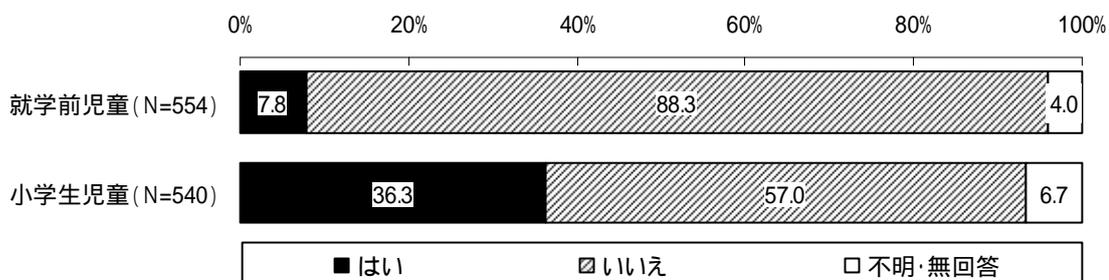
各サービス等の参加度についてみると、就学前児童では「はい（これまでに協力したことがある）」が『青色回転灯パトロール事業』で 1.1%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 7.8%、『子ども 110 番事業』が 4.3%となっています。

小学生児童では「はい（これまでに協力したことがある）」が『青色回転灯パトロール事業』で 1.1%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 36.3%、『子ども 110 番事業』が 9.6%となっています。

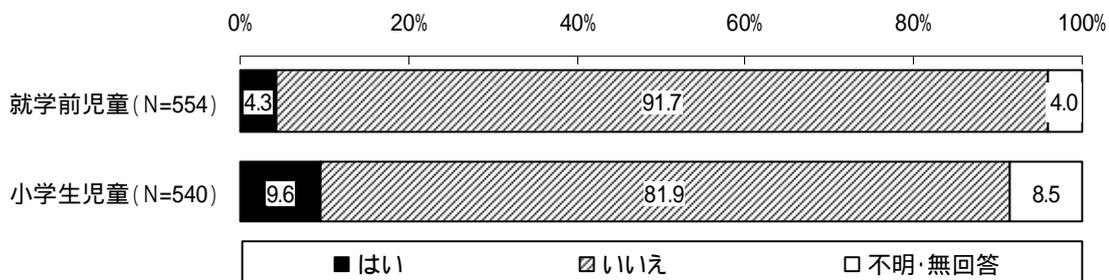
A：青色回転灯パトロール事業



B：子どもの安全見まもり隊事業



C：子ども 110 番事業

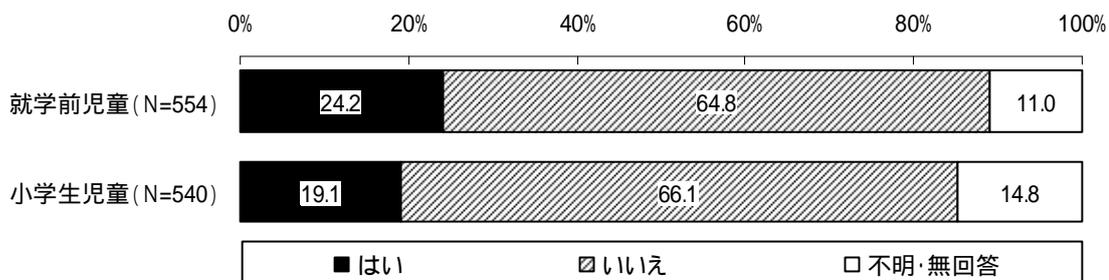


今後協力したいか（参加希望）

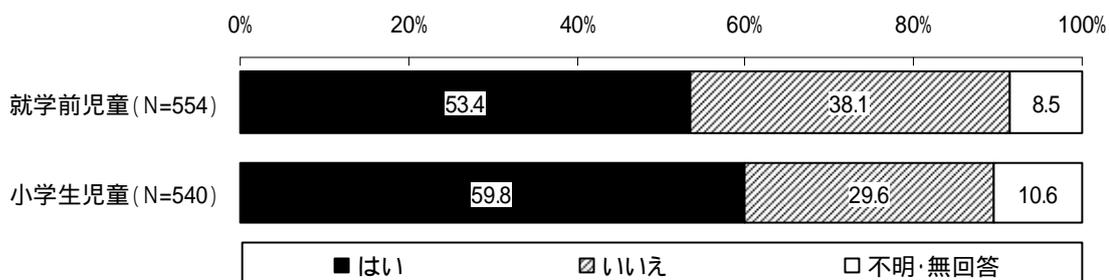
各サービス等の参加希望についてみると、就学前児童では「はい（今後協力したい）」が『青色回転灯パトロール事業』で 24.2%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 53.4%、『子ども 110 番事業』が 54.3%となっています。

小学生児童では「はい（今後協力したい）」が『青色回転灯パトロール事業』で 19.1%、『子どもの安全見まもり隊事業』が 59.8%、『子ども 110 番事業』が 45.4%となっています。

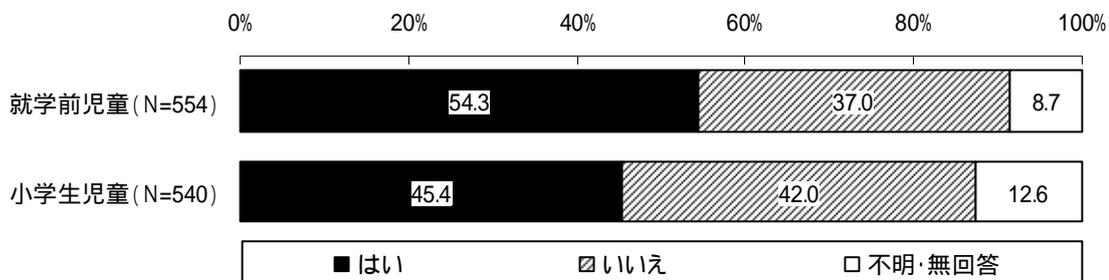
A：青色回転灯パトロール事業



B：子どもの安全見まもり隊事業



C：子ども 110 番事業

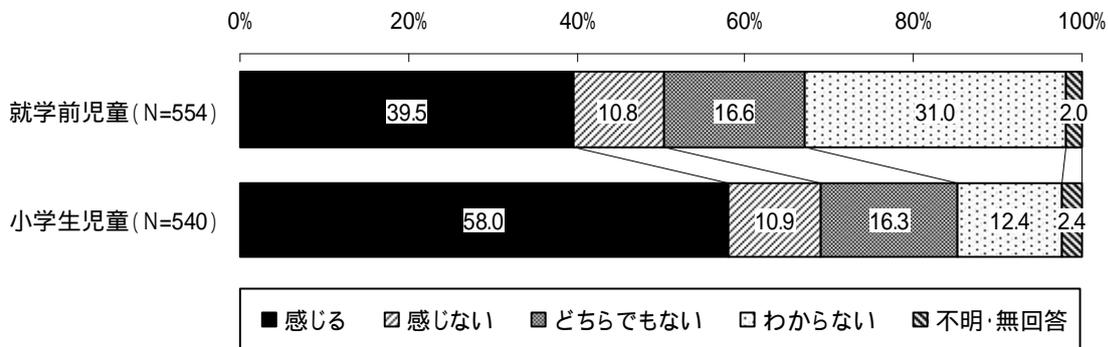


(2) 子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるか(単数回答)

【就学前児童 問36：小学生児童 問33】

子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じるかについてみると、就学前児童では「感じる」が39.5%、「感じない」が10.8%となっています。

小学生児童では「感じる」が58.0%、「感じない」が10.9%となっています。

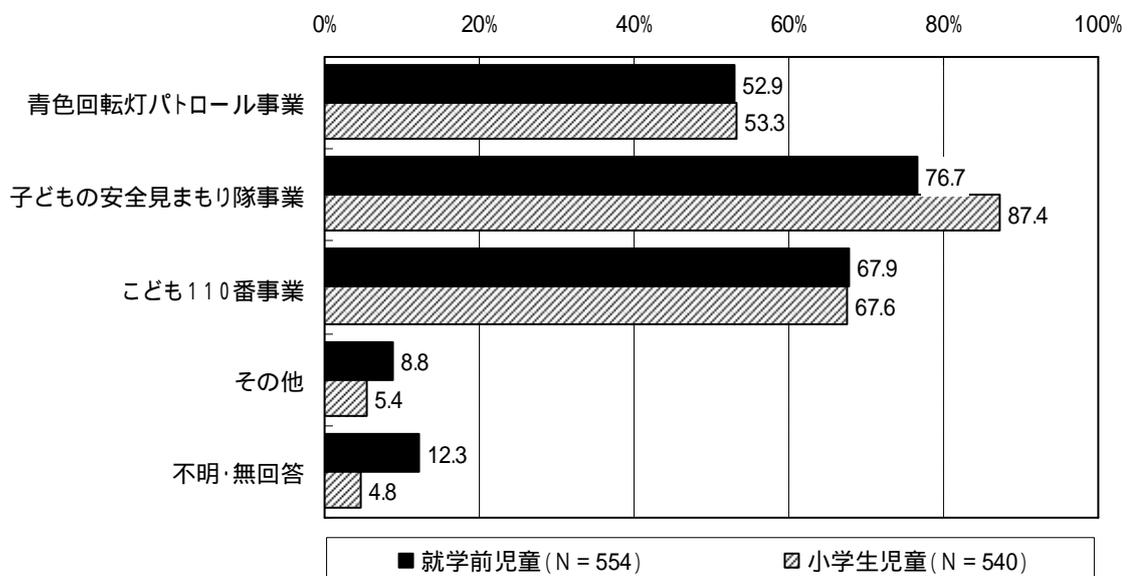


(3) 子どもの安全を確保する為に必要と思われる事業・取り組み(複数回答)

【就学前児童 問37：小学生児童 問34】

子どもの安全を確保する為に必要と思われる事業・取り組みについてみると、就学前児童では「青色回転灯パトロール事業」が52.9%、「子どもの安全見まもり隊事業」が76.7%、「子ども110番事業」が67.9%となっています。

小学生児童では「青色回転灯パトロール事業」が53.3%、「子どもの安全見まもり隊事業」が87.4%、「子ども110番事業」が67.6%となっています。



その他：()は件数
 【就学前児童】
 GPSを持たせる(1)・保護者の常識のない行動が増えている(1)
 【小学生児童】
 外灯を増やす(1)・サイレンを鳴らす必要がある(1)・歩道が少ない(1)

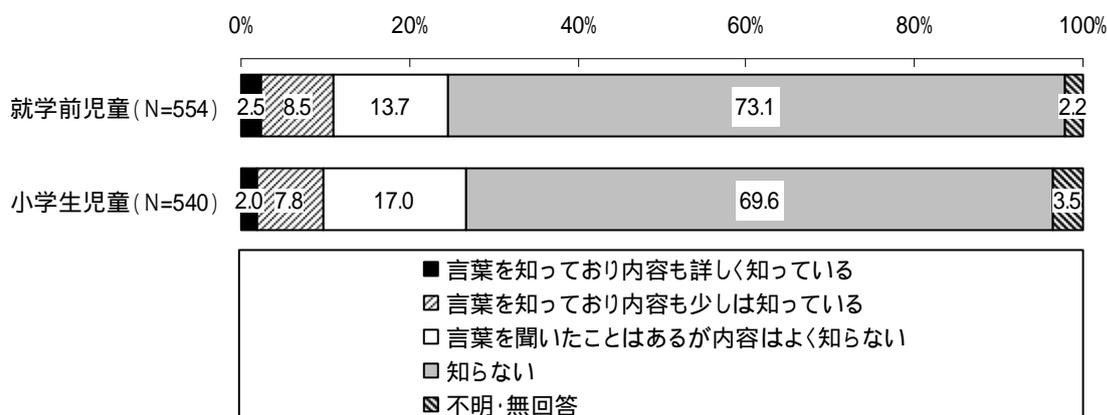
20 仕事と生活の調和について

(1) 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っているか(単数回答)

ワーク・ライフ・バランス ワーク・ライフ・バランスは「仕事と生活の調和」と訳され、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことを表します。

【就学前児童 問38：小学生児童 問35】

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「知らない」が約7割と高くなっています。



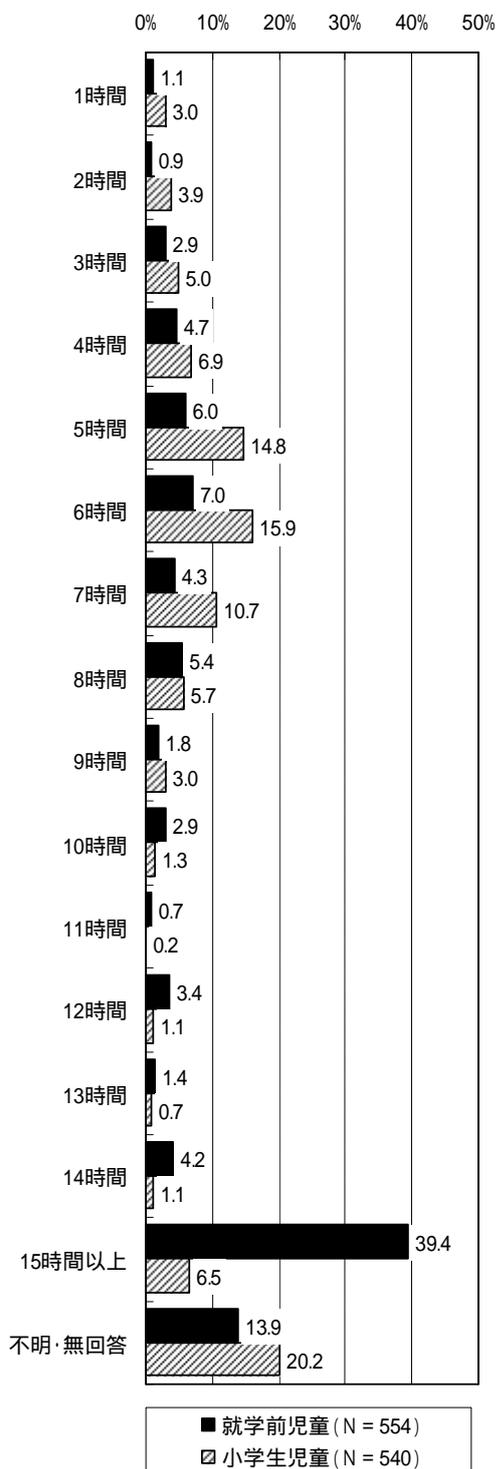
(2) 1日あたりの子どもと過ごす時間について(数量回答)

【就学前児童 問39：小学生児童 問36】

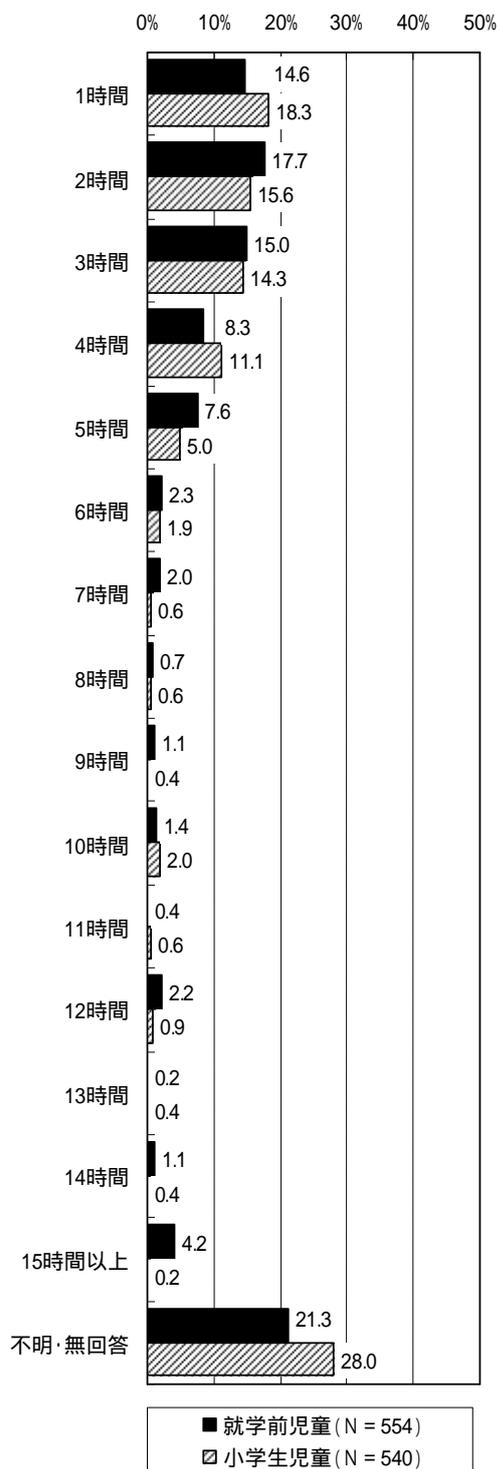
1日あたりの子どもと過ごす時間についてみると、母親では特に就学前児童で「15時間以上」が高くなっており、その他は就学前児童、小学生児童ともに「4時間」～「8時間」が高くなっています。

父親では「1時間」～「5時間」が高くなっています。

【母親】



【父親】

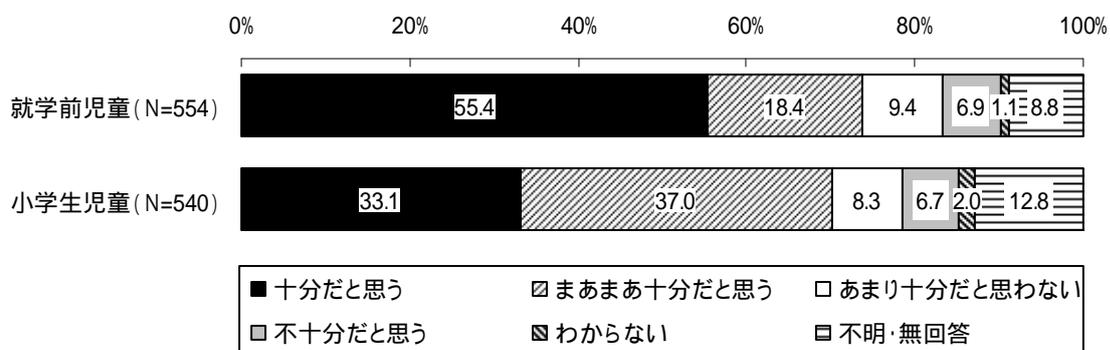


(3) 子どもと一緒に過ごす時間の満足度(単数回答)

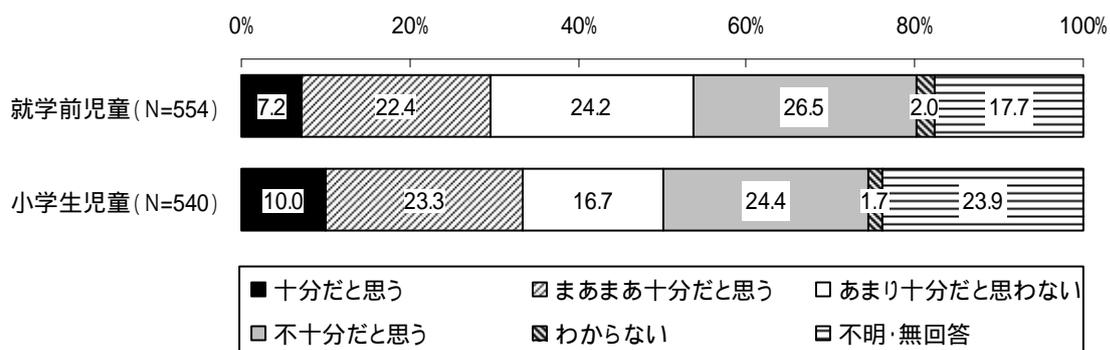
子どもと一緒に過ごす時間の満足度についてみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが7割を超えています。

父親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが約3割となっています。

【母親】



【父親】



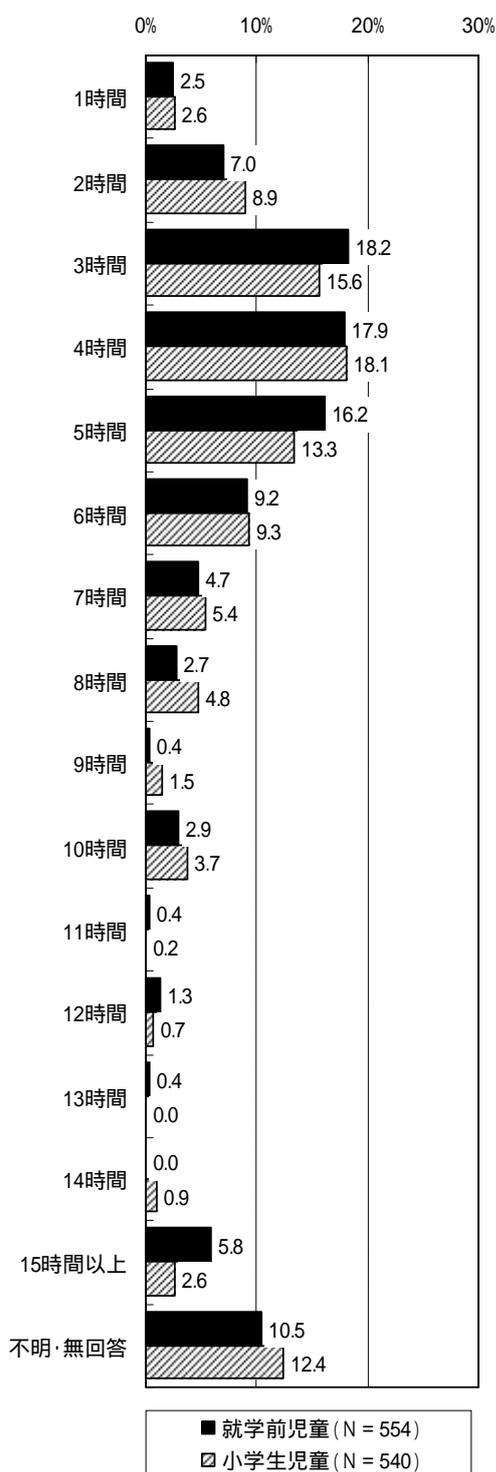
(4) 1日あたりの家事の時間について(数量回答)

【就学前児童 問40：小学生児童 問37】

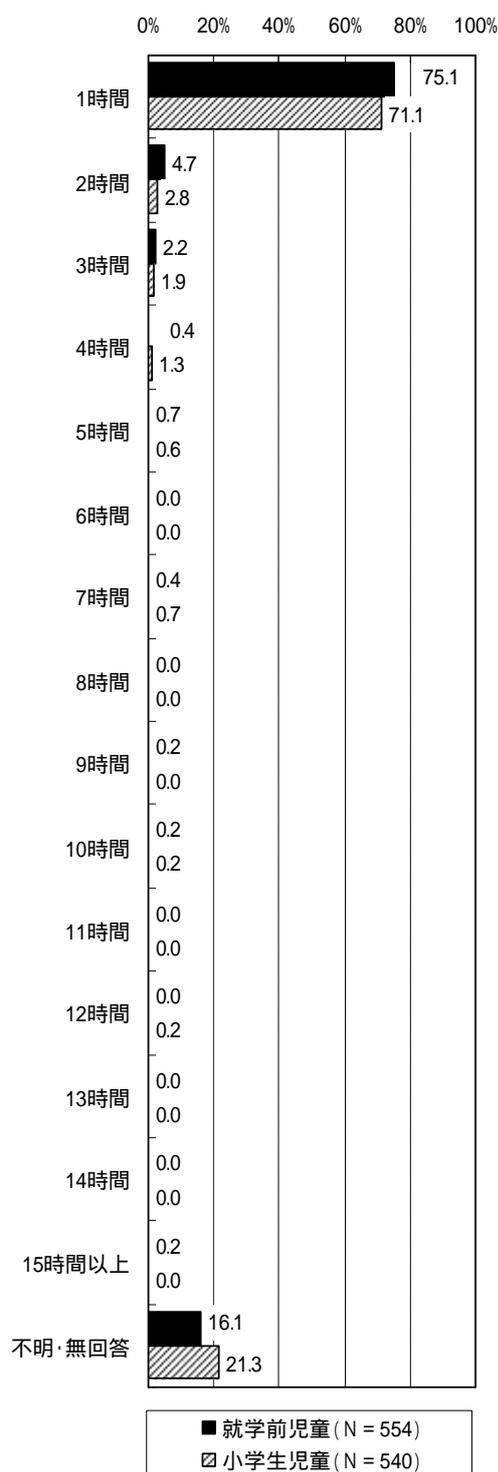
1日あたりの家事の時間についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、母親では「3時間」～「5時間」が高くなっており、就学前児童では「15時間以上」も高くなっています。

父親では「1時間」が7割を超えて高くなっています。

【母親】



【父親】



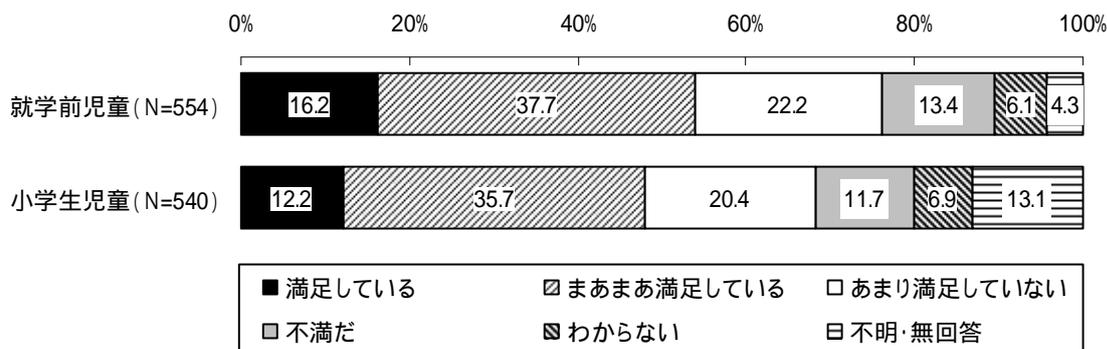
(5) 配偶者との育児分担についての満足度 (単数回答)

【就学前児童 問41 : 小学生児童 問38】

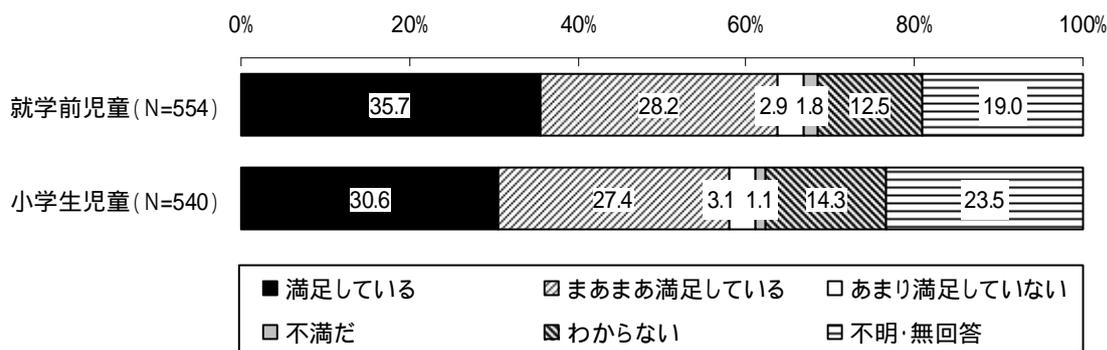
配偶者との育児分担の満足度についてみると、母親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが約半数となっています。

父親では就学前児童、小学生児童ともに、「十分だと思う」、「まあまあ十分だと思う」をあわせ、満足していると答えたかたが半数を超えています。

【母親】



【父親】

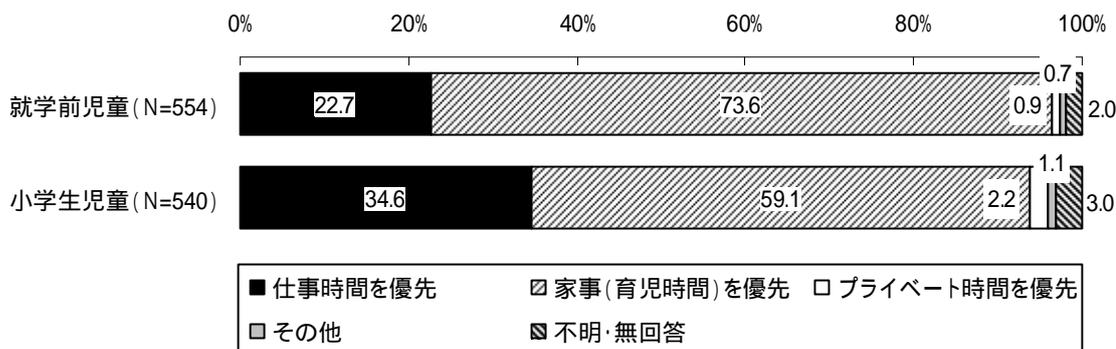


(6) 生活の中の「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度の「希望」と「現実」について(単数回答)

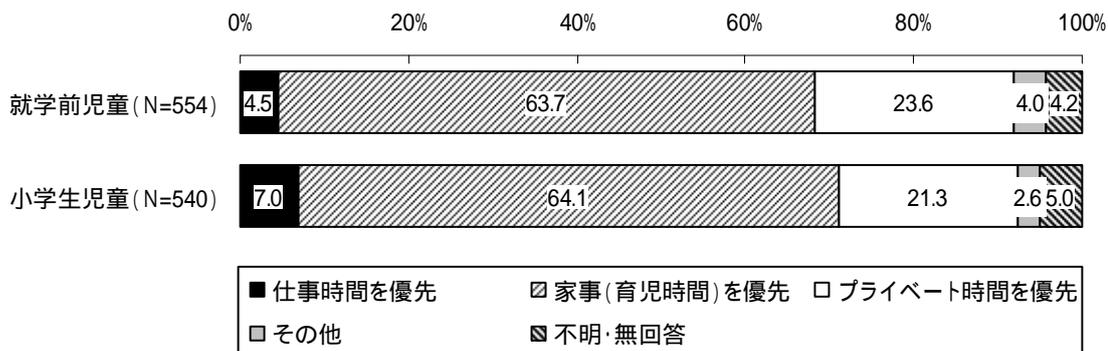
【就学前児童 問42：小学生児童 問39】

「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度についてみると、就学前児童、小学生児童ともに、希望では「家事(育児)時間を優先」が高くなっています。
 しかし現実では「仕事時間を優先」が希望より高くなっており、生活の中心がやや仕事に偏っていることがわかります。

【現実】



【希望】



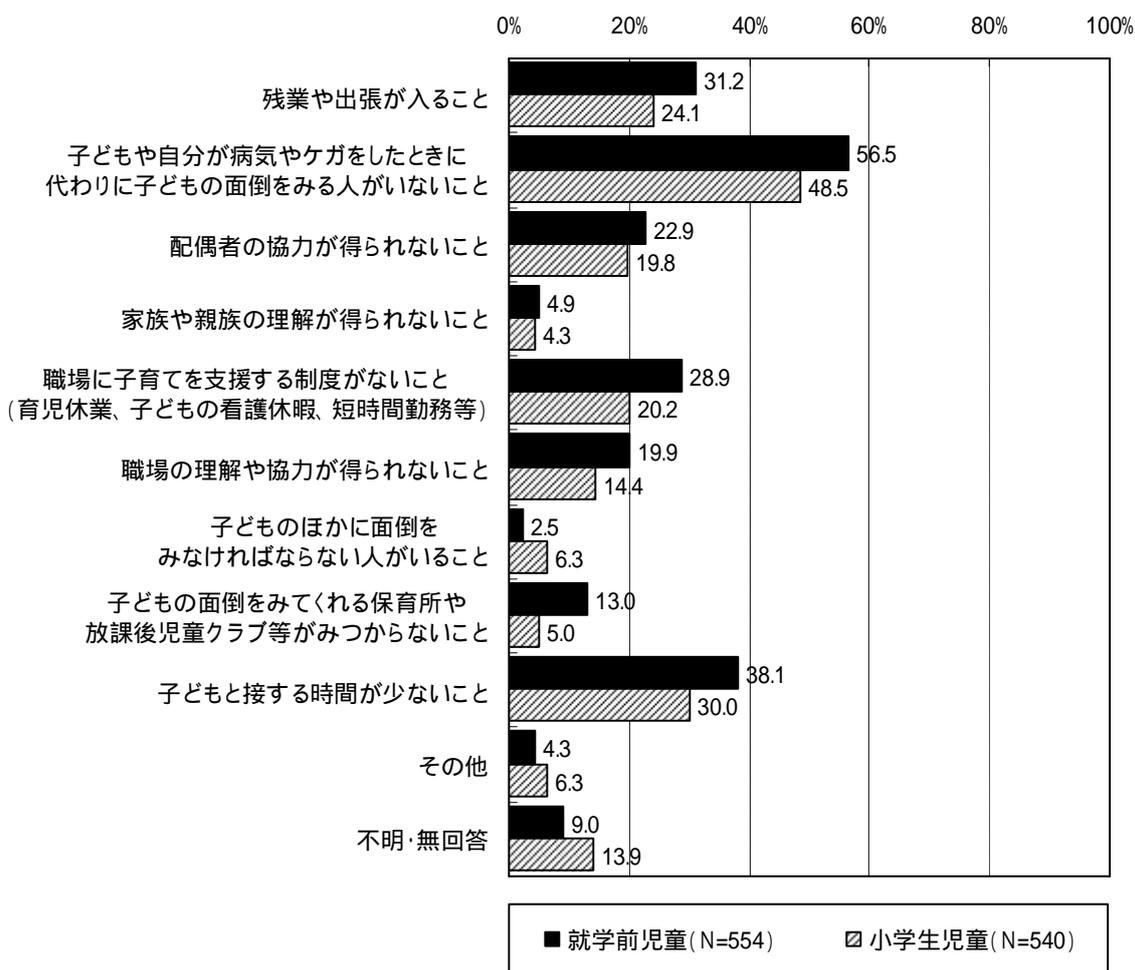
その他：()は件数
 【就学前児童】
 両立(1)

(7) 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること(複数回答)

【就学前児童 問43：小学生児童 問40】

仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることについてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」、「子どもと接する時間が少ないこと」、「残業や出張が入ること」が上位となっています。

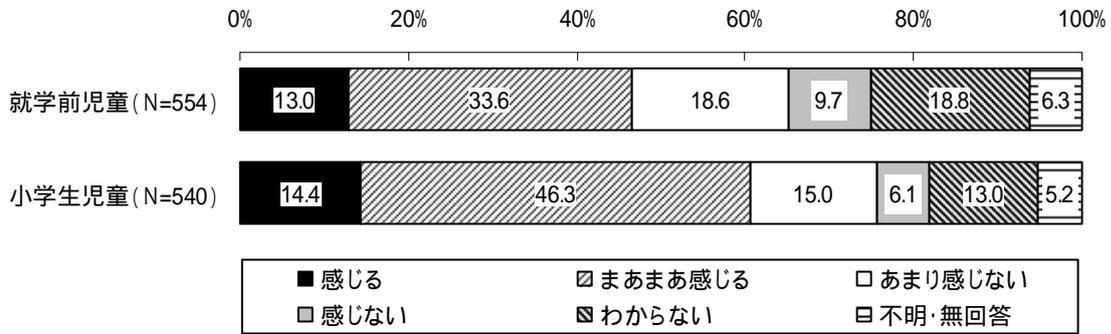
また、就学前児童、小学生児童ともに「配偶者の協力が得られない」、「職場に子育てを支援する制度がないこと」、「職場の理解が得られない」がそれぞれ2割前後となっています。



(8) 仕事と生活の調和が図られていると感じるか (単数回答)

【就学前児童 問44：小学生児童 問41】

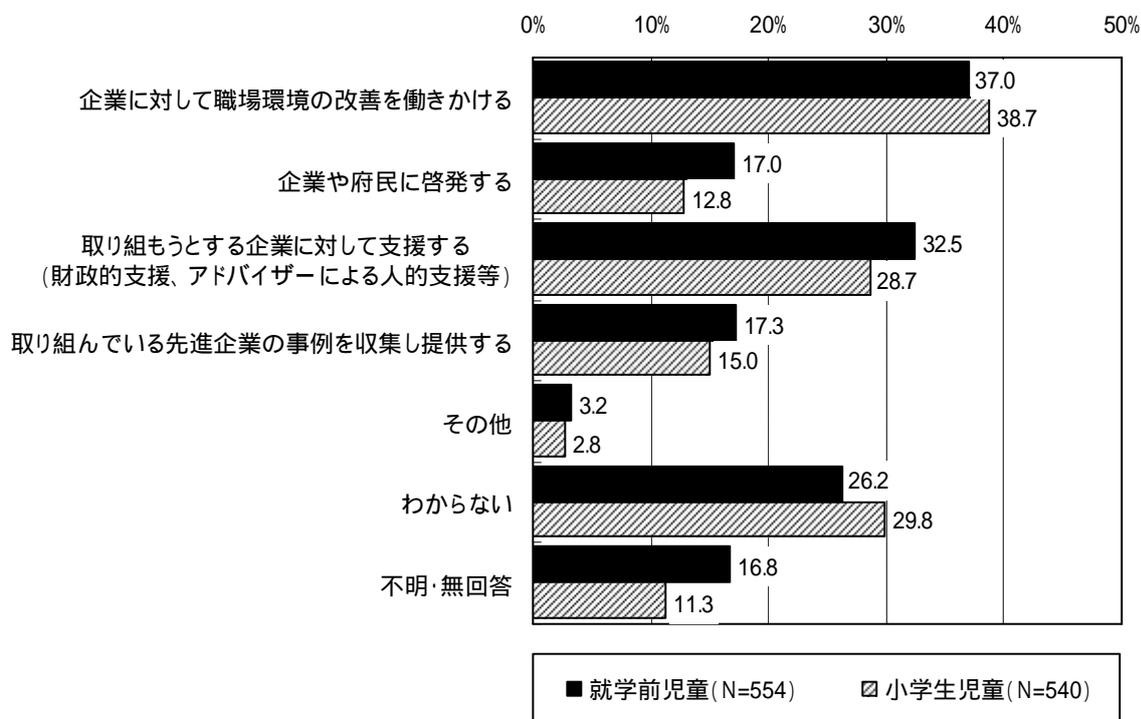
仕事と生活の調和が図られていると感じるかについてみると、就学前児童では「感じる」、「まあまあ感じる」をあわせ、調和が図られていると答えたかたが4割を超えており、小学生児童では6割を超えています。



(9) 勤務先で子育て支援の取り組みが進む為に行政に必要な取り組み(複数回答)

【就学前児童 問47：小学生児童 問42】

勤務先で子育て支援の取り組みが進む為に行政に必要な取り組みについてみると、「わからない」の回答をのぞくと、就学前児童、小学生児童ともに「企業に対して職場環境の改善を働きかける」が最も高く、それぞれ37.0%、38.7%となっており、次いで「取り組もうとする企業に対して支援する(財政的支援、アドバイザーによる人的支援等)」がそれぞれ32.5%、28.7%となっています。



その他：()は件数
 【就学前児童】
 法的な決め事(1)
 人数を増やす(1)
 【小学生児童】
 自営業なので(1)

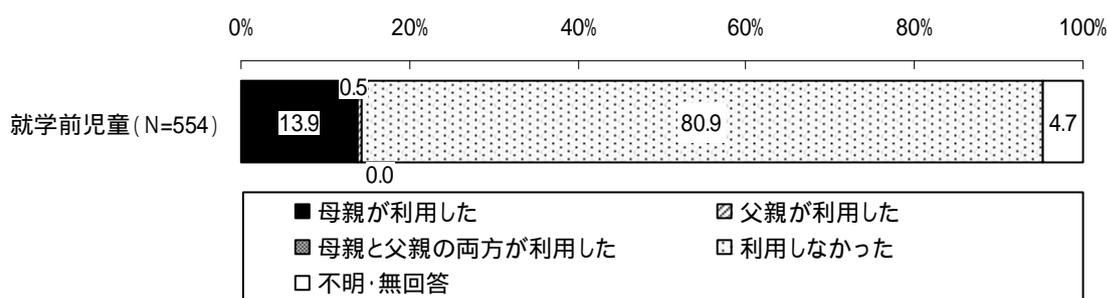
21 育児休業制度について

(就学前児童)

(1) 母親または父親が育児休業制度を利用したか (単数回答)

【就学前児童 問45】

母親または父親が育児休業制度を利用したかについてみると、「利用しなかった」が80.9%と最も高くなっています。「母親が利用した」は13.9%、「父親が利用した」は0.5%となっており、特に父親は低くなっています。



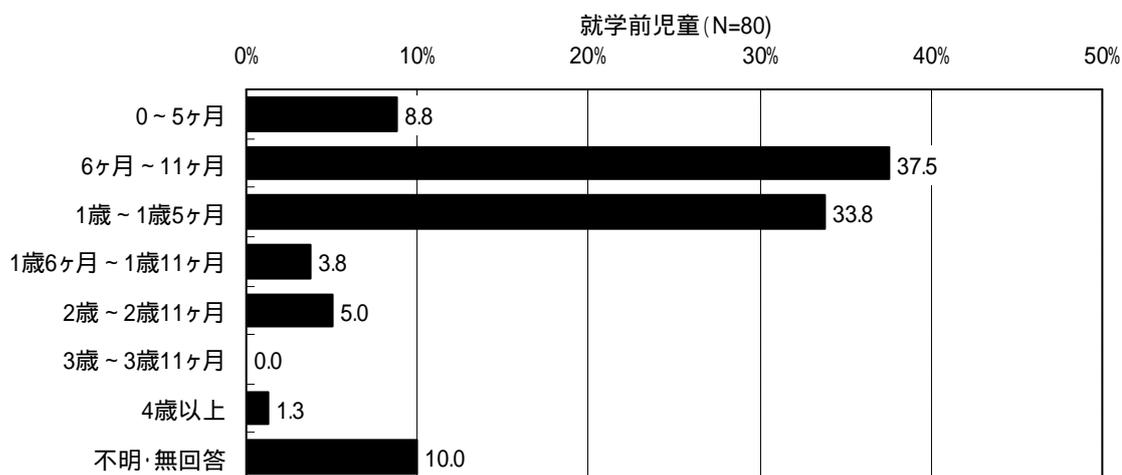
(2) 育児休業制度を利用した際の状況について

育児休業から復帰した時の子どもの月齢 (数量回答)

【就学前児童 問45-1】

* 「母親が利用した」「父親が利用した」「母親と父親両方が利用した」と答えたかたのみ

育児休業から復帰した時の子どもの月齢についてみると、「6ヶ月～11ヶ月」が37.5%と最も高くなっています。

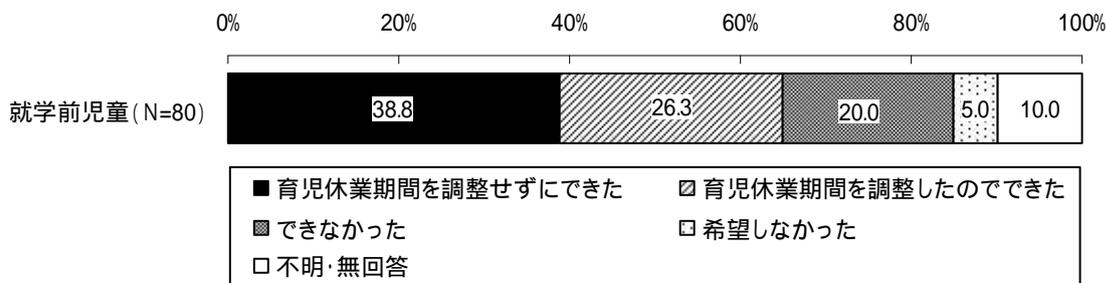


育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できたか（単数回答）

【就学前児童 問45-2】

* 「母親が利用した」、「父親が利用した」、「母親と父親両方が利用した」と答えたかたのみ

育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できたかについてみると、「育児休業期間を調整せずにできた」が38.8%で最も高くなっています。そのほか、「育児休業期間を調整したのでできた」が26.3%、「できなかった」が20.0%、「希望しなかった」が5.0%となっています。



育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わるか（単数回答）

【就学前児童 問45-3】

* 「育児休業期間を調整したのでできた」と答えたかたのみ

育児休業明けに保育サービスが確実に利用できた場合、育児休業の取得期間が変わったかについてみると、「長くした」「短くした」がともに8人、「変わらない」が1人となっています。

	就学前児童 (N=21)
変わらない	1
長くした	8
短くした	8
不明・無回答	4

【取得期間を調整した人の具体的期間】（数量回答）

(回答のみ)

	就学前児童 (N=8)
長くした	
1ヶ月	1
6ヶ月	6
不明・無回答	1

(回答のみ)

	就学前児童 (N=8)
短くした	
1ヶ月	2
4ヶ月	4
6ヶ月	2
不明・無回答	0

希望する保育サービスを利用できなかった際の対処方法（単数回答）

【就学前児童 問45-4】

* 「できなかった」と答えたかたのみ

育児休業明けに、希望する保育サービスが利用できなかったときの対応についてみると、「事業所内の保育サービスを利用した」が6人、「上記以外のサービスを利用した」が4人、「家族等にみてもらうことで対応した」が3人となっています。

	就学前児童 (N=16)
希望とは違う認可保育所を利用した	0
事業所内の保育サービスを利用した	6
上記以外の保育サービスを利用した	4
家族等にみてもらうことで対応した	3
仕事を辞めた	2
不明・無回答	1

(3) 育児休業を取得しなかった理由（複数回答）

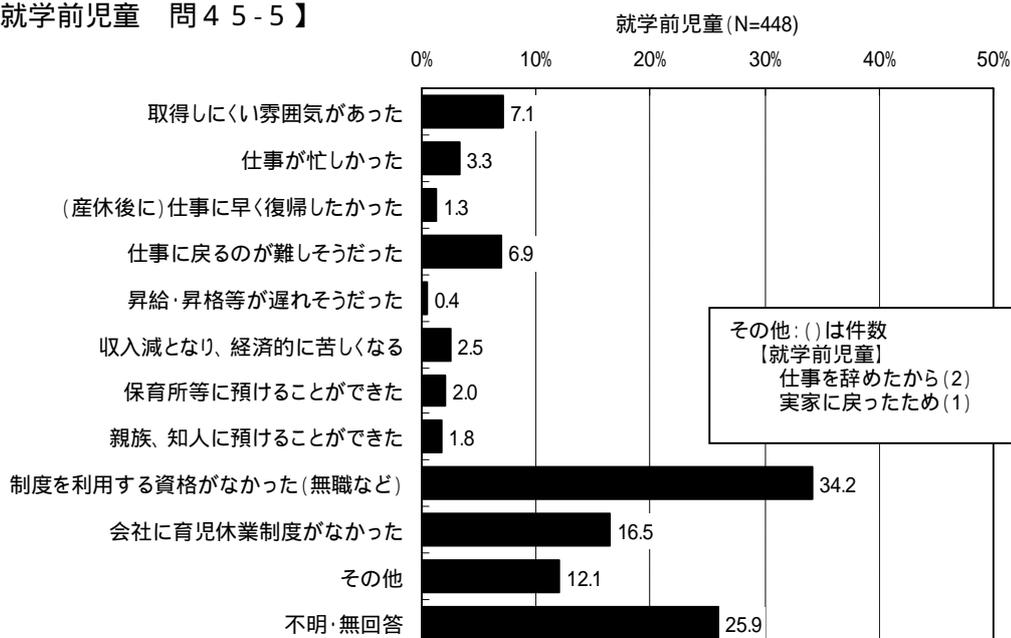
【就学前児童 問45-5、問45-6】

* 「利用しなかった」と答えたかたのみ

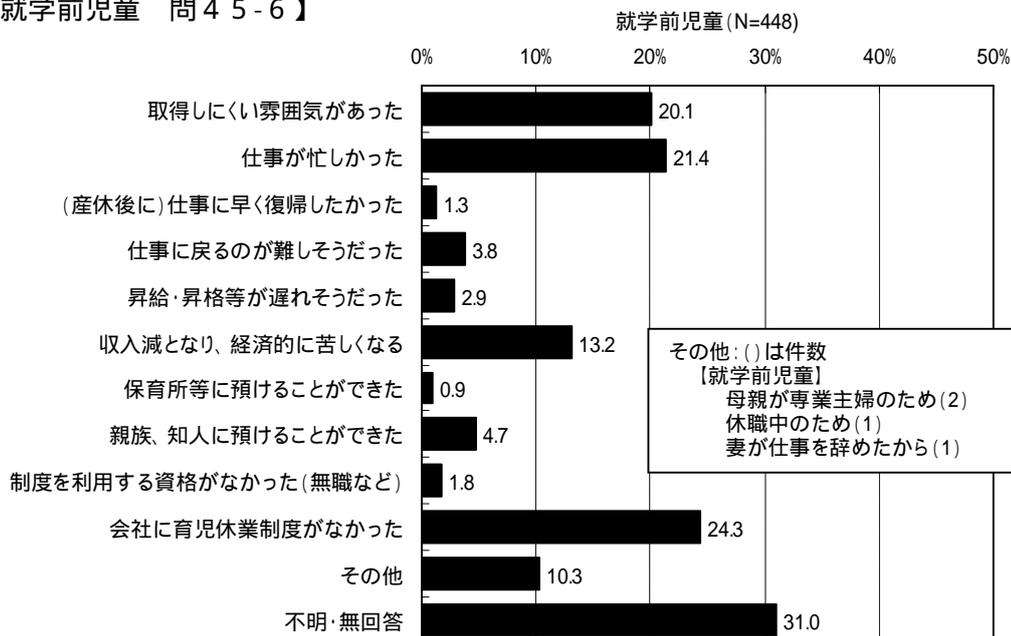
育児休業を取得しなかった理由についてみると、母親では「制度を利用する資格がなかった（無職など）」が34.2%と最も高くなっており、次いで「会社に育児休業制度がなかった」が16.5%、「取得しにくい雰囲気があった」が7.1%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が6.9%となっています。

父親では「会社に育児休業制度がなかった」が24.3%と最も高くなっており、次いで「仕事が忙しかった」が21.4%、「取得しにくい雰囲気があった」が20.1%となっています。

【母親】【就学前児童 問45-5】



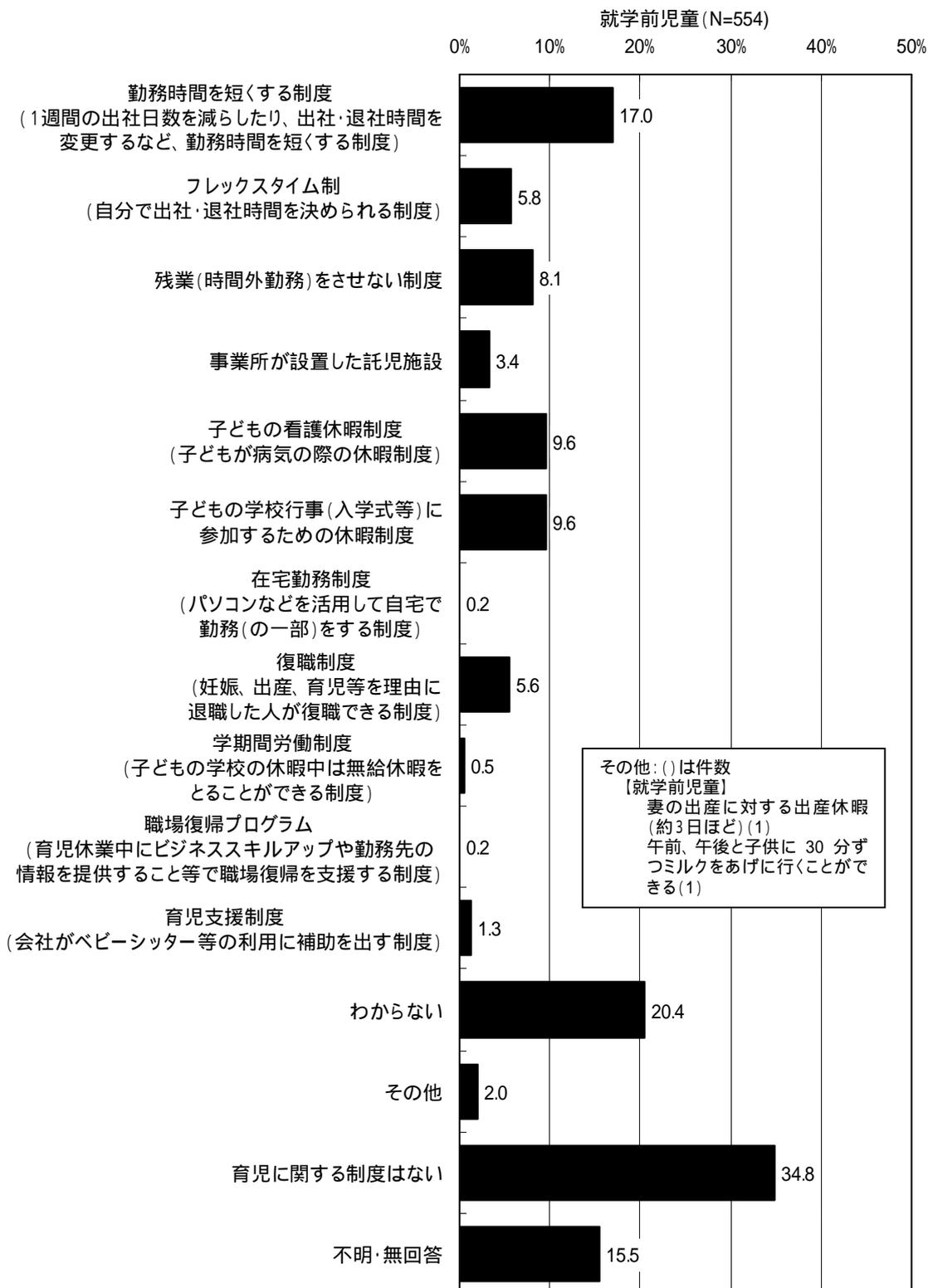
【父親】【就学前児童 問45-6】



(4) 勤務先にある育児休業以外の育児の為の制度(複数回答)

【就学前児童 問46】

勤務先にある育児休業以外の育児の為の制度についてみると、「育児に関する制度はない」が34.8%と最も多く、次いで「わからない」が20.4%、「勤務時間を短くする制度」が17.0%となっています。



(5) 勤務先における育児支援制度の認知度及び利用のしやすさ(単数回答)

【就学前児童 問46-1】

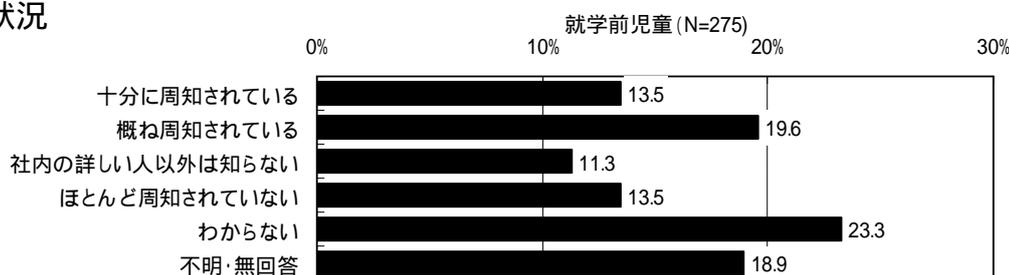
「育児に関する制度はない」以外を選ばれたかたのみ

勤務先における育児支援制度の認知度についてみると、「十分に周知されている」「概ね周知されている」をあわせた『周知されている』が33.1%、「社内の詳しい人以外は知らない」「ほとんど周知されていない」をあわせた『周知されていない』が24.8%となっています。

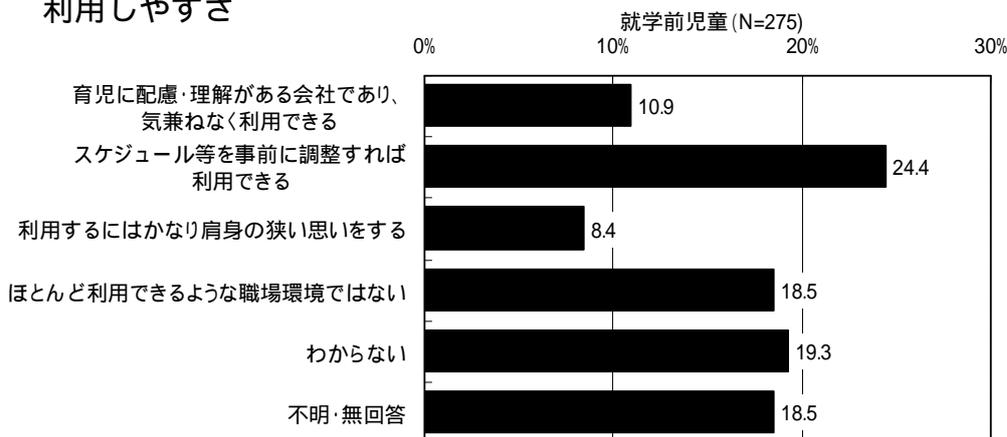
利用しやすさについてみると「育児に配慮・理解がある会社であり、気兼ねなく利用できる」「スケジュール等を事前に調整すれば利用できる」をあわせた『利用しやすい』と答えられたかたが35.3%、「利用するにはかなり肩身の狭い思いをする」「ほとんど利用できるような職場ではない」をあわせた『利用しにくい』と答えられたかたが26.9%となっています。

満足度についてみると「満足している」「まあまあ満足している」をあわせた『満足している』と答えられたかたが29.1%、「あまり満足していない」「不満だ」をあわせた『満足していない』と答えられたかたが24.4%となっています。

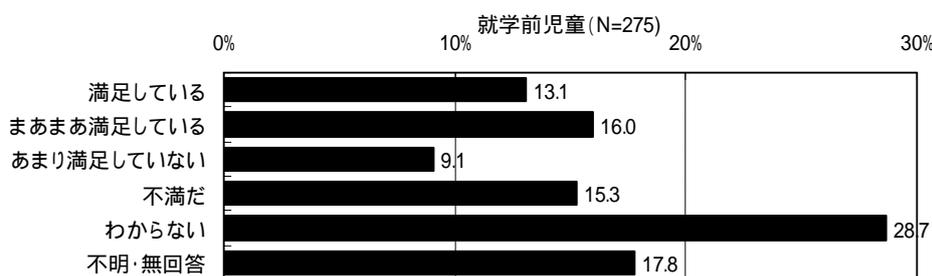
周知状況



利用しやすさ



満足度



22 行政サービスへの要望について

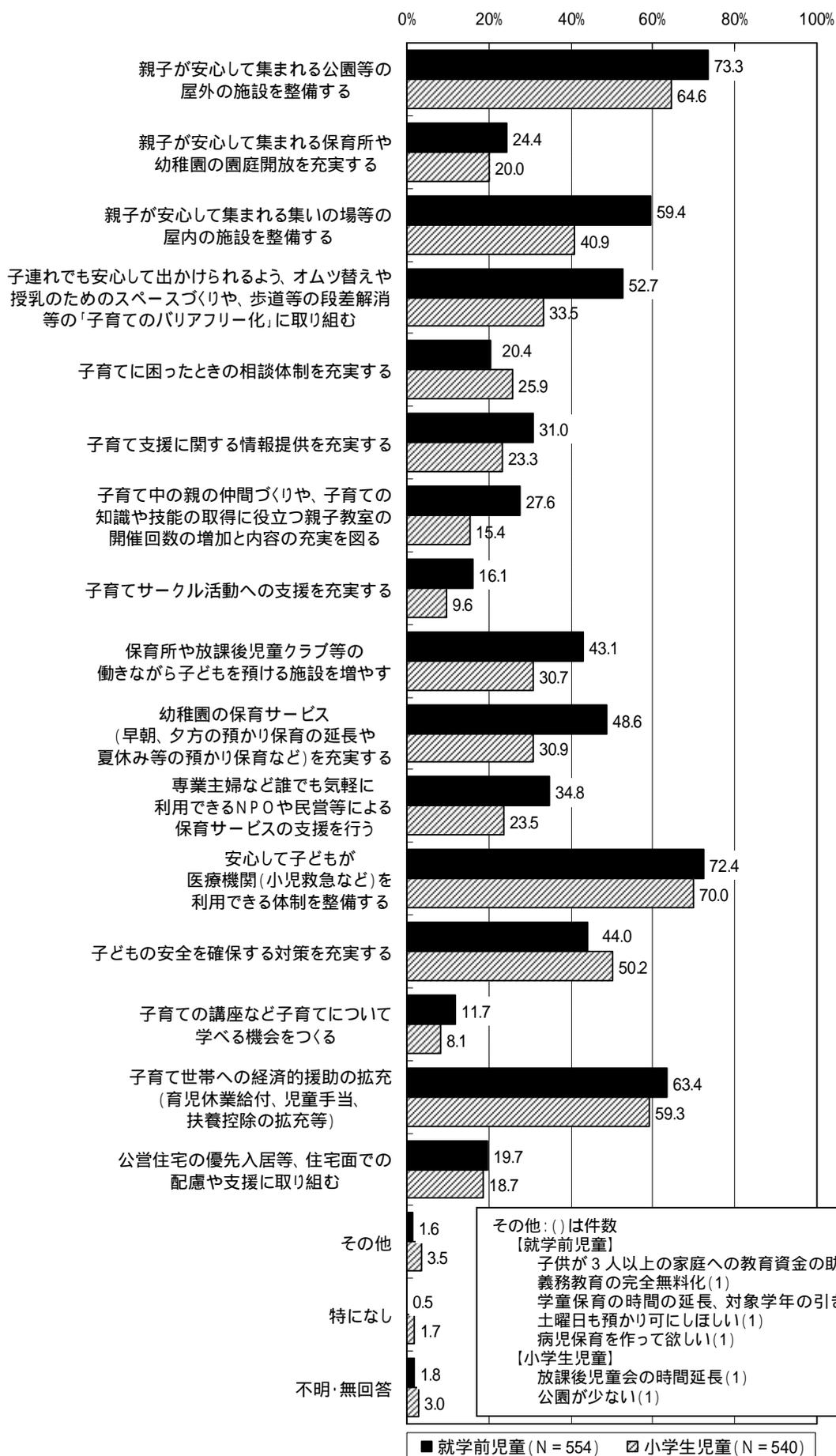
(1) 行政に対して、どのような子育て支援の充実を期待するか(複数回答)

【就学前児童 問48：小学生児童 問43】

行政に対して、子育て支援の充実を図って欲しいと期待していることについてみると、就学前児童、小学生児童ともに、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」、「安心して子どもが医療機関(小児救急など)を利用できる体制を整備する」、「子育て世帯への経済的援助の拡充(育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等)」が共通して高い項目となっています。

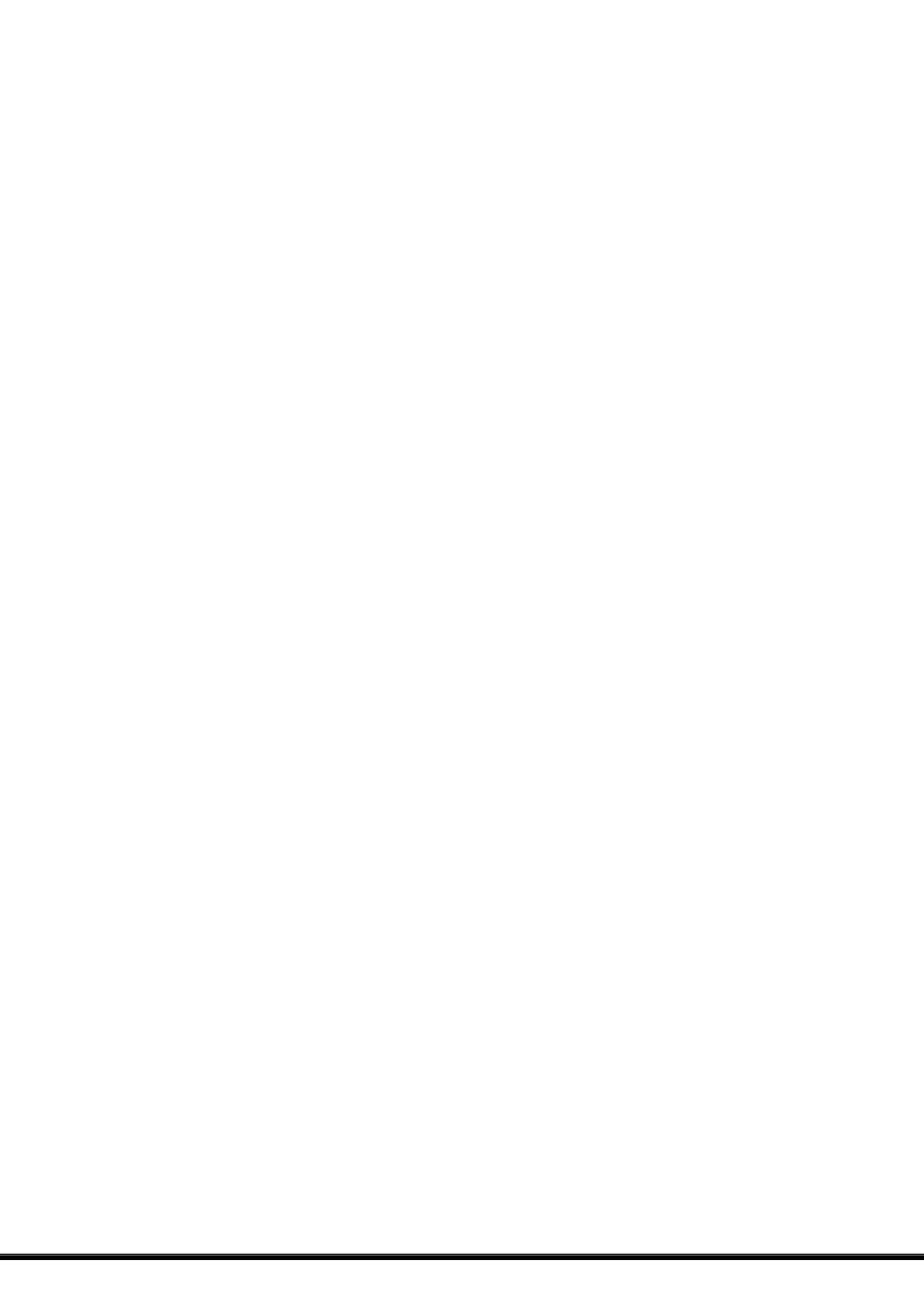
集計は次ページ参照

【行政に対して、どのような子育て支援の充実を期待するか】



資料編

(自由回答・アンケート調査票)



1 自由回答

【藤井寺市の子育て支援に関することや、子育てで困っていることについて】

(1) 就学前児童

内容	件数
地域について	
PTA役員や地域役員の役職を減らし、役職につく機会を減らしてほしい	1
土日に子どもが参加できる地域活動の充実	1
施設・インフラについて	
公園の増加・充実	33
歩道の整備強化	9
子どもが安心して遊べる場所の増加	8
球技出来る場所の増加	8
屋内施設の充実	6
緊急時預けられる場所の増加	5
道路の整備強化	3
児童館の増加希望	3
集いの広場の増加	2
保健センターへのアクセスが悪い	1
保健センターのフリールームの増加	1
体育館の開放の充実	1
全ての駅にエレベーターを設置してほしい	1
自転車の走れるスペースがない	1
仕事しながらあずけられる場所の増加	1
子どもが安心して行ける児童館をたくさん作ってほしい	1
校庭の開放	1
雨の日でも子どもが遊べる場所が必要	1
赤ちゃんルームを12カ月までに延ばしてほしい	1

内容	件数
保育について	
保育所の民営化反対	14
保育所に入園しにくい	8
保育料が高い	5
保育時間の延長	4
保育サービスの充実	3
病児病後保育の充実	3
一時保育の充実	3
幼稚園の園庭開放	2
幼稚園を3年制に	1
幼稚園前の工事期間の見直し	1
幼稚園へ行く機会が少なすぎる	1
保育所を増やして欲しい	1
保育所民営化で保育内容やサービス内容の変化が不安	1
保育所の入所決定報告時期が遅い。せめて2月中にわかるようにしてほしい	1
保育所の延長保育	1
保育所のイベントに参加できる日を増やしてほしい	1
保育所内容の充実	1
平日の夜遅くまで、そして土日にも気軽に子どもを預かってもらえる場所がほしい	1
土曜日も保育所を	1
子どもが病気でも預かってくれる低料金の場所がほしい	1
公立幼稚園を給食に	1
気軽に預けられる場所の増加	1
子育て支援について	
子育てしやすい環境を	11
子育て情報の提供不足	4
ファミリーサポートの登録者が少なすぎて利用できない	1
市内の施設やお店で子どもが優遇してもらえるようなポイント制度の発行	1
サークル活動や相談窓口が平日のみで仕事をもつ親には利用できない	1
子どもが楽しめる催し物を	1
子育て相談に行きやすい窓口の提供	1
子育て世帯が住みやすくなるような町づくりをしてほしい	1
子育て支援の場が母親のストレス発散だけになっている	1
親子教室などの開催増加希望	1

内容	件数
学童保育・こどもクラブについて	
こどもクラブの充実	2
学童保育利用年齢の引き上げ	2
土曜日も学童保育であずかってほしい	1
補助・支援について	
児童手当、医療費補助の充実	14
経済的援助の充実	5
子どもがいる家庭へ住宅支援をしてもらいたい	1
子どもが2人以上の家庭には医療費を無料にしてほしい	1
公立の幼稚園に入れる人数が少ないので私立にいかざるをえない家庭のために教育費の支援を	1
過去、児童手当の増額があった際に子どもが5月生まれのため1ヶ月しか貰えなかった。生まれた月による支給の不平等をなくしてほしい	1
安全について	
ベビーカーや自転車が安全に通れるように歩道を整備してほしい	2
藤井寺駅の踏切が危険	1
パトロールの強化	1
通学路を安全に	1
自転車マナーが悪い	1
サンブラ付近の道が通りづらい	1
交通整備強化	1
危険な道が多い	1
学校・教育全般について	
放課後児童会の充実	2
放課後のグラウンド開放希望	1
中学の給食化	1
授業内容の充実	1
市内全ての小学校で集団登下校をするようにしてほしい	1
自転車通学OKにして欲しい	1
教育環境の充実	1

内容	件数
医療について	
産婦人科の増加	11
予防接種の無料化	3
乳幼児医療制度の見直し	3
小児科の充実	2
夜間病院の充実	1
緊急時見てくれる医者が無い	1
市政全般	
子どもが安全に暮らせる街づくり	7
役所の態度が悪すぎる	1
役所の給与削減をしる	1
府営住宅の増加	1
正直者が損をしないような世の中に	1
市役所の対応時間が平日の夕方5時までじゃ困る	1
社会のモラルが低い	1
子どもを大切にす環境を	1
その他	
働く意欲があっても子どもを保育園等に預かってもらえなければ働けない現実 がもどかしい	1
アンケートの結果反映を	1

(2) 小学生児童

内容	件数
施設・インフラについて	
ボール遊び出来る場所の増加希望	17
公園が少ない	16
遊ぶところが少ない	3
子どもが安心して遊べる場所を	3
気軽に預けられる場所を	1
道路整備の強化	1
図書館の充実	1
学童保育について	
学童の利用年齢制限引き上げ	6
土曜日の学童保育実施	4
長期休暇時預けられる場所を	3
学童保育内容の充実	1
学童保育の時間延長	1
学童保育の土日開放	1
学童保育料値下げ	1
保育について	
保育所に入りにくい	3
気軽に子どもを預けられる場所を	2
緊急時預けられる場所を	1
私立幼稚園増加希望	1
保育時間の延長を	1
保育所民営化反対	1
幼稚園の慣らし保育はいらない	1
幼稚園の年齢制限の見直し	1

内容	件数
医療について	
小児科の充実	3
病院を増やして欲しい	3
予防接種の充実	2
24時間体制の小児科希望	1
支援・補助について	
児童手当、医療費の軽減、見直し	18
学校・教育全般について	
学校教育の充実	3
学校の校庭解放	3
中学校での給食実施	3
学校幼稚園の開放	1
放課後児童会の充実	1
子育て支援について	
子育て支援情報の提供不足	2
子育て支援の強化	2
中学生くらいまで子育て支援を	1
日本語が得意ではない親へ配るプリントなどへの配慮	1
安全について	
通学路を安全に	2
登下校時の安全確保	1

内容	件数
市政全般について	
安心して子どもが暮らせる環境を	4
障害児に対するサポート強化	2
イジメ問題に積極的に	1
教育への取り組みが消極的	1
行政が消極的	1
暮らしやすい町に	1
子育てしやすい環境を	1
子どもが自由に交流できる環境を	1
これからもっと明るい社会になるように期待している	1
市民の声を受け入れて	1
文化鑑賞会の充実	1
母子家庭ばかりに援助はどうかと思う	1
無駄な税金を減らして欲しい	1
その他	
アンケート結果の反映を	1
親のレベルが低い	1
経済的不安を感じる	1
子どもに色々な経験をさせたい	1
すぐ子どもが反抗する	1
地域の繋がりを大切に	1
母親教育が必要	1
母親同士でイジメがあったりする	1
母子家庭ばかり支援が多いが、父子家庭には何も無い	1

藤井寺市 次世代育成支援に関するニーズ調査

(就学前児童用)

調査ご協力のお願い

平素は、市政にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。
さて、この際、藤井寺市では「藤井寺市次世代育成実践行動計画（総称計画）」を策定するにあたり、子育てにかかわる市民のみならず、本市では、次世代を担う子どもへの育成・子育て支援を、市民の最重要課題のひとつとして捉え、子育て支援にかかわる様々な施策・事業を推進してまいります。今回の調査は、市内の就学前のお子さまをお持ちの出産を対後に、子育ての実際の状況並びにご意見・ご要望などを伺いし、今後の子育て支援施策の充実を図ることを目的として実施したいと考えています。この調査は、統計法（昭和22年法律第18号）第8条に基づき総務大臣に届出を行っている届出調査です。

今回、この調査票を送らせていただいたのは、住民基本台帳から無作為に抽出された方々です。調査結果は、すべて統計的に処理され、この調査の目的以外に使用することはありません。
お申し込みとご協力いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成21年1月 藤井寺市長 國下利明

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートにはお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合がございます。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入ください。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が質問によって異なりますので注意書きに従ってください。
- 説明によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ご回答の書き方や封印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の説明に進んでください。

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに2月20日（金）までご返印ください。
ご回答いただくことで不明な点、調査に対するお問い合せは、下記までお願いいたします。

藤井寺市役所 健康福祉部 子育て支援課
電話：072-939-1111（代表） FAX：072-962-9503

2 アンケート調査票

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします

図1 封筒のあて名のお子さんの生年月月をお伺いします。

平成（ ）年（ ）月 生まれ

図2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入ください。

（ ）人 末子の年齢（ ）歳

図3 あなたが希望するお子さんの数は何人ですか。

（ ）人

図4 希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方にお伺いします。現在の家庭・教育環境等においても、もう一人子どもを育てたいと思えますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 生み育てたいと思う → 問5へ
2. 生み育てたいとは思わない → 問4-1へ

図4-1 問4で「2.」を選ばれた方にお伺いします。
どのような環境を整えればもう一人子どもを育てたいと思えますか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 保育環境を整えれば生み育てたい
2. 経済的な環境を整えれば生み育てたい
3. 労働環境を整えれば生み育てたい
4. 教育環境を整えれば生み育てたい
5. 家庭環境（家族の理解等）を整えれば生み育てたい
6. その他（ ）

図5 封筒のあて名のお子さんとの同居・近居（兼ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。結構はあて名のお子さんからみられた関係です。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 父母同居 2. 父同居（ひとり親家庭） 3. 母同居（ひとり親家庭） 4. 祖父同居
5. 祖母同居 6. 祖父近居 7. 祖母近居 8. その他（ ）

問6 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいませんか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
(複数回答可)

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| 1. 日頃から祖父母の頻りに預かってもらえる | → 問6-1ハ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の頻りに預かってもらえる | → 問6-1ハ |
| 3. 日頃から子どもを預けられる友人・知人がいる | → 問6-2ハ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる | → 問6-2ハ |
| 5. いずれもない | → 問7ハ |

問6-1 問6で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。

祖父母に預かってもらっている状況についてお伺いします。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
(複数回答可)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 祖父母に孫を預かってもらうことについては特に問題ない |
| 2. 祖父母の身体的負担が大きいく心配である |
| 3. 祖父母の精神的負担や精神的負担が大きいく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. その他 () |

問6-2 問6で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。

友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
(複数回答可)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 友人・知人に預かってもらうことについては特に問題ない |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きいく心配である |
| 3. 友人・知人の精神的負担や精神的負担が大きいく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. その他 () |

問7 判例のあてまるお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。候補はあてまるお子さんから順に関係です。

- | | | | |
|---------|---------|----------|------------|
| 1. 主に父親 | 2. 主に母親 | 3. 主に祖父母 | 4. その他 () |
|---------|---------|----------|------------|

問8 お住まいの地域の小学校区名に○をつけてください。

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 藤井寺 | 2. 藤井寺南 | 3. 藤井寺西 | 4. 藤井寺北 |
| 5. 通明寺 | 6. 通明寺東 | 7. 通明寺南 | |

参考) 小学校区

校名	地区
藤井寺小学校	小山1丁目、4丁目(1~8)、5丁目、7丁目、7丁目(7~22)、8丁目 小山9丁目、小山藤井寺、小山藤の里町、岡1丁目、2丁目 穂美坂1丁目、御所町、北岡1丁目、北岡2丁目(1~3) 沢田1丁目、林1丁目、西大井1丁目、2丁目 西古室1丁目、藤井寺公園、陵南町、藤井寺3丁目 藤ヶ丘1丁目~4丁目、野中1丁目~5丁目、青山1丁目~3丁目 西古室1丁目、藤井寺1丁目、2丁目、4丁目 東藤井寺町、春日丘1丁目~3丁目、春日丘公園
藤井寺南小学校	津堂1丁目~4丁目、小山新町、小山2丁目~3丁目 小山4丁目(9~19)、6丁目 小山7丁目(1~6、1214の1~1251の5) 穂美坂2丁目、北岡2丁目(4~14)
藤井寺西小学校	沢田2丁目~3丁目、4丁目(1~5)、古室1丁目 古室2丁目(1~2)、林2丁目~6丁目 大井1丁目~5丁目、川北1丁目~3丁目
藤井寺北小学校	北細町、北細町、惣社1丁目~2丁目、梅が園町 園前1丁目~2丁目、3丁目(8)
通明寺小学校	通明寺1丁目~6丁目、園前3丁目(1~7) 沢田4丁目(6~11)、古室2丁目(3~9)、3丁目
通明寺南小学校	

2. 封筒のあて名のお子さんの籍地状況についてお伺いします

問9 現在の就労状況を(自営業、家族従事者含む) お伺いします。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。併せて、() に数字の記入をお願いします。※帰宅時間が一定していない方は、主な帰宅時間を記入してください。「18 時頃」のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 母親(父子家庭の場合は記載不要)

1. 就労している(フルタイム；育児・介護休業中は含まない)
 - 1週当たりの平均的勤務時間・働いている日の平均的勤務時間などについてお伺いします。
 - 【 1 週当たり() 時間 ・ 出発時間() 時 ・ 帰宅時間() 時 】
 - 土曜日の勤務はありますか。
 - 【 () ① ある () ② ない 】
 - 日曜日、祝日の勤務はありますか。
 - 【 () ① ある () ② ない 】
2. 就労している(フルタイムだが育児・介護休業中)
3. 就労している(パートタイム、アルバイト等)
 - 1週当たりの平均的勤務時間・働いている日の平均的勤務時間などについてお伺いします。
 - 【 1 週当たり() 時間 ・ 出発時間() 時 ・ 帰宅時間() 時 】
 - 土曜日の勤務はありますか。
 - 【 () ① ある () ② ない 】
 - 日曜日、祝日の勤務はありますか。
 - 【 () ① ある () ② ない 】
 - フルタイムへの転換希望がありますか。
 - 【 () ① 希望がある () ② 希望がない () ③ 希望はない 】
 - 以前は就労していたが、現在は就労していない
 - 問9-1ハ
 - 問9-1ハ
 - 5. これまでに就労したことがない

(2) 父親(母子家庭の場合は記載不要)

1. 就労している(フルタイム；育児・介護休業中は含まない)
 - 1週当たりの平均的勤務時間・働いている日の平均的勤務時間などについてお伺いします。
 - 【 1 週当たり() 時間 ・ 出発時間() 時 ・ 帰宅時間() 時 】
 - 土曜日の勤務はありますか。
 - 【 () ① ある () ② ない 】
 - 日曜日、祝日の勤務はありますか。
 - 【 () ① ある () ② ない 】
2. 就労している(フルタイムだが育児・介護休業中)
3. 就労している(パートタイム、アルバイト等)
 - 1週当たりの平均的勤務時間・働いている日の平均的勤務時間などについてお伺いします。
 - 【 1 週当たり() 時間 ・ 出発時間() 時 ・ 帰宅時間() 時 】
 - 土曜日の勤務はありますか。
 - 【 () ① ある () ② ない 】
 - 日曜日、祝日の勤務はありますか。
 - 【 () ① ある () ② ない 】
 - フルタイムへの転換希望がありますか。
 - 【 () ① 希望がある () ② 希望があるが予定はない () ③ 希望はない 】
 - 以前は就労していたが、現在は就労していない
 - 問9-1ハ
 - 問9-1ハ
 - 5. これまでに就労したことがない

問9-1 問9(1)で「4.」または「5.」を選ばれた方にお伺いします。母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

1. 有(すぐでももしくは1年以内)希望がある
2. 有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)
3. 無

問9-2 問9-1で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。

就労希望の形態はどのようなものでか。あてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。(パート、アルバイトを希望の方は1週当たり日数及び1日当たりの時間も記入してください)

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労(1週当たり()日・1日当たり()時間)

問9-3 問9-1で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。

就労希望がなければ、現在働いていない理由は何ですか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

1. 利用できる保育サービス(※)がない
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 配偶者の育児・家事への協力が得られない
5. 働くことに家族や親族の理解が得られない
6. その他()

(※)この欄において「保育サービス」とは、認可保育所、認定こども園、家庭訪問保育(いわゆる保育ママ)、児童発達支援センター、認可外保育施設(簡易保育所、幼稚園(通常の就園時間)、幼稚園(通常の就園時間を延長して預かるサービス)、ベビーシッター、ファミリー・サポート・センター、定額制に等しいサービス)としてします。以下の説明も同様の定義です。サービスの詳細については、問11-1を参照してください。

問9-4 問9-1で「2.」を選ばれた方にお伺いします。

封筒のあて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

()歳になったとき

問10 母親の皆さんすべてにお伺いします。封筒のあて名のお子さんの出産前後(前後それぞれ1年以内)に産前産後休業を希望しましたか。あてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

1. 産前産後
2. 継続的に働いていた(転機も含む)
3. 出産1年以内にすでに働いていた

問 10-1

「10」で「1」を選ばれた方にお伺いします。
仕事と家庭の両立を支える保育サービスなどの環境が整っていないら、就労を継続しましたが、もっともあてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

1. 保育サービスが標準に利用できる早返しが受けられ、継続して就労していた
2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていたり、継続して就労していた
3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらでも整っていたり、継続して就労していた
4. 配偶者の育児・家事への協力が得られれば、継続して就労していた
5. 働くことに家族や親族の理解が得られれば、継続して就労していた
6. 制度や環境に関係なく、自発的にやめた
7. その他（ ）

3. 保育サービスの利用についてお伺いします

問 11 初尚のあて名のお子さんの現在の保育サービス（問9-3の授業参観）の利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していらっしゃいますか。あてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

1. 利用している → 問 11-1ハ
2. 利用していない → 問 11-5ハ

問 11-1

「11」で「1」を選ばれた方にお伺いします。
初尚のあて名のお子さんは、現在、どのような保育サービスを利用していますか。あてはまる答えの番号にOをつけてください。不定期に利用されるものも含めてお答えください。（複数回答可）

1. 認可保育所（国が定める認証基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
2. 家庭的な保育（保育ママ：保育者の家庭等で子どもを預かるサービス）
3. 非業務所外保育施設（企業が従業員用に設置する施設）
4. 認可外保育施設（簡易保育所）
5. 認定こども園（幼稚園と保育所の機能が併存する施設）の幼稚園教育時間（概ね4時間）の保育の利用
6. 認定こども園（幼稚園と保育所の機能が併存する施設）の保育所の保育時間以外の利用
7. 幼稚園（通常の就園時間）
8. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に加え、延長して預かるサービス）
9. ハビュンセンター
10. ファミリー・サポート・センター（地域住民による子どもの預かりサービス）
11. その他（ ）

問 11-2
～
問 11-4ハ

問 11-2

「11-1」で「1」～「8」を選ばれた方にお伺いします。
現在の保育サービスの利用状況についてお伺いします。1週当たり何日、1日当たり何時間（同時から同時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を利用しているいらっしゃいますか。特に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 900～1800（例）のように24時間制でご記入ください。

1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間（ ）時～（ ）時

問 11-3

「11-1」で「1」～「8」を選ばれた方にお伺いします。
利用されている理由についてお伺いします。もっともあてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

- お子さんの身の回りの世話を主にしている方が
1. 現在就労している
 2. 就労予定がある、または就労中である
 3. 家族・親族などを介護しなければならぬ
 4. 病気や障がいを持っている
 5. 学生である
 6. 1～5までの期間はないが、子どもの教育のため
 7. その他（ ）

問 11-4

「11-1」で「1」～「8」を選ばれた方にお伺いします。
あなただは、希望した時期に、希望した保育サービスを利用することができず、あてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。また「2」にOをつけた方は、どのように調整したか内容を教えてください。

1. 利用できた
2. 調整して利用できた（育児休業を切り上げるなど）
3. 利用できなかった
4. その他（ ）

問 11-5

「11-1」で「2」～「8」を選ばれた方にお伺いします。
保育サービスを利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

1. (子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がお預けしている
3. 近所の人や父母の友人・知人がお預けしている
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 預けたいが、場所や時間帯の条件が合わない
7. 預けたいが、サービスの質など、納得できるサービスがない
8. 子どもがまだ小さい → () 歳くらいになったら預けようと考えている
9. その他（ ）

図 12

保育サービスの利用希望について、すべての方にお伺いします。
 封筒のあて名のお子さんに關して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が)足りていないと認む保育サービスはどれですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。(複数回答可)

【日中の定時的保育】	図 12-1、 図 12-2へ
1. 認可保育所 (国が定める認証基準に適合した施設で就学前児童の認可を受けたもの)	}
2. 家庭的な保育 (保育ママ：保育者の家庭等で子どもを預かるサービス)	
3. 事業所内保育施設 (企業が従業員用に設置する施設)	
4. 認可外保育施設 (簡易保育所)	
5. 認定こども園 (幼稚園と保育所の機能がある施設) の幼稚園教育時間 (概ね4時間)の保育の利用	
6. 認定こども園 (幼稚園と保育所の機能がある施設) の保育所の保育時間(預かり保育)	
7. 幼稚園 (通常の就学前時間)	
8. 幼稚園の預かり保育 (通常の就学前時間に加え、延長して預かるサービス)	
9. 延長保育 (通常の保育時間に加え、延長して預かるサービス)	
10. ヘルプシッター	
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民による子どもの預かりサービス)	
【その他保育】	→ 図 13へ
12. 一時預かり (利用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かるサービス)	→ 図 13へ
13. 病児・病後児保育 (子どもの病気時の保育)	→ 図 13へ
【その他】	→ 図 13へ
14. 特になし	

図 12-1 図 12 で「1」～「9」を選ばれた方にお伺いします。選択されたサービスそれぞれについてお答えください。今後の利用希望についてお伺いします。1 週当たり何日、1 日当たり何時間 (何時から何時まで) 保育サービス(延長保育なども含めます)を希望しますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 9:00～18:00 (例) のように 24 時間制でご記入ください。

選択したサービス番号	<input type="text"/>
1 週当たり () 日	1 日当たり () 時間 () 時～ () 時
選択したサービス番号	<input type="text"/>
1 週当たり () 日	1 日当たり () 時間 () 時～ () 時
選択したサービス番号	<input type="text"/>
1 週当たり () 日	1 日当たり () 時間 () 時～ () 時
選択したサービス番号	<input type="text"/>
1 週当たり () 日	1 日当たり () 時間 () 時～ () 時

図 12-2

図 12 で「1」～「9」を選ばれた方にお伺いします。
 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。もっともあてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が	
1. 現在就労している	2. 現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい
3. 就労予定がある、または求職中である	4. そのうち就労したいと考えている
5. 就労していないが、育児に不安・負担が大きい	6. 就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい
7. 家族・親族などを介護しなければならぬ	8. 病氣や障がいを持っている
9. 学生である、または就学したい	10. その他 ()

図 13

封筒のあて名のお子さんの土曜日・祝日の保育について、すべての方には希望をお伺いします。
 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービス(お昼・おやつ)などの恒常的な利用で一時的な利用(お昼のみ)の利用希望がありますか。あてはまる答えの番号に 1 つだけ○をつけてください。
 ※保育サービスなどは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの保育サービスを指し、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日】

1. ほぼ毎週利用したい	}	利用したい時間帯をお答えください。
2. 月に 1～2 回は利用したい		() 時から () 時まで
3. 利用希望はない		

【日曜日・祝日】

1. ほぼ毎週利用したい	}	利用したい時間帯をお答えください。
2. 月に 1～2 回は利用したい		() 時から () 時まで
3. 利用希望はない		

4. 封筒のあて名のお子さんの病況・病後児保育についてお伺いします

問 14 保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の保育サービス（問9～3の定義参照）が利用できなかったことはありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. あった → 問 14-1^
2. なかった → 問 15^

問 14-1 問 14 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスの利用できなかった場合の対応方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号に○をつけ、それぞれの日数を記入してください。（半日単位についても1日としてカウントしてください）（複数回答可）

1. 父親が休んだ () 日 → 問 14-2^
2. 母親が休んだ () 日 → 問 14-2^
3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた () 日 → 問 14-2^
4. 就労していない保護者がみた () 日 → 問 15^
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した（保育所で実施しているサービスを含む） () 日 → 問 15^
6. ベビーシッターなどを雇んだ () 日 → 問 15^
7. ファミリー・サポート・センターに依頼した () 日 → 問 15^
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた () 日 → 問 15^
9. その他 () 日 → 問 15^

問 14-2 問 14-1 で「1.」～「3.」を選ばれた方にお伺いします。その際、できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したいと思われた日数はどれくらいありますか。概ね日数を記入してください。

できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したい () 日

問 14-3 問 14-2 で「できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したい」日数を1日以上と記入された方にお伺いします。

その際、病児・病後児保育サービスを利用されなかった理由はどのようなことですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 身近にない
2. 知らない
3. 料金が高い
4. 診断書の提出など手順が複雑
5. 早退・深夜の対応ができない
6. その他 ()

5. すべての方に、封筒のあて名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします

問 15 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子ども親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけて日数を記入してください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

1. ある → 年間 () 日
(理由別)
① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的 () 日
② 冠婚葬祭、子どもの親の病気 () 日
③ 就労 () 日
2. ない

問 15-1 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は概ねに数字をご記入ください。

月に () 日くらゐ

6. すべての方に、封筒のあて名のお子さんの冠婚葬祭を伴う一時預かりのことについてお伺いします

問 16 この1年間で、保護者の用事などにより、お子さんを泊まりかけで預けなければならぬことがあります。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. あった（預け先がみつからなかった場合を含む） → 問 16-1^
2. なかった → 問 17^

問 16-1 問 16 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

この1年間の対応方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号に○をつけ、それぞれの日数を記入してください。（複数回答可）

1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた () 泊 → 問 16-2^
2. 一時預かりサービス(※)を利用した () 泊 → 問 17^
3. 仕方なく子どもも同行させた () 泊 → 問 17^
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた () 泊 → 問 17^
5. その他 () 泊 → 問 17^

(※) ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど

● ショートステイ 保護者の疾病・冠婚葬祭等の事由により、家庭で養育が一時的に困難な児童を児童養護施設等で保護・養育

問 16-2 問 16-1 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

その場合の困難さはどの程度でしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

7. 来年度就学予定の児童の保護者の方にお伺いします

問17 封筒のあて名のお子さんの小学校入学以降の放課後の過ごし方について、放課後児童クラブを利用したいと思いませんか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(※) 放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が放課等により面倒を見られない場合などに、指導員のほか、子ども（概ね10歳未満）の生活をサポートするものです。

1. 利用したい → 週()日くらい
 2. 利用予定はない

8. ペビージンターを利用している方にお伺いします

問18 どのような目的で利用しているいらっしゃいますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 主たる保育サービスとして利用している
 2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
 3. 子どもの病氣・ケガ等の緊急時に利用している
 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
 5. 親の冠婚葬祭や買い物等の外出の際に利用している
 6. その他()

問18-1 どれくらいの頻度で利用しているいらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に()日くらい 1回当たり()時間程度

9. すべての方に、ファミリー・サポート・センターの利用についてお伺いします

問19 ファミリーサポートセンターを利用していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用している → 問19-1、問19-2、問19-3へ
 2. 利用していない → 問19-4へ

問19-1 問19で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

どのような目的で利用しているいらっしゃいますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 主たる保育サービスとして利用している
 2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
 3. 子どもの病氣・ケガ等の緊急時に利用している
 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
 5. 親の冠婚葬祭や買い物等の外出の際に利用している
 6. 保育施設等の送り迎えに利用している
 7. その他()

問19-2 問19で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

月に()日くらい 1回当たり()時間程度

問19-3 問19で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

利用日数・回数をお知らせしたいと思います。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください

月に()日くらい 1回当たり()時間程度

問19-4 問19で「2.」を選ばれた方にお伺いします。

今は利用していませんが、ぜひ利用したい方は、枠内に数字をご記入ください

月に()日くらい 1回当たり()時間程度

10. すべての方にお伺いします

問20 封筒のあて名のお子さんとは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場)、子どものひろば、子育て支援センター等と呼ばれています)を利用していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけ、おおよその利用回数(頻度)をご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり相談をする場) 1回当たり()回 → 問20-1へ
 2. こどもクラブ(保健センターで実施している1.の事業と同様の事業) 1回当たり()回 → 問20-1へ
 3. 利用していません → 問20-1、問20-2へ

問20-1 今は利用していませんが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場) 1回当たり()回
 2. こどもクラブ(保健センターで実施している1.の事業と同様の事業) 1回当たり()回
 3. 特になし

問20-2 問20で「3.」を選ばれた方にお伺いします。

現在利用していない理由は何でしょうか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用したいサービスが地域にない
 2. 地域のサービスの頻に不安がある
 3. 地域のサービスの利便性(立地・開館時間・日数等)が悪く利用しづらい
 4. 利用料がかかる
 5. 自分がサービスの対象者になるのかわからない
 6. 時間が合わない
 7. サービスの利用方法(手続き等)や申請書がわからない
 8. その他()
 9. 特に理由はない

問 22 子育て全般についてお伺いします。あなたは、自分にとって子育てを楽ししいと感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い	→ 問 22-1 A
2. 楽しいと感じることが辛いと感じることが同じくらい	→ 問 22-2、問 22-3 A
3. 辛いと感じることが多い	→ 問 22-2、問 22-3 A
4. わからない	→ 問 23 A
5. その他 ()	→ 問 23 A

問 22-1 問 22 で「1」を選ばれた方にお伺いします。
子育てをする中で、どのような支援・対策が有効に感じていますか。あてはまる答えの番号に3つまで○をつけてください。(3つまで回答可)

1. 地域における子育て支援の充実 (一時預かり、2. 保育サービスの充実 育児相談など)	
3. 子育て支援のネットワークづくり	4. 地域における子どもの活動場の充実 (児童館など)
5. 訪問型の支援サービスの充実	6. 健やかな妊娠・出産に対する支援
7. 子どもの教育環境	8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備	10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11. 支援を要する子どもに対する支援	12. その他 ()

問 22-2 問 22 で「2」または「3」を選ばれた方にお伺いします。
あなたが目撃していること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

(1) 子どもに関すること

1. 病気や発育発達に関すること	2. 食事や栄養に関すること
3. 育児のことがよくわからないこと	4. 子どもの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと	6. 子どもの教育に関すること
7. 子どもの友達つきあいに悩むこと	8. 子どもの登所登園拒否や不登校など
9. その他 ()	

(2) あなたに関すること

1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことを親族、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと	4. 自分の子育てについて親族、近隣の人、職場など周りの人の目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいらないこと	6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	8. 子育てでのストレス等から子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと	10. 子育てでわかる出費がかさむこと
11. 住居が狭いこと	12. その他 ()

問 21 子育て支援サービスの認知度・利用度についてお伺いします。下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありませんか。また、今後、利用したいと思いませんか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。ただし、⑤・⑥については、回答不要です。

①は、保健センターで実施している乳幼児の母子を対象とした健全育成、育児支援の教室等です。②は、生後4ヶ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、不安や悩みを聞き支援します。

A. 知っている

①母親学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ
②保健センターの妊娠・相談サービス	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ
④保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ
⑤児童館・青少年会館 (センター)	はい	いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい	いいえ
⑦自治体が発行する子育て支援情報誌	はい	いいえ
⑧育児支援家庭訪問事業	はい	いいえ
⑨こどもには赤ちゃん事業	はい	いいえ

B. これまでに利用したことがある

①母親学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ
②保健センターの妊娠・相談サービス	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ
④保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ
⑤児童館・青少年会館 (センター)	はい	いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい	いいえ
⑦自治体が発行する子育て支援情報誌	はい	いいえ
⑧育児支援家庭訪問事業	はい	いいえ
⑨こどもには赤ちゃん事業	はい	いいえ

C. 今後利用したい

①母親学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ
②保健センターの妊娠・相談サービス	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ
④保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ
⑤児童館・青少年会館 (センター)	はい	いいえ
⑥子育ての総合相談窓口	はい	いいえ
⑦自治体が発行する子育て支援情報誌	はい	いいえ
⑧育児支援家庭訪問事業	はい	いいえ
⑨こどもには赤ちゃん事業	はい	いいえ

問 21-1 問 21 の子育て支援サービスの情報は、入手しやすいと感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 入手しやすい	2. 入手しにくい	3. どちらともいえない
-----------	-----------	--------------

問 22-3

問 22 で「2.」または「3.」を選ばれた方にお伺いします。
 あなたにとって子育ての辛さを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる答えの番号に3つまで○をつけてください。(3つまで回答可)

- | | |
|---------------------------------|----------------------------|
| 1. 地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など） | 2. 保育サービスの充実 |
| 3. 子育て支援のネットワークづくり | 4. 地域における子どもの活動場の充実（児童館など） |
| 5. 訪問型の支援サービスの充実 | 6. 健やかな妊娠・出産に対する支援 |
| 7. 子どもの教育環境 | 8. 子育てしやすい住居・まわりの環境面での充実 |
| 9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備 | 10. 子どもを対象とした犯罪・事故の軽減 |
| 11. 悩ませる子どもに対する支援 | 12. その他（ ） |

問 23 すべての方にお伺いします。子育てについて、誰に相談していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 親や家族 | 2. 近所の人、友人・知人 |
| 3. 子育てのための施設 | 4. 保育所や幼稚園 |
| 5. 行政機関（市町村役場、保健所、保健センター など）の相談窓口（育児相談など） | 6. 自ら育児塾、インターネットを調べる |
| 7. 相談すべきことはない | 8. 相談相手がいらない |
| 9. その他（ ） | |

問 24 あなたは、子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------|
| 1. 現在参加している | → 問 24-1 へ |
| 2. 現在参加していないが今後参加がたいは参加したい | → 問 24-1 へ |
| 3. 現在参加しておらず今後も参加するつもりはない | → 問 25 へ |

問 24-1

問 24 で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。
 自主活動をするにあたり、行政に行っておきたい支援は何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 活動場所の確保 | 2. 情報発信やPR等への支援 |
| 3. 活動中の保育サービス | 4. 活動資金助成 |
| 5. 活動への関係者に関する専門家からのアドバイス | 6. その他（ ） |
| 7. 特になし | |

問 25 すべての方にお伺いします。あなたにとって、子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. 感じる | 2. 感じない |
|--------|---------|

問 26

藤井寺市では、下記の手業や取組がありますが、地域において子育て支援のために必要、あるいは効果があると思われるものはどれですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

事業及び取組概要	
1. マタニティ教室（保健センター）	
<妊婦とその家族が赤ちゃんを迎えるための教室>	
2. 新生児、妊産婦、乳幼児への訪問指導（保健センター）	
<保健師・助産師等の家庭訪問による相談>	
3. 健康相談（保健センター）	
<保健師、管理栄養士・歯科衛生士による面接・電話相談>	
4. 乳幼児健康診査（保健センター）	
<4ヶ月・1歳6ヶ月・2歳6ヶ月・3歳6ヶ月の健康診査>	
5. 赤ちゃん・幼児・親子ワークショップ（保健センター）	
<赤ちゃん（健診後）・幼児・小学生の調理実習と講話>	
6. こんにち赤ちゃん事業（保健センター）	
<生後4ヶ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し不安や悩みを聞き支援>	
7. わんぱく広場や運動開放（市立保育所）	
<就学前児童の親子のつどいの場>	
8. 子育て“ほっと”ダイヤル（市立保育所）	
<育児に関する電話相談>	
9. 地域子育て支援センター事業（ひかり保育園）	
<育児相談や親子のつどい、親同士の交流の場>	
10. つどいの広場事業（つどいの広場）いであら（ラミー保育園）	
<育児相談や親子のつどい、親同士の交流の場>	
11. ファミリーサポートセンター（子育て支援課）	
<地域住民による子ども達の預かりサービス>	
12. ショートステイ（子育て支援課）	
<宿泊を伴う児童館施設等での一時的な子どもの預かりサービス>	
13. カンガルー教室（子育て支援課）	
<親子教室・個別相談>	
14. 家庭児童相談（子育て支援課）	
<家庭内における子ども達の育りに関する相談・支援>	
15. 幼児親子教室（シュラホール）	
<親子のつどい、親同士の交流の場>	
16. 子育てママのおしゃべりサロン（シュラホール）	
<ボランティアによる乳幼児の育児相談、親同士の交流の場>	
17. はぐくみ学級（シュラホール）	
<幼児から中学生までの保護者を対象とした家庭学習学級>	
18. 子育て相談（教育相談室）	
<学校生活や家庭生活等についての相談・支援>	
19. その他（問 26-1 自由記述へ）	

問 26-1

問 26 で「1. 9.」を選ばれた方にお伺いします。

その他必要、あるいは効果があると思われる事業や取組について具体的に記述してください。

Blank text box for additional information.

1.1. 子どもの健康についてお伺いします

問 27 封筒のあて名のお子さんについて、かかりつけの医師はいますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- 1. いる 2. いらない 3. どちらともいえぬ

問 28 お子さんがけがや急病のとき、誰に相談していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 1. 医師 2. 家族
3. 保健所 4. 知照の人等
5. 友人・知人 6. 行政機関(市町村役場、保健所、保健センターなどの相談窓口)
7. 消防署や小児救急電話相談 8. 自ら教員の医学書、インターネットを調べる
9. 相談相手(なし) ない 10. その他()

問 29 お子さんがけがや急病のとき、すぐ診てくれる医療機関が見つからず困ったことがありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- 1. 困ったことがある → 問 29-1A
2. 困ったことはない → 問 30A

問 29-1 問 29 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

困ったのはいつですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 1. 平日(昼間) 2. 平日(夜間)
3. 休日(昼間) 4. 休日(夜間)
5. その他()

1.2. 離乳食を終えられたお子さんの保護者の方に子どもの食生活についてお伺いします

問 30 封筒のあて名のお子さんについて、それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

A. 朝ごはんを食べますか

- 1. 毎日食べる 2. 食べる日のほうが多い
3. 食べない日のほうが多い 4. ほとんど食べない

B. 野菜は好きですか

- 1. 好き 2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえば嫌い 4. 嫌い

C. 野菜は、朝食・昼食・夕食のうち1日何回食べますか

- 1. 3回 2. 1~2回 3. ほとんど食べない

D. 果物は食べますか

- 1. 毎日食べる 2. 食べる日のほうが多い
3. 食べない日のほうが多い 4. ほとんど食べない

E. 1日1回は家族と一緒に食事をしますか

- 1. する 2. しぬい

問 30-1 決まった時間に食事するなど、お子さんは、健康的な食習慣を身につけていると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- 1. 感じる 2. 感じない 3. わからぬい

問 31 藤井寺市では、下記の事業や取組がありますが、地域において子どもたちの健康のために必要、あるいは効果があると思われるものはどれですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 1. 休日急病診療
2. 小児急病夜間診療
3. 乳幼児健康診査
4. その他(問31-1 自由記述へ)

問 31-1 問 31 で「4.」を選ばれた方にお伺いします。

その他必要、あるいは効果があると思われる事業や取組について具体的に記述してください。

Blank text box for additional information.

13. 子育てを支える生活環境の整備についてお伺いします

問 32 近隣のあて名のお子さんと外出する際、困ること、困ったことはありませんか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配	
2. 歩道の狭さなどがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている	
3. 交差路や建物やベビーカーでの移動に配慮されていない	
4. トイレがオムツ替えや靴子での利用に配慮されていない	
5. 授乳する場所や必要な設備がない	
6. 小さなお子さんの食事に配慮された場所(店)が少ない	
7. 買い物や用事等の会場の混雑に子どもを預ける場所がない	
8. 緑や広い歩道が少ないなどまちなみにゆとりとうるおいが少ない	
9. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみる	
10. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない	
11. 特になし	
12. その他 ()	

問 33 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 満足している	2. 満足していない
3. どちらとも取れない	4. わからない

問 34 お住まいの地域の子どもの遊び場についてご感じることは何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 近くに遊び場がない	
2. 雨の日に遊べる場所がない	
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない	
4. 遊具などの種類が充実していない	
5. 不衛生である	
6. いつも混雑としていて賑々感じすぎる	
7. 遊具などの設備が古くて危険である	
8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあえる場が少ない	
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない	
10. 公園など遊び場のトイレがオムツ替えや靴子での利用に配慮されていない	
11. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらの遊び仲間が少ない	
12. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらの遊び仲間が少ない	
13. その他 ()	
14. 特に感じることはない	

14. 子どもの安全を確保するための取組やサービスの認知度等についてお伺いします

問 35 下記の取組やサービスを知っていたり、これまでに協力したことはありますか。また、今後、協力したいと思いませんか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

A. 知っている			
①青色回廊/バトロール事業		はい	いいえ
②子どもの安全見まもり隊事業		はい	いいえ
③子ども110番事業		はい	いいえ
B. これまでに協力したことがある			
①青色回廊/バトロール事業		はい	いいえ
②子どもの安全見まもり隊事業		はい	いいえ
③子ども110番事業		はい	いいえ
C. 今後協力したい			
①青色回廊/バトロール事業		はい	いいえ
②子どもの安全見まもり隊事業		はい	いいえ
③子ども110番事業		はい	いいえ

問 36 お住まいの地域で、子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 感じる	2. 感じない
3. どちらでもない	4. わからない

問 37 藤井寺市では、下記の事業や取組がありますが、地域において子どもの安全確保のために必要、あるいは効果があると認められるものはどれですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 青色回廊/バトロール事業	
2. 子どもの安全見まもり隊事業	
3. 子ども110番事業	
4. その他(問37-1自由記述へ)	

問 37-1 問37で「4.」を選ばれた方にお伺いします。その必要、あるいは効果があると思われる事業や取組について具体的に記述してください。

1.5. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお伺いします

国においては、少子化への取組として、働き方の改革による「仕事と生活の調和」の推進も、多様な働き方に対応した保育サービス等の子育てを支える社会的基盤の整備を「車の両輪」として進めていくこととしております。

※「仕事と生活の調和」（あなた自身が仕事と生活のバランスは取れていると思うか、また、仕事と生活が両方いい方は、家事・育児・育児・介護などと、それ以外の生活（趣味や友人との付き合いなど）のバランスがどれくらい）についてお答えください。

図 38 「仕事と生活の調和、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、これまで知っていましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 言葉を知っており内容も詳しく知っている 2. 言葉を知っており内容も少しは知っている
3. 言葉を知っていたことはあるが内容はよく知らない 4. 知らない

図 39 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。（1週間の平均的な時間をお答えください。）また、その時間は十分だと思えますか、それそれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 母親

子どもと一緒に過ごす時間 () 時間

1. 十分だと思ふ 2. まあまあ十分だと思ふ
3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思ふ
5. わからない

(2) 父親

子どもと一緒に過ごす時間 () 時間

1. 十分だと思ふ 2. まあまあ十分だと思ふ
3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思ふ
5. わからない

図 40 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。（1週間の平均的な時間をお答えください。）

(1) 母親

() 時間

(2) 父親

() 時間

図 41 配偶者との家事、育児負担に満足していますか、それそれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 母親

配偶者（夫）との家事、育児負担

1. 満足している 2. まあまあ満足している
3. あまり満足していない 4. 不満だ
5. わからない

(2) 父親

配偶者（妻）との家事、育児負担

1. 満足している 2. まあまあ満足している
3. あまり満足していない 4. 不満だ
5. わからない

図 42 あなたの家庭の生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてお伺いします。それそれについてあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 現実

1. 仕事時間を優先 2. 家事（育児時間）を優先
3. プライベート時間を優先 4. その他 ()

(2) 希望

1. 仕事時間を優先 2. 家事（育児時間）を優先
3. プライベート時間を優先 4. その他 ()

図 43 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 残業や出張が入ること
2. 子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと
3. 配偶者の協力が得られないこと
4. 家族や親族の理解が得られないこと
5. 周囲に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等）
6. 職場の理解や協力が得られないこと
7. 子どものほかに面倒をみなければならぬ人がいること
8. 子どもの面倒をみてくれる保育所や放課後児童クラブ等がみつからないこと
9. 子どもと接する時間が少ないこと
10. その他 ()

図 44 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 感じる 2. まあまあ感じる
3. あまり感じない 4. 感じない
5. わからない

16. 育児休業制度の利用についてお問い合わせします

問 45 封筒のあて名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用なさいましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- 1. 母親が利用した → 問 45-1、問 45-2ハ
- 2. 父親が利用した → 問 45-1、問 45-2ハ
- 3. 母親と父親の両方が利用した → 問 45-1、問 45-2ハ
- 4. 利用しなかった → 問 45-5又は問 45-6ハ

問 45-1 問 45で「1」～「3」を選ばれた方にお問い合わせします。

育児休業から復帰したとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。枠内に、具体的に数字でご記入ください。（お子さんが1歳以上の場合は月齢に換算してお答えください。問 45で「3」とお答えになった方は、最後の育児休業利用者が復帰した時にお問い合わせください。）

子どもは（ ）ヶ月だった

問 45-2 問 45で「1」～「3」を選ばれた方にお問い合わせします。

育児休業明けに、希望する保育サービスを受け利用できましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- 1. 育児休業明けを調整せずにできた → 問 46ハ
- 2. 育児休業明けを調整したことでできた → 問 45-3ハ
- 3. できなかった → 問 45-4ハ
- 4. 希望しなかった → 問 46ハ

問 45-3 問 45-2で「2」を選ばれた方にお問い合わせします。

育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は繰返して取得した期間と変わりましたが、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけ、枠内に数字をご記入ください。

1. 変わらない 2. 長くした（ ）ヶ月 3. 短くした（ ）ヶ月

問 45-4 問 45-2で「3」を選ばれた方にお問い合わせします。

どのように対応されましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- 1. 希望とは違う認可保育所を利用した
- 2. 事業所内の保育サービスを利用した
- 3. 上記以外の保育サービスを利用した
- 4. 家族等にみてもらうことで対応した
- 5. 仕事を辞めた

問 45-6 問 45で「4」を選ばれた母親にお問い合わせします。

育児休業を取得しなかった理由は何か、あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

- 1. 取得しにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5. 昇給・昇格が遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7. 保育所等に預けることができた
- 8. 親族、知人に預けることができた
- 9. 制度を利用する資格がなかった(無職など)
- 10. 会社に育児休業制度がなかった
- 11. その他（ ）

問 45-6 問 45で「4」を選ばれた父親にお問い合わせします。

育児休業を取得しなかった理由は何か、あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

- 1. 取得しにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. 仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5. 昇給・昇格が遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7. 保育所等に預けることができた
- 8. 親族、知人に預けることができた
- 9. 制度を利用する資格がなかった(無職など)
- 10. 会社に育児休業制度がなかった
- 11. その他（ ）

問 46 あなたの勤務先にある育児休業以外の育児のための制度は何か、あてはまる答えの番号に○をつけてください。あなだが勤務されていない場合は配偶者の勤務先の状況についてお答えください。（複数回答可）

- 1. 勤務時間短縮する制度(1週間の土日祝日数を減らしたり、出社・退社時間を変更するなど、勤務時間を短くする制度)
- 2. フレックスタイム制(自分で出社・退社時間を決められる制度)
- 3. 残業(時間外勤務)をさせない制度
- 4. 事業所が設けた託児施設
- 5. 子どもの看護休暇制度(子どもが病気の際の休暇制度)
- 6. 在宅勤務制度(パソコンなどを活用して自宅勤務(の一部)をする制度)
- 8. 休暇制度(妊娠、出産、育児等を理由に退職した人が復帰できる制度)
- 9. 学童前泊制度(子どもの学校の休暇中は無給休暇をとることができる制度)
- 10. 職場復帰プログラム(育児休業中にビジネススキルアップや勤務先の情報を提供するなどで職場復帰を支援する制度)
- 11. 育児支援制度(会社がベビシッター等の利用に補助を出す制度)
- 12. わからない
- 13. その他（ ）
- 14. 育児に関する制度はない

17. 行政サービスへの要望についてお伺いします

図 48 行政（市町村、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経緯などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 親子が安心して集まれる公園等の郊外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育園や幼稚園の園庭開放を充実する
3. 親子が安心して集まれる集いの屋等の屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけるような、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組み
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや、子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育園や幼稚園児童クラブ等の働きながら子どもを預ける施設を増やす
10. 幼稚園の保育サービス（早朝、夕方の種々の預かり保育の延長や登校みまもり保育など）を充実する
11. 専業主婦などでも気軽に利用できるNPOや民営等による保育サービスへの支援を行う
12. 安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15. 子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充等）
16. 公営住宅の優先入居等、住生活での配慮や支援に取り組む
17. その他（ ）
18. 他になし

最後に藤井寺市の子育て支援に希望することや、子育てで困っていることなどがありましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。この調査票は、2月20日（金）までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

図 46-1 問 46 で「14.」以外を回答された方に伺います。

あなた（またはあなたの配偶者）の勤務先の育児支援制度は、社員に広く周知されていますか。また、あなたの勤務先は制度を利用しやすい職場環境ですか。あなたは勤務先の育児支援制度に満足していますか。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- (1) 周知状況
1. 十分に周知されている
 2. 概ね周知されている
 3. 社員の詳しい人以外は知らない
 4. ほとんど周知されていない
 5. わからない
- (2) 利用しやすさ
1. 育児に配慮・理解がある会社であり、気兼ねなく利用できる
 2. スケジュール等を事前に調整すれば利用できる
 3. 利用するにはかなりの育育の強い思いをする
 4. ほとんど利用できるような職場環境ではない
 5. わからない
- (3) 満足度
1. 満足している
 2. まあまあ満足している
 3. あまり満足していない
 4. 不満だ
 5. わからない

図 47 あなた（またはあなたの配偶者）の勤務先で、労働時間の短縮、休暇の取得促進、育児休業取得促進等が進むため、行政のどのような取組みが重要だと思いますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 企業に対して職場環境の改善を働きかける
2. 企業や市民に啓発する
3. 取り組もうとする企業に対して支援する（財政的支援、アドバイザーによる人的支援等）
4. 取り組んでいる先進企業の手例を取集し提供する
5. その他（ ）
6. わからない

藤井寺市 次世代育成支援に関するニーズ調査

(創学児専用)

調査ご協力のお願い

平泉は、市政にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。
さて、この度、藤井寺市では「藤井寺市次世代育成支援行動計画（後期計画）」を策定するにあたり、子育てに力をつめる市民のみならず、次世代を担う子どもたちの育成・子育て支援を、市政の最重要施策のひとつとして捉え、子育て支援にかかわる様々な施策・事業を推進していきます。今回の調査は、市内の創学児のお子さんを御持の世帯を対象に、子育ての現状やサービス等の利用状況並びにご意見・ご要望などを伺い、今後の子育て支援施策の充実を図ることを目的として実施したいと考えています。この調査は、統計法（昭和22年法律第18号）第8条に基づき義務的に届出を行っている届出前調査です。

今回、この調査票を送らせていただいたのは、住民基本台帳から無作為に抽出された方々です。調査結果は、すべて統計的に処理され、この調査の目的以外に使用することはありません。
お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の進捗をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成21年11月 藤井寺市長 國下利男

【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートにはお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
3. ご回答は、選内封筒に入れてお返しいただく場合と、数字などを記入いただく場合がございます。
4. 選択肢の場合、お選びいただいた数だけ記号によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて切手をお貼らずに2月20日（金）までご返送ください。
ご回答いただくことで不明点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

藤井寺市役所 健康福祉部 子育て支援課
電話：072-939-1111（代表） FAX：072-952-9603

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします

図1 封筒のあて名のお子さんの生年月月をお伺いします。

平成（ ）年（ ）月 生まれ

図2 封筒のあて名のお子さんご家族、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合は、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入ください。

（ ）人 末子の年齢（ ）歳

図3 あなたが希望するお子さんの数は何人ですか。

（ ）人

図4 希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方にお伺いします。現在の家族・教育環境等において、もう一人子どもを生み育てたいと思いませんか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 生み育てたいと思う → 問5へ
2. 生み育てたいとは思わない → 問4-1へ

図4-1 問4で「2」を選ばれた方にお伺いします。どのような環境が望まばもう一人子どもを生み育てたいと思いませんか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 経済環境が望まば生み育てたい
2. 経済的余裕が望まば生み育てたい
3. 労働環境が望まば生み育てたい
4. 教育環境が望まば生み育てたい
5. 家庭環境（家族の理解等）が望まば生み育てたい
6. その他（ ）

図5 封筒のあて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。詳細はあて名のお子さんからみられた関係です。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 父母同居 2. 父同居（ひとり親家庭） 3. 母同居（ひとり親家庭） 4. 祖父同居
5. 祖母同居 6. 祖父近居 7. 祖母近居 8. その他（ ）

2. 封筒のあて名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします

問9 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、() に数字の記入をお願いします。※希望時間が一定していない方は、主な希望時間を記入してください。「18 時間」のように24 時間制でご記入ください。

(1) 母親 【お子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム、パートタイム、アルバイト等）
 → 1 週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間などについてお伺いします。
 【 1 週当たり() 時間 ・ 出発時間() 時 ・ 帰宅時間() 時 】
 → 土曜日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】
 → 日曜日、祝日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】

2. 就労している（フルタイムだが専休・介護休業中）
 → 1 週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間などについてお伺いします。
 【 1 週当たり() 時間 ・ 出発時間() 時 ・ 帰宅時間() 時 】
 → 土曜日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】
 → 日曜日、祝日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】

3. 就労している（フルタイムだが専休・介護休業中）
 → 1 週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間などについてお伺いします。
 【 1 週当たり() 時間 ・ 出発時間() 時 ・ 帰宅時間() 時 】
 → 土曜日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】
 → 日曜日、祝日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 → 希望がある
 【 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③ 希望はない 】
 → 間9-1ハ
 → 間9-1ハ

5. これまでに就労したことがない
 【 ① ある ② ない 】

(2) 父親 【お子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム、パートタイム、アルバイト等）
 → 1 週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間などについてお伺いします。
 【 1 週当たり() 時間 ・ 出発時間() 時 ・ 帰宅時間() 時 】
 → 土曜日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】
 → 日曜日、祝日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】

2. 就労している（フルタイムだが専休・介護休業中）
 → 1 週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間などについてお伺いします。
 【 1 週当たり() 時間 ・ 出発時間() 時 ・ 帰宅時間() 時 】
 → 土曜日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】
 → 日曜日、祝日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】

3. 就労している（フルタイムだが専休・介護休業中）
 → 1 週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間などについてお伺いします。
 【 1 週当たり() 時間 ・ 出発時間() 時 ・ 帰宅時間() 時 】
 → 土曜日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】
 → 日曜日、祝日の勤務はありますか。
 【 ① ある ② ない 】

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 → 希望がある
 【 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③ 希望はない 】
 → 間9-1ハ
 → 間9-1ハ

5. これまでに就労したことがない
 【 ① ある ② ない 】

問6 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
 (複数回答可)

1. 日頃から祖父母等の親族に預かってもらえる → 問6-1ハ
 2. 緊急時もしくは用事の際は祖父母等の親族に預かってもらえる → 問6-1ハ
 3. 日頃から子どもを預けられる友人・知人がいる → 問6-2ハ
 4. 緊急時もしくは用事の際は子どもを預けられる友人・知人がいる → 問6-2ハ
 5. いずれもない → 問7ハ

問6-1 問6で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。

祖父母に預かってもらっている状況についてお伺いします。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
 (複数回答可)

1. 祖父母に孫を預かってもらうことについては特に問題ない
 2. 祖父母の身体的負担が大きいく心配である
 3. 祖父母の精神的負担や精神的負担が大きいく心配である
 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
 5. その他 ()

問6-2 問6で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。

友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。あてはまる答えの番号に○をつけてください。
 (複数回答可)

1. 友人・知人に預かってもらうことについては特に問題ない
 2. 友人・知人の身体的負担が大きいく心配である
 3. 友人・知人の精神的負担や精神的負担が大きいく心配である
 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
 5. その他 ()

問7 親御のあて名のお子さんの身の回りの世帯などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。婚姻はあて名のお子さんから見ただけです。

1. 主に父親 2. 主に母親 3. 主に祖父母 4. その他 ()

問8 お住まいの地域の小学校区名に○をつけてください。

1. 藤井寺 2. 藤井寺南 3. 藤井寺西 4. 藤井寺北
 5. 迎明寺 6. 迎明寺東 7. 迎明寺南

問9-1 問9（1）で「4.」または「5.」を選ばれた方にお伺いします。
 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

1. 有（すぐにももしくは1年以内に希望がある） → 問9-2、問9-3ハ
 2. 有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい） → 問9-2、問9-3、問9-4ハ
 3. 無 → 問10ハ

問9-2 問9-1で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。
 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。（パート、アルバイトを希望の方は1週当たり日数及び1日当たりの時間も記入してください）

1. フルタイムによる就労
 2. パートタイム、アルバイト等による就労（1週当たり（ ）日・1日当たり（ ）時間）

問9-3 問9-1で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。
 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっともあてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

1. 放課後児童クラブなどのサービスの利用でできれば就労したい
 2. 働きながら子育てができる適当な仕事がない
 3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
 4. 配偶者の育児・家事への協力が得られない
 5. 働くことに家族や親族の理解が得られない
 6. その他（ ）

問9-4 問9-1で「2.」を選ばれた方にお伺いします。
 期尚のあて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

（ ）歳になったとき

3. 放課後児童クラブの利用についてお伺いします

問10 期尚のあて名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブを利用していますか。あてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。
 放課後児童クラブ・事例によって学習指導などと呼ばれています。保護者が特効薬により学習障害にいい場合などに、指導員の下で、子ども（概ね10歳未満）の生活の場を提供するものです。問10-7の「放課後児童クラブ」は「児童」ではなく「児童」と記載して実施されている場合があります。

1. 利用している → 問10-1、問10-3ハ
 2. 調整して利用できた（育児休業を切り上げるなど） → 問10-1、問10-3ハ
 一内容（ ）
 3. 利用していない → 問10-4、問10-5ハ

問10-1 問10で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。
 期尚のあて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。また、利用している理由について、それぞれあてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

週（ ）日くらい → うち土曜日の利用 1. ある → 問10-2ハ
 2. ない

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が
 1. 現在就労している
 2. 就労予定がある、または求職中である
 3. 家族・親族などを介護しなければならない
 4. 病気や障がいを持っている
 5. 学生である
 6. その他（ ）

問10-2 問10-1で、土曜日の利用について「2.」を選ばれた方にお伺いします。
 利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

1. 土曜日は子どもの世話をする者がいるから
 2. 放課後児童クラブが開所していないから
 3. 放課後児童クラブの予約時間が短いから
 4. 利用料が別金にかかるから
 5. その他（ ）

問10-3 問10で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。
 現在通っている放課後児童クラブにどのようなことを希望しますか。あてはまる答えの番号にOをつけてください。（複数回答可）

1. 朝の利用時間を延長する
 2. 夕方の利用時間を延長する
 3. 利用できる学年を延長する
 4. 土曜日に開所する
 5. 日曜日、祝日に開所する
 6. 施設・設備を改善する
 7. 指導内容を工夫する
 8. その他（ ）
 9. 特になし

問10-4 問10で「3.」を選ばれた方にお伺いします。
 利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけOをつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が
 1. 現在就労していないから
 2. 就労しているが、放課後児童クラブを知らなかったから
 3. 就労しているが、近くに放課後児童クラブがないから
 4. 就労しているが、放課後児童クラブに空きがないから
 5. 就労しているが、放課後児童クラブの予約時間が短いから
 6. 障がいや病気でできているから
 7. 就労しているが、利用料がかかるから
 8. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしていないから
 9. 就労しているが、放課後の放課前ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
 10. 就労しているが、他の施設に預けているから
 11. その他（ ）

問 10-5

「問 10-5」で「1.」を選ばれた方にお伺いします。
 封筒のあて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる答えの番号に1つだけ〇をつけてください。

1. 利用したい → 週()日くらい → 問 10-6ハ
 → うち土曜日の利用希望
 【 ① ある ② ない 】

2. 今後もしない → 週()日くらい → 問 10-7ハ
 → うち日曜日・祝日の利用希望
 【 ① ある ② ない 】

問 10-6

「問 10-5」で「1.」を選ばれた方にお伺いします。
 今後放課後児童クラブを利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ〇をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある、または求職中である
3. そのうち就労したいと考えている
4. 家族・親族などを介護し研ればならない
5. 病気や障がいがある
6. 学生である、または就学したい
7. 就労していないが、子どもの教育などのために働きたい
8. その他()

問 10-7

すべての方にお伺いします。地域によっては、放課後児童クラブと連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ〇をつけてください。

放課後子ども教室…すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもを居場所を創出し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに読書やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。

1. 意向がある → 週()日くらい
 2. 意向がない
 3. 対象のサービスがない

問 10-8

封筒のあて名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に〇をつけてください。(複数回答可)

1. 放課後児童クラブを利用したい
 2. 放課後子ども教室を利用したい
 3. クラブ活動など強い事をさせたい
 4. 利用を希望するサービスは構わない
 5. その他()

4. 封筒のあて名のお子さんの病児・病後児保育についてお伺いします

問 11 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ〇をつけてください。

1. あった → 問 11-1ハ
 2. なかった → 問 12ハ

問 11-1

「問 11-1」で「1.」を選ばれた方にお伺いします。
 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの病児保育サービスが利用できなかった場合の対応方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号に〇をつけ、それぞれの日数を記入してください。(半日程度についても1日としてカウントしてください)
 (複数回答可)

1. 父親が休んだ ()日 ()日
2. 母親が休んだ ()日 ()日 → 問 11-2ハ
3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた ()日 ()日
4. 就労していない保護者が守った ()日 ()日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した(保母所で実施しているサービスを含む) ()日 ()日
6. ベビーシッターなどを頼んだ ()日 ()日
7. ファミリー・サポート・センターにお預けした(地域住民による子どもの病児保育サービス) ()日 ()日 → 問 12ハ
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた ()日 ()日
9. その他()日 ()日

問 11-2

「問 11-1」で「1.」～「3.」を選ばれた方にお伺いします。
 その際、できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したいと思われた日数はどれくらいありますか。併せて日数を記入してください。

できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したい ()日

問 11-3

「問 11-2」で「1」で「できれば病児・病後児保育サービスなどを利用したい」日数を1日以上と記入された方にお伺いします。
 その際、病児・病後児保育サービスを利用されなかった理由は何でしょうか。あてはまる答えの番号に〇をつけてください。(複数回答可)

1. 身近にない
2. 知らない
3. 料金が高い
4. 診断書の提出など手続が煩雑
5. 早晩、家族の対応ができない
6. その他()

5. すべての方に、封筒のあて名のお子さんの一時的かりのことについてお伺いします

問 13 この1年間で、私用（荷物、買い物、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病氣、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけ、それぞれの日数を記入してください。（半日程度にわたっても1日としてカウントしてください）

1. ある → 年間（ ）日
（理由別）

2. ない

問 12-1 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思えますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に（ ）日くらい

6. すべての方に、封筒のあて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします

問 13 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊まりがけで預けなければならぬことはありませんでしたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

1. あった（預け先がみつからなかった場合を含む） → 問 13-1 へ
 2. なかった → 問 14 へ

問 13-1 問 13 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

この1年間の対応方法とそれぞれの泊数は何日ですか。あてはまる答えの番号に○をつけ、それぞれの日数を記入してください。（複数回答可）

1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた ()泊 → 問 13-2 へ
 2. 保育サービス(※)を利用した ()泊
 3. 仕方なく子ども同行させた ()泊
 4. 仕方なく子どもだけで留守番させた ()泊 → 問 14 へ
 5. その他 ()泊

(※) ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど

● ショートステイ 保護者の疾病・冠婚葬祭等の事由により、家庭で養育が一時的に困難な児童を児童養護施設等で保護・養育

問 13-2 問 13-1 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

その場合の困難はどの程度でしたか。あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
 2. どちらかというと困難
 3. 特に困難ではない

7. ベビーシッターの利用についてお伺いします

問 14 ベビーシッターを利用している方にお伺いします。どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 子どもの病氣・ケガ等の緊急時に利用している
 2. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
 3. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
 4. その他 ()

問 14-1 どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

月に () 日くらい 1 回当たり () 時間程度

問 14-2 すべての方にお伺いします。今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思えますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に () 日くらい

8. すべての方に、ファミリー・サポート・センターの利用についてお伺いします

問 15 ファミリーサポートセンターを利用していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用している → 問 15-1、問 15-2、問 15-3 へ
 2. 利用していない → 問 15-4 へ

問 15-1 問 15 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 主たる病気のサービスとして利用している
 2. 放課後児童クラブ等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
 3. 子どもの病氣・ケガ等の緊急時に利用している
 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
 5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
 6. 学校等の送り迎えに利用している
 7. その他 ()

問 15-2 問 15 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に () 日くらい 1 回当たり () 時間程度

問 15-3 問 15で「1」を選ばれた方にお伺いします。
利用回数・回数を増やしたいと思いますが、希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に () 日くらい 1回当たり () 時間程度

問 15-4 問 15で「2」を選ばれた方にお伺いします。
今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

月に () 日くらい 1回当たり () 時間程度

9. すべての方に子育て支援サービスの認知度・利用率についてお伺いします

問 16 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。ただし、③については回答不要です。

A. 知っている	
①家庭教育に関する学校・講座	はい いいえ
②教育相談センター・教育相談室	はい いいえ
③児童館・青少年会館(センター)	はい いいえ
B. これまでに利用したことがある	
①家庭教育に関する学校・講座	はい いいえ
②教育相談センター・教育相談室	はい いいえ
③児童館・青少年会館(センター)	はい いいえ
C. 今後利用したい	
①家庭教育に関する学校・講座	はい いいえ
②教育相談センター・教育相談室	はい いいえ
③児童館・青少年会館(センター)	はい いいえ

問 17 藤井寺市では、下記の手業や取組がありますが、地域において子育て支援のために必要、あるいは効果があると思われるものはどれですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

事業及び取組概要	
1.	マタニティ教室(保健センター) <妊婦とその家族が赤ちゃんを迎えるための教室>
2.	新生児・児童科・乳幼児への訪問指導(保健センター) <保健師・助産師等の家庭訪問による相談>
3.	健康相談(保健センター) <保健師・管理栄養士・歯科衛生士による面接・電話相談>
4.	乳幼児健康診査(保健センター) <4ヶ月・1歳6ヶ月・2歳6ヶ月・3歳6ヶ月児の健康診査>
5.	赤ちゃん・幼児・親子クッキング(保健センター) <赤ちゃん(離乳食)・幼児・小学生の調理実習と講義>
6.	こんにちは赤ちゃん事業(保健センター) <生後4ヶ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し不安や悩みを聞き出す支援>
7.	わんぱく広場や公園開放(市立保育所) <就学前児童の親子のつどいの場>
8.	子育て“ほっと”ダイヤル(市立保育所) <育児に関する相談相談>
9.	地域子育て支援センター事業(ひかり保育園) <育児相談や親子のつどい、親同士の交流の場>
10.	つどいの広場事業(つどいの広場ふいふいであら(ラミー保育園)) <育児相談や親子のつどい、親同士の交流の場>
11.	ファミリーサポートセンター(子育て支援課) <地域住民による子どもたちの預かりサービス>
12.	ショートステイ(子育て支援課) <香田を伴う児童発達施設等での一時的な子どもの預かりサービス>
13.	カンカール教室(子育て支援課) <親子教室・個別相談>
14.	家庭児童相談(子育て支援課) <家庭別に対応する子どもの教育に関する相談・支援>
15.	幼児親子教室(シユラホール) <親子のつどい、親同士の交流の場>
16.	子育てママのおしゃべりサロン(シユラホール) <ボランティアによる乳幼児の育児相談、親同士の交流の場>
17.	はぐくみ学級(シユラホール) <幼児から中学生までの保護者を対象とした家庭教育学級>
18.	教育相談(教育相談室) <学校生活や家庭生活等についての相談・支援>
18.	その他(問 17-1 自由記述へ)

問 17-1

問 17 で「1.9」を選ばれた方にお伺いします。
その他必要、あるいは効果があると思われる事業や取組について具体的に記述してください。

10. 子どもの健康についてお伺いします

問 18 封筒のあて名のお子さんについて、かかりつけの医師はいですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. いる	2. いない	3. どちらともいえない
-------	--------	--------------

問 19 お子さんがけがや急病のとき、誰に相談していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 医師	2. 家族
3. 親類等	4. 知照の人等
5. 友人・知人	6. 行政機関(中野村役場、保健所、保健センターなどの相談窓口)
7. 消防署や小児救急電話相談	8. 自家車の医学書、インターネットを調べる
9. 相談相手がいらない	10. その他()

問 20 お子さんがけがや急病のとき、すぐ診てくれる医療機関が見つからず困ったことがありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 困ったことがある	→ 問 20-1ハ
2. 困ったことはない	→ 問 21ハ

問 20-1 問 20 で「1.」を選ばれた方にお伺いします。

困ったのはいつですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 平日(昼間)	2. 平日(夜間)
3. 休日(昼間)	4. 休日(夜間)
5. その他()	

11. 子どもの食生活についてお伺いします

問 21 封筒のあて名のお子さんについて、それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

A. 朝ごはんを食べますか

1. 毎日食べる	2. 食べる日のほうが多い
3. 食べない日のほうが多い	4. ほとんど食べない

B. 野菜は好きですか

1. 好き	2. どちらかといえば好き
3. どちらかといえは嫌い	4. 嫌い

C. 野菜は、朝食・昼食・夕食のうち1日何回食べますか

1. 3回	2. 1~2回	3. ほとんど食べない
-------	---------	-------------

D. 果物は食べますか

1. 毎日食べる	2. 食べる日のほうが多い
3. 食べない日のほうが多い	4. ほとんど食べない

E. 1日1回は家族と一緒に食事をしますか

1. する	2. しらない
-------	---------

問 21-1 決まった時間に食事するなど、お子さんは、健康的な食習慣を身につけていると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 感じる	2. 感じない	3. わからない
--------	---------	----------

問 22 藤井寺市では、下記の事業や取組がありますが、地域において子どもの健康のために必要、あるいは効果があると思われるものはどれですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

事業及び取組概要
1. 休日急病診療
2. 小児急病夜間診療
3. 親子クッキング
4. その他(問 22-1 自由記述へ)

問 22-1 問 22 で「4」を選ばれた方にお伺いします。

その他必要、あるいは効果があると思われる事業や取組について具体的に記述してください。

12. 子どもが心身ともに健やかに成長するための取組についてお伺いします

問 23 封筒のあて名のお子さんの日ごろの過ごし方についてお伺いします。平日の放課後および休日の日帰的なお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとに選択肢の中からあてはまる答えの番号をそれぞれ選んでご記入ください。

1. 平日 14～16 時 ()	(選択肢)	1. 学習にしている (授業、遊び)
2. 平日 16～18 時 ()		2. 放課後児童クラブで過ごす
3. 平日 18～20 時 ()		3. 放課後子ども教室で過ごす
4. 平日 20 時以降 ()		4. 保護者や祖父母等家族親族等 (大人) と過ごす
5. 休日 ()		5. 兄弟姉妹や家族親族等 (子ども) と過ごす
		6. ヘビースターなどと過ごす
		7. 家や公園などで友達と過ごす
		8. 児童館など公共の施設にいる
		9. クラブ活動や地域活動 (子ども会活動、スポーツ活動)
		10. 学習塾や習い事
		11. 家で勉強する
		12. その他 ()
		13. その他 ()

問 24 公民館や青少年会館などの公共施設でどのような企画やサービスがあれば利用してみたいと思いますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 遊具等を使って自由に遊べる	
2. いろいろな図書を自由に読むことができる	
3. 自習ができるスペースがある	
4. 工作などの楽しい体験がある	
5. 英会話やパソコンなど役に立つ講座がある	
6. 気軽にスポーツを楽しめる	
7. 子ども仲間づくりのためのサークルやクラブがある	
8. 子ども自身の悩みなどを積極的に聞き相談に乗ってくれる	
9. 障がいなどで支援が必要は場合は職員やボランティアが対応してくれる	
10. その他 ()	

問 25 封筒のあて名のお子さんの地域における自然体験、社会参加、文化活動などへの参加状況についてお伺いします。地域の環境が、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると答えませんか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 体験をしやすいため	
2. 体験をしやすいたは思わない	
3. どちらでもよい	
4. わからない	

小学生児童

問 26 参加したことがある地域における自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. スポーツ活動	
2. 文化芸術活動	
3. ボランティア活動	
4. 体験学習活動 (ものづくり体験等)	
5. 野外活動 (キャンプ等)	
6. 社会参加活動 (高齢者訪問等)	
7. 国際交流活動 (ホームステイ等)	
8. 青少年団体活動 (こども会等)	
9. 環境分野での社会貢献活動 (リサイクル活動等)	
10. 環境教育活動 (自然観察等)	
11. 地域に根ざした活動 (お祭りや地域運動会等)	
12. その他 ()	
13. 参加したことがない	

問 26-2へ

問 26-1へ

問 26-1 問 26 で「13」を選ばれた方にお伺いします。お子さんがこれまで参加していない理由は何か。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 活動に関する情報がなく参加しにくい	
2. 知り合いなどがおらず参加しにくい	
3. 初めての者が参加しにくい雰囲気がある	
4. 参加の時期が合わない	
5. 費用がかかる	
6. 活動の内容に興味や関心がない	
7. その他 ()	

問 26-2 すべての方にお伺いします。お子さんが参加したことではないが、今後参加したいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. スポーツ活動	
2. 文化芸術活動	
3. ボランティア活動	
4. 体験学習活動 (ものづくり体験等)	
5. 野外活動 (キャンプ等)	
6. 社会参加活動 (高齢者訪問等)	
7. 国際交流活動 (ホームステイ等)	
8. 青少年団体活動 (こども会等)	
9. 環境分野での社会貢献活動 (リサイクル活動等)	
10. 環境教育活動 (自然観察等)	
11. 地域に根ざした活動 (お祭りや地域運動会等)	
12. その他 ()	

問 27 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのような場が望ましいですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 子ども遊びを教えたりしつづけてくれる場	
2. 子どもが放課後などに集まって子ども同士で自主活動などができる場	
3. 子ども同士が活動ができたの遊べたりできる場	
4. 子ども自身が悩みを相談できる場	
5. その他 ()	

問 28 あなたはお子さんが幼稚園や保育所から小学校に入学する際、小学校での生活などについてうまく過ごせるか不安がありましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 体験入学または事前説明会があったため不安はなかった	
2. 体験入学または事前説明会はあったが少し不安はあった	
3. 体験入学や事前説明会以外に情報をとれる機会があったため不安はなかった	
4. 体験入学や事前説明会など情報をとれる機会がなかったため不安があった	
5. 体験入学や事前説明会は必要なく不安はない	
6. その他 ()	

問 29 あなたのお子さんは学校に行くのが楽しそうですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. すごく楽しそうである	
2. 楽しそうである	
3. あまり楽しそうではないが学校が苦情ではない	
4. あまり楽しそうではないが友達や家族などの助けかけにより通っている	
5. あまり楽しそうではなく休みがたである	
6. わからない	

13. 子育てを支える生活環境の整備についてお伺いします

問 30 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 満足している	2. 満足していない
3. どちらとも思わない	4. わからない

問 31 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることが何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 近くに遊び場がない	
2. 雨の日に遊べる場所がない	
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない	
4. 遊具などの種類が充実していない	
5. 不衛生である	
6. いつも混雑していて居心地が悪い	
7. 遊具などの設備が古くて危険である	
8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない	
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない	
10. 遊び場周辺の道幅が狭い	
11. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間が少ない	
12. その他 ()	
13. 特に感じることはない	

14. 子どもの安全を確保してお伺いします

問 32 子どもの安全を確保するための取組やサービスの認知度等についてお伺いします。下記の取組やサービスを知らされている、これまでに協力したことはありますか。また、今後、協力したいと思いませんか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

A. 知っている	
①青色回廊/ハトロール事業	はい いいえ
②子どもの安全見まもり隊事業	はい いいえ
③子ども110番事業	はい いいえ
B. これまでに協力したことがある	
①青色回廊/ハトロール事業	はい いいえ
②子どもの安全見まもり隊事業	はい いいえ
③子ども110番事業	はい いいえ
C. 今後協力したい	
①青色回廊/ハトロール事業	はい いいえ
②子どもの安全見まもり隊事業	はい いいえ
③子ども110番事業	はい いいえ

問 33 お住まいの地域で、子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 感じる	2. 感じない
3. どちらでもない	4. わからない

問 34 藤井寺市では、下記の事業や取組がありますが、地域において子どもの安全確保のために必要、あるいは効果があると認められるものはどれですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(複数回答可)

事業及び取組概要	
1. 青色回廊/ハトロール事業	
2. 子どもの安全見まもり隊事業	
3. 子ども110番事業	
4. その他(問34-1自由記述へ)	

問 34-1 問34で「4.」を選ばれた方にお伺いします。

その他必要、あるいは効果があると思われる事業や取組について具体的に記述してください。

15. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお聞かせください

国においては、少子化への取組として、働き方の改革による「仕事と生活の調和」の実現と、多様な働きかたに対応した保育サービス等の子育てを支える社会的基盤の整備を「車の両輪」として進めていくこととしています。
 ※「仕事と生活の調和」（あなた自身が仕事に仕事以外の生活のバランスを取れていると思うか、また、仕事と家庭を両立している方は、家事・育児・介護など、それ以外の生活（趣味や友人との付き合いなど）のバランスがとれているか）についてお答えください。

問35 「仕事と生活の調和、あるいは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、これまで知っていましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 言葉を知っており内容も詳しく知っている 2. 言葉を知っており内容も少しは知っている
 3. 言葉を知っていたことはあるが内容はよく知らない 4. 知らない

問36 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。（1週間の平均的な時間をお答えください。）また、その時間は十分だと思いませんか。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 母親

子どもと一緒に過ごす時間 () 時間

1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う
 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う
 5. わからない

(2) 父親

子どもと一緒に過ごす時間 () 時間

1. 十分だと思う 2. まあまあ十分だと思う
 3. あまり十分だと思わない 4. 不十分だと思う
 5. わからない

問37 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。（1週間の平均的な時間をお答えください。）

(1) 母親

() 時間

(2) 父親

() 時間

問38 配偶者との家事、育児分担に満足していますか。それぞれあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 母親

配偶者（夫）との家事、育児分担に

1. 満足している 2. まあまあ満足している
 3. あまり満足していない 4. 不満だ
 5. わからない

(2) 父親

配偶者（妻）との家事、育児分担に

1. 満足している 2. まあまあ満足している
 3. あまり満足していない 4. 不満だ
 5. わからない

問39 あなたの家庭の生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児・プライベートの生活時間）」の優先度についてお聞かせください。それぞれについてあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 現実

1. 仕事時間を優先 2. 家事（育児）時間を優先
 3. プライベート時間を優先 4. その他 ()

(2) 希望

1. 仕事時間を優先 2. 家事（育児時間）を優先
 3. プライベート時間を優先 4. その他 ()

問40 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 残業や出張が入ること
 2. 子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと
 3. 配偶者の協力が得られないこと
 4. 家族や周囲の理解が得られないこと
 5. 職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務等）
 6. 職場の理解や協力が得られないこと
 7. 子どものほかに面倒をみなければならぬ人がいること
 8. 子どもの面倒をみてくれる保育所や放課後児童クラブ等がみつからないこと
 9. 子どもと接する時間が少ないこと
 10. その他 ()

問41 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 感じる 2. まあまあ感じる
 3. あまり感じない 4. 感じない
 5. わからない

